

---

# 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画 策定に係るニーズ調査報告書

---



平成31年3月  
千葉県 富津市



# 目次

共通編	1
第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	5
2 調査票の種類と調査対象者等	5
3 調査の実施方法と配付・回収状況	5
(1) 調査時期と調査方法	5
(2) 調査の配付・回収状況	6
4 報告書利用上の留意点	6
(1) 年齢の定義	6
(2) 調査結果の表示方法	6
就学前児童編	7
第2章 満足度・調査対象者属性等	9
1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況	11
(1) 市の取り組みへの満足度	11
(2) 居住地域の状況	12
(3) 調査対象児童の属性	12
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無	13
第3章 子育て家庭を取り巻く環境	15
1 子育ての環境について	17
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	17
(2) 子育てに関する情報の入手先	19
(3) 子育てに対する意識	20
2 保護者の就労状況	21
(1) 母親の就労状況	21
(2) 父親の就労状況	27
3 家庭の経済状況	31
(1) 世帯の収入状況	31
(2) 家庭における費用負担の状況	31
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	35
1 定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	37
(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）	37
(2) 幼稚園	43
(3) 保育所（園）	46
(4) 認定こども園	50

(5) 土曜・休日の教育・保育事業の利用意向 .....	53
(6) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ .....	56
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向 .....	60
(1) 地域の子育て支援の利用について .....	60
(2) 子どもの遊び場の利用について .....	65
(3) 不定期の一時保育の利用について .....	66
(4) 宿泊を伴う一時保育の利用について .....	69
3 放課後の過ごし方について .....	71
(1) 平日の放課後の過ごし方について .....	71
(2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用について .....	75
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について .....	76
<b>第5章 育児休業制度の利用状況</b> .....	<b>77</b>
1 育児休業制度の利用状況について .....	79
(1) 育児休業の取得状況 .....	79
<b>第6章 児童虐待に対する意識</b> .....	<b>81</b>
1 児童虐待に対する意識について .....	83
(1) 児童虐待に対する理解・認識について .....	83
<b>第7章 望まれる子育て支援サービス</b> .....	<b>87</b>
1 今後希望する子育て支援サービスについて .....	89
(1) 今後希望する子育て支援サービス .....	89
<b>第8章 自由記述</b> .....	<b>91</b>
<b>小学生編</b> .....	<b>115</b>
<b>第9章 満足度・調査対象者属性等</b> .....	<b>117</b>
1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況 .....	119
(1) 市の取り組みへの満足度 .....	119
(2) 居住地域の状況 .....	120
(3) 調査対象児童の属性 .....	120
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無 .....	121
<b>第10章 子育て家庭を取り巻く環境</b> .....	<b>123</b>
1 子育ての環境について .....	125
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況 .....	125
2 保護者の就労状況 .....	127
(1) 母親の就労状況 .....	127
(2) 父親の就労状況 .....	131
3 家庭の経済状況 .....	134
(1) 世帯の収入状況 .....	134

(2) 家庭における費用負担の状況 .....	134
<b>第11章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望 .....</b>	<b>139</b>
<b>1 放課後の過ごし方について .....</b>	<b>141</b>
(1) 平日の放課後の過ごし方について .....	141
(2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向について.....	145
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向について .....	146
(4) 放課後子ども教室・子ども会について .....	147
<b>第12章 児童虐待に対する意識 .....</b>	<b>151</b>
<b>1 児童虐待に対する意識について .....</b>	<b>153</b>
(1) 児童虐待に対する理解・認識について .....	153
<b>第13章 望まれる子育て支援サービス .....</b>	<b>157</b>
<b>1 今後希望する子育て支援サービスについて .....</b>	<b>159</b>
(1) 今後希望する子育て支援サービス .....	159
<b>第14章 自由記述 .....</b>	<b>161</b>
<b>資料編 .....</b>	<b>195</b>
調査票（就学前児童の保護者対象） .....	197
調査票（小学生の保護者対象） .....	211



**共通編**



# 第1章 調査実施の概要



# 1 調査の目的

本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」（2020年度～2024年度）の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握するために、アンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

# 2 調査票の種類と調査対象者等

## ■調査の実施方法

調査票「第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査」

調査対象者	就学前児童（0～5歳）全員の保護者	就学児童（小学1～6年生）全員の保護者
調査件数	1,493件	1,776件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業、児童虐待などに関する設問	

# 3 調査の実施方法と配付・回収状況

## （1）調査時期と調査方法

### ■調査時期と調査方法

調査時期	平成30年10月18日～10月31日	
調査方法	就学前児童	郵便
	小学生	学校配付・回収

## (2) 調査の配付・回収状況

### ■調査票の配付・回収状況

	配付数	回収数	回収率
就学前児童	1,493 票	741 票	49.6%
小学生	1,776 票	1,422 票	80.1%

## 4 報告書利用上の留意点

### (1) 年齢の定義

就学前児童の調査においては、お子さんの生年月の年齢を回答していただき、下表による年齢区分により集計を行いました。

小学生の調査においては、お子さんの学年を選択肢から回答していただき、集計を行いました。

#### ■ニーズ調査における年齢定義

年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成30年4月以降
1歳児	平成29年4月～平成30年3月
2歳児	平成28年4月～平成29年3月
3歳児	平成27年4月～平成28年3月
4歳児	平成26年4月～平成27年3月
5歳児	平成25年4月～平成26年3月
6歳児	平成24年4月～平成25年3月

(注) 調査期間【平成30年度】における年齢定義

### (2) 調査結果の表示方法

- ・図表中の「n(回答者数)」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしています。
- ・調査結果の数値については小数第2位を四捨五入しているため、単数回答(選択肢が一つの問)においても、内訳を合計して100%に合致しない場合があります。
- ・複数回答(選択肢を2つ以上選んでもよい問)においては、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。
- ・3地区(富津、大佐和、天羽)は、11地区(学区)を以下のように分類したものです。  
富津 : 富津、飯野、青堀  
大佐和 : 大貴、吉野、佐貴  
天羽 : 湊、天神山、竹岡、金谷、環、関豊

# 就学前児童編



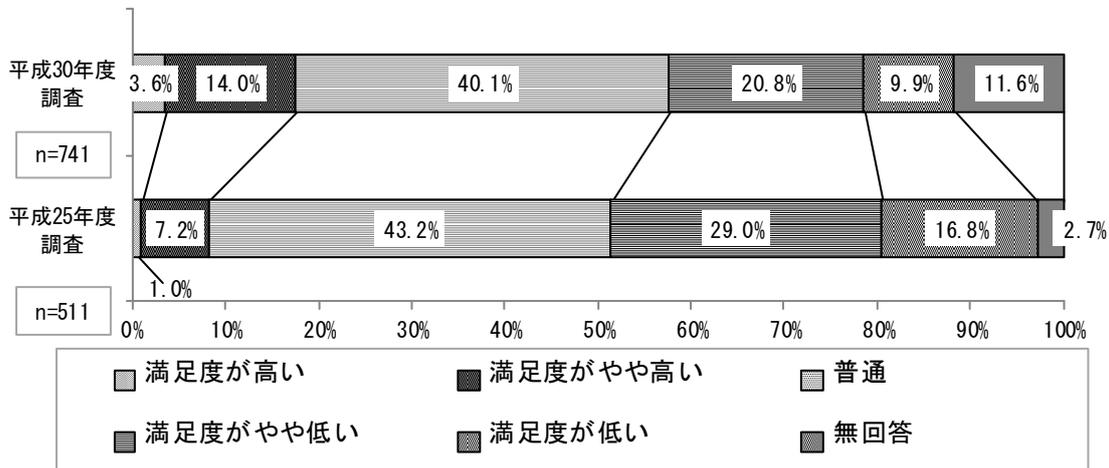
## **第2章 満足度・調査対象者属性等**



# 1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況

## (1) 市の取り組みへの満足度

問1 市の取り組みへの満足度



市の取り組みへの満足度 (3 地区別)

	合計	満足度が高い	満足度がやや高い	普通	満足度がやや低い	満足度が低い	無回答
	741	27	104	297	154	73	86
	100.0%	3.6%	14.0%	40.1%	20.8%	9.9%	11.6%
富津地区	433	17	62	161	102	43	48
	100.0%	3.9%	14.3%	37.2%	23.6%	9.9%	11.1%
大佐和地区	153	8	20	73	22	17	13
	100.0%	5.2%	13.1%	47.7%	14.4%	11.1%	8.5%
天羽地区	137	2	21	62	29	13	10
	100.0%	1.5%	15.3%	45.3%	21.2%	9.5%	7.3%
無回答	18	0	1	1	1	0	15
	100.0%	0.0%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	83.3%

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度は、「普通」(40.1%)、次いで「満足度がやや低い」(20.8%)となっています。

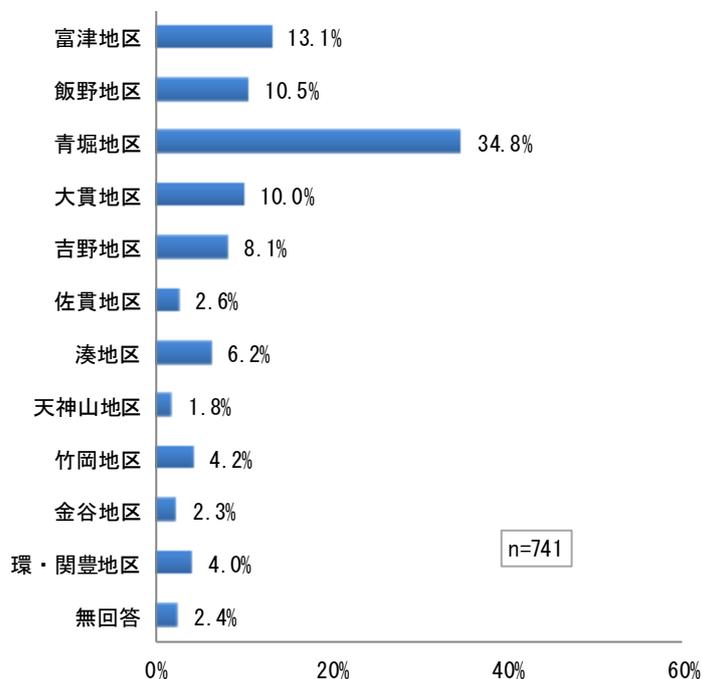
平成25年度調査と比較すると、「満足度が高い」が1.0%から3.6%へ2.6ポイント増加、「満足度がやや高い」が7.2%から14.0%へ6.8ポイント増加しています。逆に、「満足度がやや低い」が29.0%から20.8%へ8.2ポイント減少、「満足度が低い」が16.8%から9.9%へ6.9ポイント減少しており、満足度向上の傾向が明らかになっています。

また、3地区別では「満足度が高い」については「大佐和地区」が5.2%で最も高くなっています。

## (2) 居住地域の状況

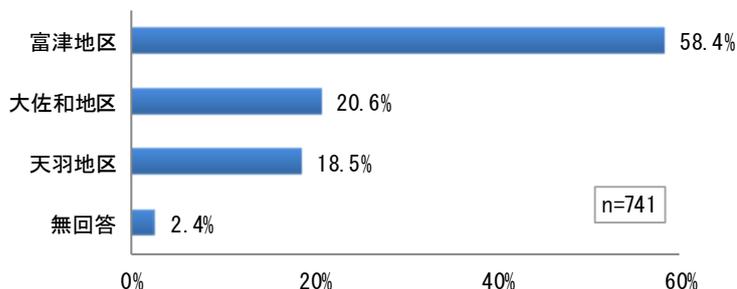
### 問2 お住まいの地区(学区)

回答者が居住している地域の状況は、学区では、青堀地区(34.8%)が最も多くなっています。



### 問2 地域(3地区)

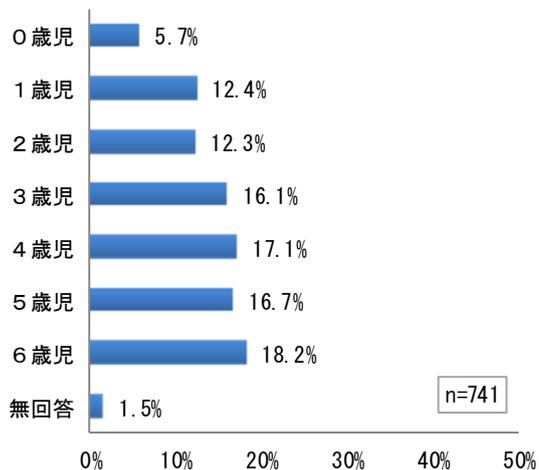
富津・大佐和・天羽の3地区では、青堀地区が含まれる富津地区(58.4%)が最も多くなっています。



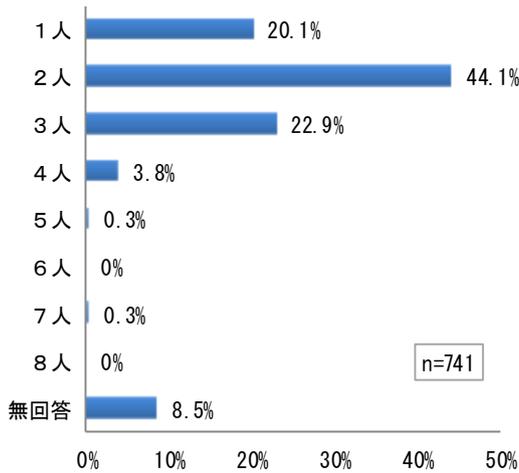
## (3) 調査対象児童の属性

### 問3 年齢

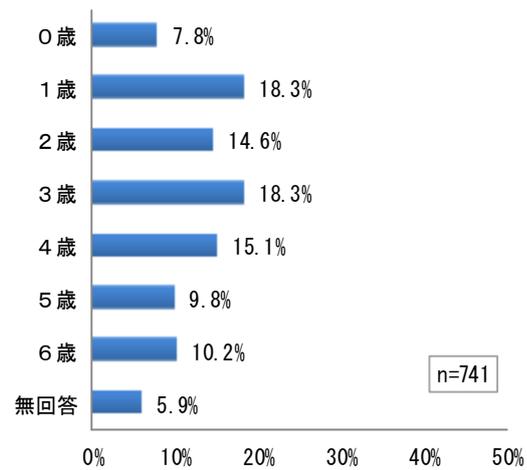
回答のあったお子さんの年齢では、6歳児(18.2%)が最も多く、次いで4歳児(17.1%)になっています。



問4 きょうだいの人数



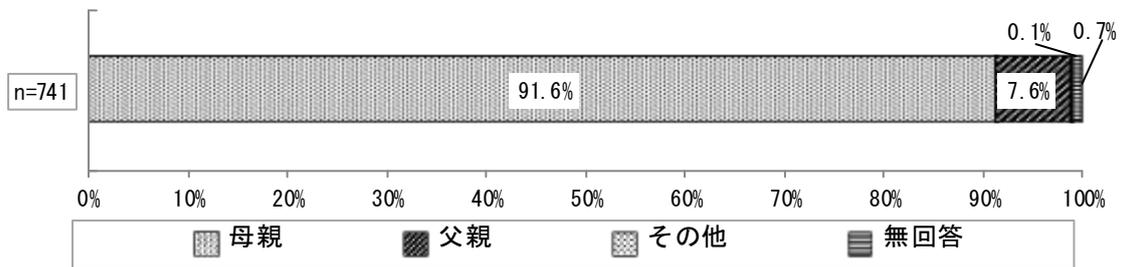
問4 末子の年齢



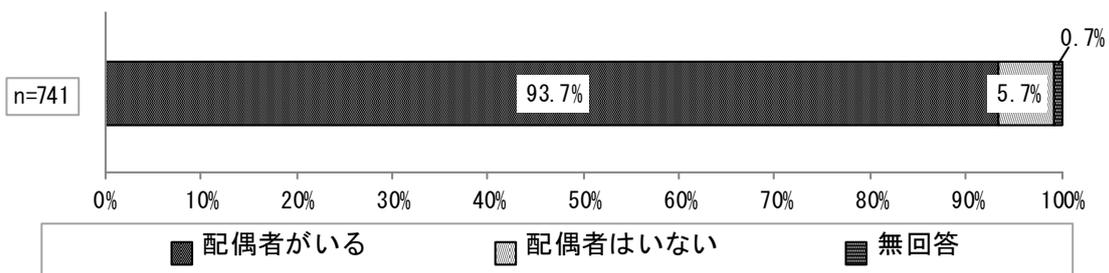
きょうだいの数では、「2人」(44.1%)が最も多く、次いで「3人」(22.9%)、「1人」(20.1%)となっています。

(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

問5 調査回答者



問6 配偶者の有無



この調査の回答者は、母親の割合が90%以上となっています。配偶者の有無については、93.7%の回答者が、「配偶者がいる」と回答しています。



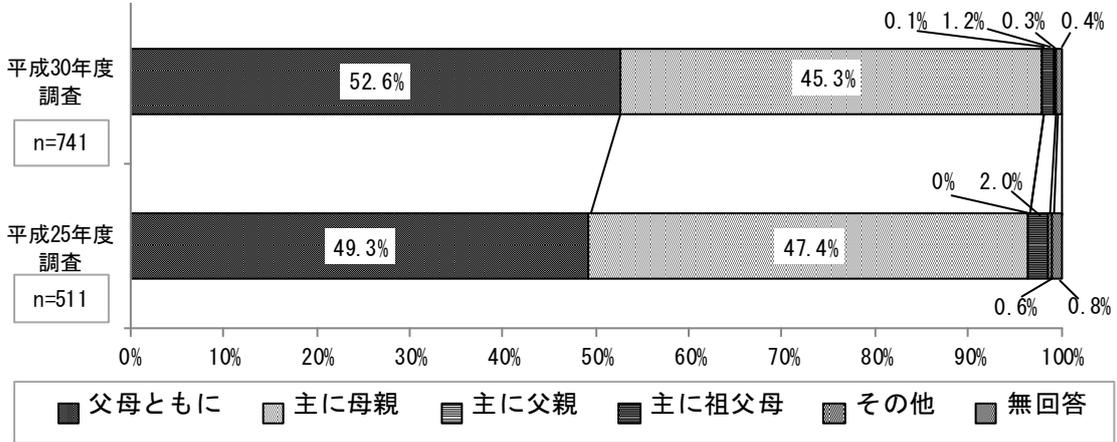
## **第3章 子育て家庭を取り巻く環境**



# 1 子育ての環境について

## (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

問7 主な保育者の状況

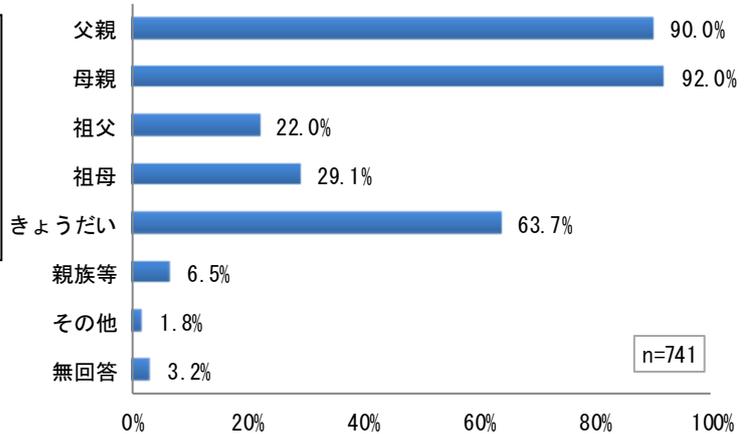


主な保育者の状況を見ると、「父母ともに」(52.6%)と「主に母親」(45.3%)が大半を占めています。

平成25年度調査と比較すると「父母ともに」が49.3%から52.6%と3.3ポイント増えています。逆に「主に母親」47.4%から45.3%と2.1ポイント減少しています。

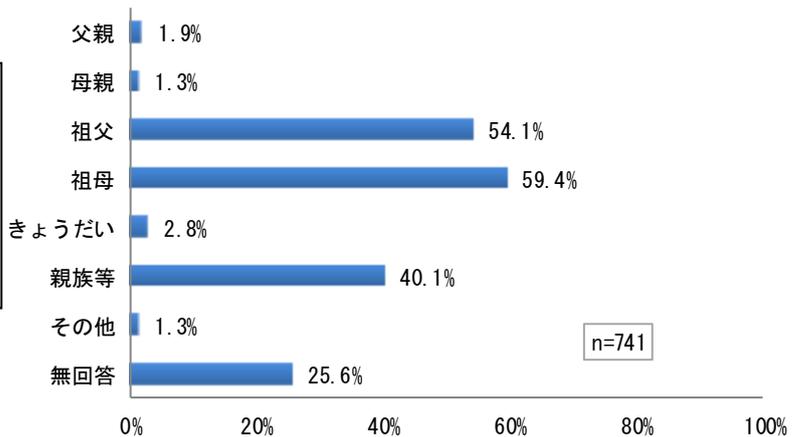
問8(1) 同居者の状況

同居では、「母親」(92.0%)、「父親」(90.0%)、「きょうだい」(63.7%)に続き「祖母」(29.1%)、「祖父」(22.0%)となっています。



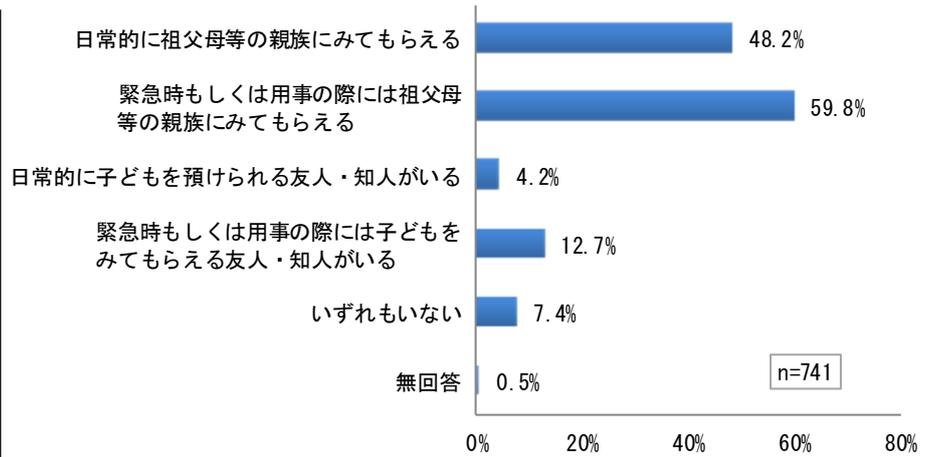
問8(2) 近居者の状況

近居では、「祖母」(59.4%)、「祖父」(54.1%)と約6割が祖母または祖父が近居しています。また、「親族等」も約4割が近居となっています。

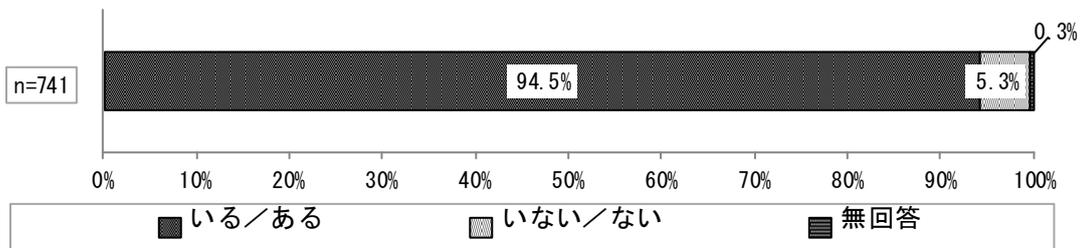


問9 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(59.8%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(48.2%)となっています。

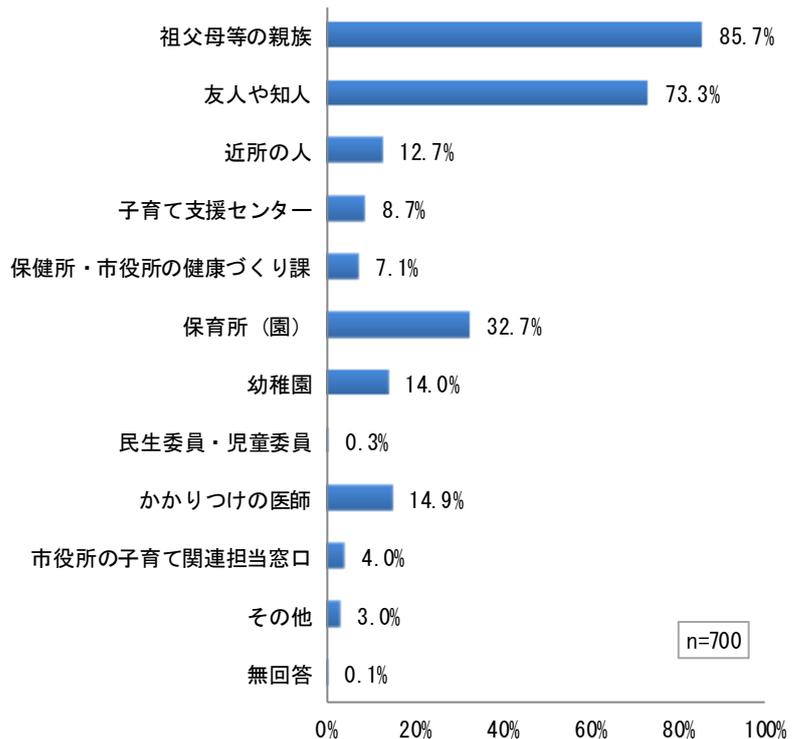


問10 気軽に相談できる人の有無



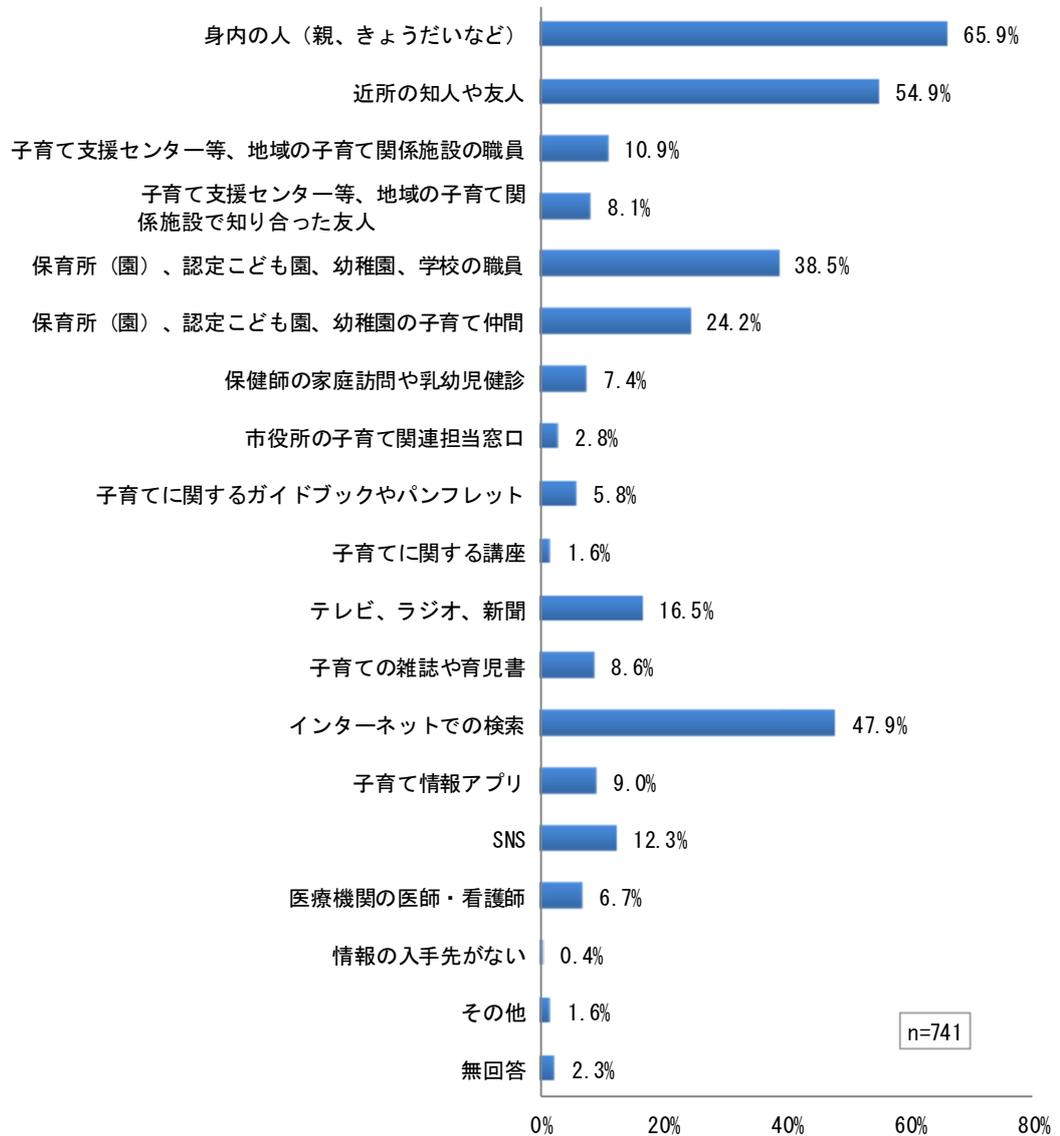
問10-1 気軽にできる相談先

気軽に相談できる人の有無をみると、ほとんどの人が「いる/ある」(94.5%)と答えています。その相談できる相手としては、「祖父母等の親族」(85.7%)、「友人や知人」(73.3%)、「保育所(園)」(32.7%)となっています。



## (2) 子育てに関する情報の入手先

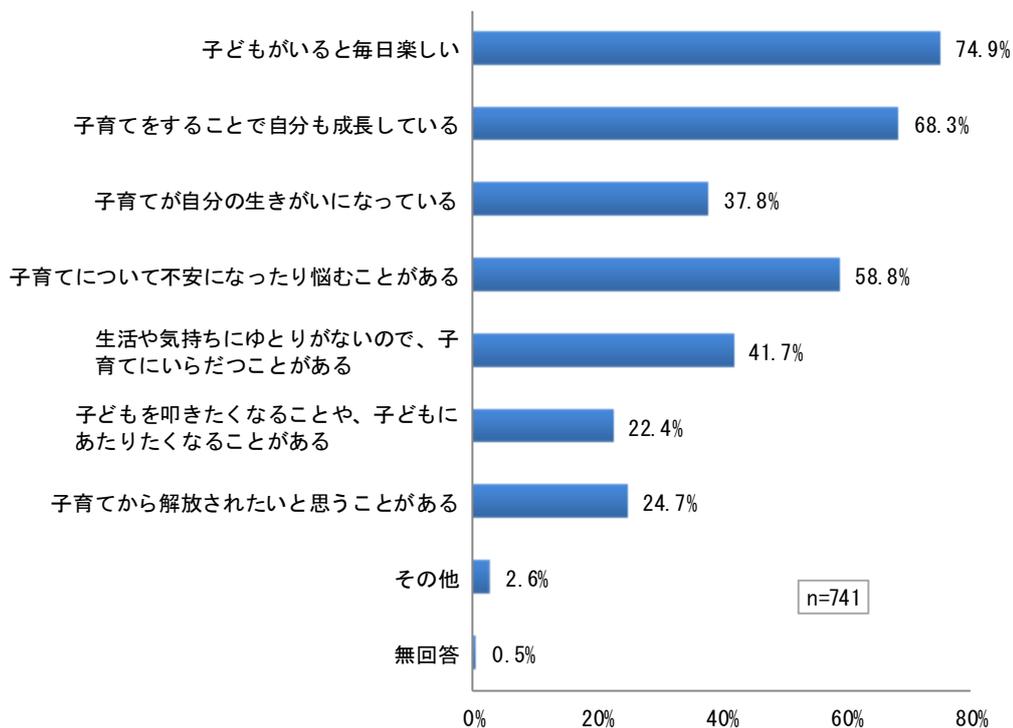
### 問 11 子育てに関する情報の入手先



子育てに関する情報の入手先については、「身内の人（親、きょうだいなど）」（65.9%）が最も多く、「近所の知人や友人」（54.9%）、「インターネットでの検索」（47.9%）、「保育所（園）、認定こども園、幼稚園、学校の職員」（38.5%）と続いています。「インターネットでの検索」（47.9%）、SNS（12.3%）、子育て情報アプリ（9.0%）等、パソコンやスマートフォンを用いた情報入手を、約7割の人が利用しています。

### (3) 子育てに対する意識

#### 問 12 子育てに対する意識

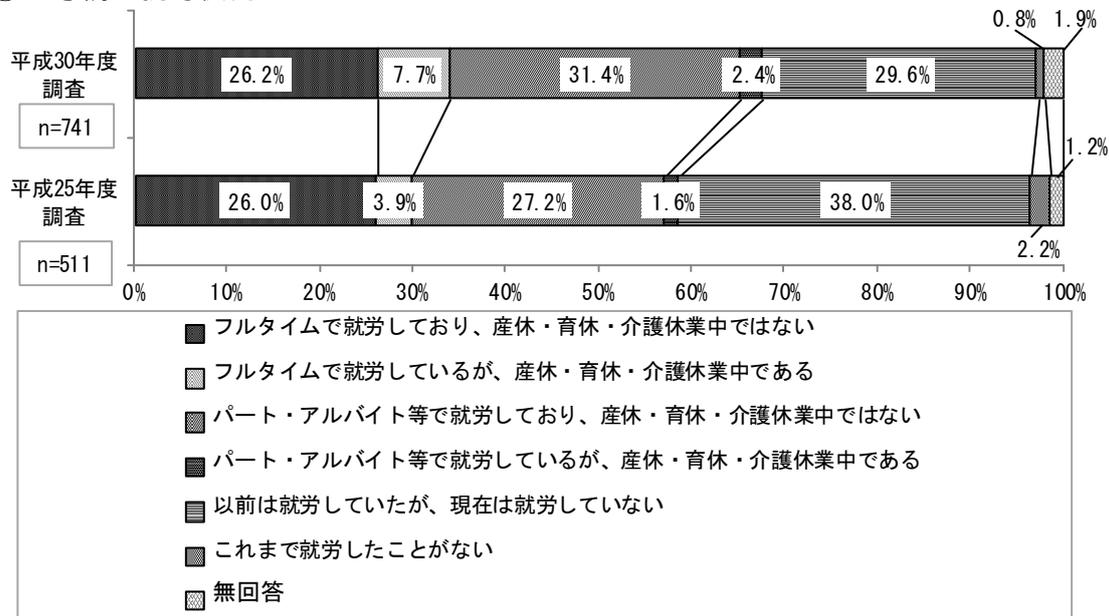


子育てに対する保護者の意識では、「子どもがいると毎日楽しい」(74.9%)、「子育てをすることで自分も成長している」(68.3%)と前向きな意識が多くを占めています。一方で「子育てについて不安になったり悩むことがある」(58.8%)、「生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある」(41.7%)等の不安や悩みに対する意識も半数近くを占めています。

## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

問 13① 母親の就労状況



※ここでは「フルタイム」は週に5日程度、1日8時間程度の就労、フルタイム以外の就労を「パート・アルバイト等」とする。

母親の就労状況をみると、「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(31.4%)が最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」(29.6%)が続いています。

また、「パート・アルバイトで就労」(31.4%)に「フルタイムで就労」(26.2%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(7.7%)、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」(2.4%)を合わせると就労している割合は、67.7%になります。

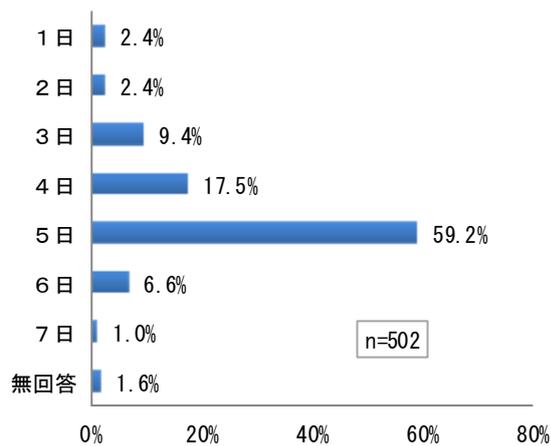
平成25年度実施の調査と比較すると、「フルタイムで就労」(産休・育休・介護休業中含む)が、(26.0+3.9)%から(26.2+7.7)%へ4.0ポイント増加しています。また、「パート・アルバイト等で就労」(産休・育休・介護休業中含む)も(27.2+1.6)%から(31.4+2.4)%へ5.0ポイント増加しています。「以前は就労していたが、現在は就労していない」が(38.0)%から(29.6)%へ8.4ポイント減少、「これまで就労したことがない」も(2.2)%から(0.8)%へ1.4ポイント減少しており、就労している母親が増加しています。

### 母親の就労状況（3地区別）

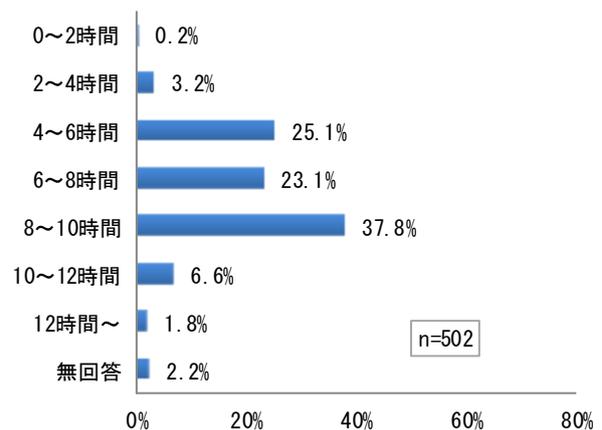
	合計	フルタイム 就労	フルタイム 就労（休業 中）	パート・ア ルバイト等	パート・ア ルバイト等 （休業中）	現在は就労 していない	就労したこ とがない	無回答
	741	194	57	233	18	219	6	14
	100.0%	26.2%	7.7%	31.4%	2.4%	29.6%	0.8%	1.9%
富津地区	433	103	37	133	11	139	4	6
	100.0%	23.8%	8.5%	30.7%	2.5%	32.1%	0.9%	1.4%
大佐和地区	153	45	10	45	5	46	2	0
	100.0%	29.4%	6.5%	29.4%	3.3%	30.1%	1.3%	0.0%
天羽地区	137	41	9	51	1	28	0	7
	100.0%	29.9%	6.6%	37.2%	0.7%	20.4%	0.0%	5.1%
無回答	18	5	1	4	1	6	0	1
	100.0%	27.8%	5.6%	22.2%	5.6%	33.3%	0.0%	5.6%

3地区別では、天羽地区の「パート・アルバイトで就労」（37.2%）が他地区よりも約7ポイント高くなっており、「現在は就労していない」は約10ポイント低くなっています。

### 問 14① 母親の就労日数

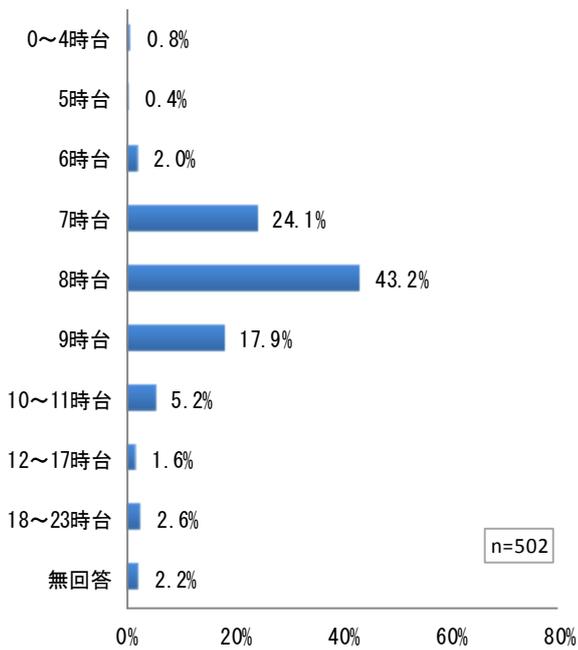


### 問 14① 母親の就労時間

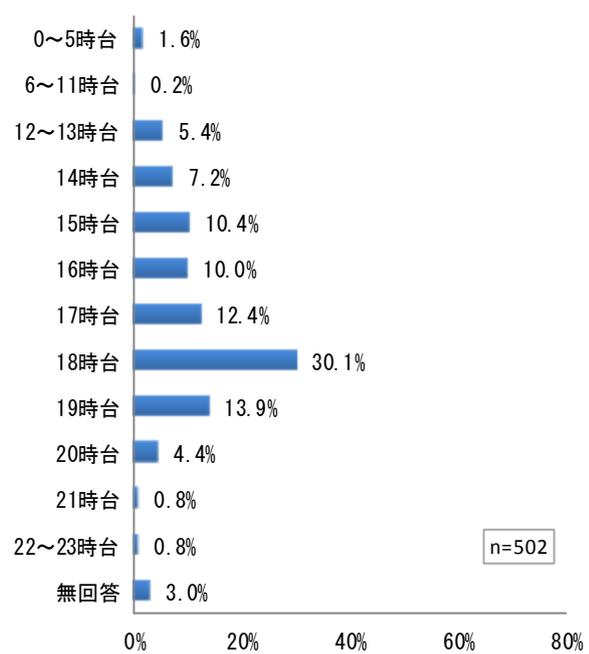


母親の就労日数をみると、「5日」（59.2%）が最も多く、約6割を占めています。就労時間をみると「8~10時間」（37.8%）、「4~6時間」（25.1%）、「6~8時間」（23.1%）となっています。

問 14① 母親の出勤時刻

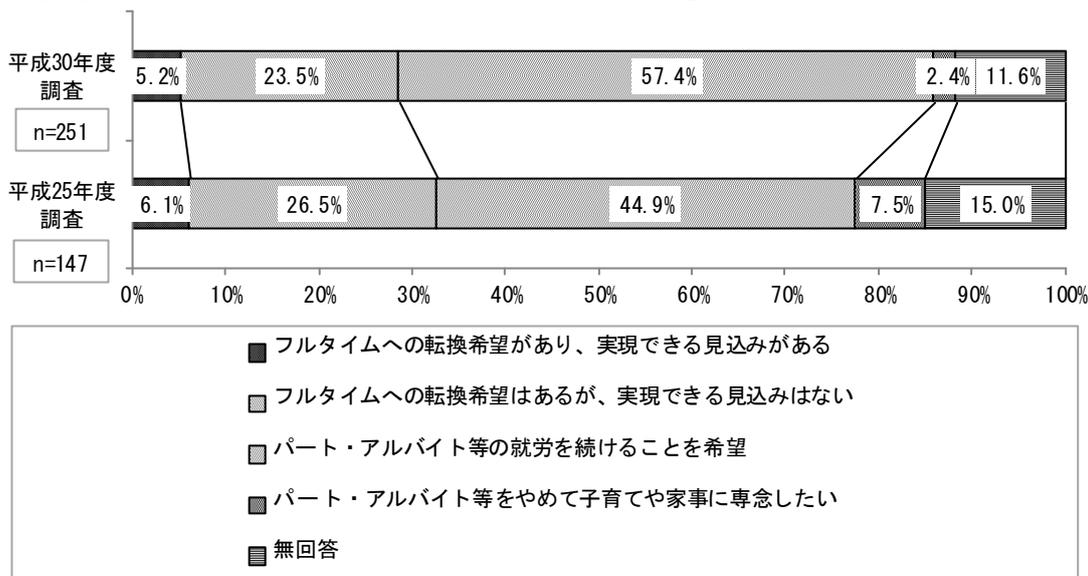


問 14① 母親の帰宅時刻



母親の出勤時刻は、「8時台」(43.2%)、「7時台」(24.1%)、「9時台」(17.9%)となっており、7～9時台で8割以上を占めています。帰宅時刻は、「18時台」(30.1%)が最も多く、次いで「19時台」(13.9%)、「17時台」(12.4%)「15時台」(10.4%)「16時台」(10.0%)と続いており、10%以上となる帰宅時刻が出勤時刻よりも広い時間帯となっています。

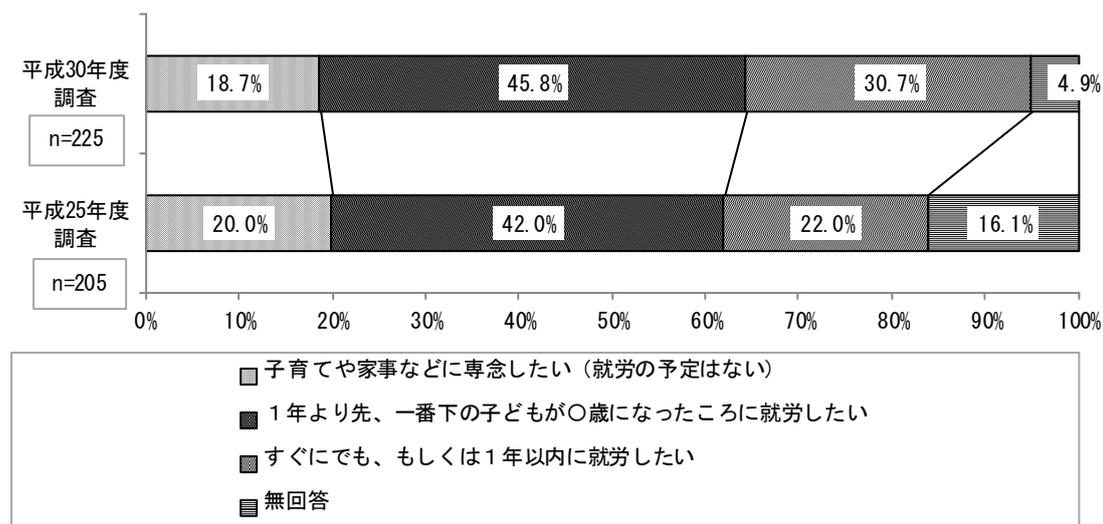
問 15① 母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向



母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(57.4%)が最も多くなっています。フルタイムへの転換希望がある人は「実現できる見込みはない」(23.5%)、「実現できる見込みがある」(5.2%)となっており、フルタイム転換希望(28.7%)のうちほとんどが実現できる見込みがないと回答しています。

平成25年度の調査結果と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が、44.9%から57.4%と12.5ポイント増加しています。逆に、「パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい」が7.5%から2.4%と5.1ポイント減少しています。

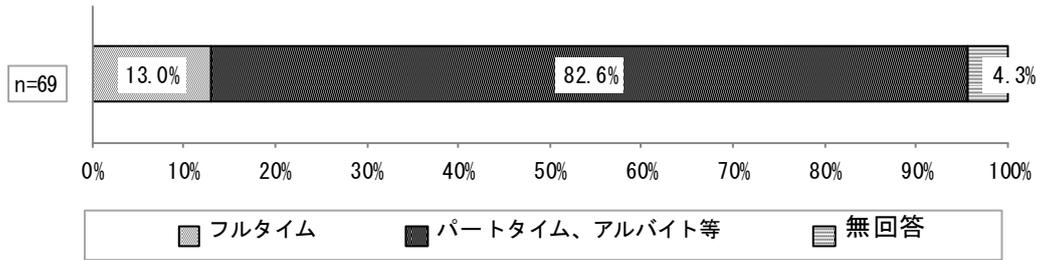
問 16① 就労していない母親の今後の就労希望(就労時期)



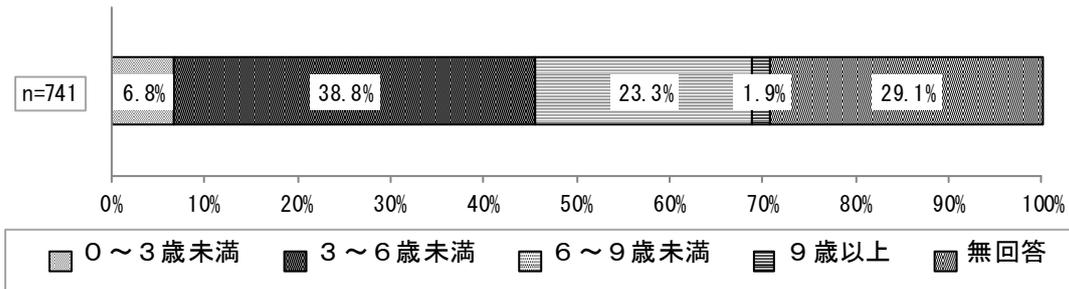
就労していない母親の今後の就労希望は、就労したい人が76.5%おり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが0(マル)歳になったころに就労したい」(45.8%)、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(30.7%)となっています。

平成25年度の調査結果と比較すると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が22.0%から30.7%と8.7ポイントと増加しています。逆に「子育てや家事などに専念したい」が、20.0%から18.7%と1.3ポイント減少しています。

問 16① 就労していない母親の今後の就労希望（勤務形態）

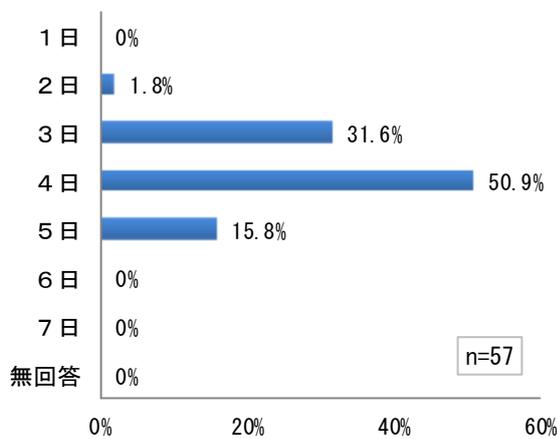


問 16① 就労希望時の末子の年齢

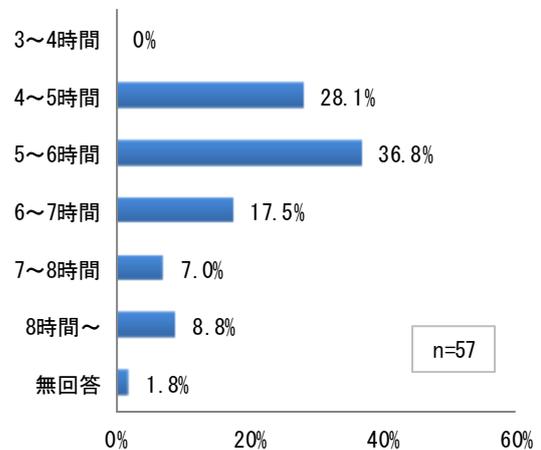


希望する勤務形態は「パートタイム、アルバイト等」（82.6%）、「フルタイム」（13.0%）となっています。就労時期となる一番下の子どもの年齢としては「3～6歳未満」（38.8%）が最も多く、次いで「6～9歳未満」（23.3%）、となっています。

問 16—2① 母親の希望就労日数

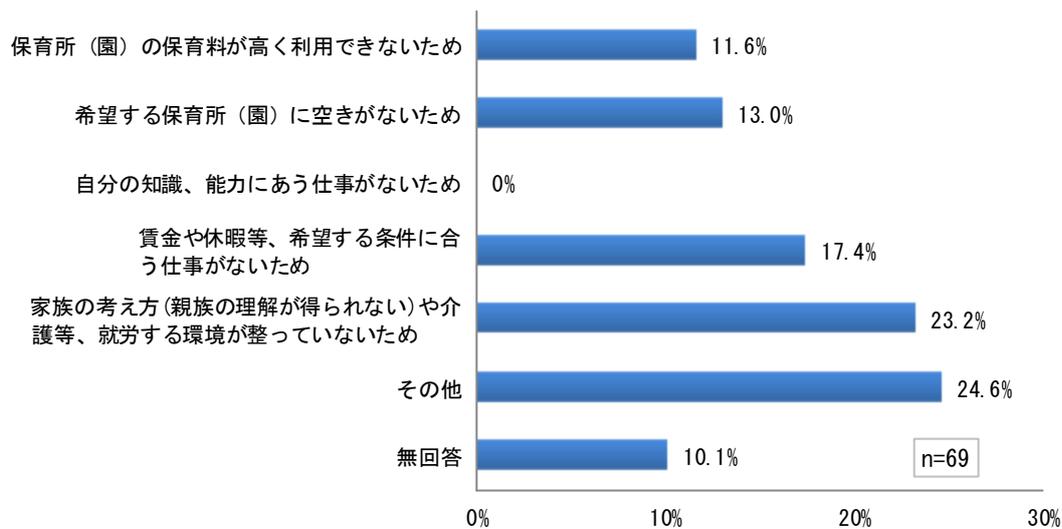


母親の希望就労時間



希望する就労日数は「4日」（50.9%）が半分を占めており、続いて「3日」（31.6%）となっています。就労時間は「5～6時間」（36.8%）、「4～5時間」（28.1%）と続いています。

問 16—3① 母親 就労希望があるが、現在働いていない理由

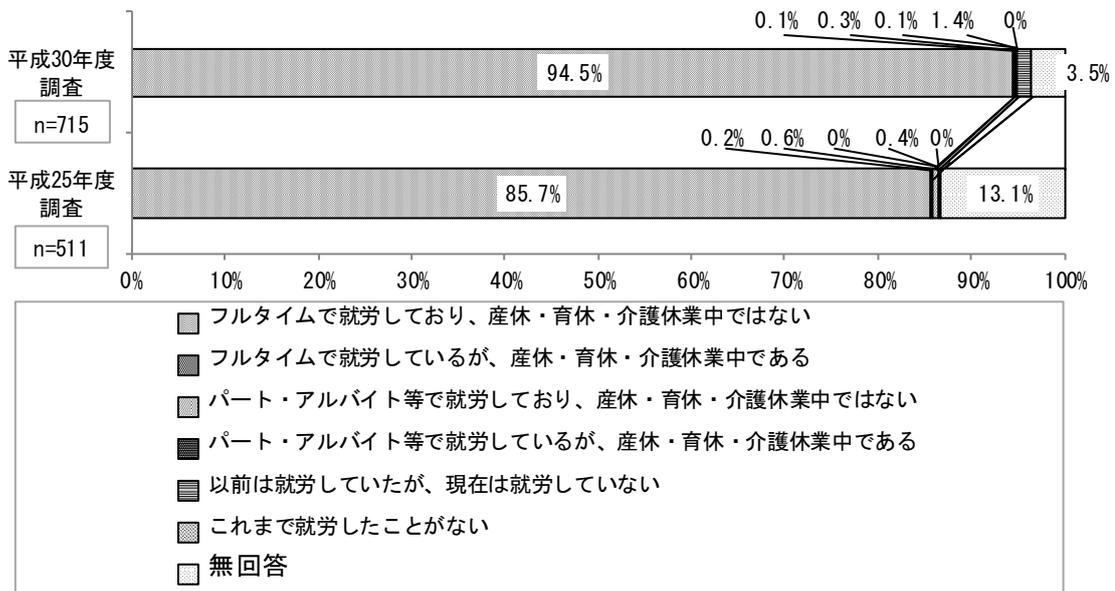


母親が現在働いていない理由では、その他（24.6%）が最も多く、主な内容としては、「子どもがまだ小さい」、「病気」、「妊娠中」等があげられています。続いて、「家族の考え方や介護等、就労する環境が整っていないため」（23.2%）となっています。

また、「保育所（園）の保育料が高く利用できないため」（11.6%）と「希望する保育所（園）に空きがないため」（13.0%）を合わせると高い割合になっています。

## (2) 父親の就労状況

### 問 13② 父親の就労状況



※ここでは「フルタイム」は週に5日程度、1日8時間程度の就労、フルタイム以外の就労を「パート・アルバイト等」とする。

### 3 地区別の就労状況（父親）

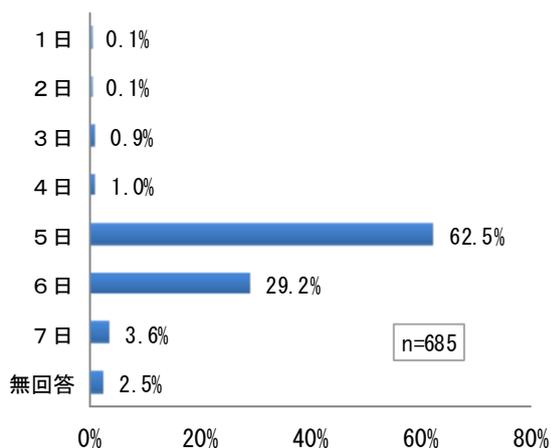
	合計	フルタイム就労	フルタイム就労（休業中）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（休業中）	現在は就労していない	就労したことがない	無回答
	715	676	1	2	1	10	0	25
	100.0%	94.5%	0.1%	0.3%	0.1%	1.4%	0.0%	3.5%
富津地区	421	400	0	2	1	3	0	15
	100.0%	95.0%	0.0%	0.5%	0.2%	0.7%	0.0%	3.6%
大佐和地区	144	139	1	0	0	2	0	2
	100.0%	96.5%	0.7%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%
天羽地区	132	120	0	0	0	5	0	7
	100.0%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	5.3%
無回答	18	17	0	0	0	0	0	1
	100.0%	94.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%

父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（94.5%）がほとんどで最も多くなっています。

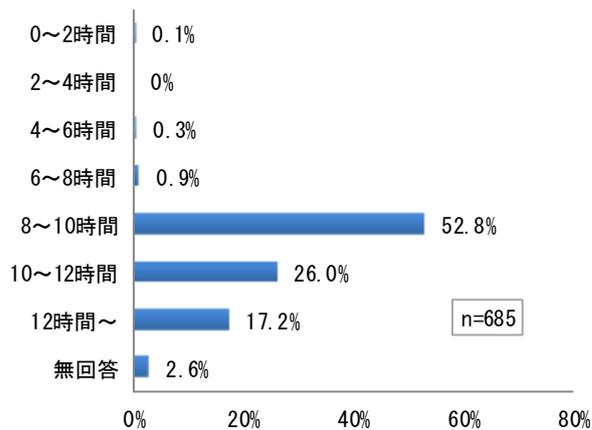
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労」（産休・育休・介護休業中を含む）が（85.7+0.2）%から（94.5+0.1）%へ8.7ポイント増加しています。

また、3地区別では、天羽地区の「フルタイム就労」が、他地区より約5ポイント少なくなっています。

問 14② 父親の就労日数

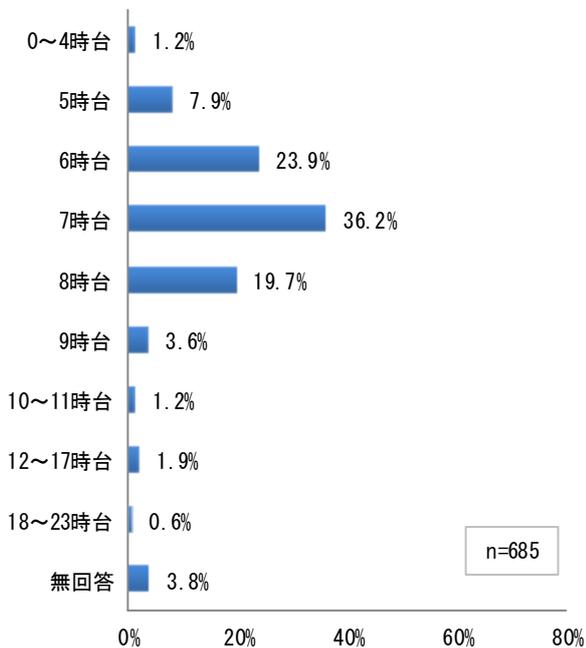


問 14② 父親の就労時間

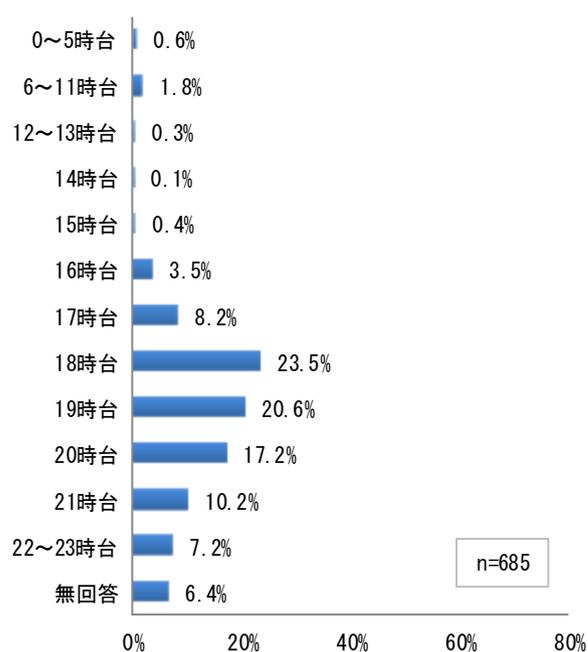


父親の就労日数をみると、「5日」(62.5%)が最も多く、次いで「6日」(29.2%)となっています。就労時間をみると「8~10時間」(52.8%)、「10~12時間」(26.0%)、「12時間以上」(17.2%)となっており、ほとんどが8時間以上の就労時間になっています。

問 14② 父親の出勤時刻

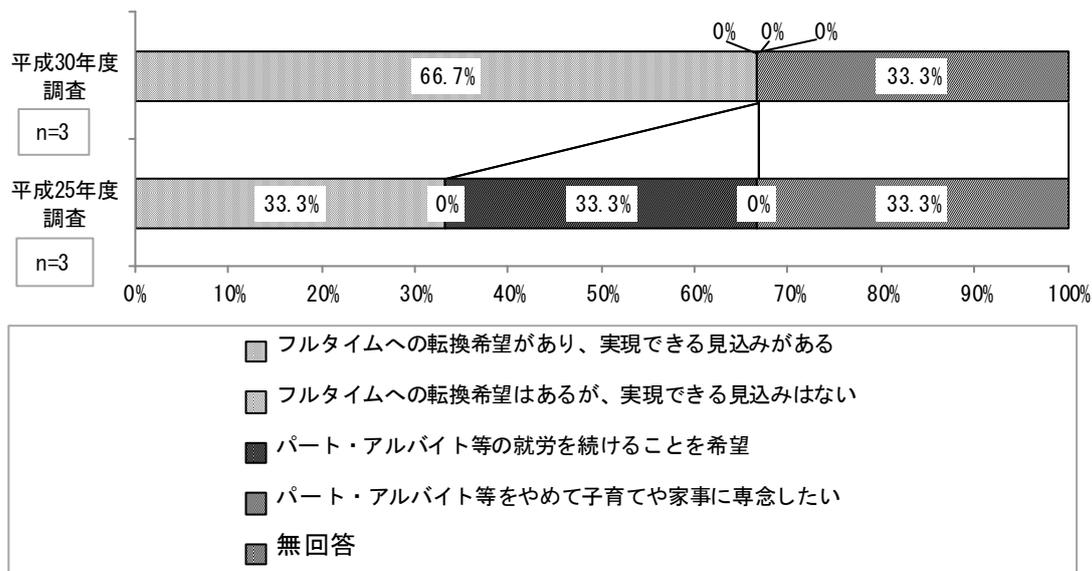


問 14② 父親の帰宅時刻



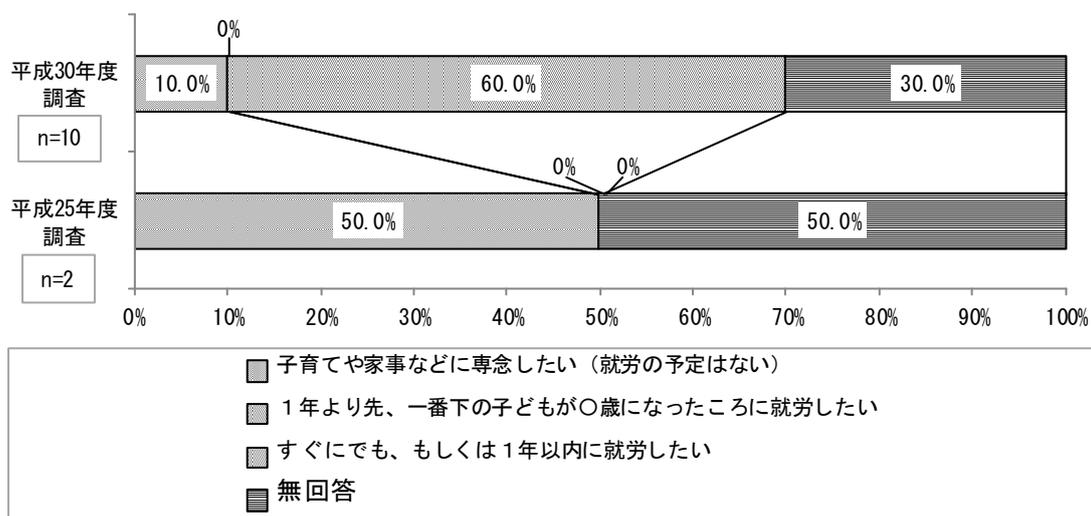
父親の出勤時刻は、「7時台」(36.2%)が最も多く、次いで「6時台」(23.9%)、「8時台」(19.7%)と7時台の前後に分布しています。帰宅時刻は、「18時台」(23.5%)、「19時台」(20.6%)、「20時台」(17.2%)と遅い時間帯へと続いています。

問 15② 父親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向



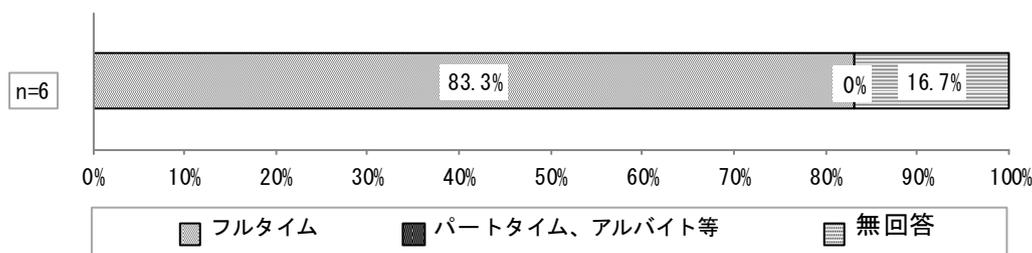
父親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(66.7%) となっています。

問 16② 就労していない父親の今後の就労希望（就労時期）



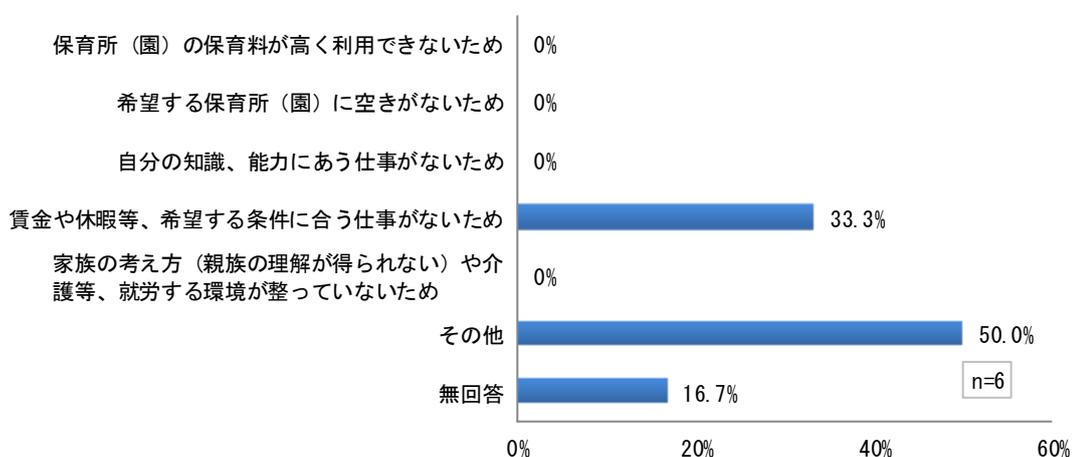
就労していない父親の今後の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(60.0%) が最も多くなっています。「1年より先、一番下の子どもが〇(マル)歳になったころに就労したい」(0%) の希望はありませんでした。

問 16② 就労していない父親の今後の就労希望（勤務形態）



父親が希望する就労形態は「フルタイム」（83.3%）のみであり、「パートタイム、アルバイト等」（0%）の希望がありませんでした。

問 16-3② 父親の働いていない理由



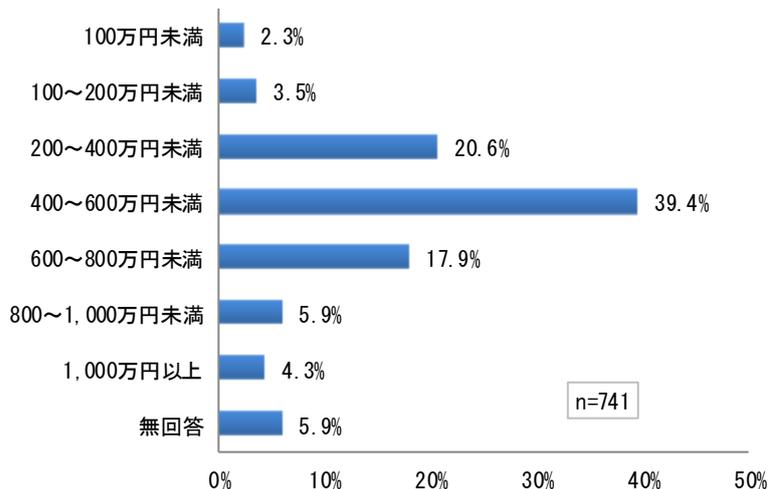
父親が現在働いていない理由では、その他（50.0%）が最も多く、具体的な意見としては、「内定企業の入社日の調整期間」があげられています。続いて、「賃金や休暇等、希望する条件に合う仕事がないため」（33.3%）となっています。

### 3 家庭の経済状況

#### (1) 世帯の収入状況

問 17 世帯収入

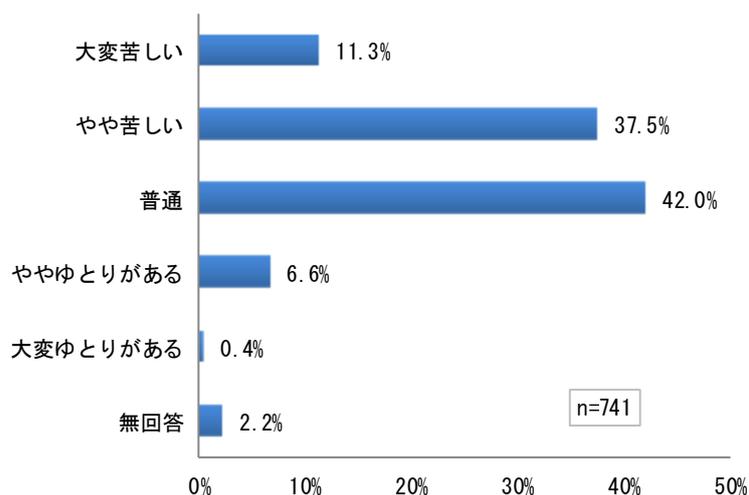
前年の世帯収入では、「400～600万円未満」(39.4%)が最も多く、次いで「200～400万円未満」(20.6%)、「600～800万円未満」(17.9%)となっています。



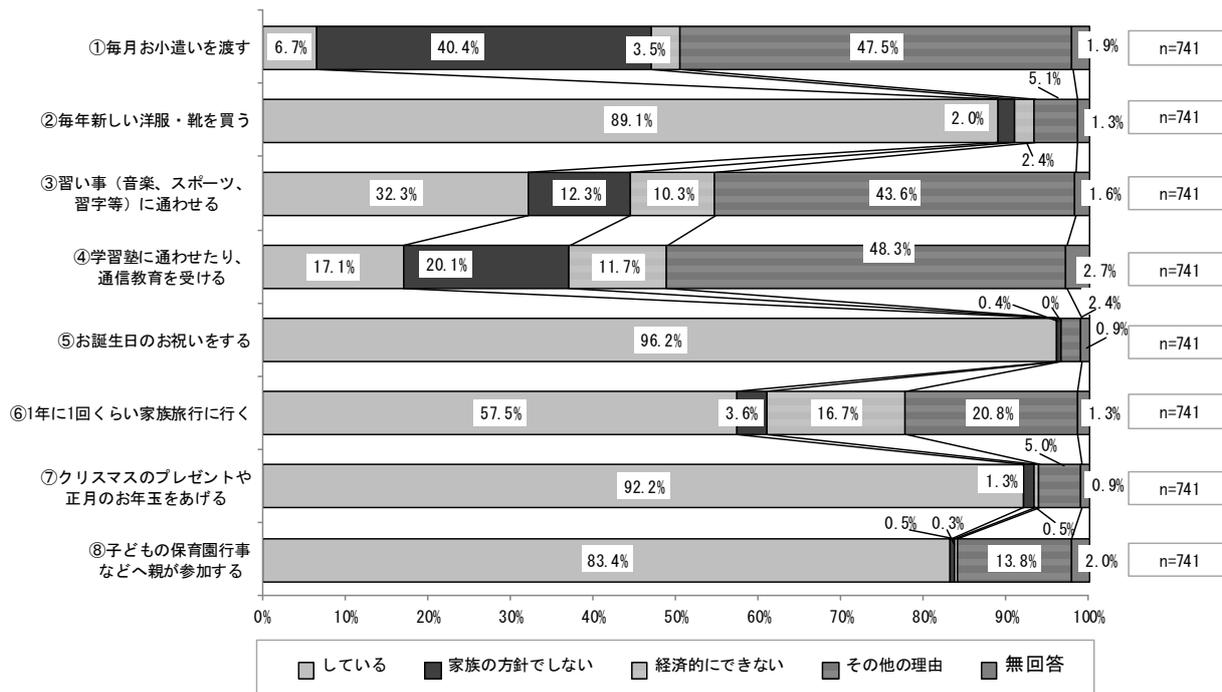
#### (2) 家庭における費用負担の状況

問 18 家庭の経済状況

家庭の経済状況をどのように感じているかについては、「普通」(42.0%)が最も多く、次いで「やや苦しい」(37.5%)、「大変苦しい」(11.3%)となっており、生活が苦しいと感じている家庭が48.8%と半数近くになっています。

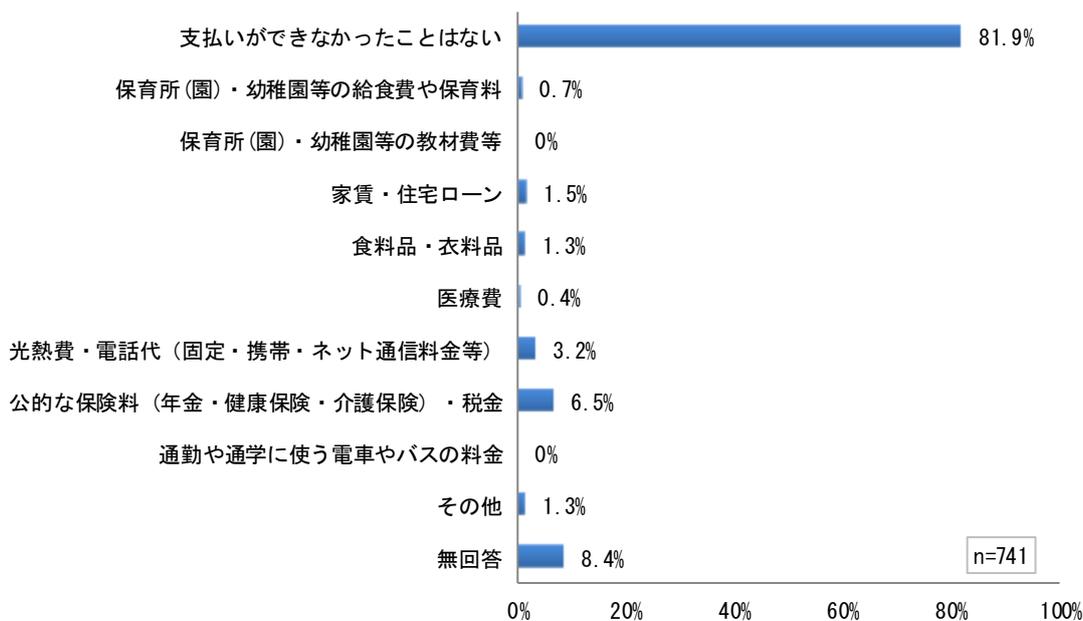


## 問 19 家庭でお子さんにしていること



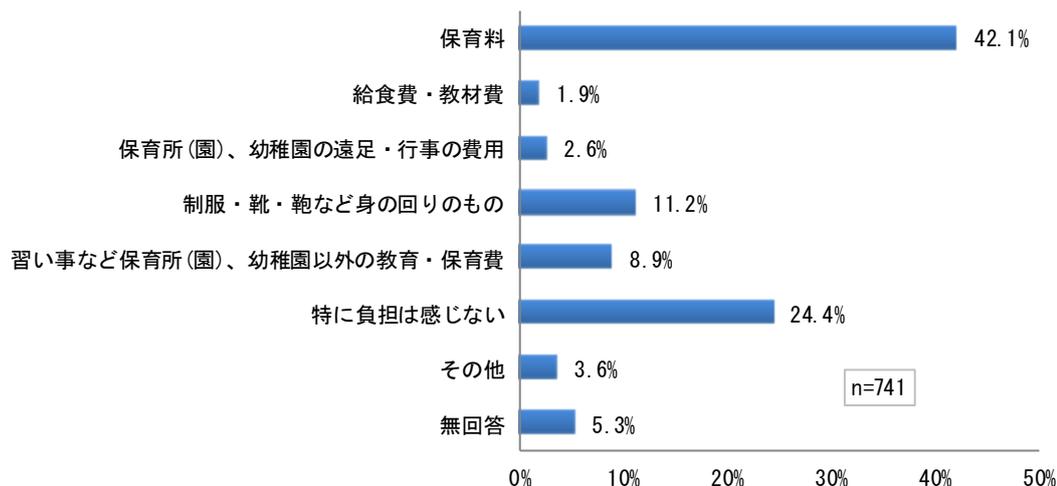
家庭でお子さんにしていることでは、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「お誕生日のお祝いをする」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」、「子どもの保育園行事などへ親が参加する」が約9割の家庭で行われています。家族の方針でしないものでは、「毎月お小遣いを渡す」（40.4%）、「学習塾に通わせたり、通信教育を受ける」（20.1%）となっています。

## 問 20 経済的に支払いができなかったもの



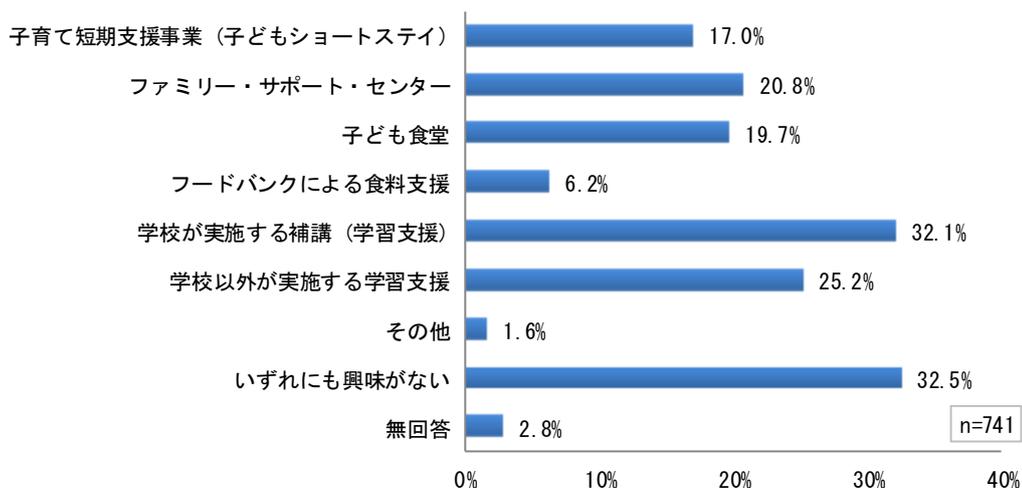
経済的に支払いができなかったものについては、「支払いができなかったことはない」（81.9%）がほとんどであり、支払えなかったものでは、「公的な保険料・税金」（6.5%）、「光熱費・電話代」（3.2%）となっています。

## 問 21 一番負担となる教育・保育費



一番負担となっている教育・保育費については、「保育料」(42.1%)が最も多くなっています。続いて「特に負担は感じない」(24.4%)となっており、家庭による負担感の違いがあります。

## 問 22 興味のある支援制度等



興味のある支援制度に対する設問では、「いずれにも興味がない」(32.5%)が最も多くなっています。興味がある制度としては、「学校が実施する補講」(32.1%)、次いで「学校以外が実施する学習支援」(25.2%)となっており、学習に関連する支援への関心が高くなっています。



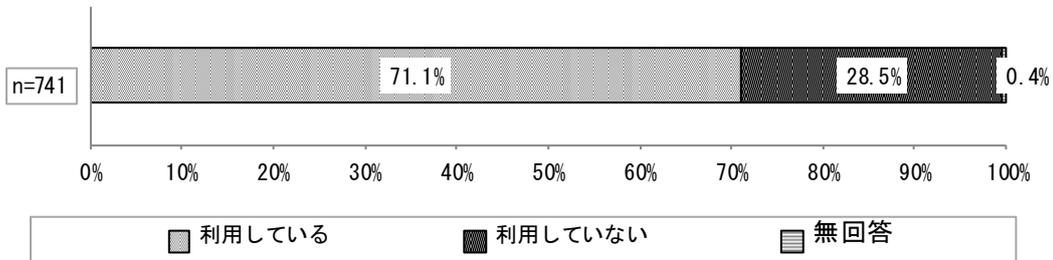
## **第4章 子育て支援サービスの現状と今後の 利用希望**



# 1 定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

## (1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）

問 23 定期的な教育・保育事業の利用



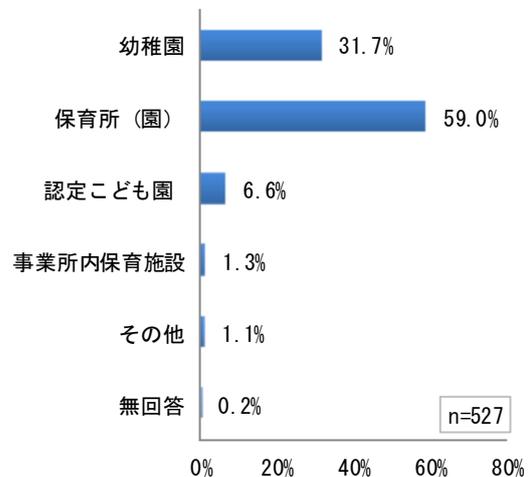
年齢別の定期的な教育・保育事業の利用状況

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
	741	42	92	91	119	127	124	135	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. 利用している	527	2	24	42	76	121	124	132	6
	71.1%	4.8%	26.1%	46.2%	63.9%	95.3%	100.0%	97.8%	54.5%
2. 利用していない	211	40	68	48	43	6	0	3	3
	28.5%	95.2%	73.9%	52.7%	36.1%	4.7%	0.0%	2.2%	27.3%
無回答	3	0	0	1	0	0	0	0	2
	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%

定期的な教育・保育事業（全体）の利用状況を見ると、「利用している」（71.1%）となっています。年齢別の利用状況では、0歳児は利用が4.8%、1歳児が26.1%と上昇していき、3歳児になると「利用している」の人が半数を超えます。4歳以上はほぼ全ての子どもが利用しています。

問 23-1 定期的にご利用している教育・保育事業

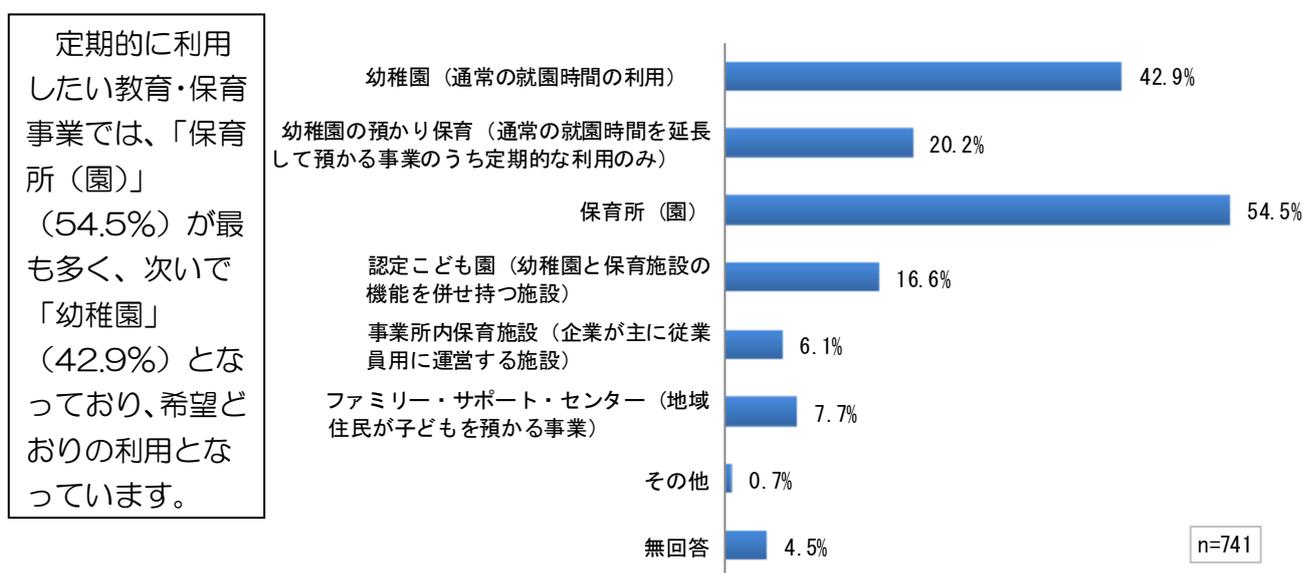
定期的にご利用している教育・保育事業では、「保育所（園）」（59.0%）でもっとも多く、次いで「幼稚園」（31.7%）となっています。



事業別利用年齢【現在】

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
	527	2	24	42	76	121	124	132	6
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. 幼稚園	167	0	0	1	17	42	46	60	1
	31.7%	0.0%	0.0%	2.4%	22.4%	34.7%	37.1%	45.5%	16.7%
2. 保育所（園）	311	1	19	37	48	68	68	65	5
	59.0%	50.0%	79.2%	88.1%	63.2%	56.2%	54.8%	49.2%	83.3%
3. 認定こども園	35	0	1	3	7	11	8	5	0
	6.6%	0.0%	4.2%	7.1%	9.2%	9.1%	6.5%	3.8%	0.0%
4. 事業所内保育施設	7	0	4	1	1	0	0	1	0
	1.3%	0.0%	16.7%	2.4%	1.3%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
5. その他	6	0	0	0	3	0	2	1	0
	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	1.6%	0.8%	0.0%
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	0.2%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問26 平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業

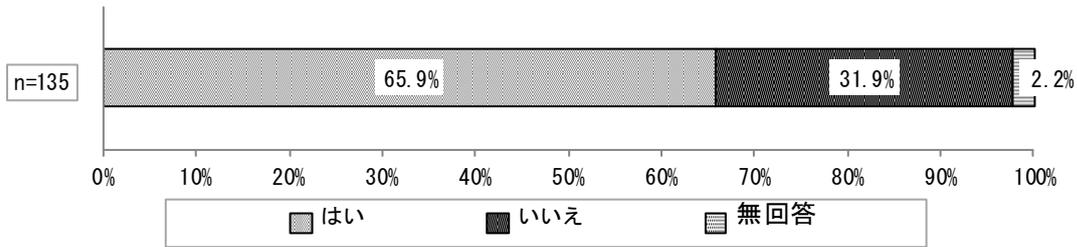


事業別利用年齢【希望】

	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
	741	42	92	91	119	127	124	135	11
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1. 幼稚園	318	20	40	43	54	53	47	58	3
	42.9%	47.6%	43.5%	47.3%	45.4%	41.7%	37.9%	43.0%	27.3%
2. 幼稚園の預かり保育	150	6	16	21	25	29	24	27	2
	20.2%	14.3%	17.4%	23.1%	21.0%	22.8%	19.4%	20.0%	18.2%
3. 保育所（園）	404	28	63	58	52	68	68	62	5
	54.5%	66.7%	68.5%	63.7%	43.7%	53.5%	54.8%	45.9%	45.5%
4. 認定こども園	123	12	11	19	22	21	21	15	2
	16.6%	28.6%	12.0%	20.9%	18.5%	16.5%	16.9%	11.1%	18.2%
5. 事業所内保育施設	45	3	7	3	11	2	10	8	1
	6.1%	7.1%	7.6%	3.3%	9.2%	1.6%	8.1%	5.9%	9.1%
6. ファミリー・サポート・センター	57	4	7	5	8	8	8	15	2
	7.7%	9.5%	7.6%	5.5%	6.7%	6.3%	6.5%	11.1%	18.2%
7. その他	5	0	0	0	2	0	1	2	0
	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.8%	1.5%	0.0%
無回答	33	0	2	5	8	4	5	7	2
	4.5%	0.0%	2.2%	5.5%	6.7%	3.1%	4.0%	5.2%	18.2%

事業別利用年齢の〔現在〕と〔希望〕を比較すると、〔現在〕の幼稚園利用が「0歳」、「1歳」（各0%）、「2歳」（2.4%）がほとんどいませんが、〔希望〕では、「0歳」（47.6%）、「1歳」（43.5%）、「2歳」（47.3%）と半数近くが利用を希望しています。

問 26-1 幼稚園の利用の優先度



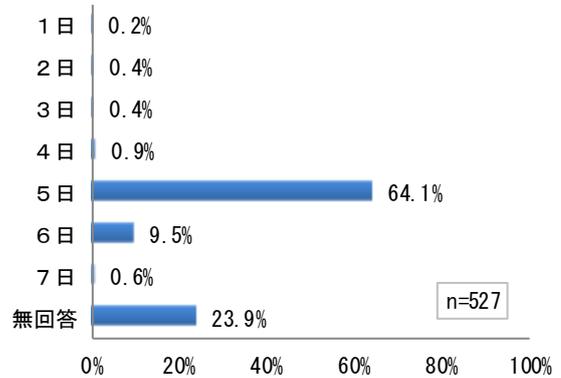
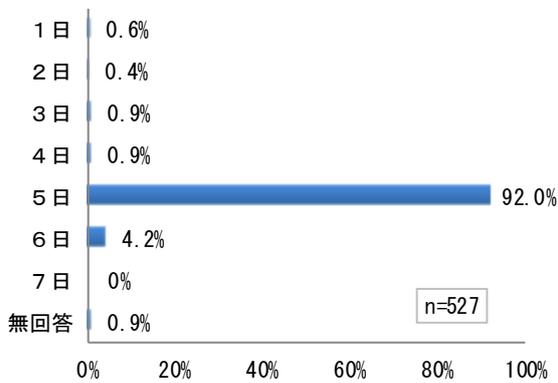
利用希望である事業のうち、複数候補の中でも幼稚園の利用を強く希望されている人が65.9%と過半数を超えています。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用日数

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用日数

【現在】

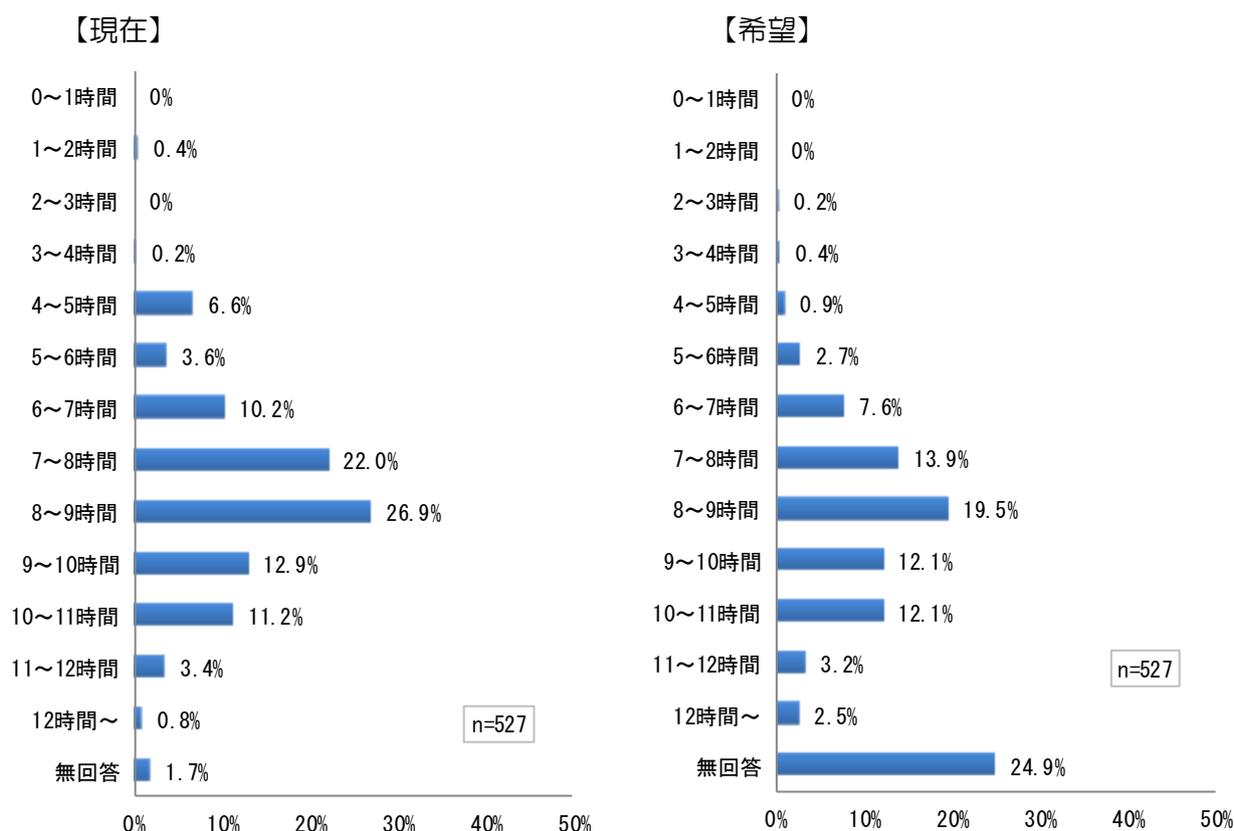
【希望】



平日の定期的な教育・保育事業（全体）の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、〔現在〕の利用では「5日」（92.0%）がほとんどを占めており、〔希望〕では「5日」（64.1%）が減少した一方で「6日」（9.5%）が5.2ポイント増加しています。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用時間

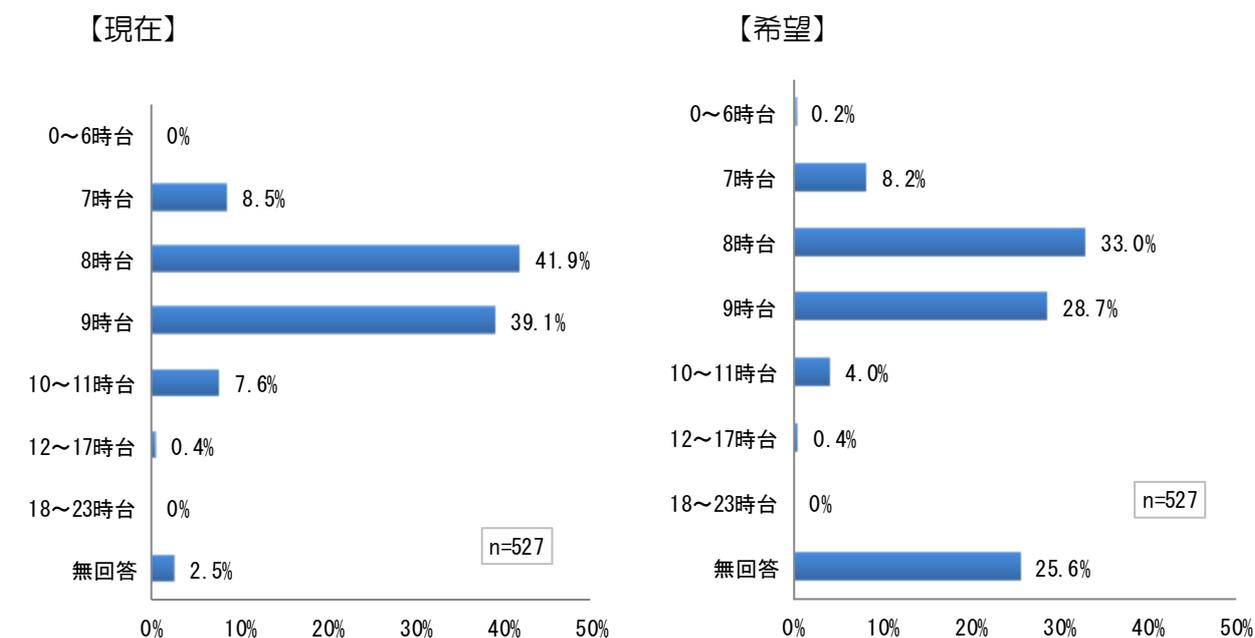
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用時間



1日当たりの利用時間について、〔現在〕では「8~9時間」(26.9%)、「7~8時間」(22.0%)、「9~10時間」(12.9%)が多く、〔希望〕では「6~7時間」から「9~10時間」まではそれぞれやや減少し、「10~11時間」がやや増加しています。

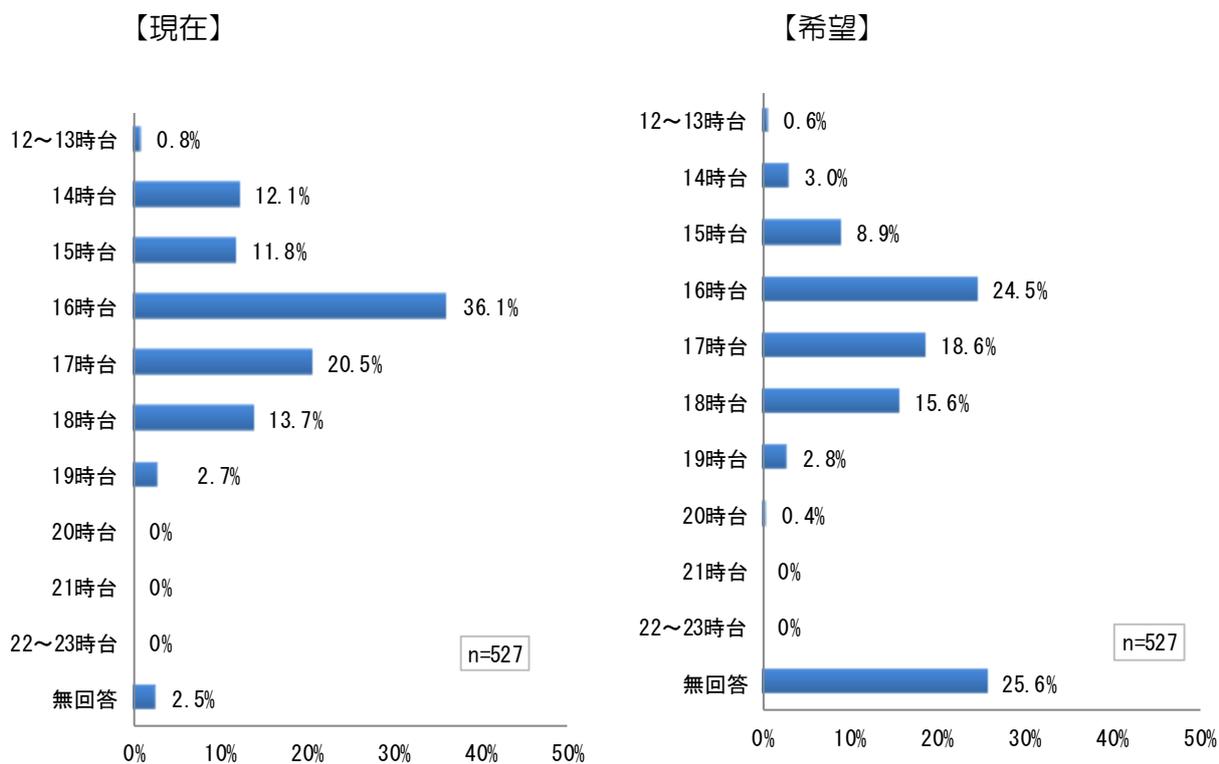
問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用開始時刻

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用開始時刻



問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用終了時刻

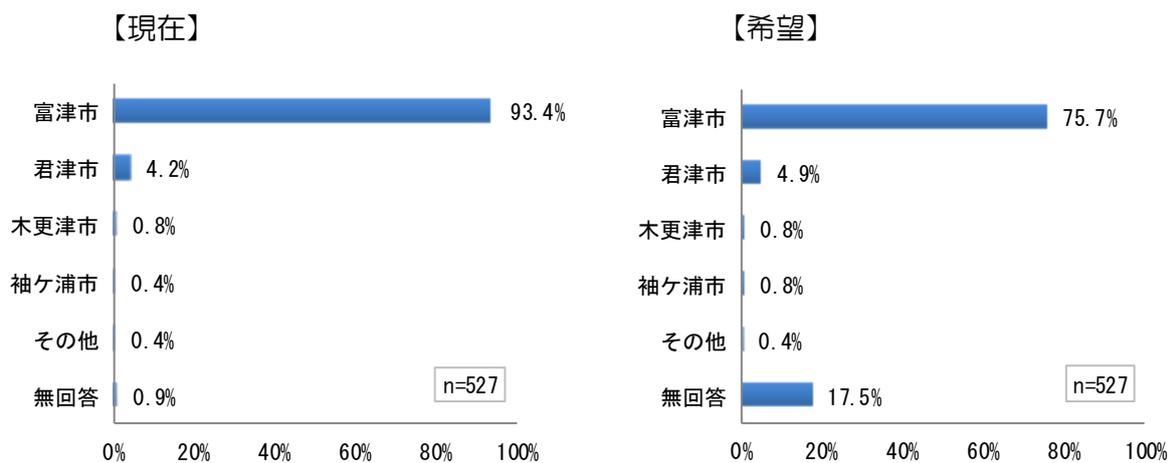
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用終了時刻



利用開始及び利用終了の時刻は、「現在」と「希望」に大きな違いは見受けられませんでした。

問 23-3 利用している教育・保育事業の現在の実施場所（市）

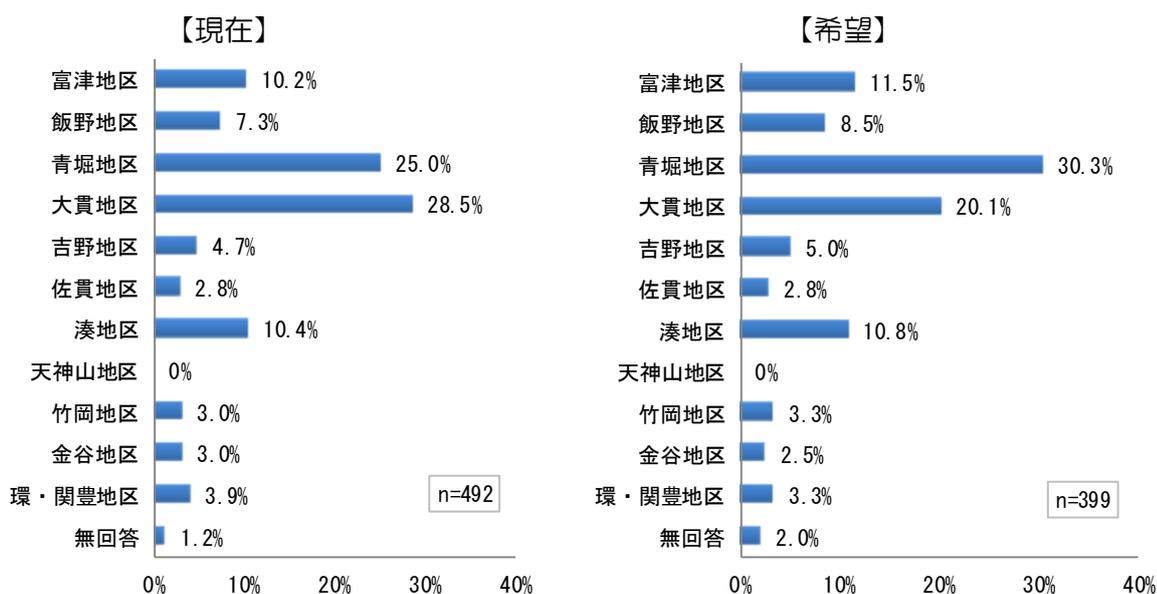
問 23-5 利用したい教育・保育事業の希望の実施場所（市）



利用したい教育・保育事業の実施場所では、「現在」と「希望」の分布に大きな差は見受けられませんでした。

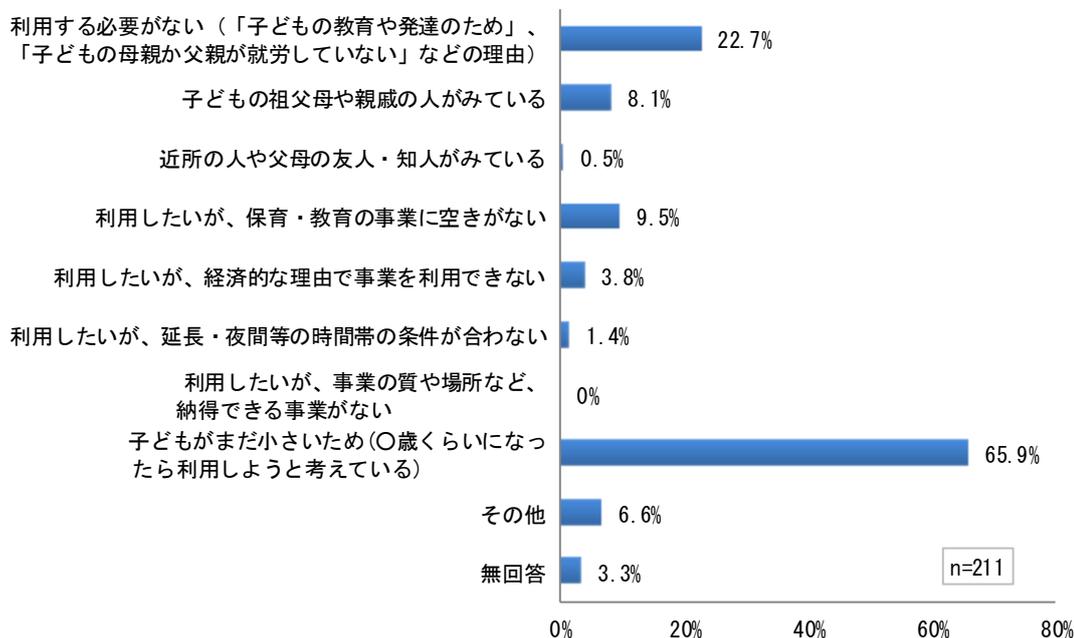
問 23-4 利用している教育・保育事業の現在の実施場所（学区）

問 23-6 利用したい教育・保育事業の希望の実施場所（学区）



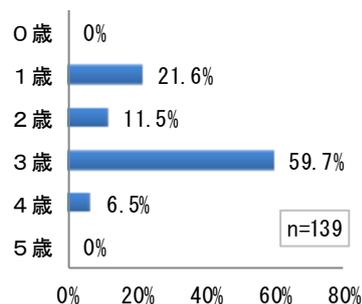
利用している教育・保育事業の〔現在〕の実施場所では、「大貴地区」（28.5%）が最も多く、次いで「青堀地区」（25.0%）になっています。〔希望〕する実施場所では、「青堀地区」（30.3%）、「大貴地区」（20.1%）となっています。

問 25 定期的な教育・保育事業を利用していない理由



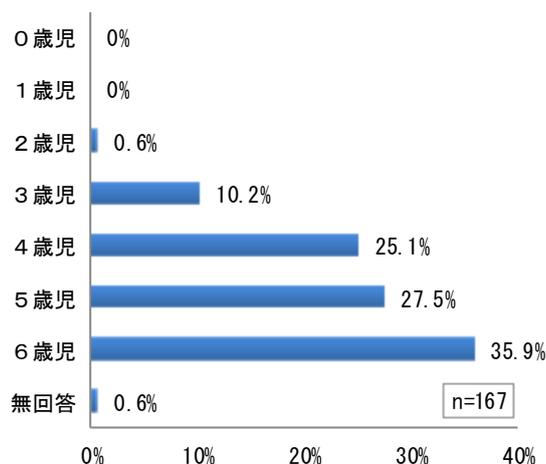
問 25 子どもが〇（マル）歳くらいになったら利用しようと考えている

定期的な教育・保育事業を受けていない理由は、子どもがまだ小さいため（65.9%）になっており、3歳を予定している場合が、59.7%と最も高くなっています。



## (2) 幼稚園

### 問 23-1 幼稚園の年齢別利用者数

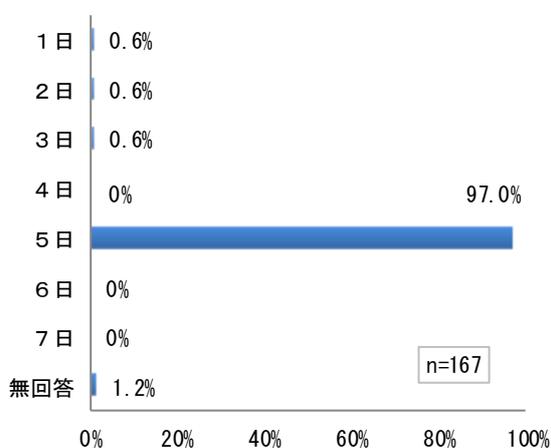


幼稚園の年齢別利用者数は、「6歳」(35.9%)、「5歳」(27.5%)、「4歳」(25.1%)となっており、年齢があがると共に利用者数が多くなっています。

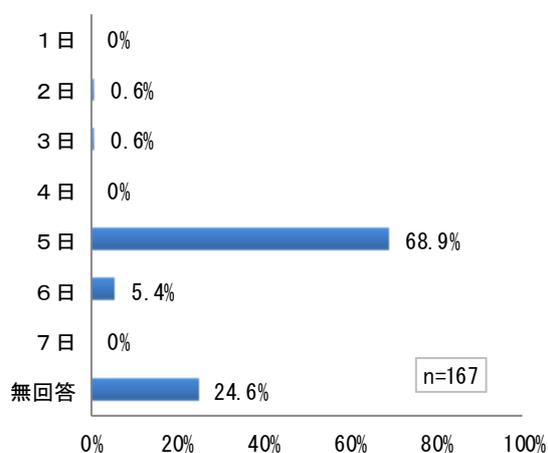
### 問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用日数(幼稚園)

### 問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用日数(幼稚園)

#### 【現在】



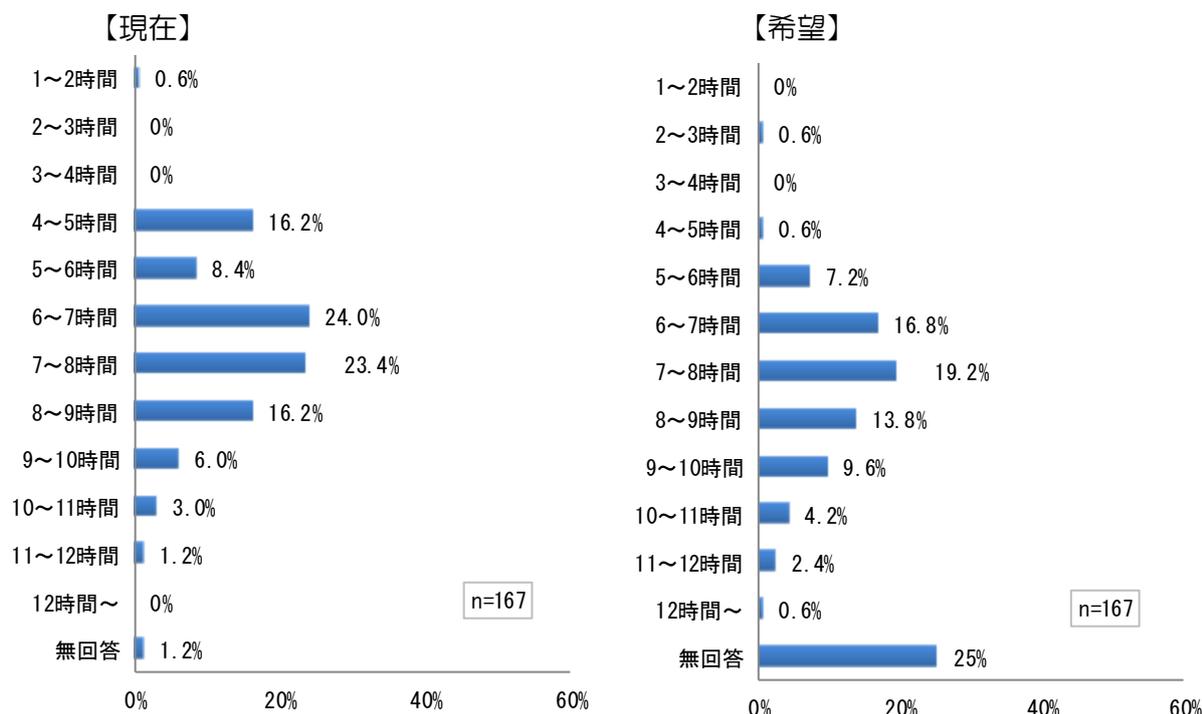
#### 【希望】



幼稚園の〔現在〕の利用では「5日」が最も多く、「6日」はありませんが、〔希望〕では「6日」(5.4%)を望まれる人もいます。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用時間（幼稚園）

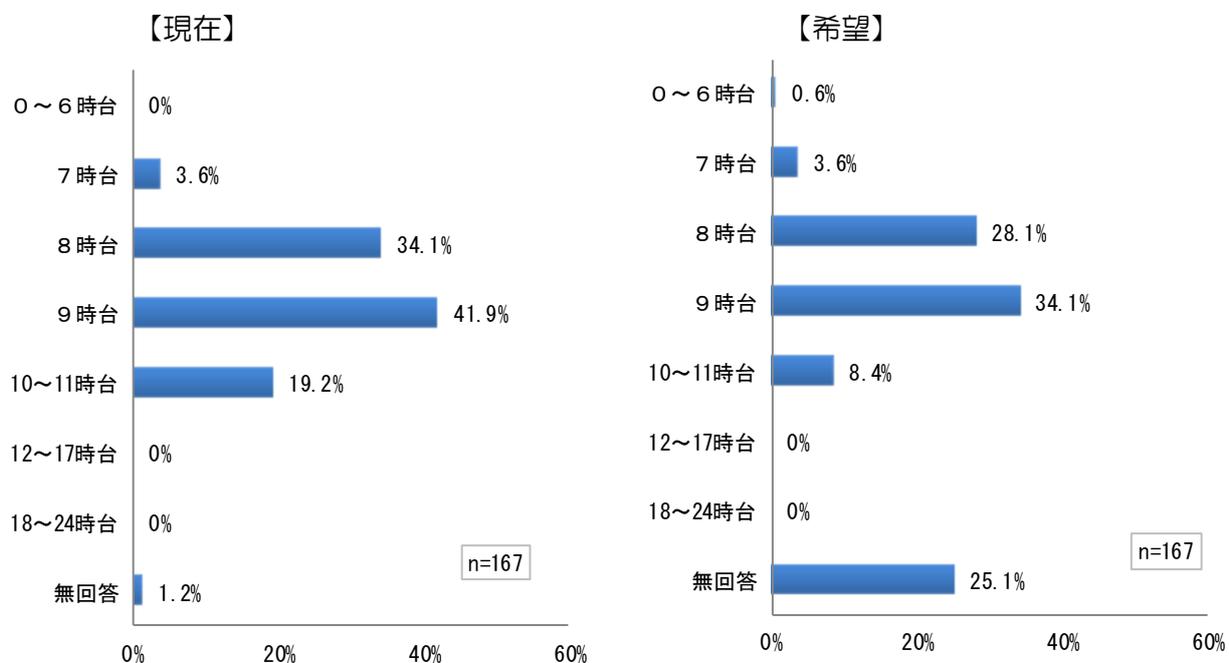
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用時間（幼稚園）



幼稚園の利用時間では、現在より長時間を希望する保護者が多い傾向が見られます。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用開始時刻（幼稚園）

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用開始時刻（幼稚園）



幼稚園の利用開始時刻では、〔現在〕、〔希望〕共に「9時台」〔現在〕（41.9%）・〔希望〕（34.1%）が最も多くなっています。

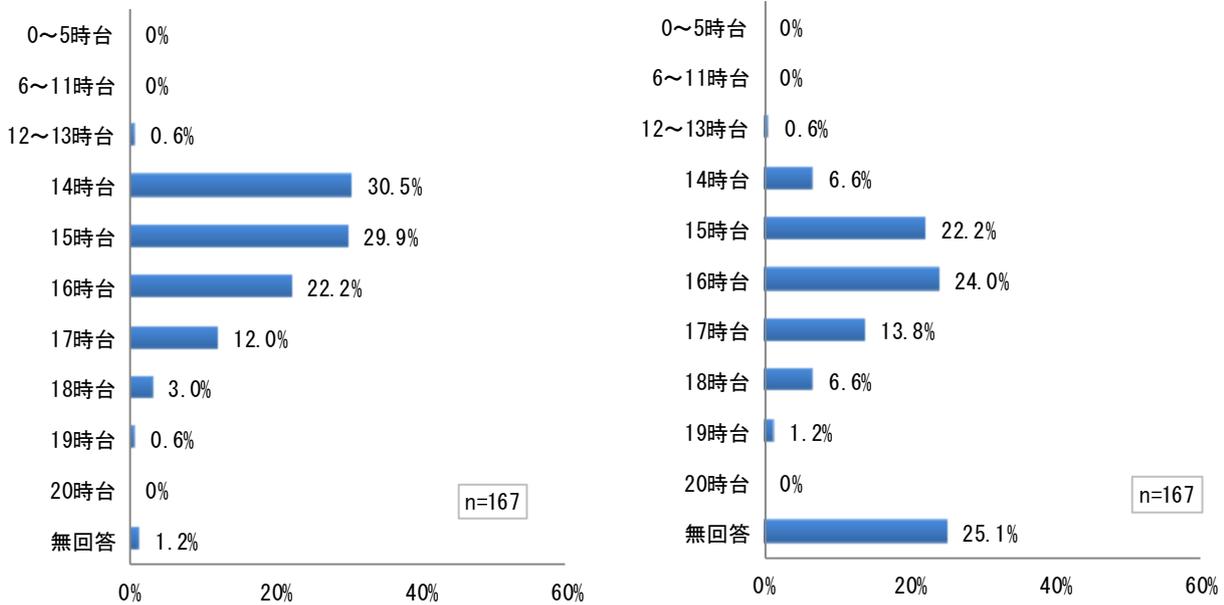
次いで「8時台」〔現在〕（34.1%）・〔希望〕（28.1%）、「10時~11時台」〔現在〕（19.2%）・〔希望〕（8.4%）と〔現在〕、〔希望〕共に同様の傾向が見られます。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用終了時刻（幼稚園）

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用終了時刻（幼稚園）

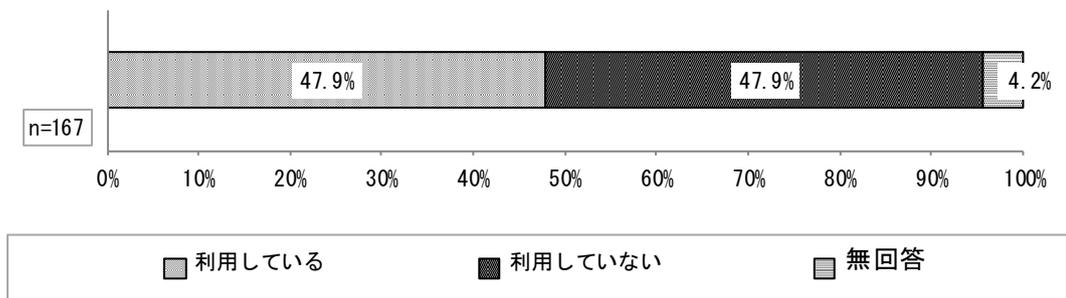
【現在】

【希望】



幼稚園の利用終了の時刻では、現在より遅い時刻を希望する保護者が多く、14時台終了は30.5%→6.6%に減少しています。

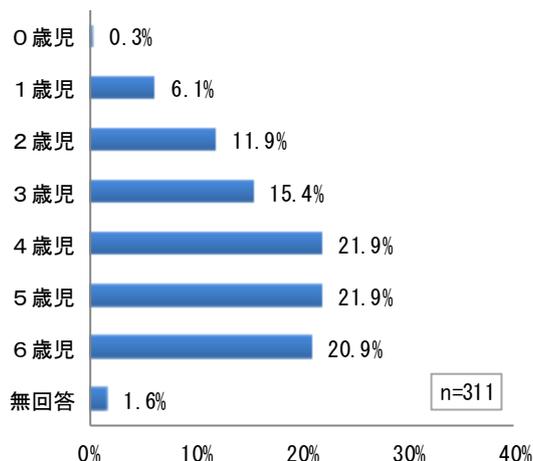
問 23-7 幼稚園の預かり保育の利用



幼稚園の預かり保育は「利用している」(47.9%)が約半数になっています。

### (3) 保育所(園)

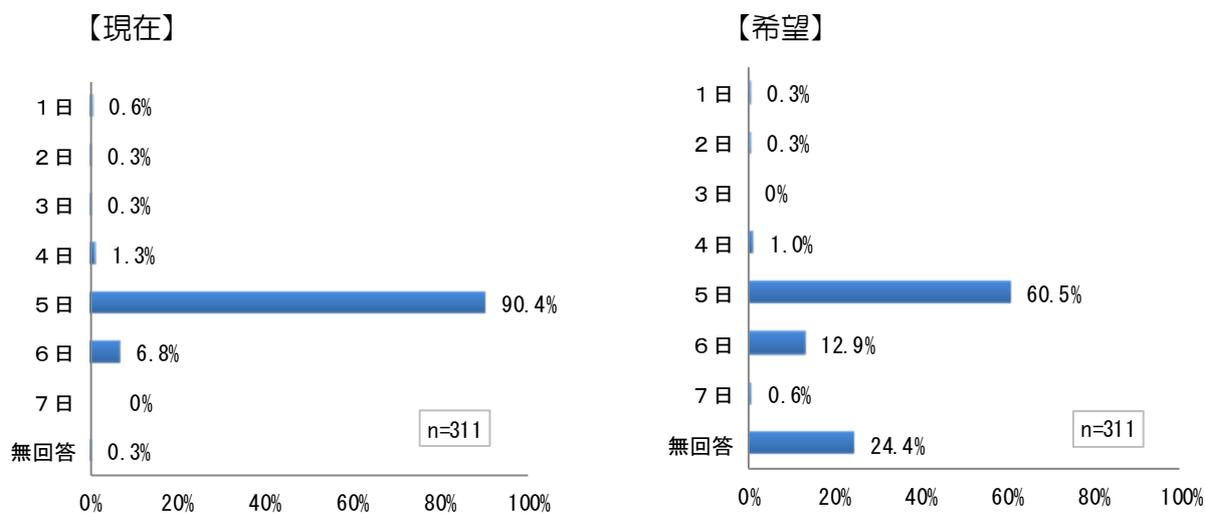
#### 問 23-1 保育園の年齢別利用者数



保育所(園)利用者の年齢の割合は、「5歳児」、「4歳児」(各21.9%)が最も多く、次いで「6歳児」(20.9%)となっています。3歳以下についても「3歳児」(15.4%)、「2歳児」(11.9%)、「1歳児」(6.1%)と「4歳児」までは、年齢があがると共に増加しています。

#### 問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用日数(保育園)

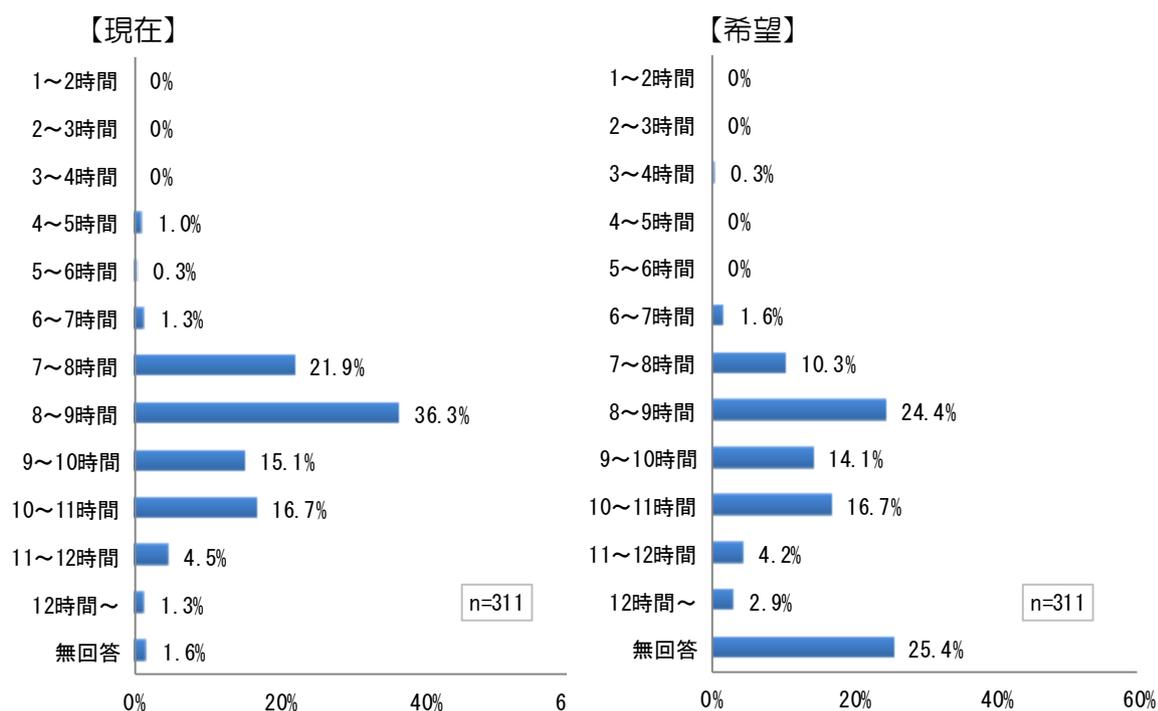
#### 問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用日数(保育園)



保育所(園)の利用日数は、「現在」よりも「6日」の「希望」が6.8%から12.9%へ6.1ポイント増えています。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用時間（保育園）

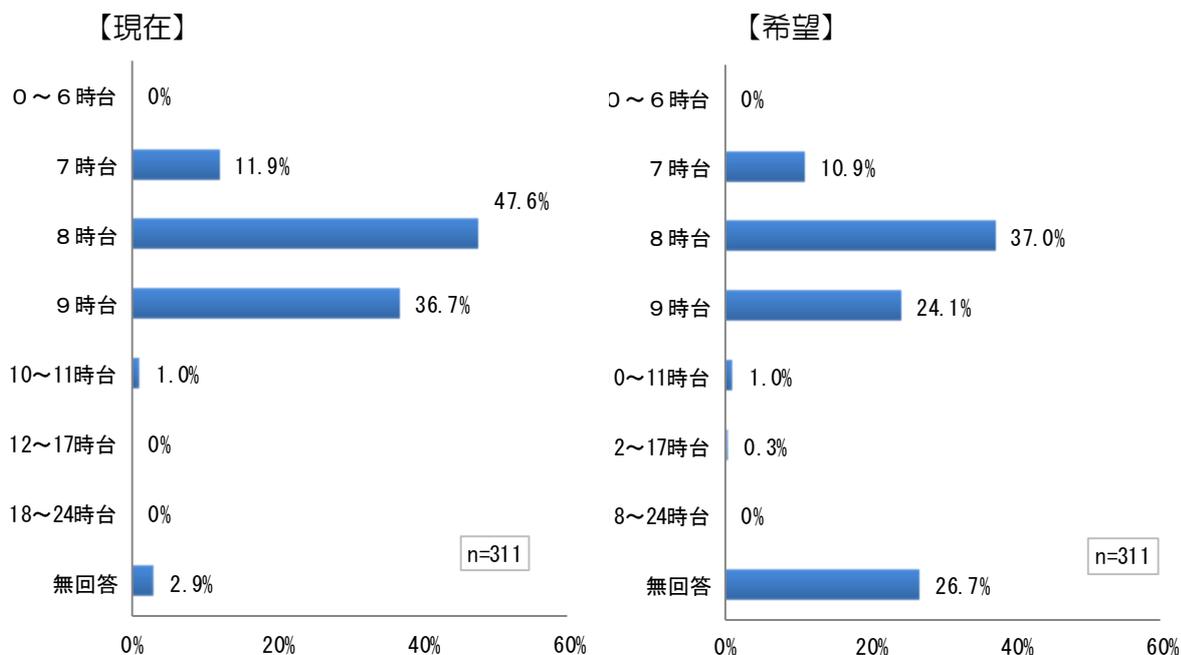
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用時間（保育園）



保育所（園）の利用時間は、〔現在〕は「8～9時間」（36.3%）が最も多く、次いで「7～8時間」（21.9%）となっています。〔希望〕では「8～9時間」（24.4%）が最も多いのは変わらず、次いで「10～11時間」（16.7%）となっています。

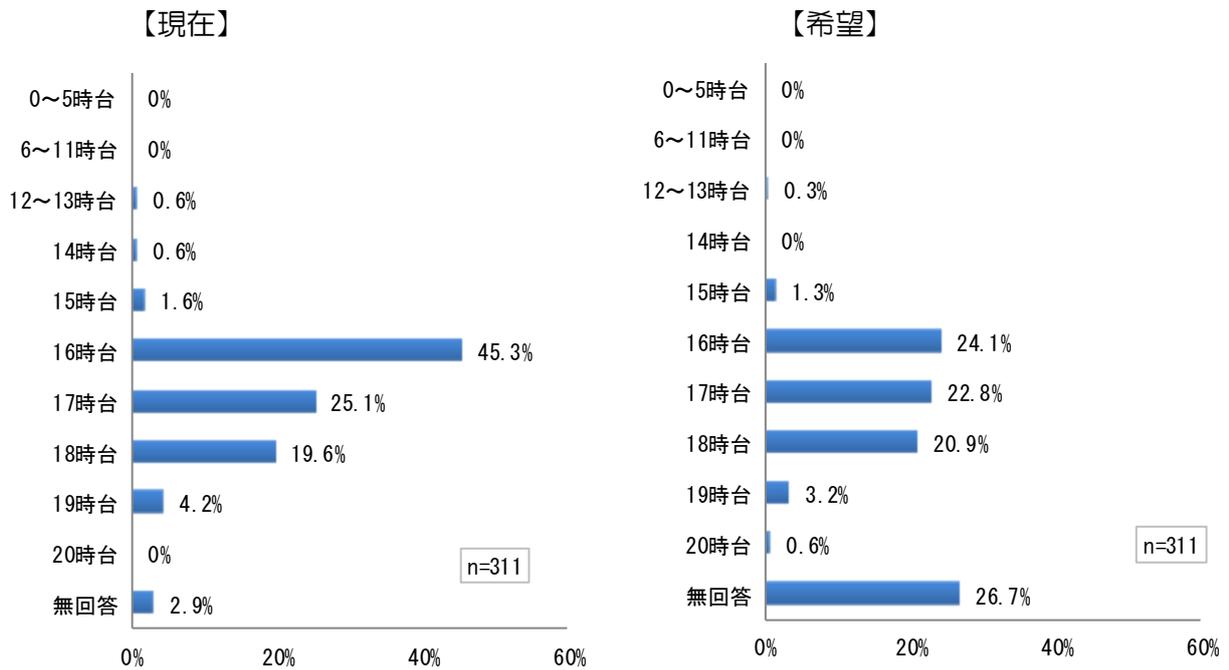
問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用開始時刻（保育園）

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用開始時刻（保育園）



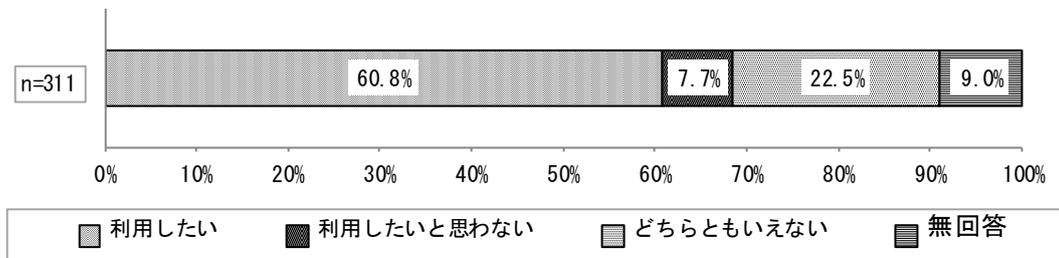
利用開始時刻は、〔現在〕では「8時台」（47.6%）が最も多く、〔希望〕でも「8時台」（37.0%）が多くなっています。〔現在〕と〔希望〕とでは、時間帯の順位や傾向は同様となっています。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用終了時刻（保育園）  
 問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用終了時刻（保育園）

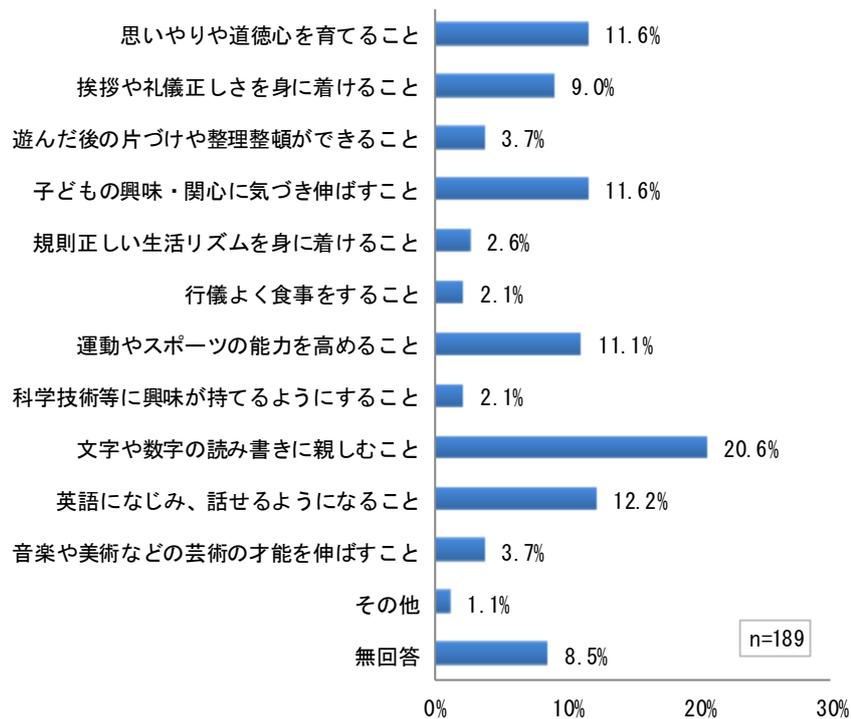


保育所（園）の終了時刻は、〔現在〕はほとんどが「16 時台」（45.3%）ですが、〔希望〕では、「16 時台」～「18 時台」が 20%台となり、「16 時台」～「18 時台」の時間帯に分散する傾向になっています。

問 23-8 保育園での幼稚園教育の利用意向



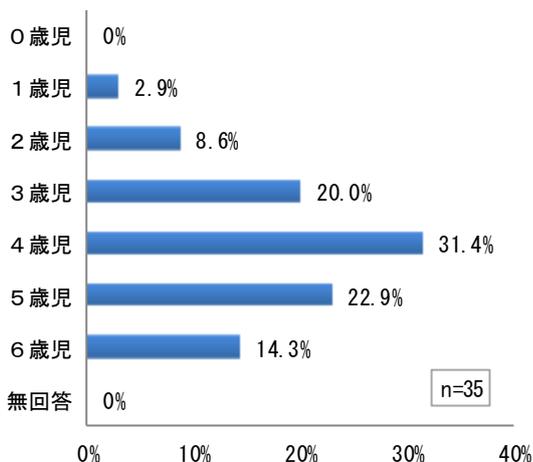
問 24 保育園での幼稚園教育に求めるもの



保育所（園）での幼稚園教育については、「利用したい」（60.8%）になっています。そこで求められるものとしては、「文字や数字の読み書きに親しむこと」（20.6%）、「英語になじみ、話せるようになること」（12.2%）となっています。

#### (4) 認定こども園

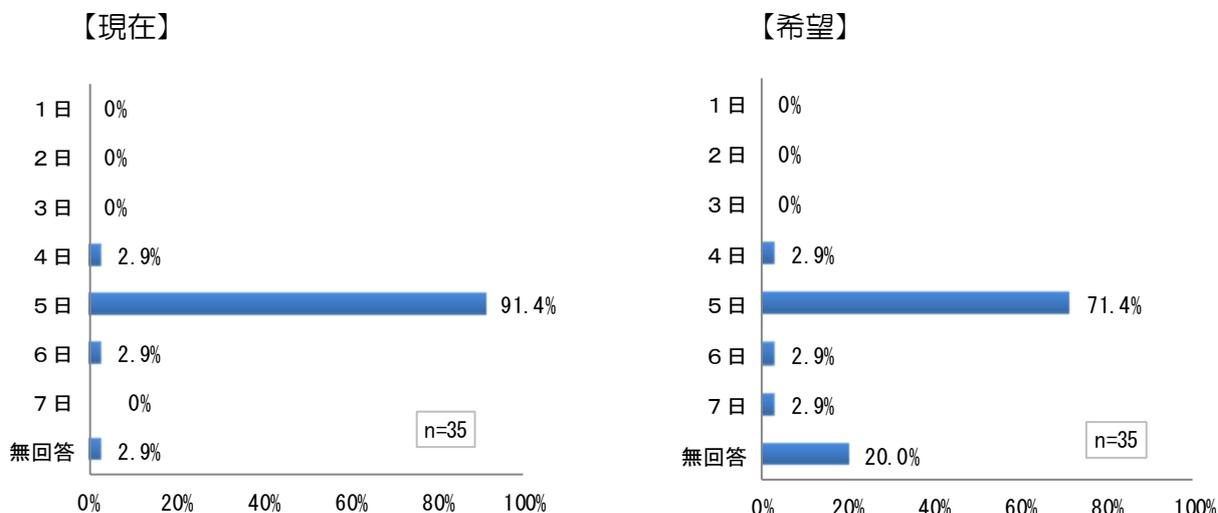
##### 問 23-1 認定こども園の年齢別利用者数



認定こども園利用者の年齢の割合は、「4歳児」(31.4%)が最も多く、次いで「5歳児」(22.9%)となっています。2歳以下についても「2歳児」(8.6%)、「1歳児」(2.9%)と年齢があがると共に増加しています。

##### 問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用日数 (認定こども園)

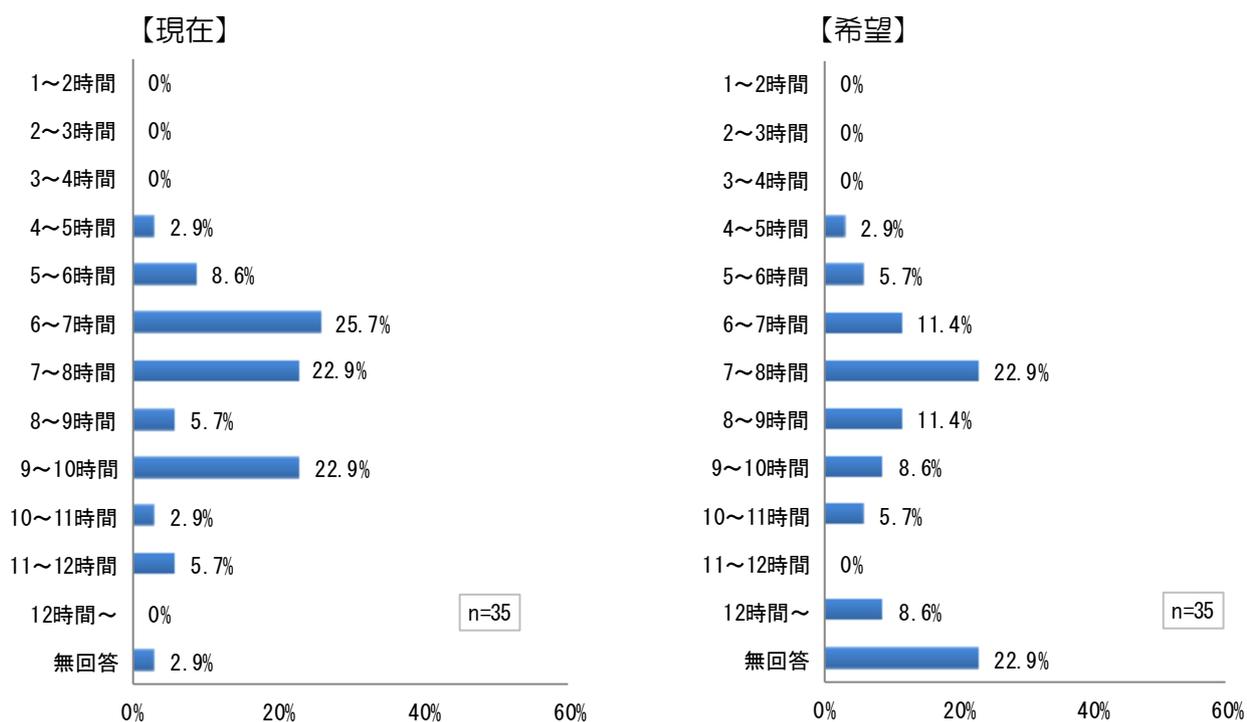
##### 問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用日数 (認定こども園)



認定こども園の利用日数では、「現在」「希望」ともに5日利用が中心となっています。

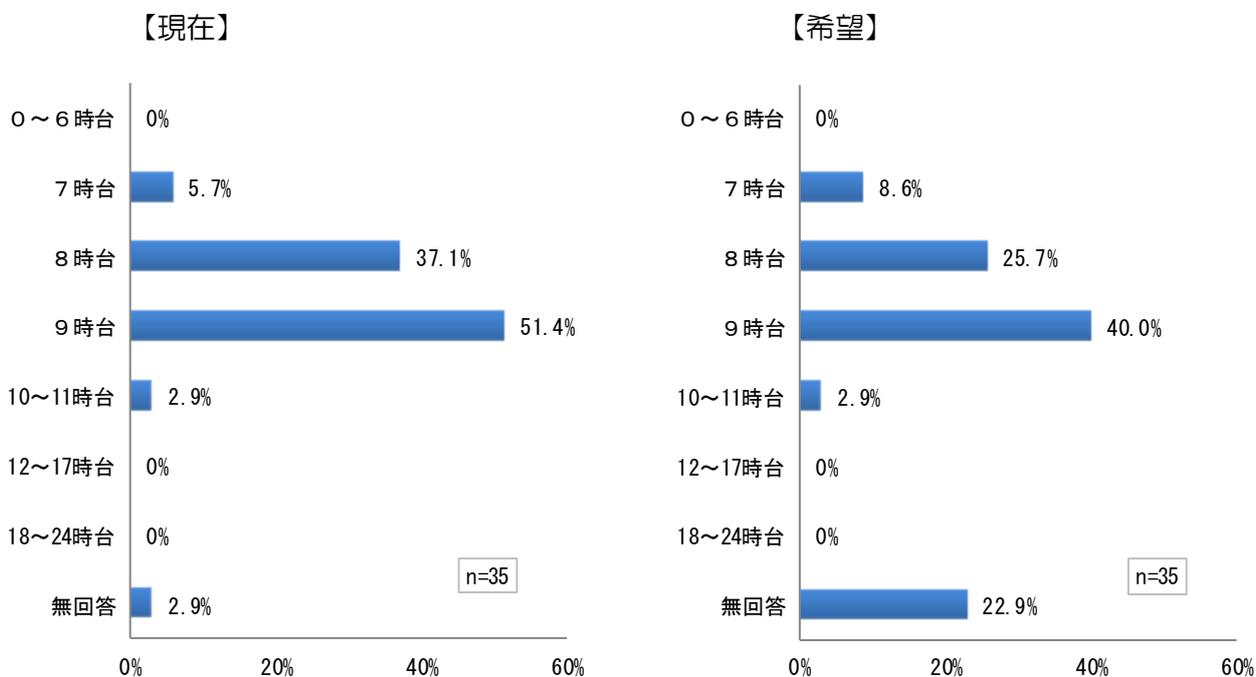
問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用時間（認定こども園）

問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用時間（認定こども園）



問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用開始時刻（認定こども園）

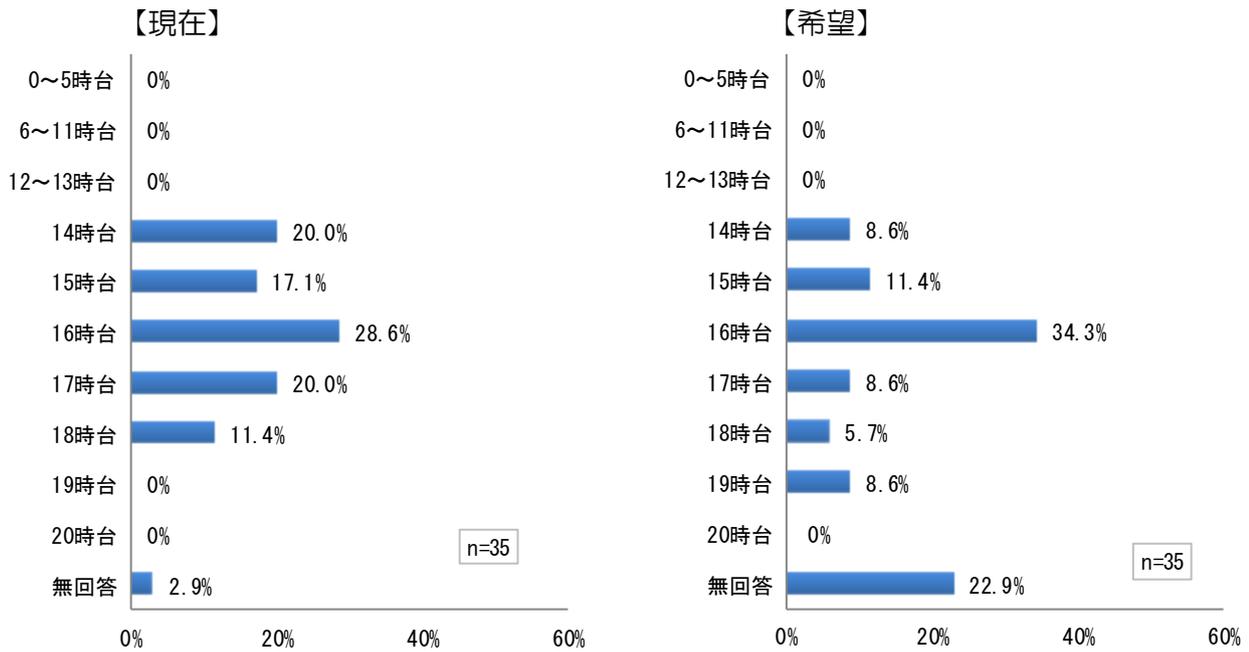
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用開始時刻（認定こども園）



認定こども園の利用時間では、〔現在〕よりも「12時間以上」を〔希望〕する人が増え（0%→8.6%）ています。また、利用開始時刻でも、7時台（5.7%→8.6%）が増えています。

問 23-2 (1) 定期的に利用している教育・保育事業の現在の利用終了時刻（認定こども園）

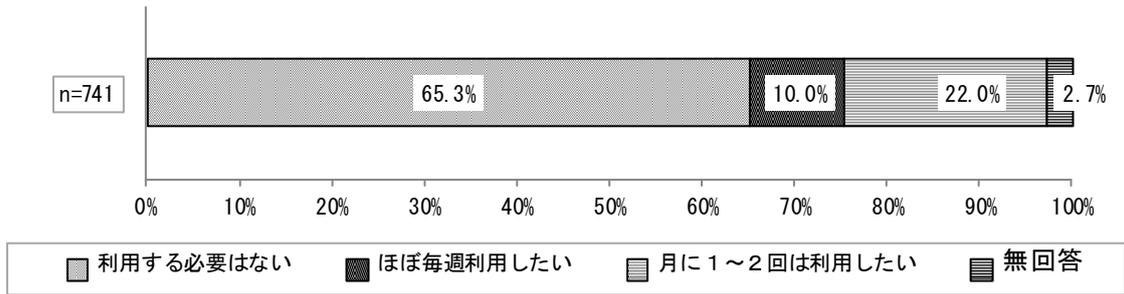
問 23-2 (2) 定期的に利用したい教育・保育事業の希望の利用終了時刻（認定こども園）



認定こども園の利用終了時刻では、〔現在〕、〔希望〕とも「16時台」が多くなっています。〔希望〕では「14時台」（20.0% → 8.6%）、「15時台」（17.1% → 11.4%）が減少する一方で「19時台」（0% → 8.6%）が増えています。

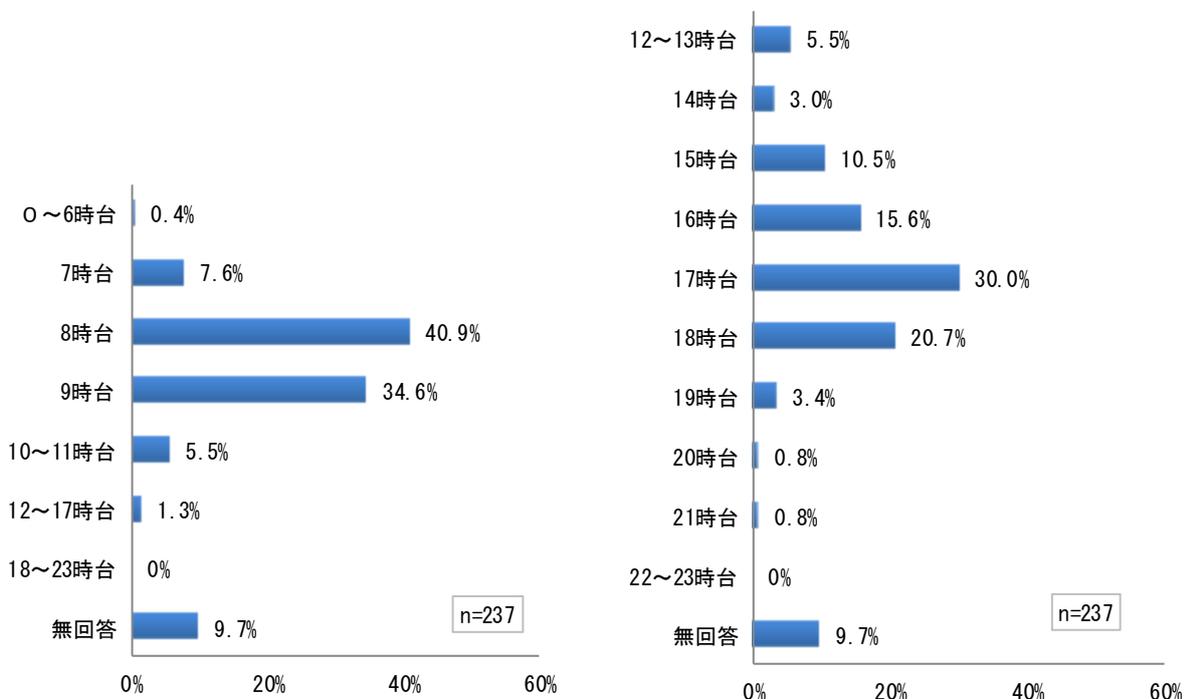
## (5) 土曜・休日の教育・保育事業の利用意向

問 34 (1) 土曜の定期的な教育・保育の利用希望



問 34 (1) 土曜日・利用したい (開始時刻)

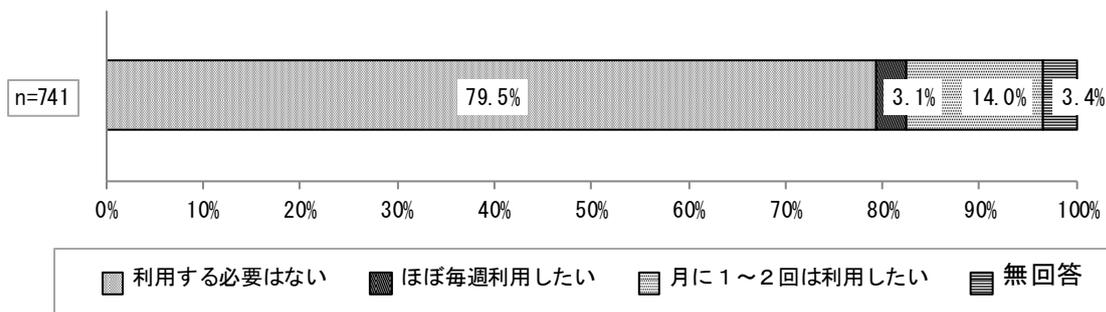
土曜日・利用したい (終了時刻)



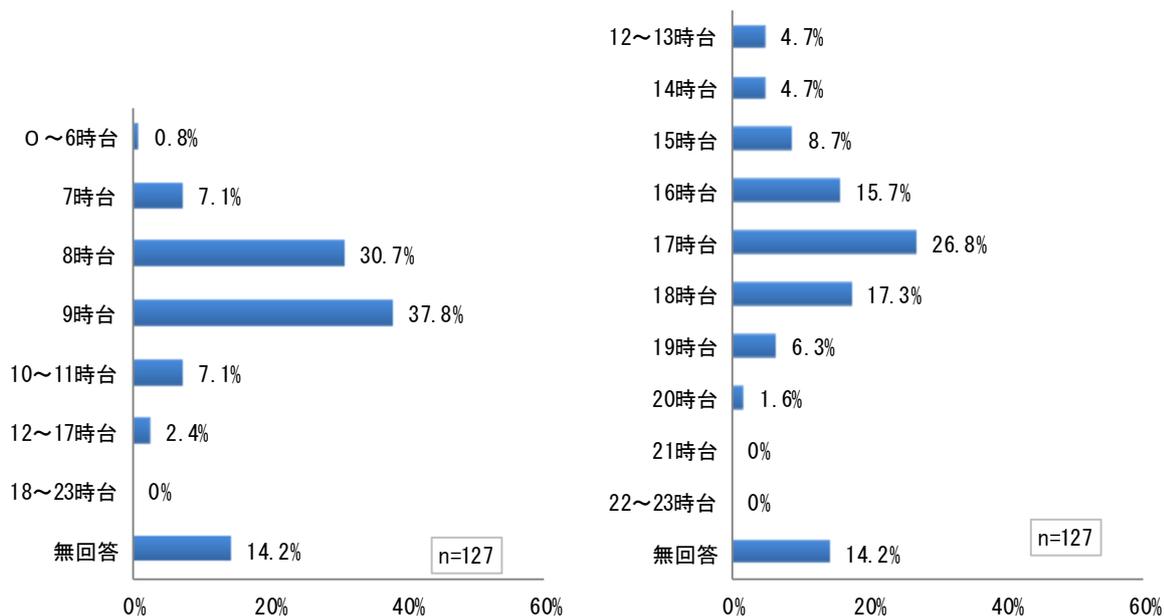
土曜日の利用希望は、「月に1~2回は利用したい」(22.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(10.0%)と、32.0%の人が希望しています。

また、利用希望の開始時刻は「8時台」(40.9%)、「9時台」(34.6%)、「7時台」(7.6%)、終了時刻は「17時台」(30.0%)、「18時台」(20.7%)、「16時台」(15.6%)となっています。

問 34 (2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用希望

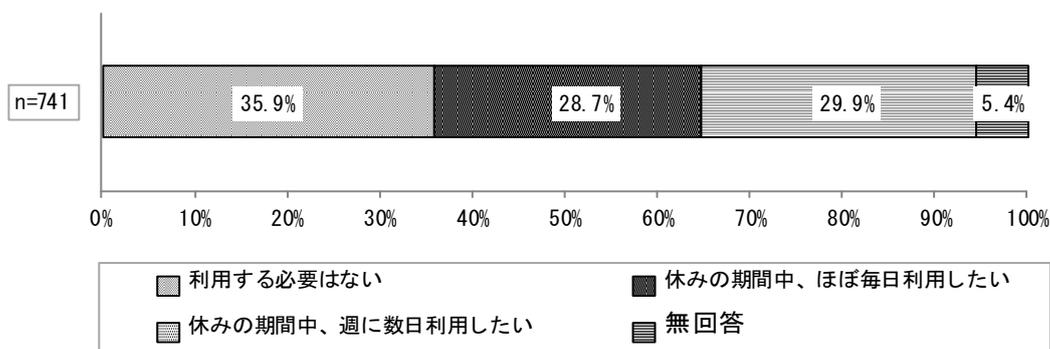


問 34 (2) 日曜・祝日・利用したい (開始時刻) 日曜・祝日・利用したい (終了時刻)

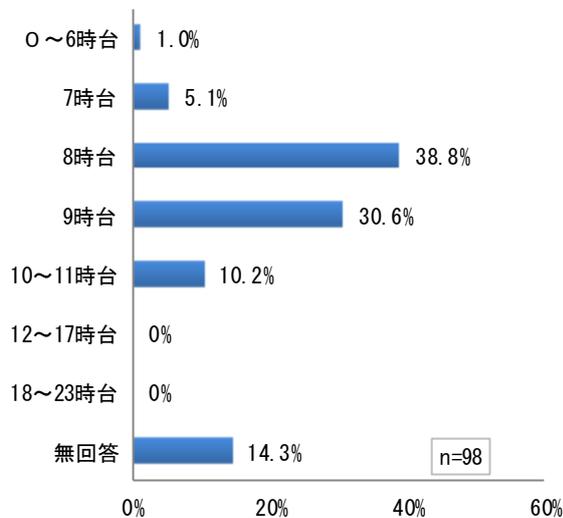


日曜日・祝日の利用希望は「月に1~2回は利用したい」(14.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.1%)と、17.1%の人が希望しています。  
 また、利用希望の開始時刻は「9時台」(37.8%)、「8時台」(30.7%)、終了時刻は「17時台」(26.8%)、「18時台」(17.3%)、「16時台」(15.7%)となっています。

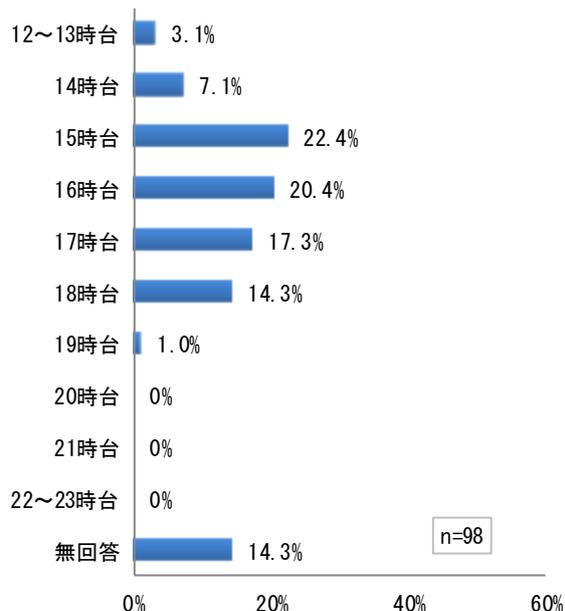
問 35 幼稚園利用者の長期休業中の教育・保育事業の利用希望



問 35 長期休業中の利用したい（開始時刻）

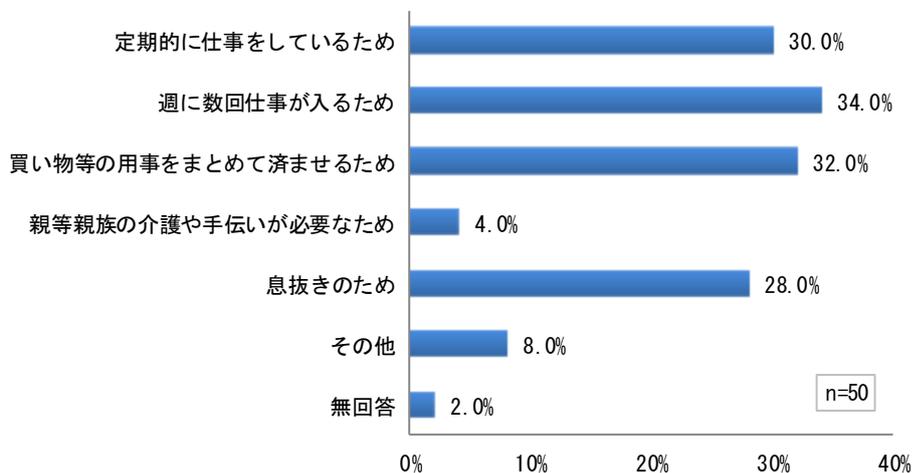


長期休業中の利用したい（終了時刻）



長期休業中において教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（29.9%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（28.7%）となっています。希望する開始時刻は「8時台」（38.8%）、「9時台」（30.6%）、終了時刻は「15時台」（22.4%）、「16時台」（20.4%）、「17時台」（17.3%）となっています。

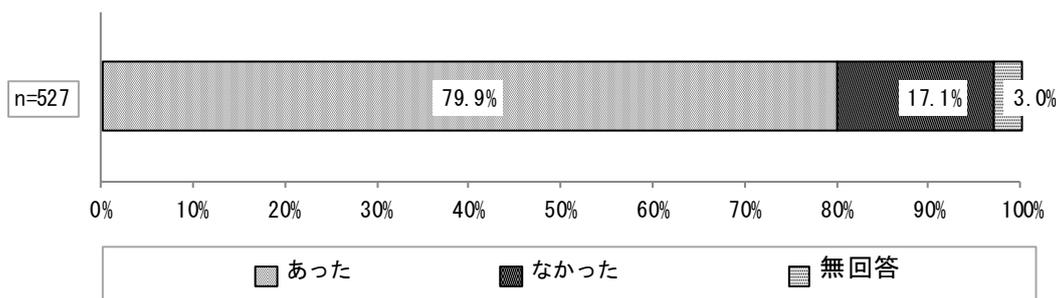
問 35-1 長期休業中に週に数日利用したい理由



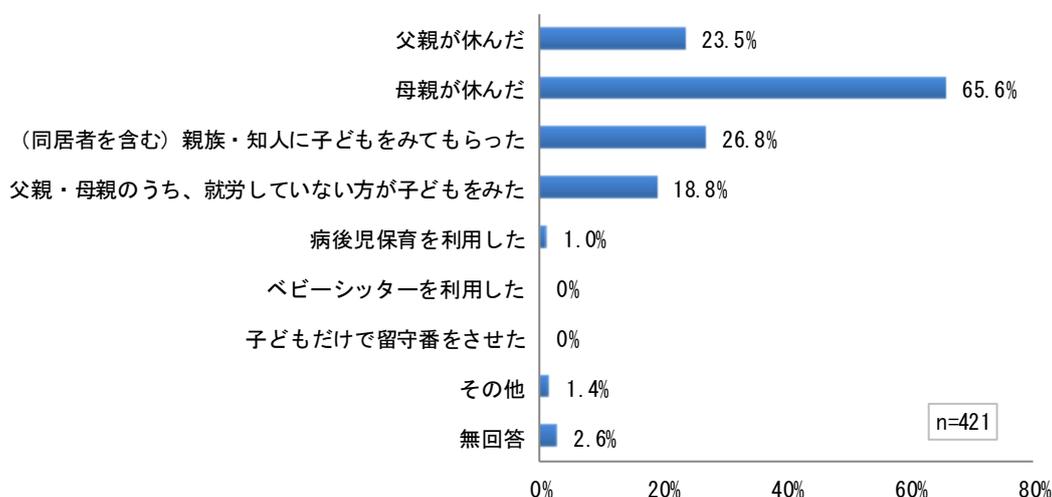
長期休業中において「週に数日利用したい」人の理由は、「週に数回仕事が入るため」（34.0%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（32.0%）、「定期的に使っているため」（30.0%）、「息抜きのため」（28.0%）となっています。

## (6) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

### 問 36 病気や怪我で登園できなかったこと

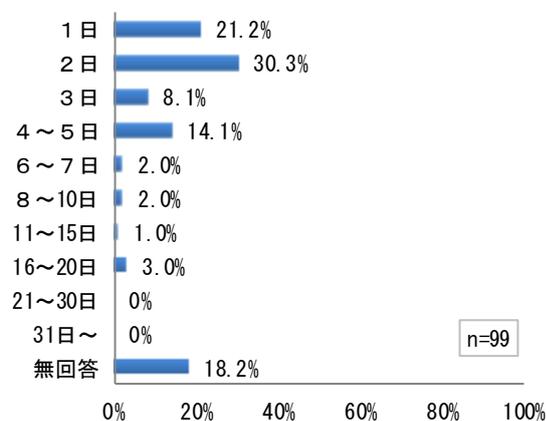


### 問 36-1 病気や怪我で登園できなかった場合の対処方法

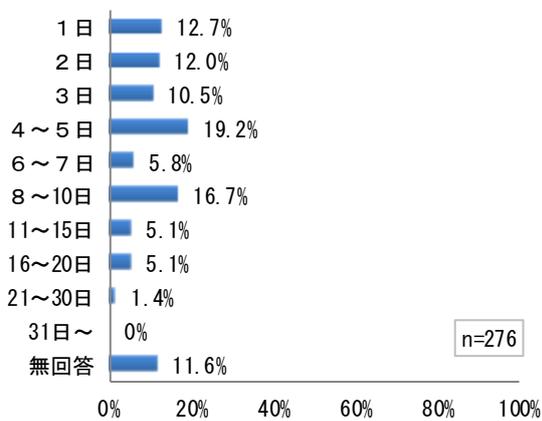


79.9%の人は、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験をしています。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(65.6%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(26.8%)、「父親が休んだ」(23.5%)となっています。

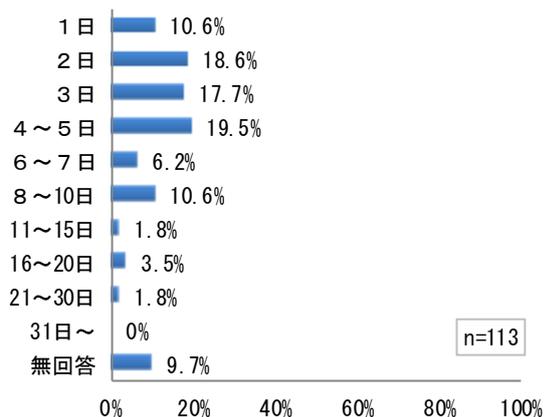
### 問 36-1<1> 父親が休んだ



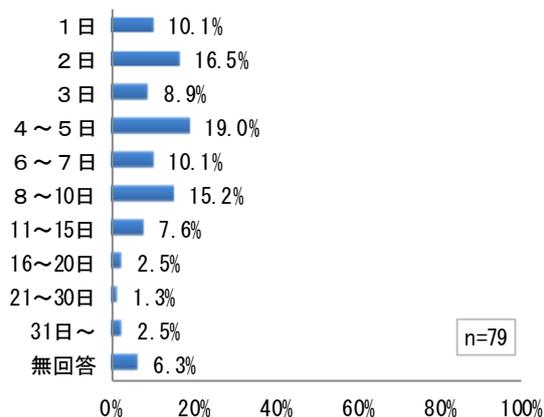
### 問 36-1<2> 母親が休んだ



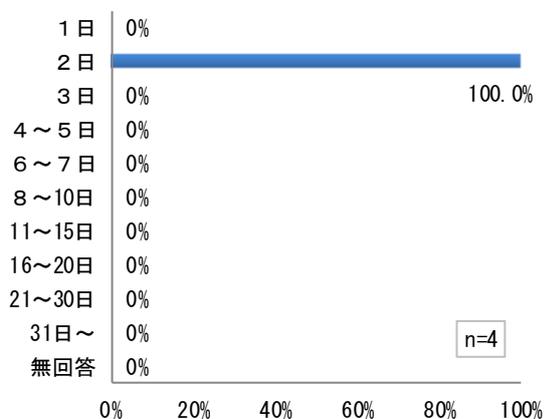
問 36-1<3> 親族・知人に子どもをみてもらった



問 36-1<4> 就労していない方が子どもをみた



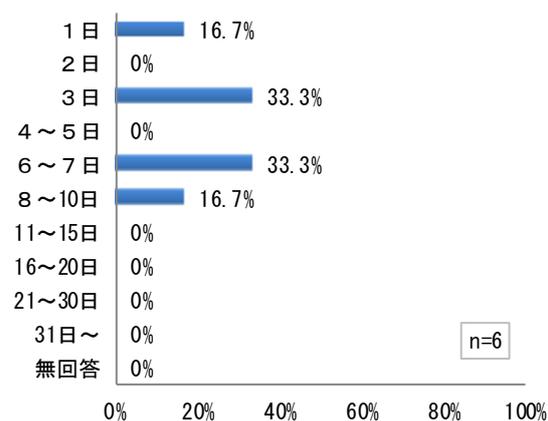
問 36-1<5> 病後児保育を利用した



問 36-1<6> ベビーシッターを利用した  
【回答者なし】

問 36-1<7> 子どもだけで留守番をさせた  
【回答者なし】

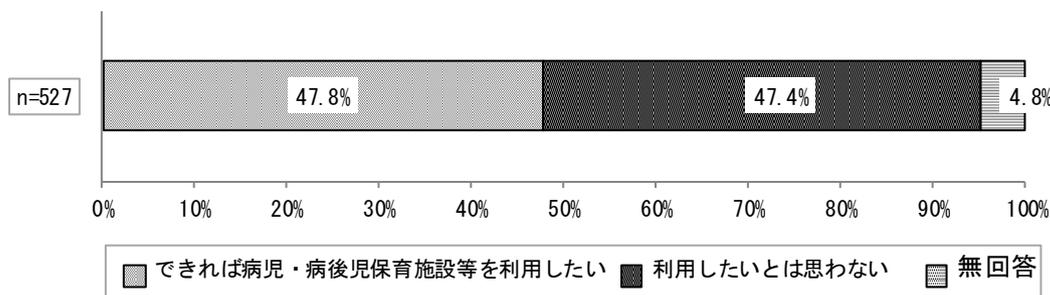
問 36-1<8> その他



母親が休んだ日数は、「4～5日」(19.2%)、「8～10日」(16.7%)、父親では「2日」(30.3%)、「1日」(21.2%) となっています。

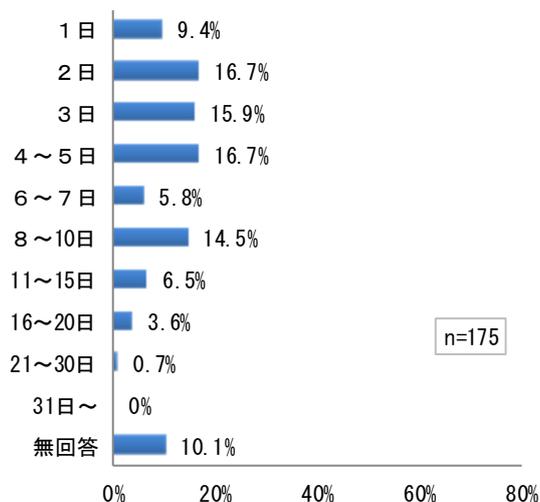
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数は、「4～5日」(19.5%)、「2日」(18.6%)、就労していない保護者がみた日数は「4～5日」(19.0%)、「2日」(16.5%) となっています。

問 36-2 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

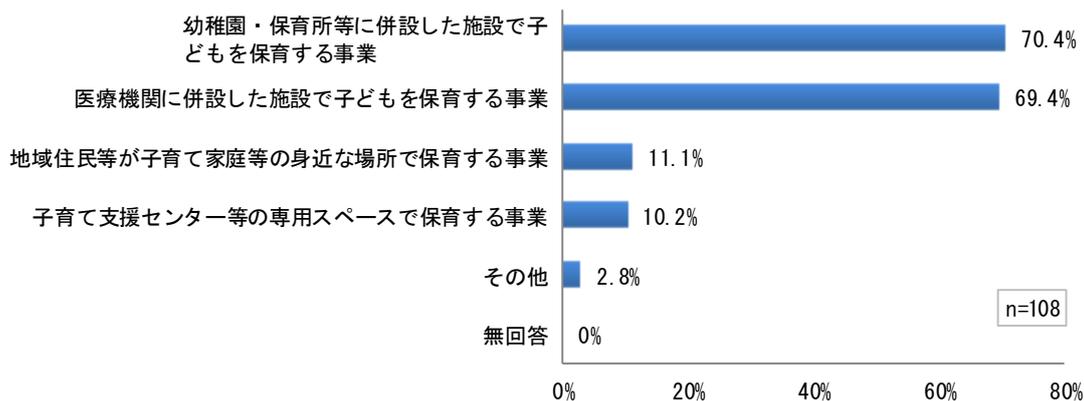


問 36-2 病児・病後児のための保育施設等の利用（利用希望日数）

父親・母親が休んだ人の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、47.8%の人が希望し、その利用日数は「2日」と「4～5日」（同率の16.7%）「3日」（15.9%）となっています。



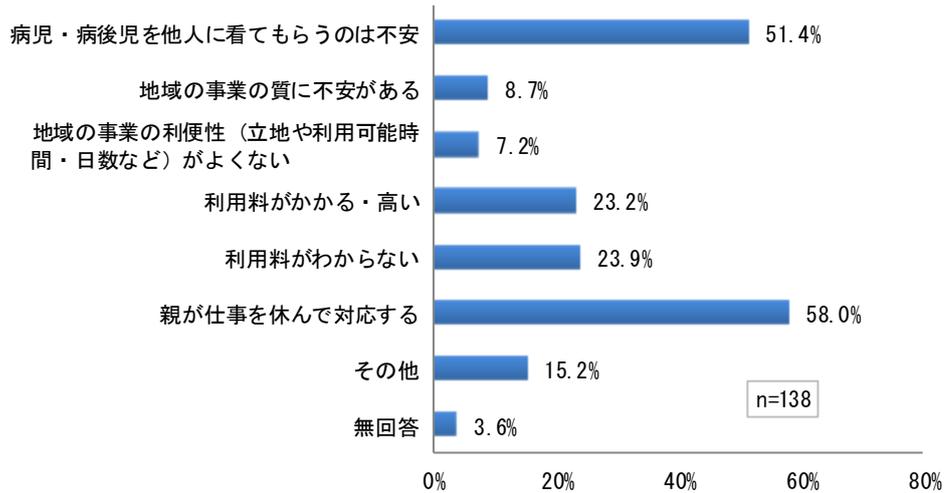
問 36-3 病児・病後児保育施設等に望ましい事業形態



また、子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」（70.4%）、「医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業」（69.4%）となっています。

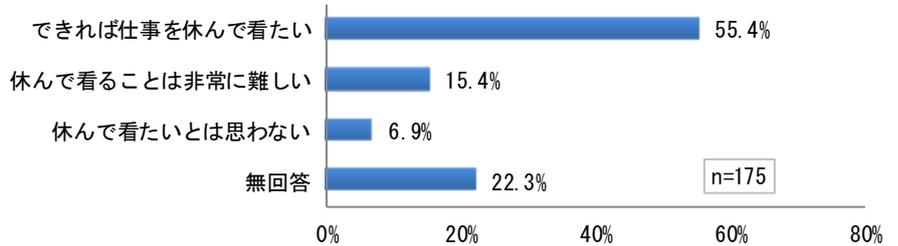
問 36-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

利用意向のない人の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(58.0%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(51.4%)となっています。



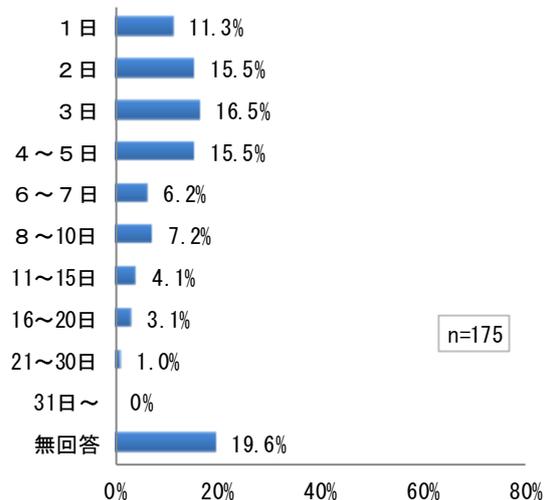
問 36-5 父母が休む以外の対処方法を選択した人の「父母が休んで看たい」意向

父母が休む以外の対処方法を選んだ人に対して「父母が休んで看たい」という意向をみると、「できれば仕事を休んで看たい」(55.4%)となっています。



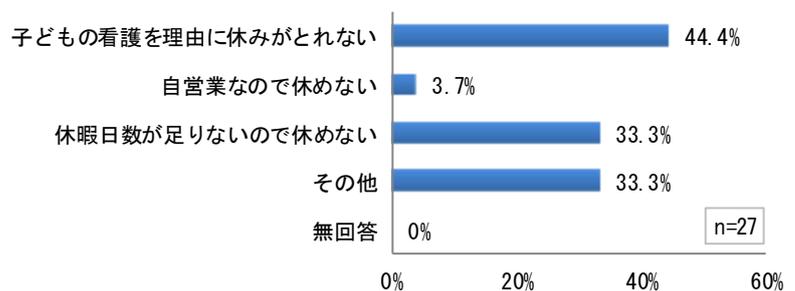
問 36-5 父母が休む以外の対処方法を選択した方の「父母が休んで看たい」意向  
「できれば仕事を休んで看たい」日数

「できれば仕事を休んで看たい」日数は「3日」(16.5%)が最も多く、次いで「2日」、「4～5日」(各 15.5%)となっています。



問 36-6 「休んで看することは非常に難しい」と思う理由

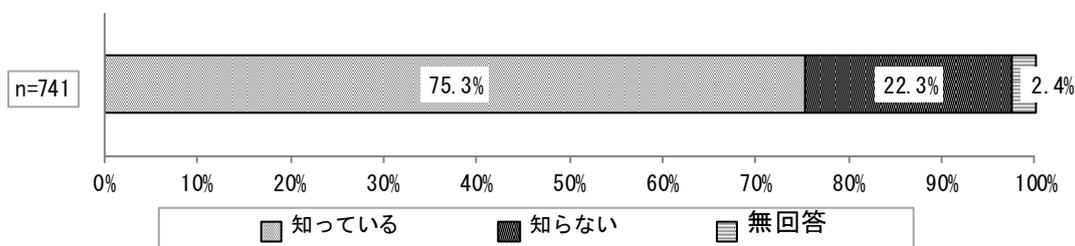
「仕事を休んで看することは非常に難しい」と思う理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(44.4%)が最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(33.3%)となっています。



## 2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

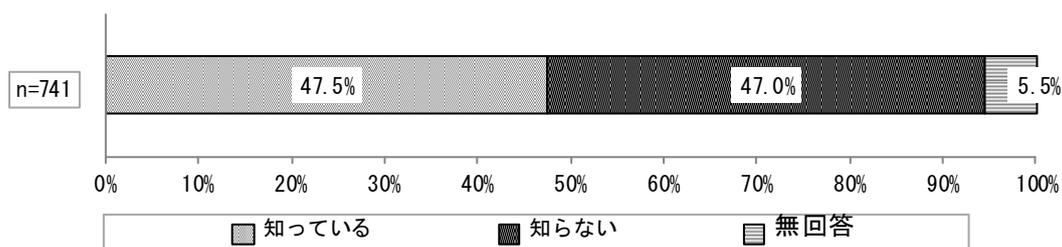
### (1) 地域の子育て支援の利用について

問 27 地域子育て支援事業の認知状況（子育て支援センター）



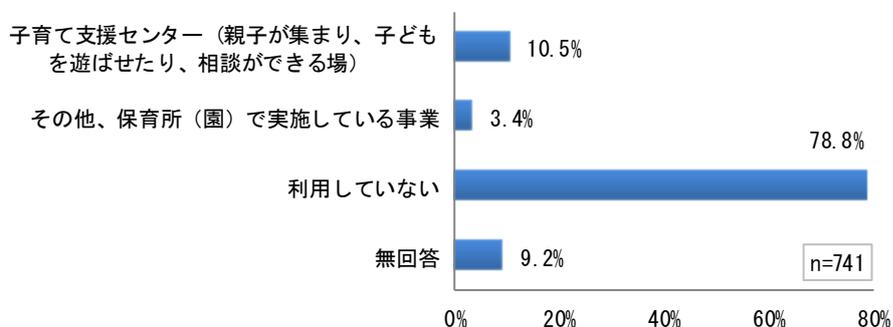
子育て支援センターの認知状況は、「知っている」(75.3%)となっており、「知らない」(22.3%)を大きく上回っています。

問 27 地域子育て支援事業の認知状況（その他保育所（園）で実施している事業）



その他保育所（園）で実施している事業の認知状況は、「知っている」(47.5%)となっており、「知らない」(47.0%)と同程度の認知状況となっています。

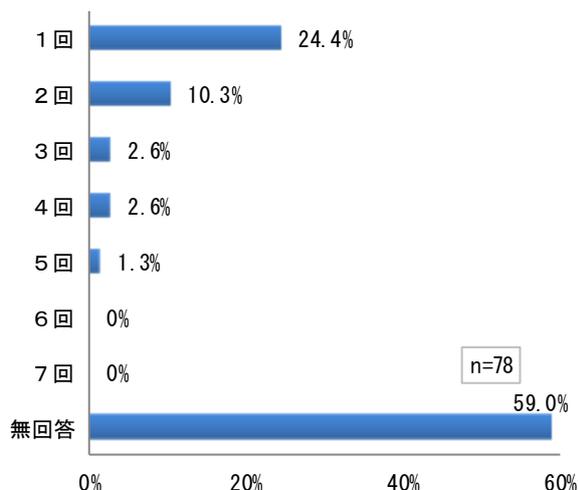
問 28 子育て支援センターの利用状況



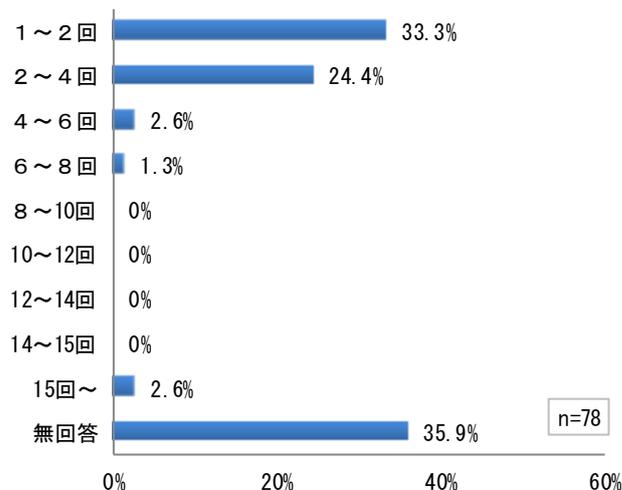
子育て支援事業の利用状況は、「子育て支援センター」(10.5%)、「その他、保育所（園）で実施している事業」(3.4%)となっています。一方で、「利用していない」(78.8%)となっています。

問 28 <1>子育て支援センターの利用回数

(1週当たり)

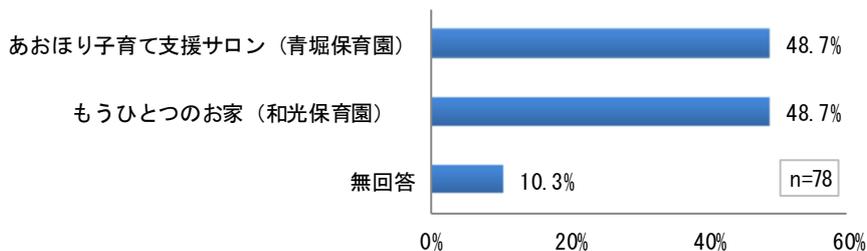


(1ヶ月当たり)



子育て支援センターの利用回数は、1週あたりでは「1回」(24.4%)が最も多く、1ヶ月あたりでは、「1~2」回(33.3%)、「2~4回」(24.4%)となっています。

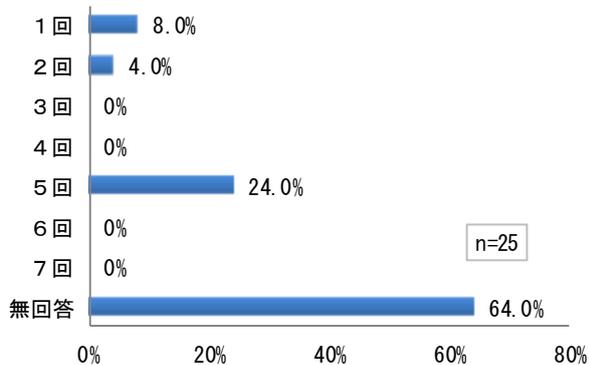
問 28<1> 利用した子育て支援センター



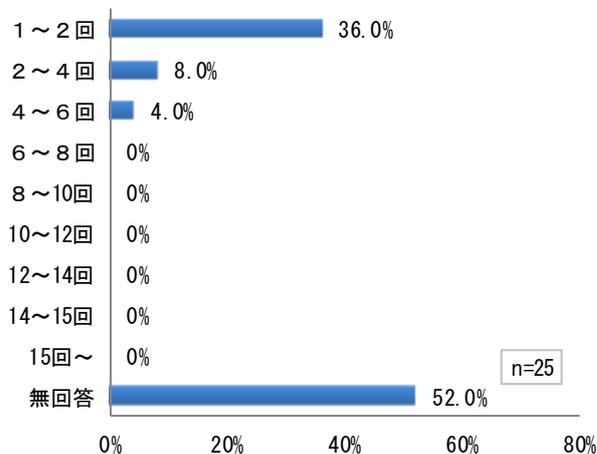
利用した子育て支援センターは「あおほり子育て支援サロン」、「もうひとつのお家」(48.7%)がどちらも同じ頻度となっています。

問 28<2> その他、保育所(園)で実施している事業の利用回数

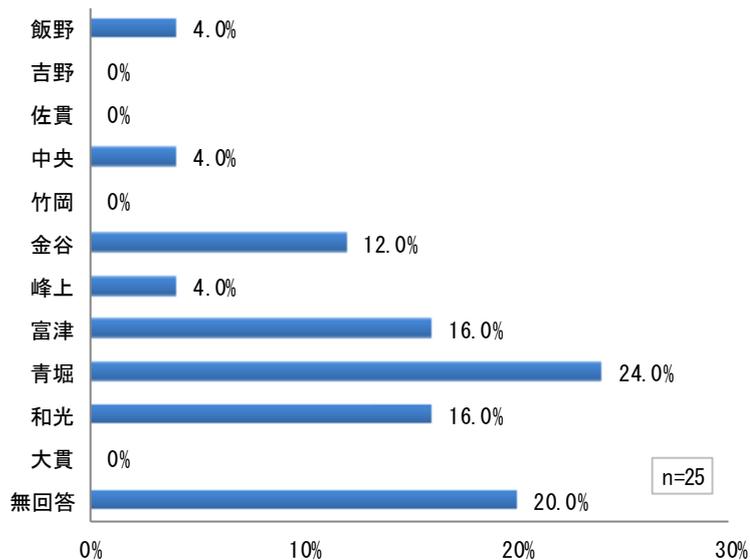
(1週当たり)



(1ヶ月当たり)

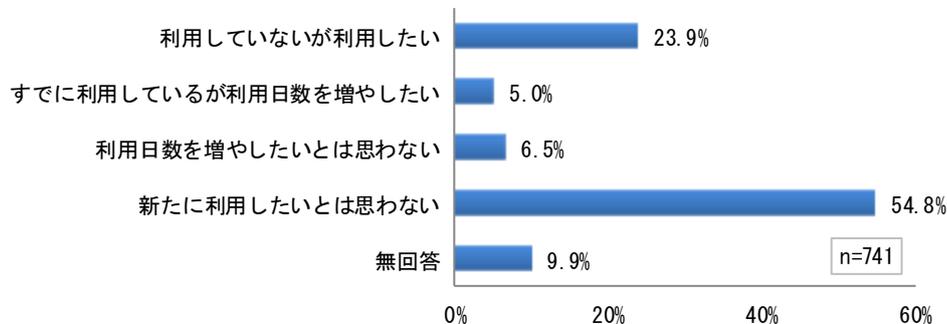


問 28<2> その他、保育所（園）で実施している事業（利用した保育所（園））



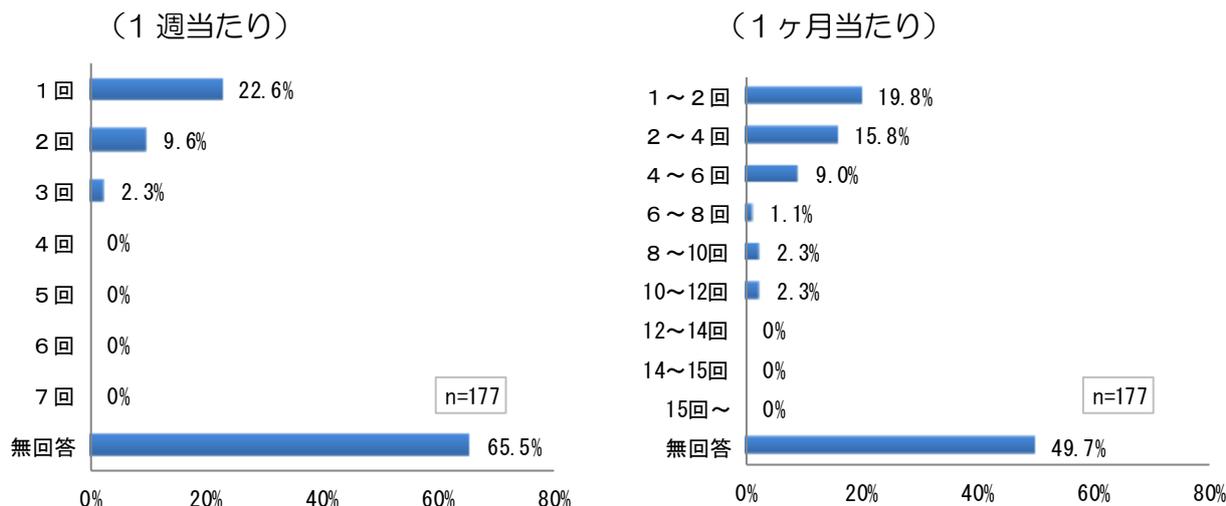
その他、保育所（園）で実施している事業の利用回数は、1週当たり5回利用（24.0%）、1ヶ月あたりでは、1～2回（36.0%）となっています。実施場所は、青堀（24.0%）が最も多く、次いで富津（16.0%）、和光（16.0%）となっています。

問 29 子育て支援センター利用意向

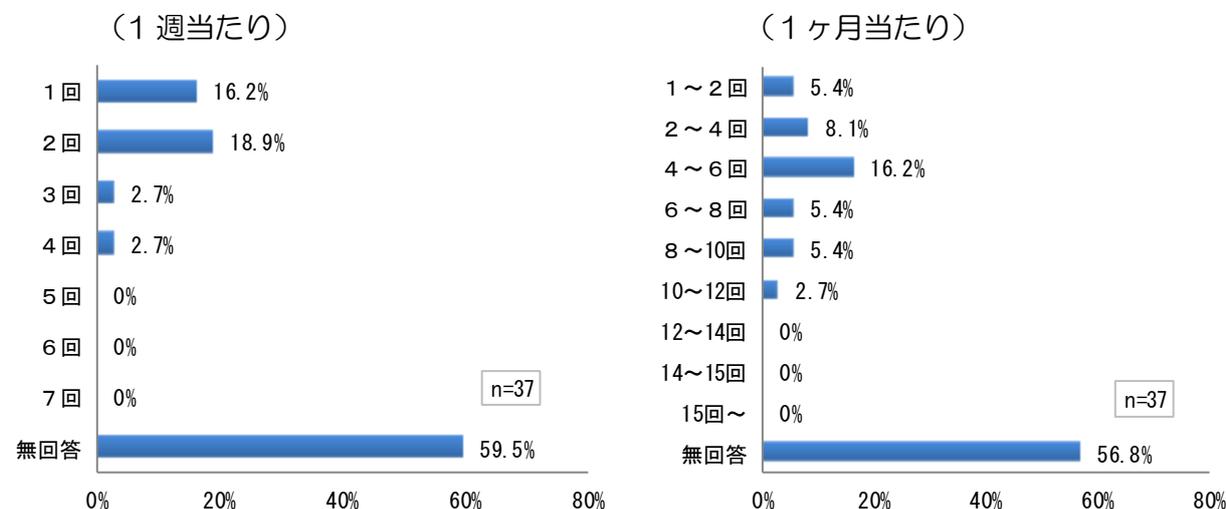


未利用者は、「利用していないが今後利用したい」（23.9%）、利用したことがある人は「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」（5.0%）、「利用日数を増やしたいとは思わない」（6.5%）となっています。

問 29<1> 【利用していないが利用したい人】子育て支援センター利用希望



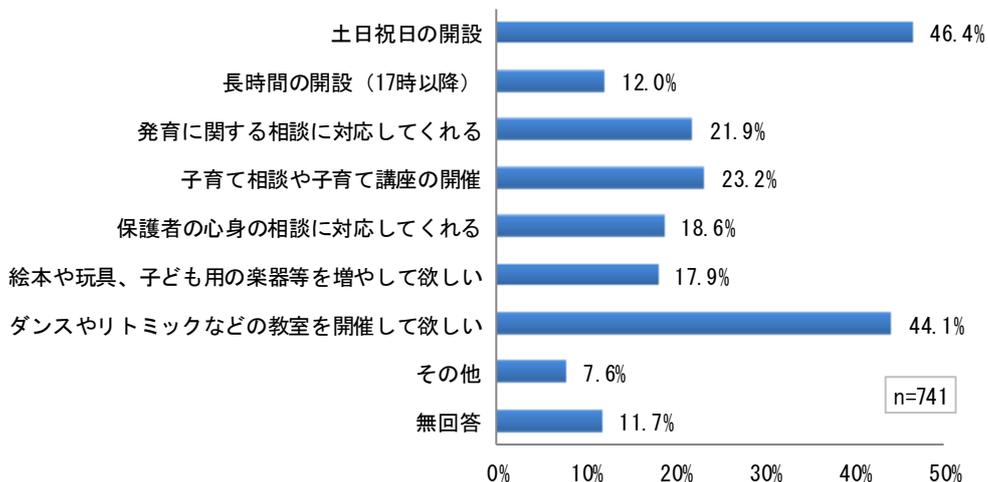
問 29<2> 【利用しているが日数を増やしたい人】子育て支援センター利用希望



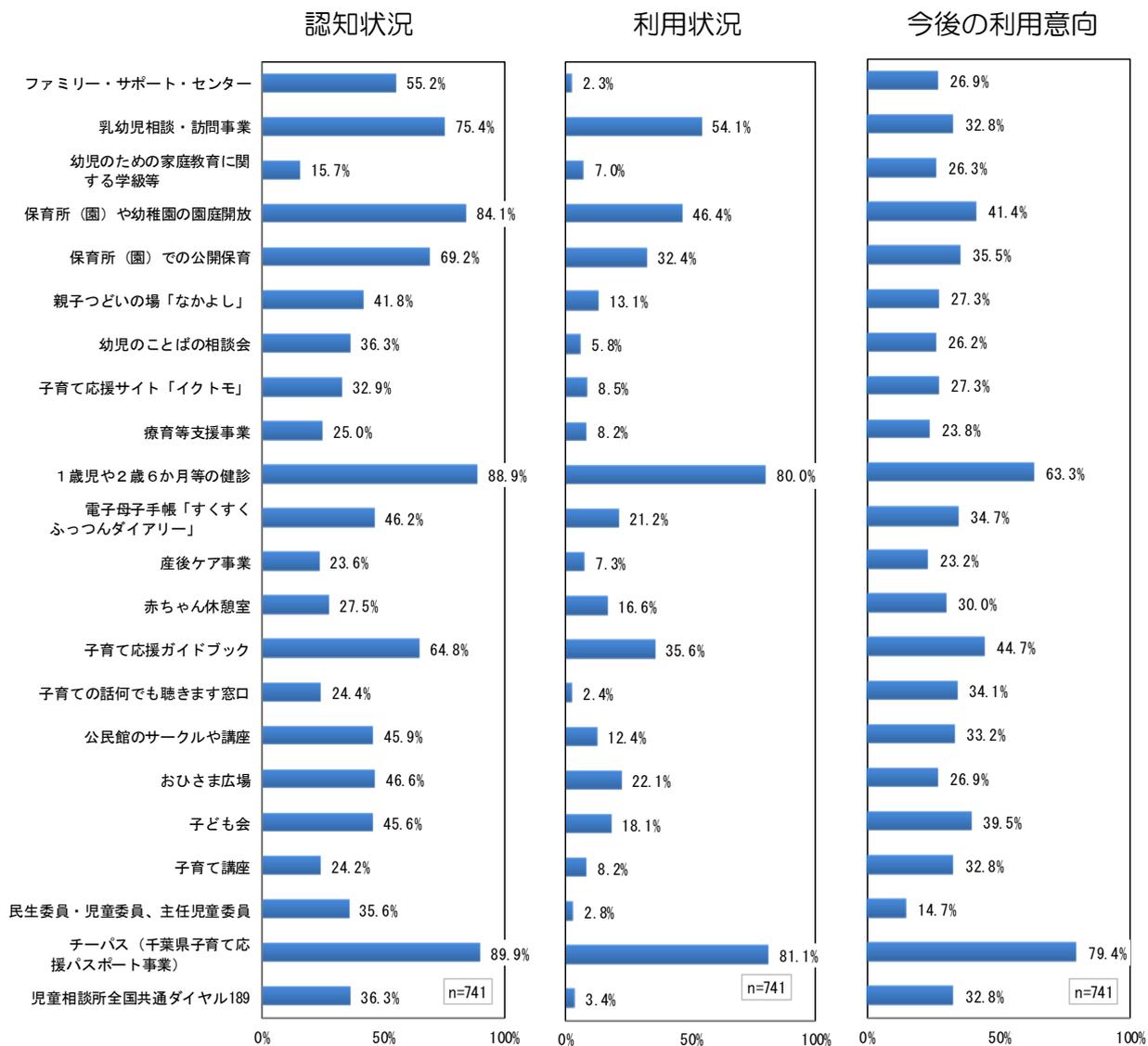
未利用者の希望利用回数（1週当たり）は、「1回」（22.6%）が最も多くなっています。1ヶ月当たりでは、「1～2回」（19.8%）に次いで「2～4回」（15.8%）となっています。  
 利用したことのある人の増やしたい利用回数1週当たりは、「2回」（18.9%）が最も多く、1ヶ月当たりでは「4～6回」（16.2%）が最も多くなっています。

問 30 子育て支援センターに求めるもの

子育て支援センターに求めるものでは、「土日祝日の開設」（46.4%）と開設曜日の要望がもっとも多く、次いで「ダンスやリトミックなどの教室を開催して欲しい」（44.1%）となっています。



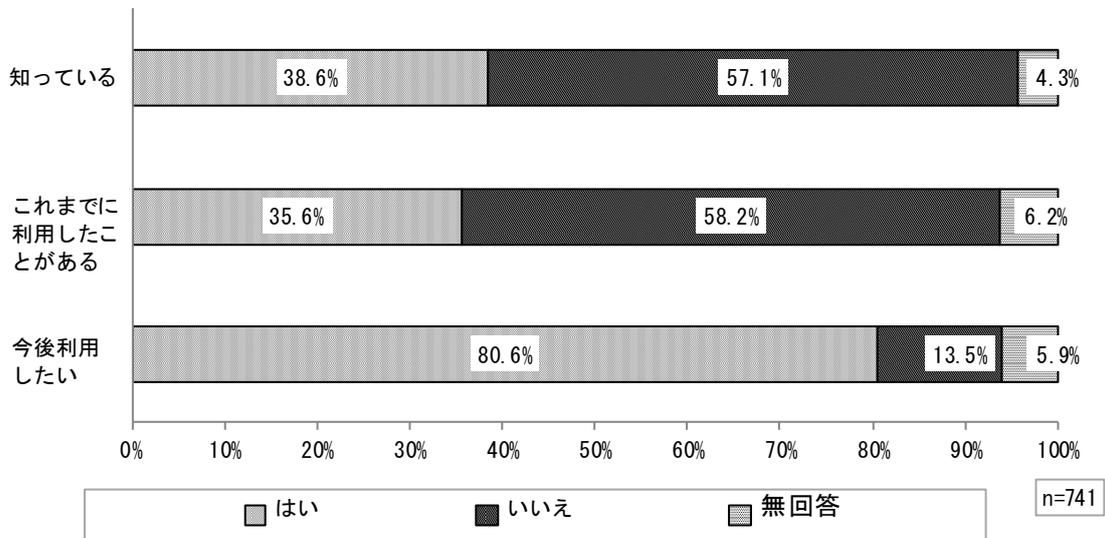
問 31 子育て支援事業の認知状況、利用状況、今後の利用意向



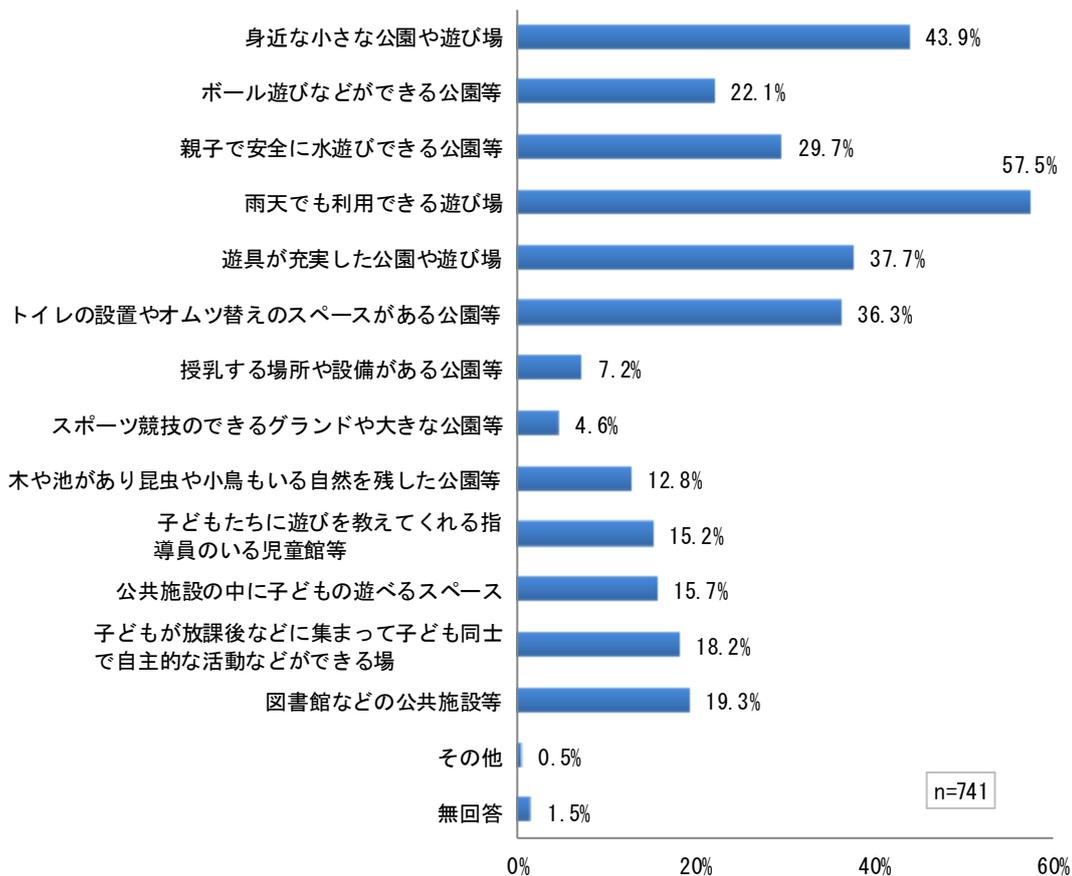
子育て支援事業の認知状況では、「チーパス」(89.9%)、「1歳児等健診」(88.9%)、「園庭開放」(84.1%)が広く認知されており、利用状況も同じ傾向になっています。今後の利用意向についても、認知状況、利用状況が多いサービスの頻度が高くなっています。「ファミリー・サポート・センター」、「児童相談所全国共通ダイヤル189」等は利用状況がそれぞれ2.3%、3.4%と低くなっていますが、今後の利用意向はそれぞれ26.9%、32.8%と高くなっています。

## (2) 子どもの遊び場の利用について

### 問 32 児童遊園地や子どもの遊び場の利用状況など



### 問 33 身近な地域でお子さんが過ごせる場所の希望

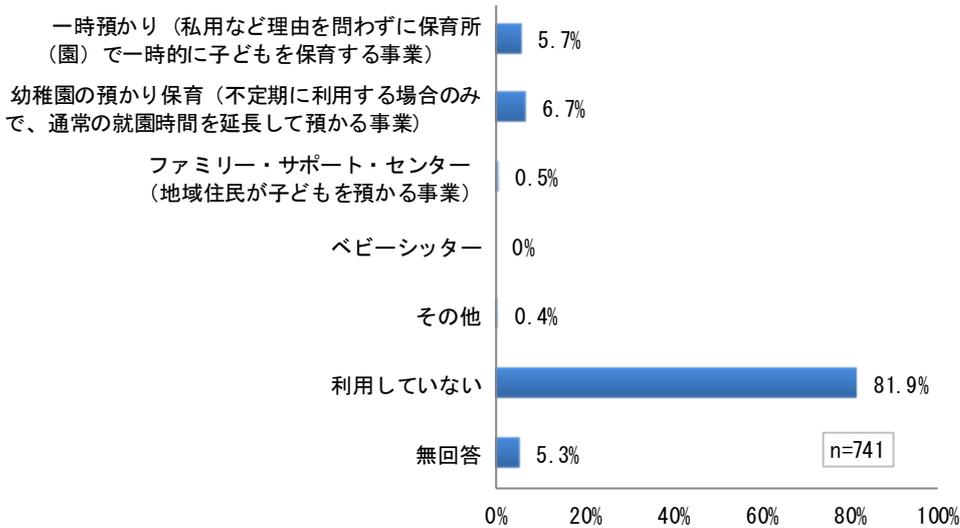


児童遊園地や子どもの遊び場の認知状況、利用状況では、「知っている」(38.6%)、「これまで利用したことある」(35.6%)と4割に満たない状況ですが、今後の利用意向については、「今後利用したい」(80.6%)と多くの方が興味を示しています。

身近な地域でお子さんが過ごせる場所の希望では、「雨天でも利用できる遊び場」(57.5%)、「身近な小さな公園や遊び場」(43.9%)、「遊具が充実した公園や遊び場」(37.7%)が求められています。

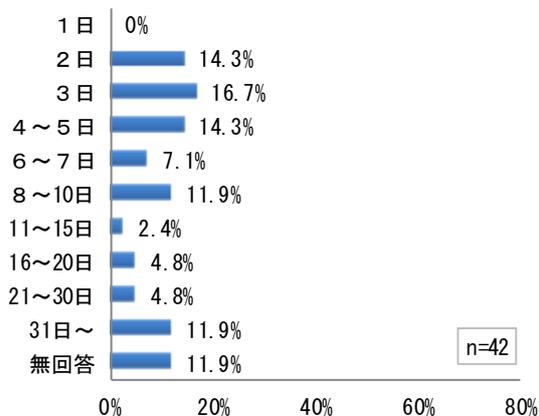
### (3) 不定期の一時保育の利用について

問37 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用する事業

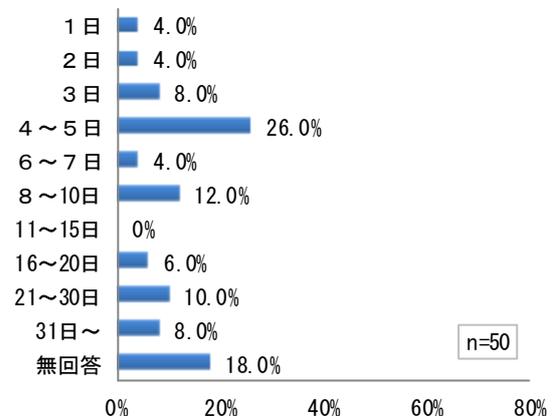


一時保育の利用状況を見ると、「幼稚園の預かり保育」（6.7%）、「一時預かり」（5.7%）となっています。一方、「利用していない」（81.9%）が約8割となっています。

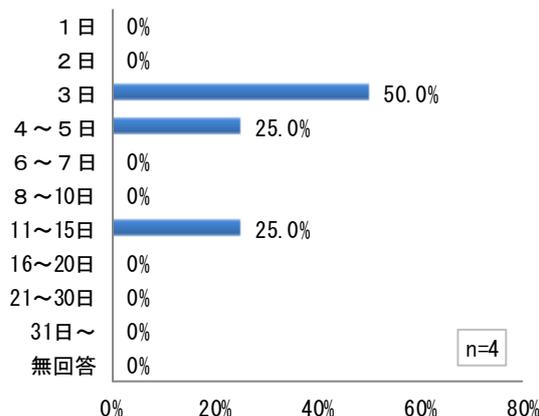
問37<1> 一時預かり



問37<2> 幼稚園の預かり保育



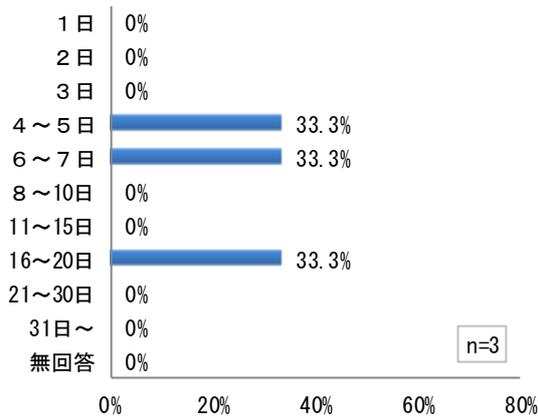
問37<3> ファミリー・サポート・センター



問37<4> ベビーシッター

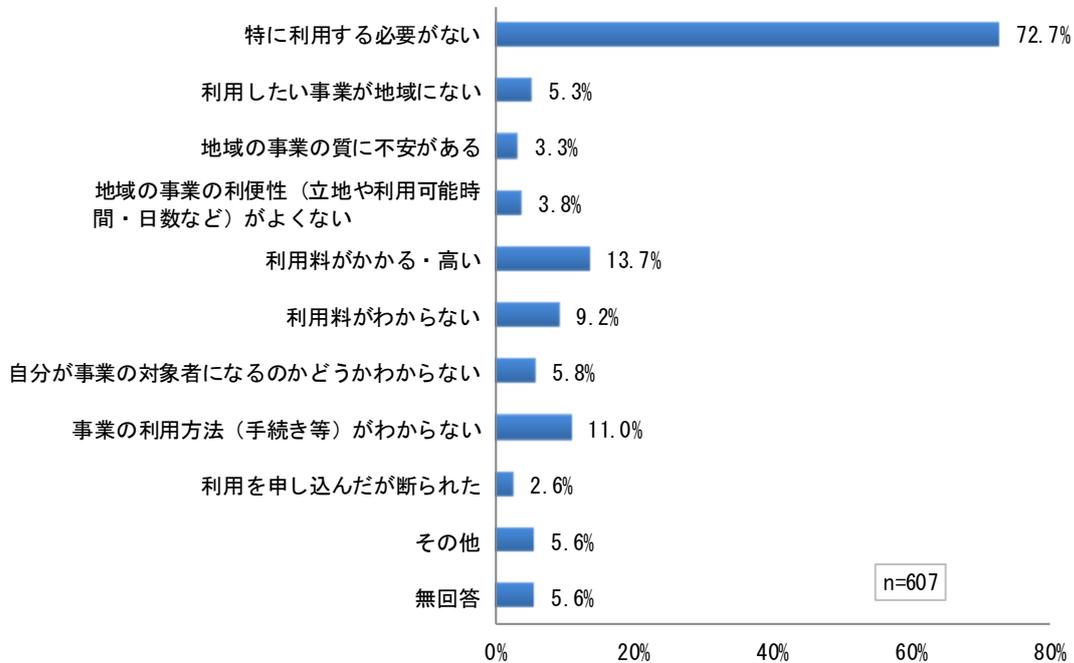
【回答なし】

問 37<5> その他



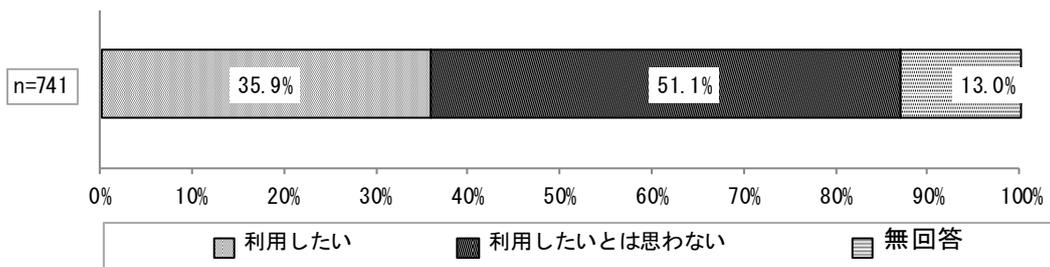
事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは、「3日」(16.7%)「2日」、「4~5日」(同率の14.3%)となっています。幼稚園の預かり保育は、「4~5日」(26.0%)、「8~10日」(12.0%)となっています。

問 37-1 不定期の一時保育を利用していない理由

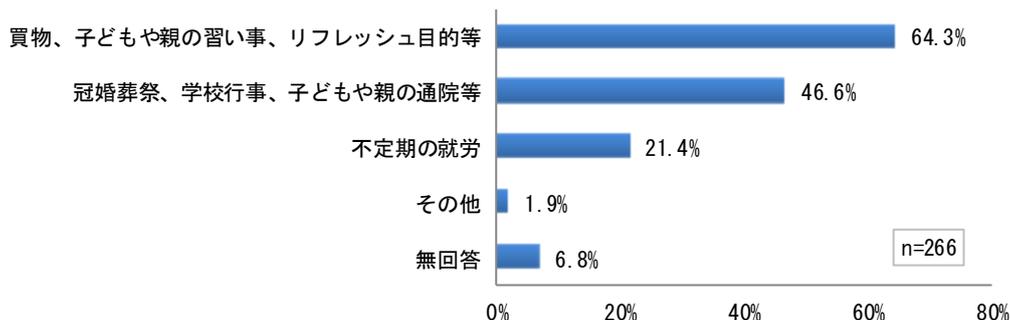


これらを利用していない理由は、「特に利用する必要がある」(72.7%)、「利用料がかかる・高い」(13.7%)、「事業の利用方法 (手続き等) がわからない」(11.0%) となっています。

問 38 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用する事業 (利用希望)

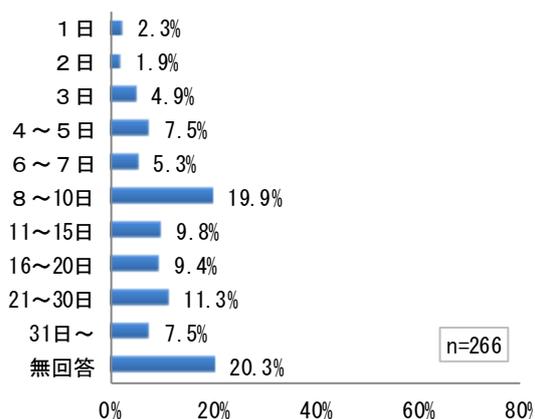


問 38 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用する事業（利用目的）

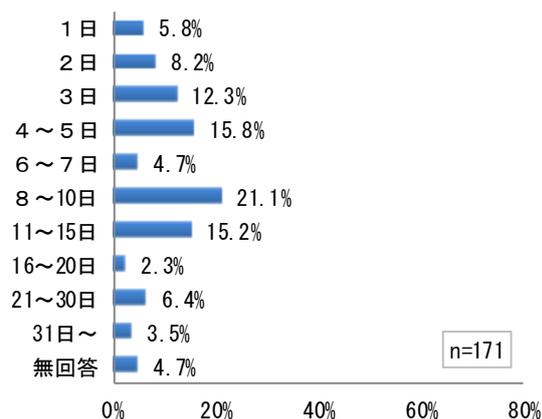


一時保育事業の利用希望とその目的は、「利用したいとは思わない」(51.1%)、「利用したい」(35.9%)となっています。利用したい人の利用目的は、「買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等」(64.3%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(46.6%)、「不定期の就労」(21.4%)となっています。

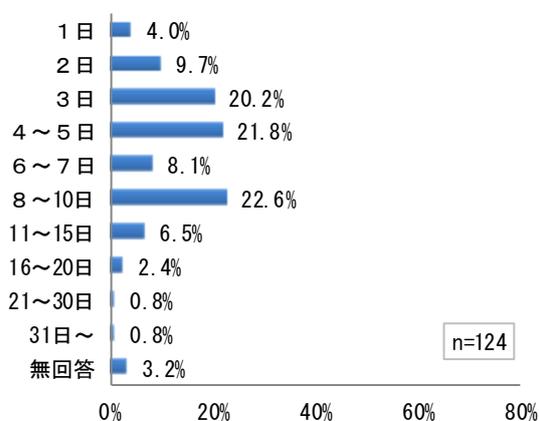
問 38<1> 不定期に利用する事業（希望日数合計）



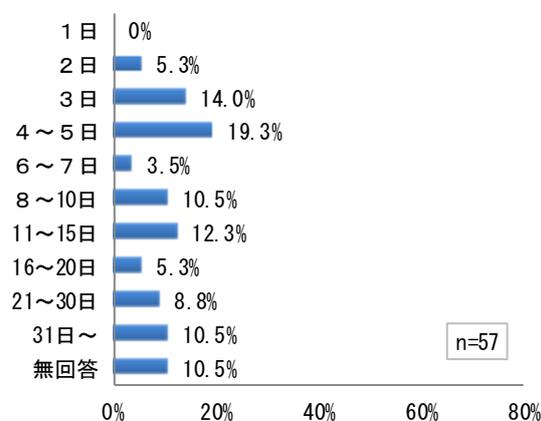
問 38<1> (ア) 買い物、習い事等



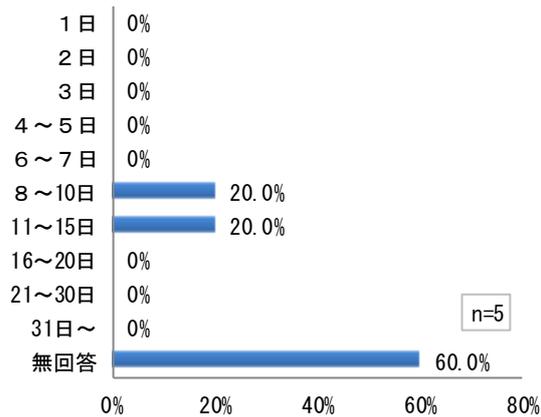
問 38<1> (イ) 冠婚葬祭、学校行事等



問 38<1> (ウ) 不定期の就労



問 38<1> (工) その他



目的ごとの希望利用日数をみると、買物、子どもや親の習い事・リフレッシュ目的等は、「8～10日」(21.1%)、「4～5日」(15.8%)、「11日～15日」(15.2%)となっています。

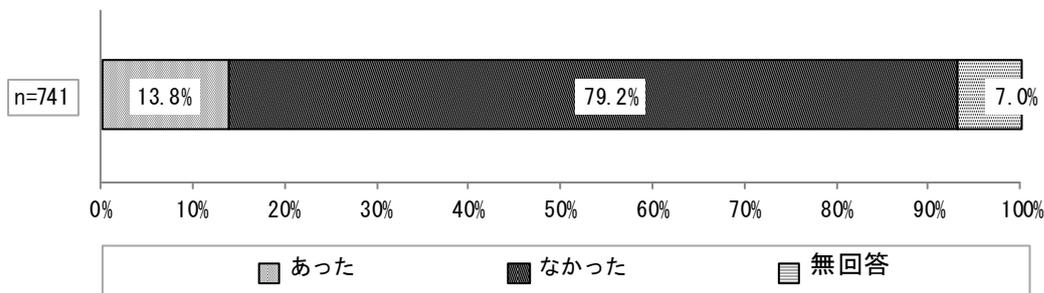
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等は、「8～10日」(22.6%)、「4～5日」(21.8%)となっています。

不定期の就労目的は、「4～5日」(19.3%)、「3日」(14.0%)となっています。

その他は、「8～10日」、「11～15日」(同率の20.0%)が最も多くなっています。

(4) 宿泊を伴う一時保育の利用について

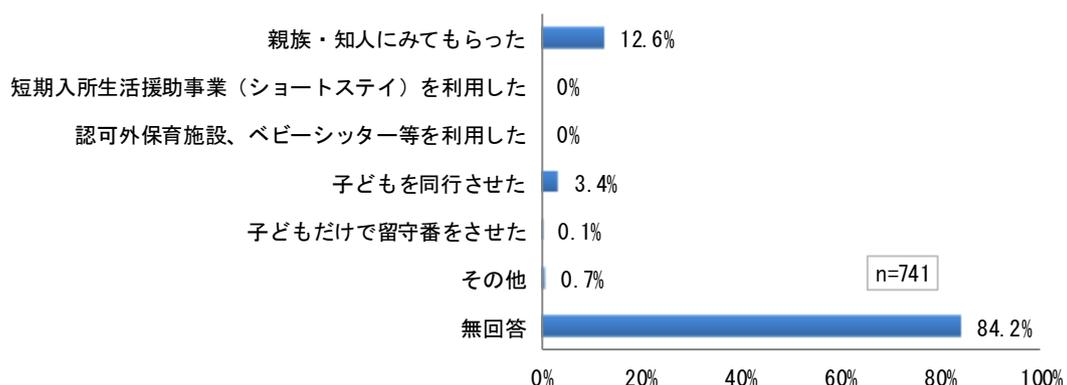
問 39 保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



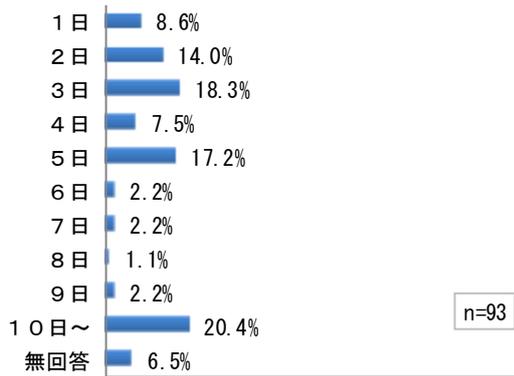
この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無は、「あった」(13.8%)となっています。

その対処方法は、「親族・知人にみてもらった」(12.6%)が最も多くなっています。

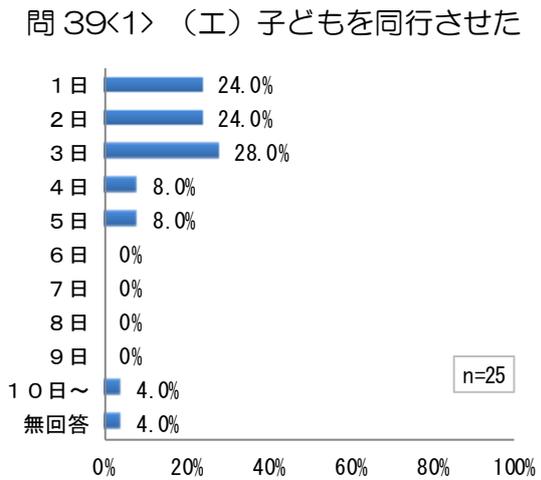
問 39<1> 保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けた場合の対処方法



問 39<1> (ア) 親族・知人にみてもらった 問 39<1> (イ) 短期入所生活援助事業を利用した  
【回答者なし】

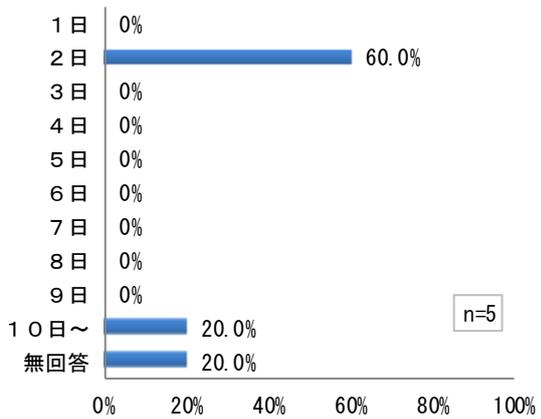
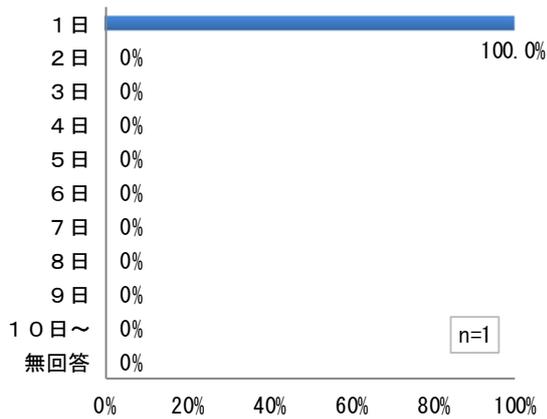


問 39<1> (カ) 認可外保育施設  
ベビーシッター等を利用した  
【回答者なし】



問 39<1> (オ) 子どもだけで留守番をさせた

問 39<1> (キ) その他



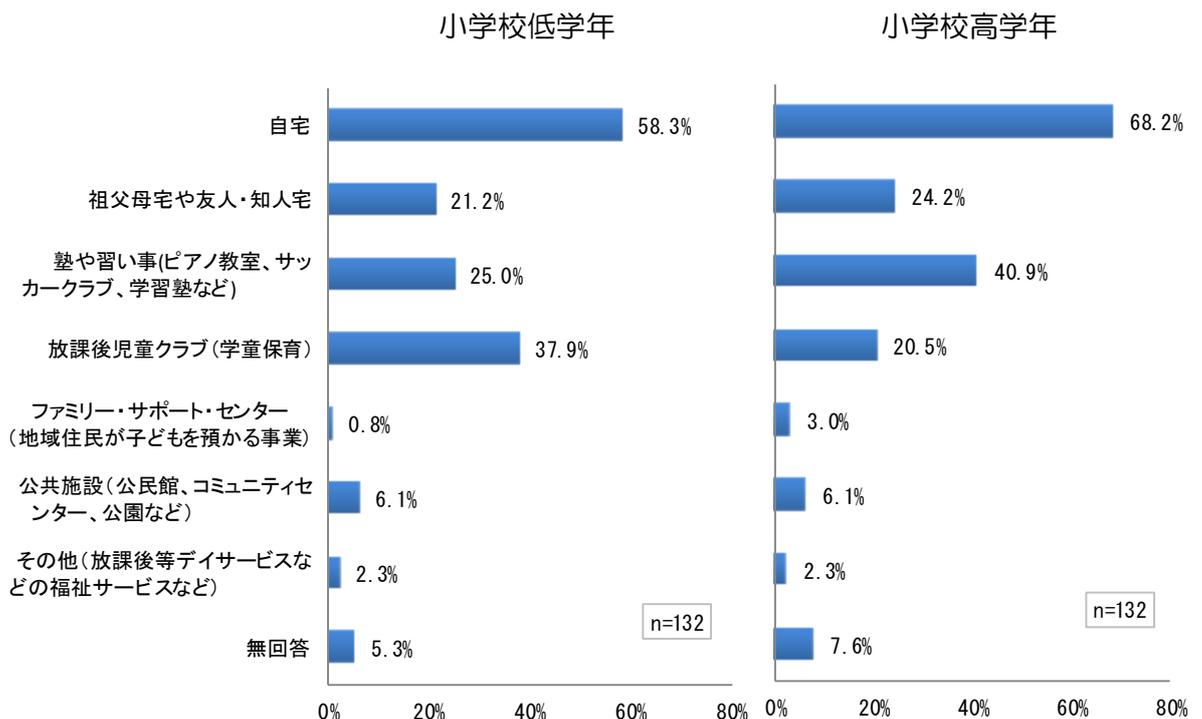
親族・知人に預けた日数は、「10日以上」(20.4%)、「3日」(18.3%) となっています。  
子どもを同行させた日数は、「3日」(28.0%)、「1日」、「2日」(各 24.0%) となっています。

### 3 放課後の過ごし方について

#### (1) 平日の放課後の過ごし方について

問 40 放課後過ごさせたい場所（小学校低学年）

問 41 放課後過ごさせたい場所（小学校高学年）

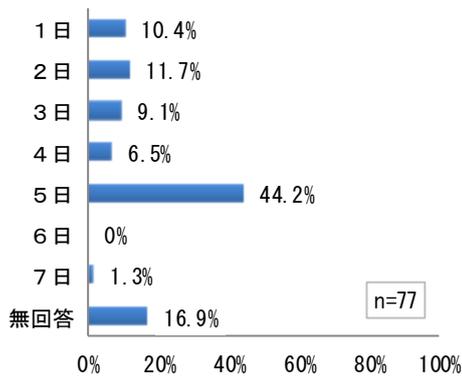


小学生になったときの放課後の過ごし方の希望をみると、小学校低学年のうち「自宅」(58.3%)、「放課後児童クラブ」(37.9%)、「塾や習い事」(25.0%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(21.2%)となっています。

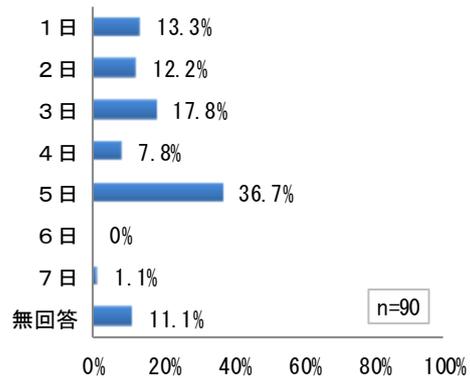
また、小学校高学年になっても「自宅」(68.2%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(40.9%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(24.2%)、「放課後児童クラブ」(20.5%)となっています。

問 40<1>・問 41<1> 自宅

(小学校低学年)

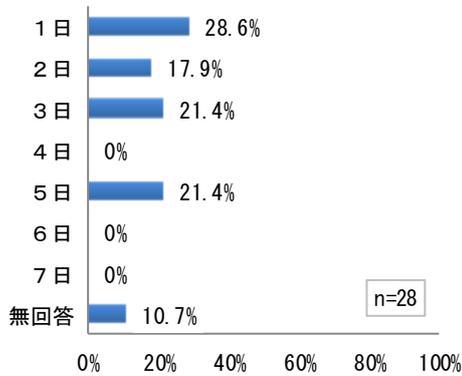


(小学校高学年)

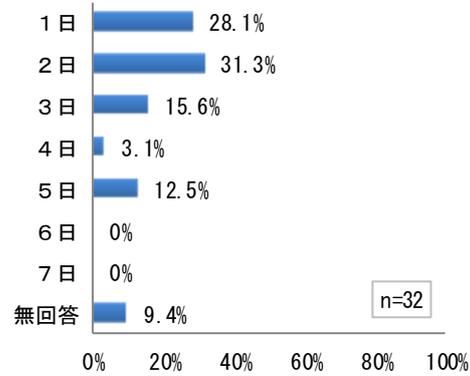


問 40<2>・問 41<2> 祖父母や友人・知人宅

(小学校低学年)

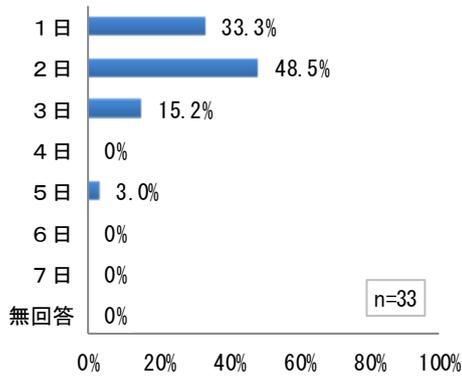


(小学校高学年)

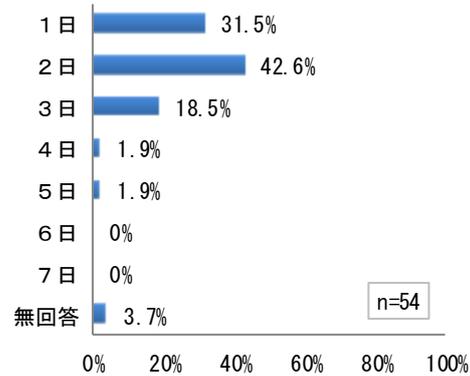


問 40<3>・問 41<3> 塾や習い事

(小学校低学年)

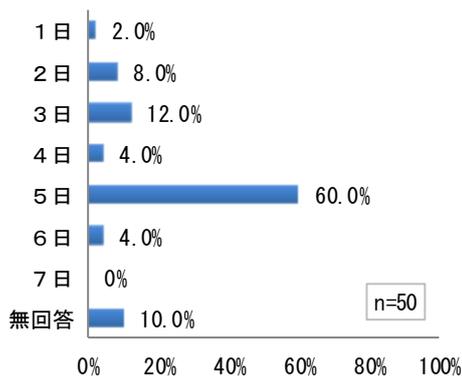


(小学校高学年)

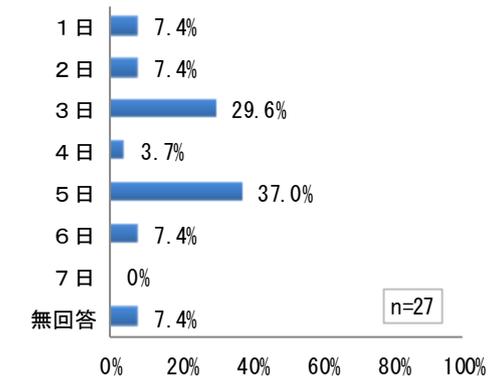


問 40<4>・問 41<4> 放課後児童クラブ

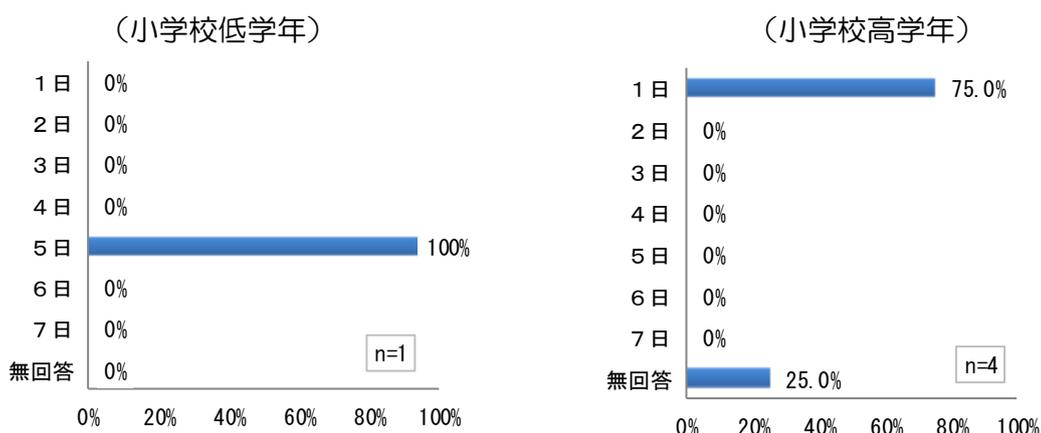
(小学校低学年)



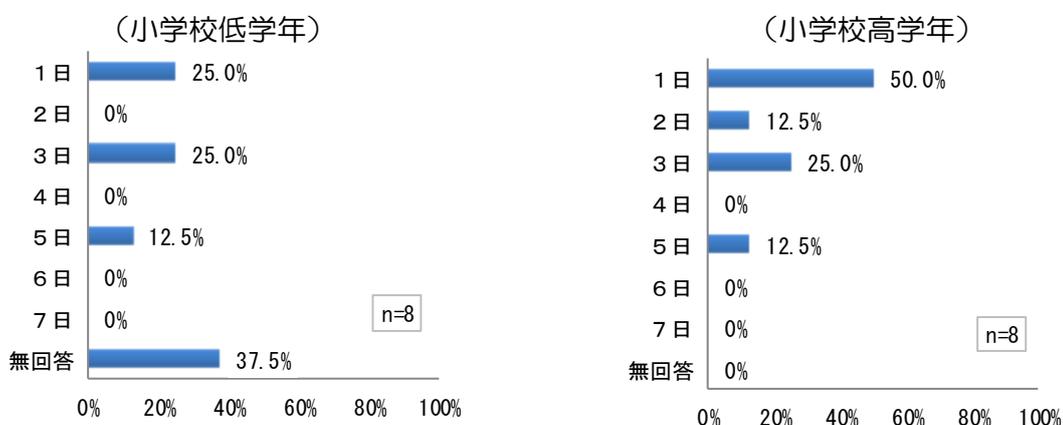
(小学校高学年)



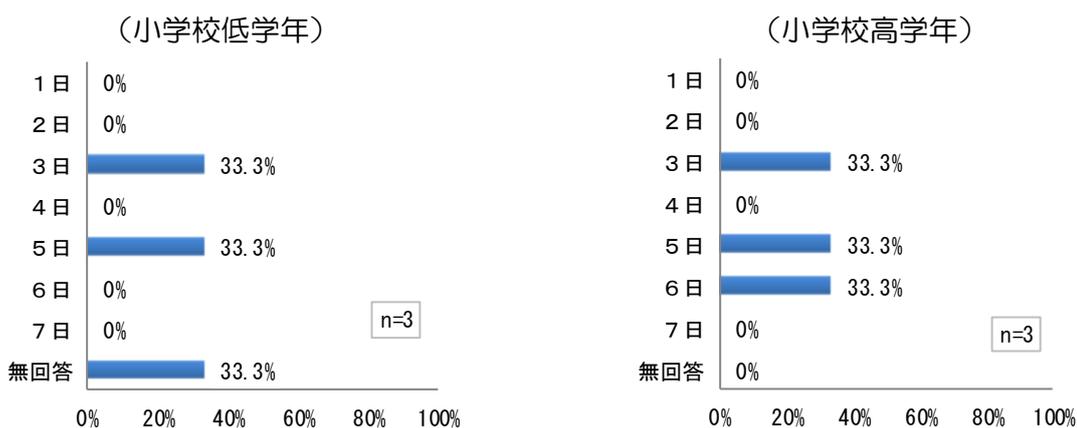
問 40<5>・問 41<5> ファミリー・サポート・センター



問 40<6>・問 41<6> 公共施設（公民館、コミュニティセンター）



問 40<7>・問 41<7> その他（放課後デイサービスなどの福祉サービスなど）

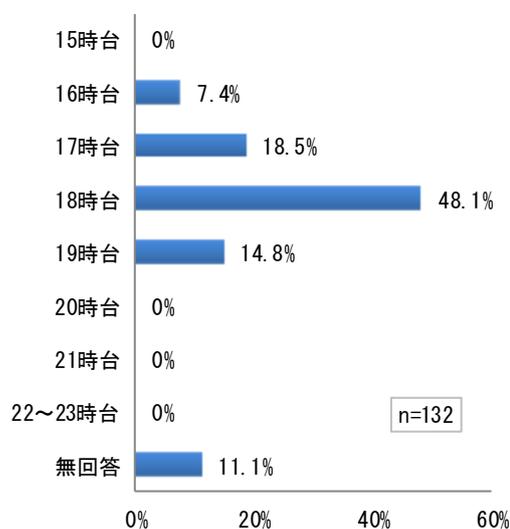
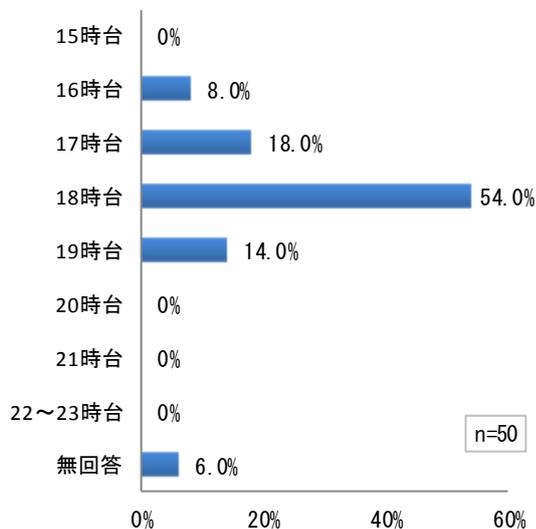


放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「5日」（低学年時期 44.2%・高学年時期 36.7%）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1日」（低学年時期 28.6%）・「2日」（高学年時期 31.3%）が最も多くなっています。「塾や習い事」では、「2日」（低学年時期 48.5%・高学年時期 42.6%）が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」は「5日」（低学年時期 60.0%・高学年時期 37.0%）が最も多くなっています。

問 40<4>・問 41<4> 放課後児童クラブ（利用終了時刻：下校時～）

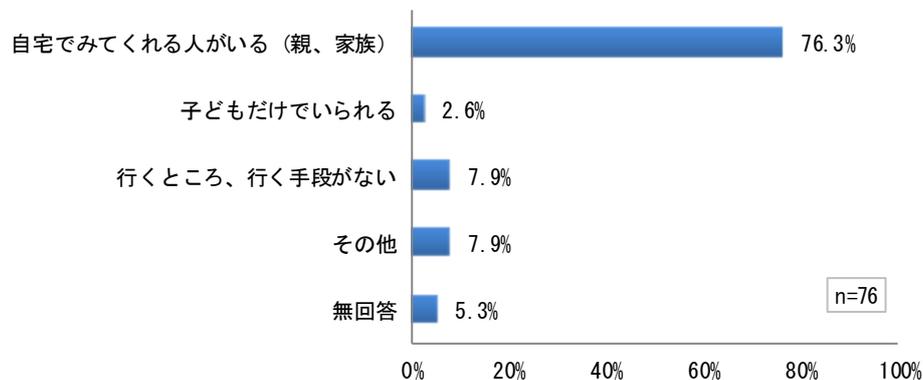
（小学校低学年）

（小学校高学年）



下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、低学年の時期で「18時台」（54.0%）、「17時台」（18.0%）、「19時台」（14.0%）となっており、高学年の時期で「18時台」（48.1%）、「17時台」（18.5%）、「19時台」（14.8%）となっています。終了時刻については、低学年と高学年とに大きな違いは見られませんでした。

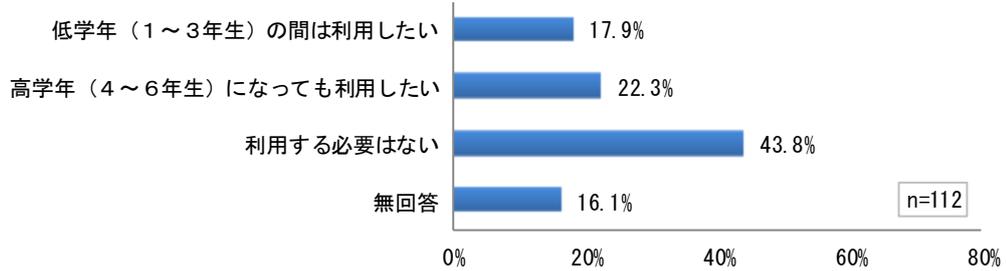
問 40-1 自宅で過ごさせたい理由（小学校低学年のみ）



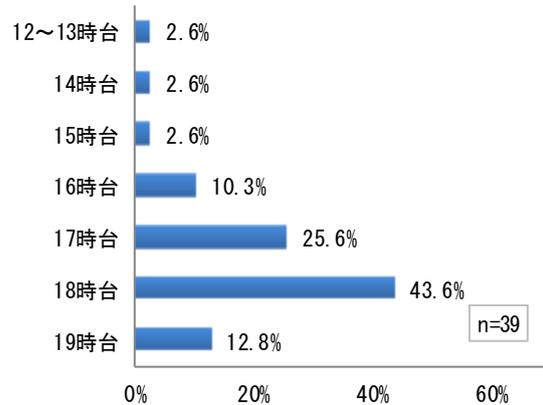
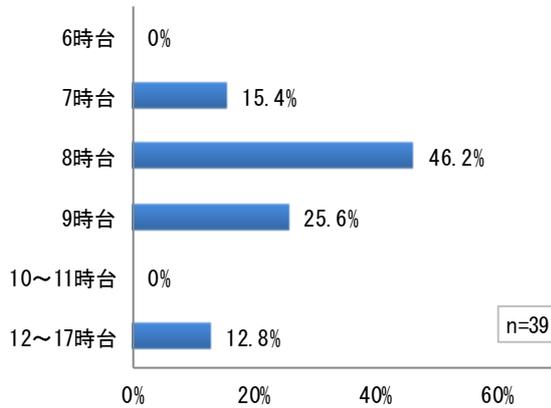
自宅で過ごさせたい理由では、「自宅でみてくれる人がいる」（76.3%）がほとんどとなっています。

## (2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用について

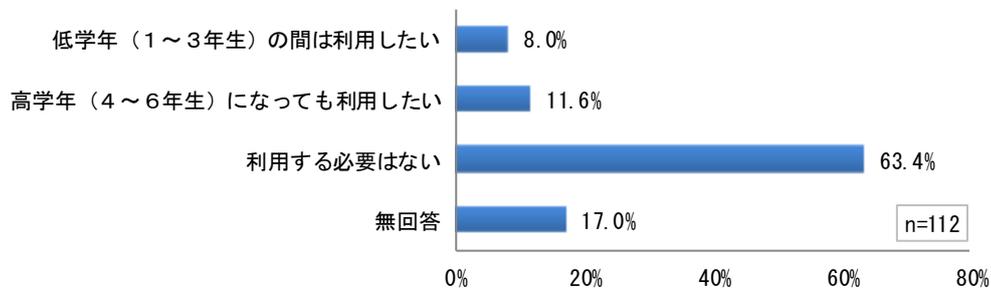
### 問 42 (1) 放課後児童クラブの土曜日の利用



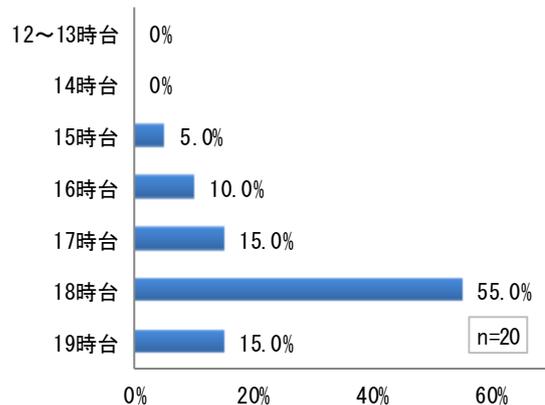
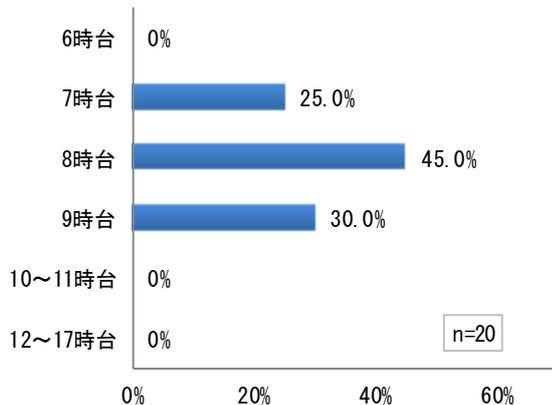
### 問 42 (1) 放課後児童クラブの土曜日の利用 (利用したい時間帯) 開始時刻/終了時刻 (開始時刻)



### 問 42 (2) 放課後児童クラブの日曜・祝日の利用



### 問 42 (2) 放課後児童クラブの日曜・祝日の利用 (利用したい時間帯) 開始時刻/終了時刻 (開始時刻)



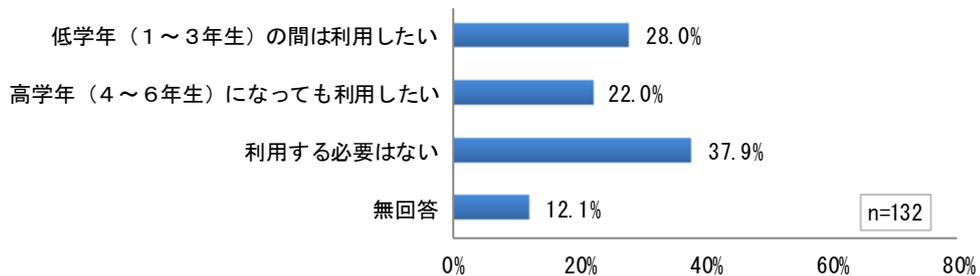
放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（土曜 17.9%・休日 8.0%）、「高学年になっても利用したい」（土曜 22.3%・休日 11.6%）、「利用する必要はない」（土曜 43.8%・休日 63.4%）となっています。

土曜日の希望利用開始時刻は、「8 時台」（46.2%）が最も多く、希望利用終了時刻では「18 時台」（43.6%）が最も多くなっています。

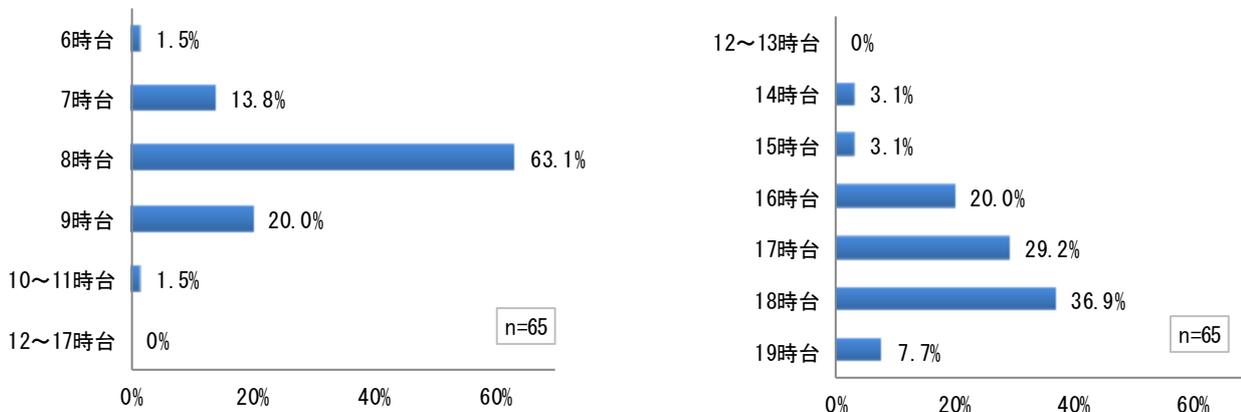
日曜日・祝日の希望利用開始時刻は、「8 時台」（45.0%）、希望利用終了時刻では「18 時台」（55.0%）となっています。

### （3）長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

#### 問 43 放課後児童クラブ長期休業中の利用



#### 問 43 放課後児童クラブの長期休業中の利用（利用したい時間帯）開始時刻／終了時刻（開始時刻）



長期休暇中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」（28.0%）、「高学年になっても利用したい」（22.0%）、「利用する必要はない」（37.9%）となっています。

希望利用開始時刻は「8 時台」（63.1%）が最も多く、希望利用終了時刻は「18 時台」（36.9%）が最も多くなっています

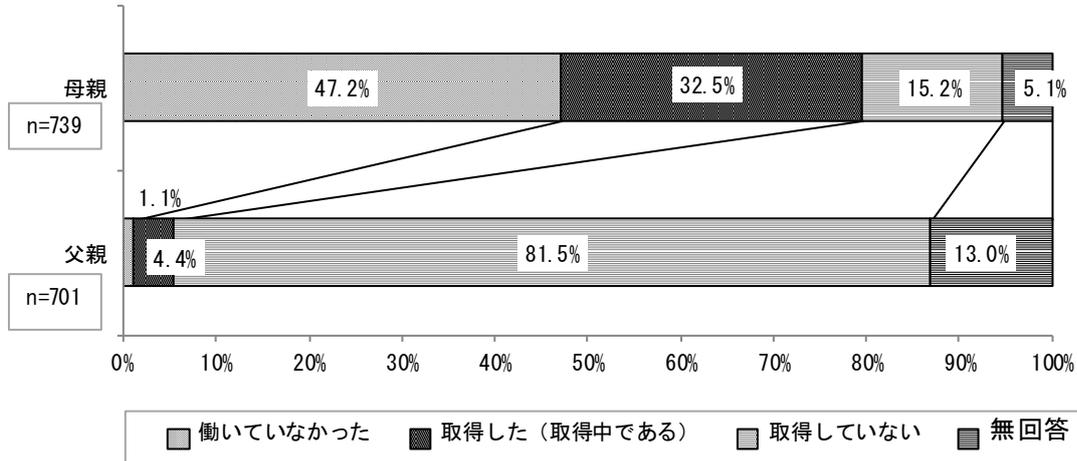
## **第5章 育児休業制度の利用状況**



# 1 育児休業制度の利用状況について

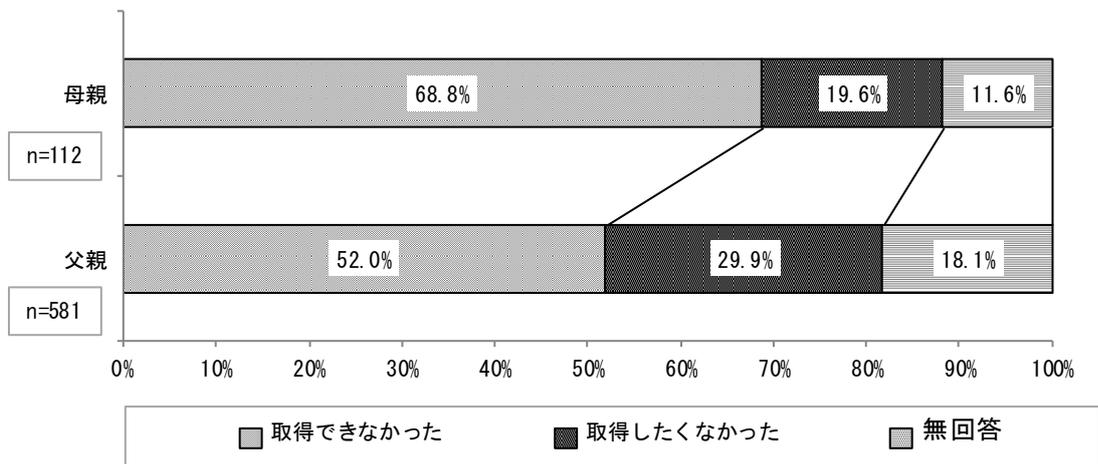
## (1) 育児休業の取得状況

問 44 育児休業取得の有無

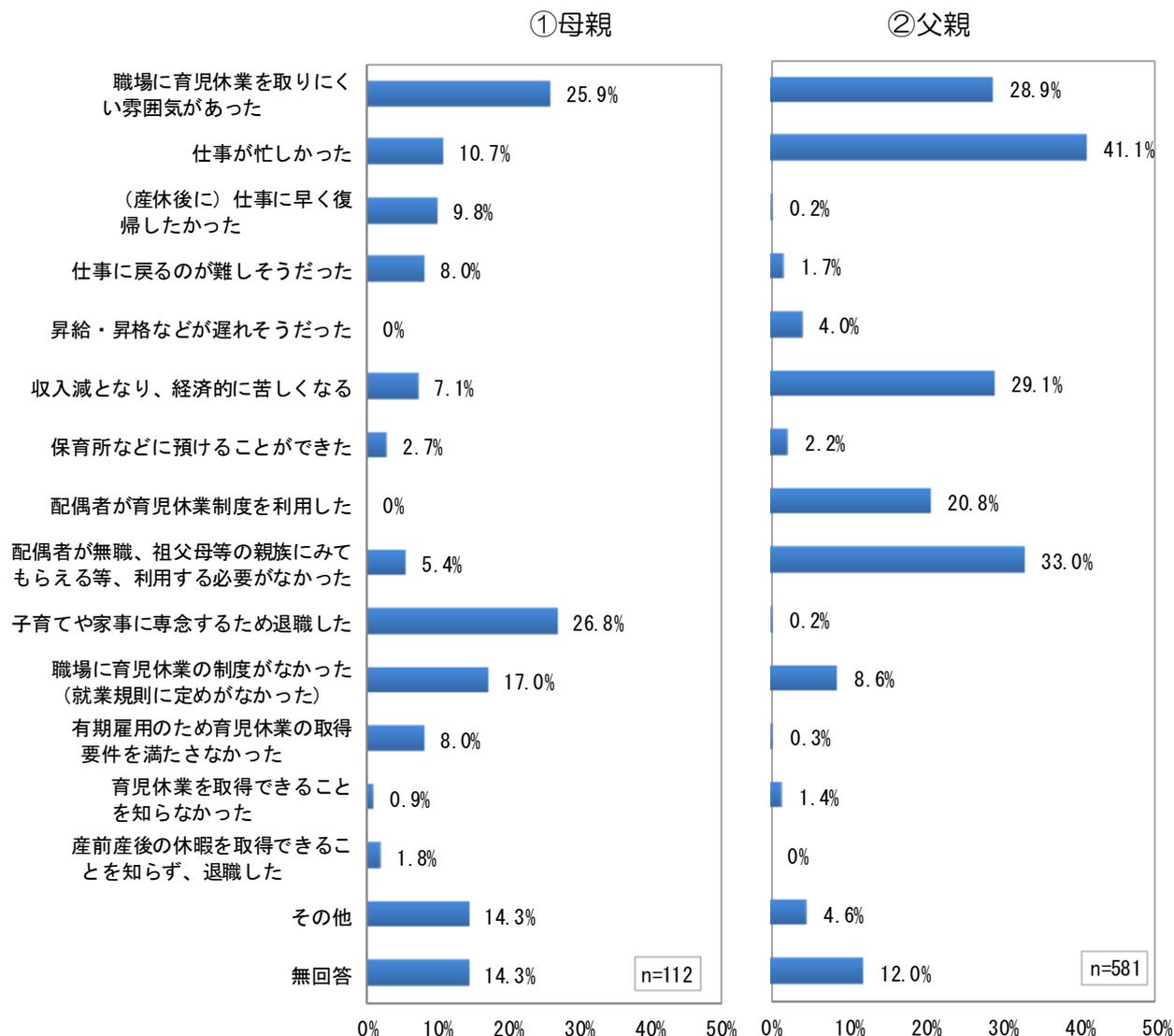


育児休業制度の利用状況を見ると、母親は「取得した(取得中である)」(32.5%) に対して、父親は「取得した(取得中である)」(4.4%) となっています。

問 44-1 育児休業を取得していない理由



問 44-1 育児休業を取得していない理由（具体的な理由）



育児休業を取得していない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(26.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(25.9%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(17.0%)が多く、一方父親は、「仕事が忙しかった」(41.1%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(33.0%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(29.1%)となっています。

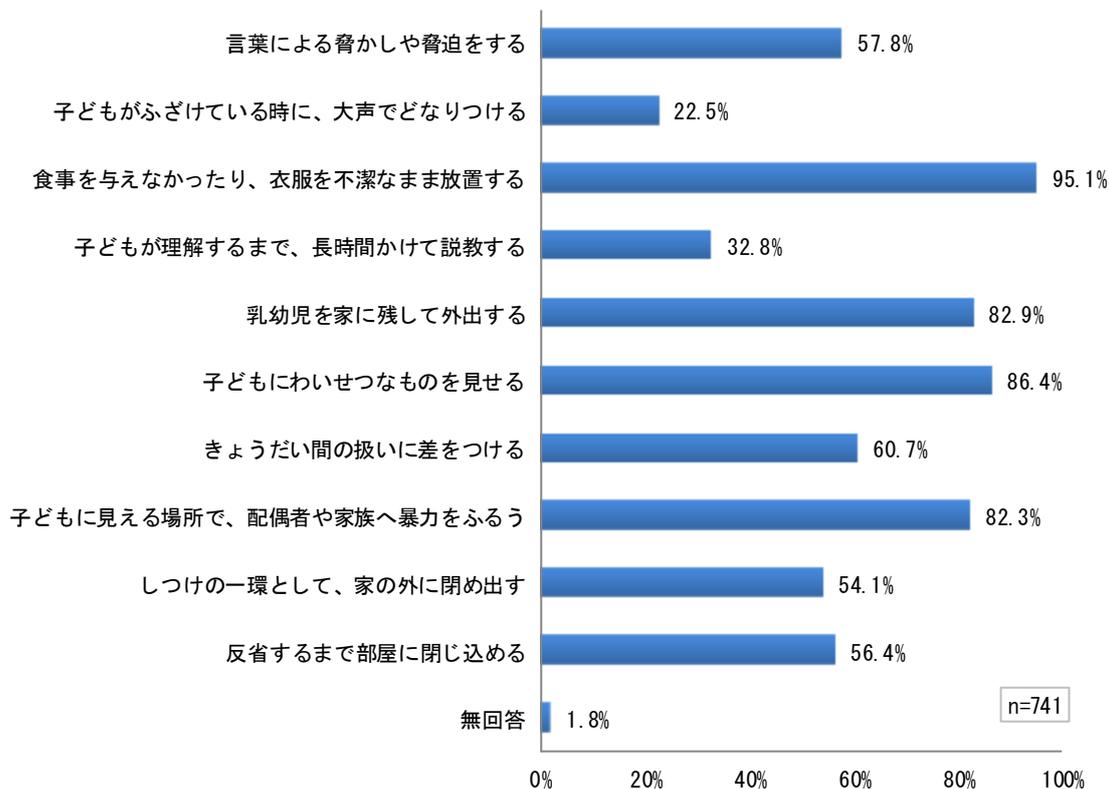
## **第6章 児童虐待に対する意識**



# 1 児童虐待に対する意識について

## (1) 児童虐待に対する理解・認識について

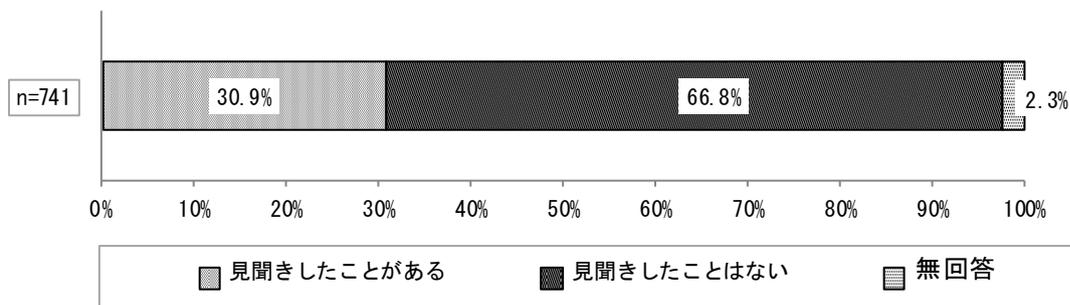
### 問 45 児童虐待と感ずる行為



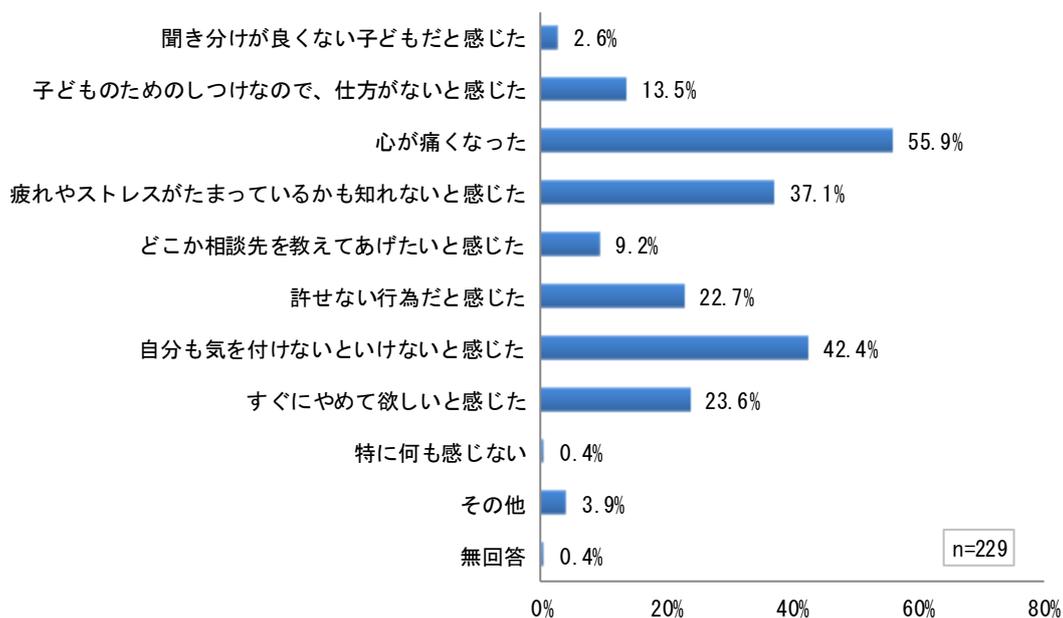
児童虐待と感ずる行為については、「食事を与えなかったり、衣服を不潔なまま放置する」(95.1%)、「子どもにわいせつなものを見せる」(86.4%)、「乳幼児を家に残して外出する」(82.9%)、「子どもに見える場所で、配偶者や家族へ暴力をふるう」(82.3%)については、8～9割以上の方が、児童虐待であると感じています。

一方、「子どもがふざけている時に、大声でどなりつける」(22.5%)、「子どもが理解するまで、長時間かけて説教する」(32.8%)は、2～3割の人しか児童虐待であると感じていませんでした。

問 45-1 問 45 の選択肢のような行為を見聞きしたことがあるか



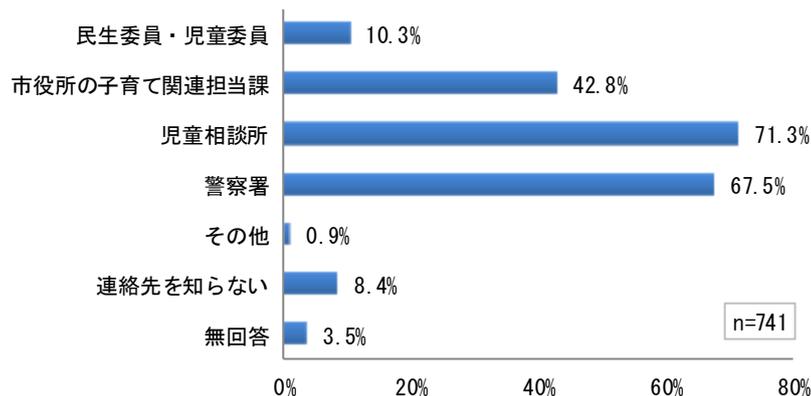
問 45-2 問 45 の選択肢のような行為を見聞きした時にどのように感じたか



問 45 の選択肢のような行為を見聞きしたことがあるかについては、「見聞きしたことがある」(30.9%) となっています。

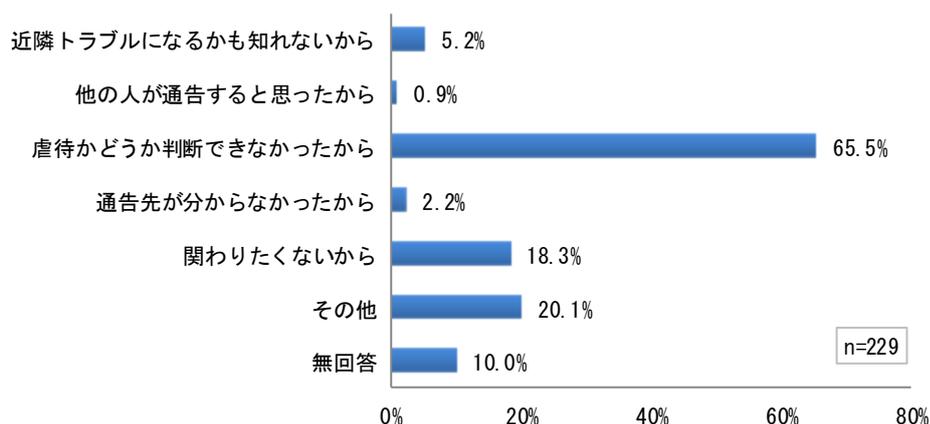
そのような行為を見聞きした時にどのように感じたかについては、「心が痛くなった」(55.9%)、「自分も気を付けないといけないと感じた」(42.4%)、「疲れやストレスがたまっているかも知れないと感じた」(37.1%) という人が約 4～5割になります。

問 45-3 児童虐待（疑いを含む）を見聞きした場合の通告先として知っているもの



児童虐待（疑いを含む）を見聞きした場合の通告先として知っているものについては、「児童相談所」（71.3%）、「警察署」（67.5%）に続き「市役所の子育て関連担当課」（42.8%）となっており、通告先としての認知度が高まっています。

問 45-4 問 45 の選択肢のような行為を見聞きして通告しなかった理由



問 45 の選択肢のような行為を見聞きして通告しなかった理由については、「虐待かどうか判断できなかったから」（65.5%）が最も多くなっており、続いて「その他」（20.1%）、「関わりたくないから」（18.3%）となっています。

「その他」の具体的な例としては「通告する必要がないと思った」、「知人から聞いた話で対象者を特定出来なかったから」、「虐待ではないと思ったから」、「人に聞いた話だった為」、「虐待ではないと判断したから」、「虐待でない場合、余計に追い詰めてしまう」、「しつけど思った」、「虐待している人に通告した事がわかってしまう」、「通告するほどひどくなかったから」、「子供を父親がなぐっていたのを見たが、やめたので」、「その場がすぐおさまったので」等となっています。



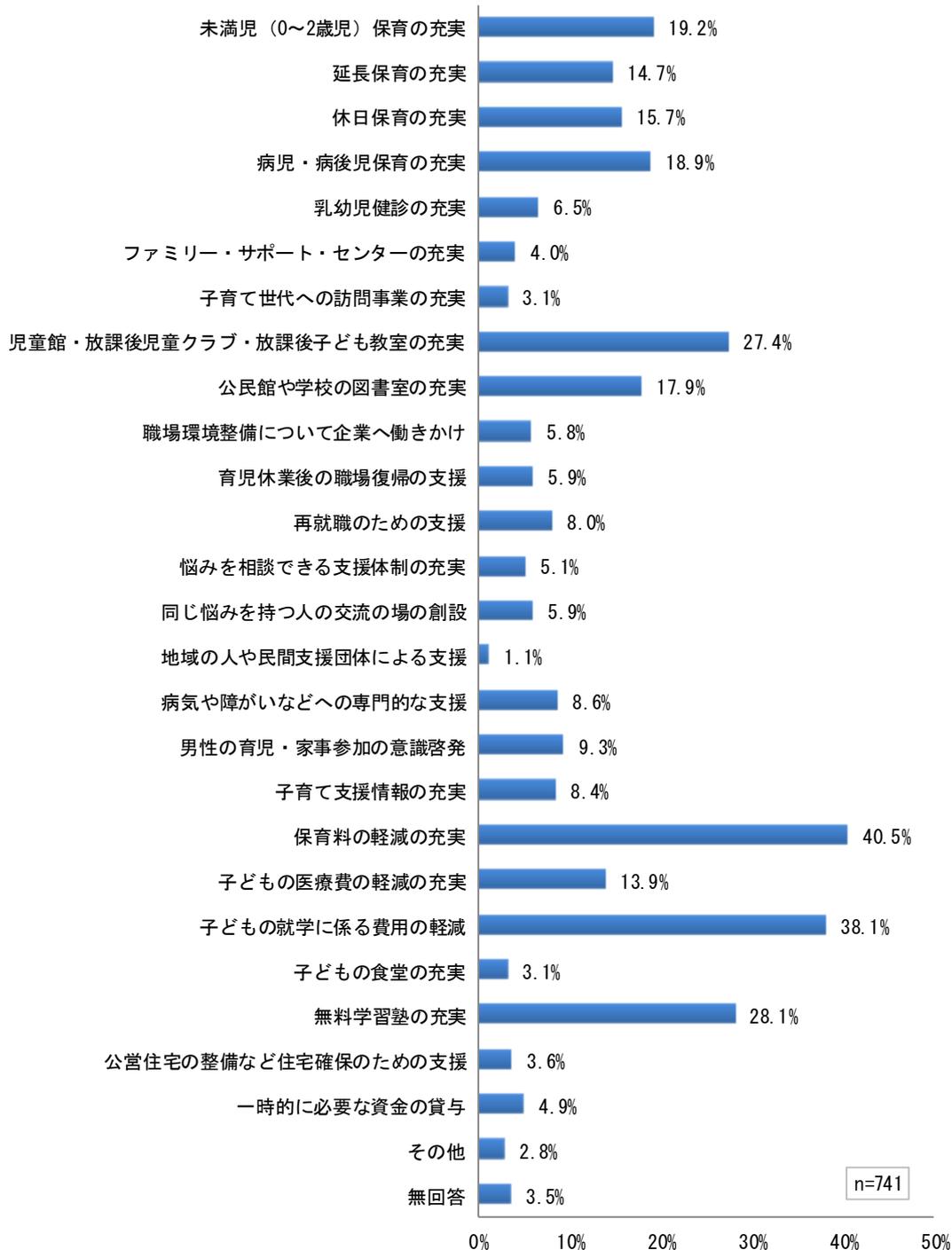
## **第7章 望まれる子育て支援サービス**



# 1 今後希望する子育て支援サービスについて

## (1) 今後希望する子育て支援サービス

問 46 今後、充実を希望する子育て支援サービス



今後充実を希望する子育て支援サービスとして、「保育料の軽減の充実」(40.5%)、「子どもの就学に係る費用の軽減」(38.1%)、「無料学習塾の充実」(28.1%)、「児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実」(27.4%)等、費用負担の軽減に関わる項目が多く希望されています。



## 第8章 自由記述



## 自由意見【就学前】

※掲載にあたっては、意図を踏まえ調査票記述内容に対し一部編集を行っております。

### 1. 市政・まちづくり・公園道路遊び場に関すること

- 道路状況が良くない為、ベビーカーで散歩しづらい。歩道が狭い。電気が少なく夕方暗くなると危険。少し遊ばせるような小さな公園が近くにない。歩いても行けるような場所があると嬉しい。子育てしやすい環境を考えてくださり感謝します。ありがとうございます。
- 子どもが遊べる公園が少ない。遊具が少ない。
- 図書館や、公園の整備をして欲しいです。
- 君津のこっこルームのような場所、図書館が欲しい。
- 富津市川名の交差点歩道に草がはえてベビーカー、歩行者も歩けない状態でしたので草刈りをしました。小学生が歩道を歩けず車道を歩いたのを見たため、小学校の通学路になっているのに1年間草刈りをした形跡もない。またドブ板がなく草がしげっているためU字溝が見えない状態でした。早急にドブ板をつけて欲しい。県の管轄ですが市の方から要望を出して欲しい。富津地区の公園という公園が荒れていて遊べる状態でない。避難場所にもなるので草刈等しっかりして欲しい。道が悪すぎてベビーカーが進みづらい。
- 近所に子供達が集まって遊べる場所がなく、車で遠くの公園に行ったりで、移動も含め、時には遊び道具を持って（自転車、ボール etc）いく事もあるので、ひと苦労。せっかく海があるのに、海辺はゴミが毎回毎回散乱しており汚い。遊歩道があるのだからそこに小さな公園でもあれば、散歩している人、そこに遊びに来る人、コミュニケーションもとれるし利用しがいがあると思う。防風林を植え替えたが、それも手入れしきれていないのでほとんどダメになっている場所も多いし、一部を公園化した方がよっぽど良いと思う。横ならびで大きい公園2つあっても利用価値はほとんど無い。ムダだと感じる。
- 子どもがきれいに安全に遊べる公園の充実を希望。医療費も、200円負担を0円にして欲しい。また、18才未満まで延長して欲しい。
- まだ乳幼児のころ、よくベビーカーで家のまわりを散歩していたときのことで。道が悪くガタガタで、とてもじゃないけど子育てしにくい環境だと感じたことがあります。道の悪い歩道にベビーカーのタイヤがはさまってしまったり、ガタガタ道を進んでいるため娘も眠れなかったりしました。車道はきれいかもしれませんが、お年寄りも多い地域なので歩道をもう少し整備して欲しい。子どもが安心して遊べる公園や広場を作って欲しい。
- もうひとつのお家にはたくさんお世話になりました。あまり知られていないと思うのでもっと紹介したら良いと思う。公園の遊具がたくさんあれば嬉しい。富津公園、ふれあい公園でたくさん子ども達を遊ばせたい。
- 休日に子供たちがのびのび遊べる場所が欲しいです。近くに公園も無いので、車で行くか、市外の公園に遊びに行ってます。
- 図書館や公園を作って欲しい（少ない）。健診や療育相談などは平日しかやらないので働いている人は仕事を辞めざるを得ない場合がある。子供の発達や子育てについて悩みを聞いてくれる施設はあるけれど、療育や具体的な指導など専門職の方が対応してくれる施設が少ないし、予約も取りづらい。保育料が高いと思う。

- 妊婦や子どもがたばこの煙を吸うことがないようにして欲しいです。
- 医療費の軽減や、子育て支援課によるサポートなど、富津市の子育て支援とても感謝しています。富津市には隣の君津市に比べ人口は少なく、インフラにかけられる予算も、その分少ないかと思えます。ですので是非他市と同じものを整えるのではなく、他市に無い魅力的なものを整えて、他市から人が、子育て世代が移り住みたくなるような事業を行っていただけたら嬉しいです。例えば、君津市と同じ規模の図書館をつくるのではなく、君津市の図書館の子供コーナー以上に充実した、子供向け図書館を作るとか、室内子供プールとか。小規模で、子供が、お年寄りが楽しめる場所や施設が充実することが、子育てを支援し、ずっとこの市に住みつづけたくなる、また大人になって戻ってきたくなる市づくり、町づくりになるかなと思いました。（他市が視察にくるくらい子供とお年寄りに力を入れて欲しい。飛行場とか新しい第2のアクアライン的なものより、小規模で時代の変化に応じてやり変えられるインフラと、サービス。新しく公園をつくるのではなく、今ある古墳を古墳公園にするとか。まだまだ富津には魅力的になれるところがたくさんあるように思います。
- 学校へ通う子供達のために歩道を充実させるべき。もちろん障害のある方の為のバリアフリー。夕方、部活やクラブ帰りの子の為の街灯の見直し。他の市にくらべて、危ないと思う所が沢山ありますよね。
- 富津市は保育料が高いのではないかと。とても通学路とは思えない道の悪いところが多い。子育てしやすい街づくりをお願いしたいです。
- 産婦人科が富津になさすぎる。子どもが遊べる公園（ブランコや滑り台など）がある公園が少なすぎる。雨天の時でも遊べる施設を作って欲しい。エネルギーパークをまたやって欲しい（無料で入れ子供もいろいろと学べたので）。
- もう少し、小さくていいので公園を充実させて欲しいです。
- 1歳6ヵ月健診の次が1年後となる為、2歳でもやって欲しい。公園に遊びによく行くが遊具（乳児）が遊べるものが少なく、ブランコで遊びたがるがひざ上に乗せるか、子どもをおさえて乗せている為、赤ちゃん用の落ちない（足を入れて座らせることができる）ものを少し増やして欲しい。公園の草がのびすぎていて遊ばせたくても遊ばせられない時がある。
- 小・中学生の通学路の整備。あまり通らない人などが通学路と分かるように標識などを設置して欲しい。
- 県外から来たが地域の情報の入手の手段がわからない。
- ベーシックインカム制度を日本で初めて導入して欲しい。ほとんどの人が、仕事に追われ子供との時間がなくなり、いつのまにか子供が大きくなっているのが現状だと思う。働くのももちろん大事だけど、幸福度がこんなに発展した日本で低いのは、人間関係が希薄になり、仕事に追われて人生が終わっていくからだと思う。みんながやりたい事に時間を使え、ある程度のお金が毎月保証され、子供という時間を持つ事ができたら、人口も増えるし、魅力ある市として一番になると思う。
- 公園の遊具の充実と、砂場をきれいにしたい。
- 北九州市若松区にある「グリーンパーク」という施設は、とてもすばらしい施設です。市が運営しているところです。下関にある唐戸市場も、多くの人が利用してます。富津市、海、山の食べ物が豊富だから、これを活かせる事業を考えるといいなあーと思います。折角、週末に県外から多くの人がきているのにもったいない。高齢者も大切だけど、若い世代が住みやすい市となって、

全国区で有名な市となりますように応援しています。

- 公園に遊具がない…それ以前に、草ボーボーで子どもが全然遊んでいなくて悲しくなります。君津市は図書館、中央公園、こっこルーム…と充実しているうらやましく思っています。子どもが安心してすごせる、遊べる場所があるといいなと思います。
- 近くに産婦人科が無い。子供が楽しく遊べる公園が少なすぎる。
- 富津市をもっと楽しく遊べて暮らせる町になって欲しい。イオン富津も閉店ばかりで遠くまで買い物に行かなくてはいけないし、楽しい公園も少なく君津や木更津まで行かなきゃいけない。
- ふれあい公園は、だっ広い広場だけのような感じがして、子供達だけで、遊んできていいよ、と言えない。雨天時、遊べる場所がない。
- 全ての公共の場にオムツ替え台や授乳スペースをつかって欲しい。子どもがあそべる場（サッカーとか）をふやして欲しい。キレイにして欲しい。（トイレも）・富津市に耳鼻科をつかって欲しい。君津方面にばかり病院があっっていくのが大変。
- 子どもが少ない環境なので、同年齢児と一緒に楽しめるような行事や場所を増やして欲しいです。公園がありますが、劣化している所が多く見られたりいつから使用している物か分からない遊具があったりするので、点検の方よろしくお願ひします。古くてキケンな物も多く、撤去するか新しい物にするかして欲しいです。サビが多く、以前遊んだ時にケガをしました。
- 近所に子どもを安全に楽しく遊ばせる場所がない。公園があっても、サビが多くキケンだと感じる所が多い。全体的に施設が古く汚い。健康づくり課とは名ばかりで、定期的に行われている健診にギモンを多く持つ。富津市は、他市よりも検診が多いと自慢気に言っていたが、回数が多いだけで、中身が伴ってないように感じた。頼れる保健師がいない。
- 新聞をとっていないので、富津市の事などよく知らない事が多いです。ホームページもいまいち見づらいですし、必要なければ調べたりもしないので、回覧板などに、今月はどこどこでこんな事がありますよ、しますよ、みたいなプリントがあると、行ってみようかななどもっと興味も出るし、参加するきっかけになるのかなぁなんて勝手ですが思います。
- 大貫に住んでみて、そして妊娠出産をし、子どもがいて初めて気づいたのですが、あまりに公園がなくて君津の公園、富津公園（共に車で）まで遊びに行く始末。ほんとに公園がない!!そうなる若夫婦は大貫に住もうとすらしないかと。公園に行く子どもを遊ばせる場所=母親も外へ出ることでのリフレッシュになる。その公園、気軽に行ける小さな公園が欲しかったなと思います。だからなのか、近所に同世代の子供がいません。小学生すらいません。小学校へ入学、登校、この先不安。
- 子供が不自由しない環境や支援をお願いしたい。
- 公園が少ない・街灯が少なく、夜になると暗い。子供が大きくなって帰りが遅くなると心配。
- これまで富津市で育児をしてきて、市のスタッフ(特に健康づくり課)の方は、かなり親身になって下さいました。市の職員ではないものの富津保育園にもほんとうに良くしていただきました。吉野地区では、公民館がないので、行くとすれば道路や大きな交差点をわたって中央公民館まで行かなくてはなりません。(子どもだけで訪られる。)コミュニティセンターや公民館のような施設があれば、お年寄りから書道や詩吟など教わったり、地域で子育てを進められるのですが…。吉野地区での地域学習の場があったらな☆と思います。
- 小学校までの通学路に歩道を作ってください！大変危険です!!歩道もなく住民の植木が成長すぎていて歩きづらい道を、ランドセルを背負いながらこれから通うと思うと不安でたまりません。

事故が起きてから対応しても遅いです！大型ダンプやトラックもたくさん通っているので早く対応して欲しいです。

- 家の近くに大きな公園があるといいです。通学路のボランティアさんが増えてくださると助かります。子供医療費0円だとうれしいです。
- 休日や雨の日に遊べる場所が無いので考えていただきたい。こどもが減ってきているので、子育て支援事業の拡大をして近隣の市から子育て世代が富津市へ引っ越してきてくれるようになって欲しい。富津市の良さをアピールした子育て支援事業を！！
- 図書館。子どもが思いきり体を動かせる大きな公園の整備をぜひお願いしたいです。子どもたちが心身共に伸び伸びと成長できる市になって欲しいと心から願っています。
- 休日(土日等)に子供たちを遊ばせられるような場所が欲しい。
- 児童館や図書館、雨の日でも過ごせる施設が市に欲しいです。
- 子育てと支援センターの利用もしましたが、子供がまだ小さい時は屋内でももう少し広い空間で遊べるといいなあと思います。君津の子育て支援センターは体も動かせるのでよく通っていました。おもちゃだけでなく少し走れるような所があると、飽きずにいれるのでお弁当もってゆっくり過ごせます。屋外では、公園(大きいもの)が1つできれば、人が集まって交流しやすいかなあと思います。小さいうちは、リトミックやリズム、ダンスなど無料の教室があるとステキかなあと思います。
- 市民会館の辺りに子供の遊べるスペースがあるとうれしいです。
- 大人・老人が子供に不寛容である。→啓発活動が必要。子どもの遊び場がない。公園はボロボロで整備されていない。修理して欲しい。公民館は大人の人だけで使用し、子供の声がうるさいと言われる。もっと地域で子供にあたたかくなって欲しい。もちろん、子育て側の親もルールを守って使うことは前提。これじゃ他地域からもこないなー、若者も戻らないと思う。
- 恵まれた自然環境を活用し、子供が増えるような政策を考えて欲しいです。近くに公園はありますが、鉄棒がありません。雨の日に遊びに行く場所は遠すぎます(他市・他県)。市内の支援事業や施設は青堀地区に集中しています。ご老人と幼児が共に過ごせる施設があると、地域が活性化すると思います。また、交通網についても、利用者が少ないから減らすのではなく、利用しやすくしてもらえたら利用者が増えるのではないのでしょうか。子供が一人でも乗車しやすい環境や、バリアフリーの推進など、「あったらいいのに…」と思うことが多々あります。街灯の数も少ないので、小学校や中学校の通学も心配です。車ありきではなく、車がなくても生活しやすい育児しやすい街づくりを期待しています。
- 子供の医療費を200円ではなく無料にして欲しいです。子供の遊べる土日祝でも屋根付の冷暖完備の施設を作って欲しいです。
- 図書館の充実を望みます。(ネットで在庫確認や予約ができたりするシステム、大型施設)支援センターでのイベント、講習会の充実希望。保育料の認定の階層(市民税所得割額課税世帯)が大まかすぎる。もっと細かく区切りをつけて欲しい。他の自治体はもっともっと細かく設定されている。4区切りなんて少なすぎると思います。これでは子育て世帯の移住者(転入など)は増えないと思いますよ。
- 市民会館などで富津南部地区に遊べるスペースがあればいいかと思います。小児科の病院でも受付前などにベビーベッドがなく不便な時があった。
- 小さな子供を連れて天気が雨の日でも室内でゆっくり遊べるような所があると良いと思います。

富津市は中心の地域まで行かないと遊ばせてあげられる場所がないので、どうせ遠くに出るのならと、館山市にある“げんきな広場”をよく利用しています。近くにスーパーもありほんの少しの時間なら預けてちょこっと買い物をする事も出来、保育士さん(?)がいて便利だよと知人から教えてもらいました。預かってもらった事はまだありませんが広くてきれいなスペースに自由にお茶も飲む事が出来たり、おさがりの交換会や子供の髪のカット教室、英語で遊ぼう(?)などいろいろなイベントがあり楽しいです。外には砂場、夏には水遊びも出来とても良いですよ。子供用のトイレもかわいいです。お昼にはお弁当を持って行って食事スペースで知らない人同士テーブルを一緒に使ってごはんを食べたり、富津市にもこのような場所があったらいいのになあと思います。私が知らないだけかしら。とてもくつろげるので子育て中のイライラもそこで解消しています。富津市には海も山もあるのでそんな良い所を利用して子育てしやすい場所をつくっていただけると良いのではないのでしょうか。

- 日本全国で一番子育てしやすい市町村を目指して下さい。他の自治体でよい事例も沢山あります。若い世帯が増えると、色々と活気が上がり経済効果も上り、人口も増え、良い事ばかりです。効果がでるまで時間が必要ですが、今が一番大切な時期です。危機感を持って、取り組んで頂けるよう宜しくお願いします。
- 小さなうちは、おひさま広場など利用していましたが子供が大きくなるにつれ、きょうだいがいないので子育てが塾に入れなくてはなど、考えなければいけない所が辛いです。子供が安全に、安心して遊べる場所が少なく悩んでおります。また、就職先の少なさも、地方になると少なく田舎から出ていく方が多い気がします。
- もっと近場に遊具公園があれば良いです。車でわざわざ20分もかけて行くのも面倒なので上総湊の公園に遊具を作して下さい。
- 人口対比でしようが青堀地区等に比べて天羽地区に公園が無いのが残念です。空き地は川沿い等に見受けられますが、散歩がてら行ける公園がなく車移動でのお出かけになると、近隣に身よりのない人は億劫になり出かかず、密室育児に陥りよくないのではと思います。天羽地区にも子育て予算を割いてもらいください。小学校も合併等これからの子育てに不安が大きいです。こうして意見を聞いて頂ける機会を与えてくださり感謝しております。ありがとうございます。あと地域柄、三交代や一次産業の方が多いと思います。そういう方は土・日・祝もシフトで働くので、そういう方へのサポートもあると良いと思います。
- 図書館がないので、君津まで行くことに、不便を感じています。将来、子供が通学、通塾するに当り、高速竹岡バス停の存続、路線バス(上総湊-金谷間)の増便を熱望します。公園に鉄棒やジャングルジム等の遊具を増やして欲しい。公園(上総湊公園等、広く人のいない公園)の警察官による巡回をして欲しい。
- 子育て講座の拡充(土日関係なく行って欲しい)君津、木更津に申し込んだとしても、市の人優先の為、受講できない事が多い・支援センターを知らない人が多すぎる・富津市に産婦人科がない(産科が欲しい)・少人数中学校の部活動の種類を増やして欲しい(地区の中学校にやりたい部活がないため、学区外の中学校に行くことになるのと近所に友達がいなくなってしまう)千葉市などにある商業施設内の子育て支援施設があるといいと思います。
- 子どもが集まる公園をつくって欲しいです。休日は他者との交流がなく、自宅での遊びで独立してしまっている。
- 遊具などが充実した公園が欲しいです。お休みの日は自然と子どもが集まって交流も深まるので

は。子どもが遊ぶ場所がないので。

■児童館、図書館などの施設が欲しい。

■市役所（行政センター）におむつ替え、授乳の場所（部屋）を設けること！色々やる前にまずコレ！

## 2.子育て支援サービスに関すること

■初めての妊娠で不安だったのでマタニティのサポートがもっとあると嬉しかったです。（母親・父親学級など）

■両親が富津から遠く、2人目出産の際身寄りがなく、とても大変な思いをしました。（夫は単身赴任のためほとんど家にいません）市内にベビーシッターが頼める所があったら、少し違ったのかなと思います。0ヶ月～4ヶ月乳児のいる母親の支援が手厚いと、移住を考えている子供を持ちたい家庭の方などに響くのではないかなと思います。都内が近いのはかなり魅力的です。富津はとても良い所なのでうまく子育て支援を活用して欲しいです。

■もっと気軽に一時預かりを利用できるように早急に改善して欲しい。電話すると預ける理由を必ず聞かれて、リフレッシュとは言いにくいし、聞いておきながらその日は行事の予定が入ってるとか、保育士の数足りないなどの理由で断られる。リフレッシュ以外の理由なら預かるのか？！定員いっぱいに入園させるのではなく毎日2～3人程度預かれる余裕をもたせてはいけないのか？（0才～3才児）共働きの子供は保育園に入れるからいいが、専業主婦の子供は一時預かりすらしてもらえないのは不公平を感じる。公開保育の日数も増やして欲しい。保育園によって給食の量が違いすぎてビックリした。その日がたまたま少なかっただけなのか、他の日も実際に確認したい。公開保育の時期ももう少し早めにしてもらった方が検討する時間ができるので助かる。

■子育て事業内容の全般についてあまり周知されていないように感じているので積極的な情報の提供と、妊婦との「人與人」のつながりを大事にする事業を行って欲しい。加えて、核家族の低所得化が進んでいる傾向にあり、消費税の10%への増加に伴い、「子供を授かる」ことへの財政的不安が大きくなっていくことは今後予想されるのでより更に質の高い子育て支援を求められていくので、事業内容の深化とニーズに応じた施策に期待する。最後にこの調査がより質の高い子育て事業に反映されることを切に願う。※個人的には短期的な支援より長期的に渡る支援の方が市民の信頼獲得には効果が高いと思う。

■相談をしたときに聞くだけでなく、解決方法など導いてくれることがなく、相談をしなくなりました（子供が5か月頃）答えが欲しい、どうしたらいいか教えて欲しい。でも聞いても何も解決しなかった。

■祖父母手帳のような冊子があればいいなと思います。

■長男を出産してから10年後に次男を出産し、だいぶ子育て支援が変わったなと思いました。予防接種も集団から個別、保育料の（二子、三子）軽減、健診等も親の動きやすい方向へと変わっていったと思います。正直、納税が子供に使われる事は大変いいと思います。未来のある子供達には！！金銭（子供手当等）より小～中学生は（給食、制服、体操着）完全無償化の方がありがたいです。

■この10年でだいぶ良くなったと実感しています。金銭支給では無く小学校、中学校で皆が利用使用する制服、体操着、同一ランドセル等の支給の方がありがたいとは思ってます。私は富津地

区なので中学入学の時点で自転車を購入したり、大雨の日はバス利用等近隣の子供達より少しですが負担もありますので年に数回のバス回数券補助なども助かります。

- 圧倒的に祖父母のサポートが受けられる家庭が多いので、サービスする側もサービス内容の幅がせまい。変化が少なかったり、実状とズれている印象。サービス受ける側も、祖父母というサポートがあるから行政にあまり求めていない。だから、あまりいいものが生み出されない、発展しない。そうすると、核家族はとても住みにくさを覚える時があります。やはり都会とは違うことを感じ、比べてしまいます。ファミリーサポートセンターも実態がよく分からないので、体験日をつくる、サポートしてくれる人を招いた説明会など、もう少しアピールしてもいいのではないかと思います。
- 支援センターが少ない。友人がリフレッシュの為に一時預かりを申し込んだ所、断った（リフレッシュでは受け付けられないと言われたらしいです。）保育園もあるそうです。他の市と比較して子育てに関して支援が少ないと思います。市の母親学級もあつたら良いと思います。病院では市内の方と知り合える機会が少ないからです。なかよしができたのはうれしかったです。雨の日でも遊ばせる事ができるので時々利用しています。悩みをよく聞いてもらえるので職員の方に感謝しています。
- 会社でフルタイムで働いていますが、子供が風邪をひいて熱を出し、迎えに急に行く…ということなども含め、仕事でどうしても抜けられない時など、代わりに預かってみてくれたら…と思うこともやはり何度かあります。まだまだ、女性が働くには厳しい環境です。子育て支援に全力で、力を注いでいただけたらと思っています、あと、富津市には図書館（規模が大きい）がないので、それも充実させて欲しいです。
- チーパスが毎年変更するのに届かないから利用できない。切り替る前に届くようにして欲しい届かないとチーパスがある意味がない。
- 言葉の発育に不安を感じ、市の無料相談を利用した事がありますが、対応した相談員の態応があまりにひどく、私だけでなく同席してくれた母まで傷つき怒りさえ覚え、それは数年経った今も忘れられるものではありません。以降、市からお電話もいただきましたが、「市の無料事業」への不信感から、子供に関するものは利用していないし、したいとも思いません。思えない、と云う方が正しいでしょうか。今でも同じ対応をされ、辛い思いをしている母親がいないか、そう思うだけでも怒りがあらたになります。せめて誠実で、丁寧な対応をしていただきたいと思います。妊婦も母となつてからも、不安は続き、家族以外の助力を切に求めているのではないのでしょうか。うちの子はダメなんだ。そう思って泣いたあの頃の記憶は、私をこれからも苦しめると思います。市民にそんな経験をさせるような事は今後ない事をいひます。
- 妊娠中、母親学級への参加を希望したら、富津市では行っていないので、何かあれば個人的に相談に来てくださいと言われ、君津市の方へ問い合わせ、君津市の母親学級へ参加しました。初めでの出産で不安もあり、気持ちを共有できるママ友等も欲しいと思っていたのに、残念でした。現在4才の子どもは外で遊ぶことが好きですが、公園が少なくいつも決まった公園ばかりになってしまうので、新しく公園を作ってもらいたいです。
- 出生届を提出しに行った際、児童手当や色々な手続きの事は何も言ってくれなかった。子育て支援などを言っている割には職員1人1人の意識が足りないと思った。出生後はしばらく他市に住んでいたが、定期検診や母子教室などのハガキが来ていたが、富津市は回覧板などでざっくりとしかお知らせがないので、ファミリーサポートなど言われても何をするとところで、どこでやって

いるのかさえもわからない人が多いと思う。利用して欲しいのかしてほしくないのかわからない。もう少し積極的にやって欲しい。

- 6ヶ月の子供の母ですが、他の市よりも子育てに関する集まり（市が主催する）が手厚いと思った。初めての育児で不安がありとても助かった。チーパスの有効期限が切れた時、各家庭に郵送して欲しい。取りに行かなければいけないのが大変だった。
- 信頼できる産婦人科が近くにない・ファミリーサポートセンターの事業を利用してみたいと考えたが、サポートしてくれる側の情報（どんな人が、どんな所でみってくれるのか）を少し知りたい。
- 産後8か月で富津市に越してきました。以前の住まいの君津市と比べるとやはり子育て支援が不足しているなぁと感じます。医療費 200 円も君津は無料でした。公民館サークルの「かいじゅうクラブ」に参加していますが、とても良いサークルなのに、富津の方が少ないのが残念です。わらべうた教室は月一以上やって欲しいです。ママ友づくりになりそうなので・・・感じてることをつらつらと書き、意味不明だったら失礼します。これから子育て支援事業がどのように変わっていくかととても期待しています。
- 多胎妊娠・育児・出産に対してのサポートを充実させて欲しい。
- 近くにたくさんの産婦人科があると思いますが、パッと見て一目で分かるようなパンフレットとかあったらよいなと妊娠中の頃に思っていました。（入院費や場所、その病院の連絡先）。保育園や幼稚園に行っていない子供たちが遊べるような場所の案内が欲しい。土地勘がない人間でもわかるようにして欲しい。また、ママたちが仲良くできるようなところも知りたいです。子どもが生まれてからももらえるお金を、毎月にして欲しい。（まとめてもらうより、毎月一定の金額もらったほうが子供にあてやすいと思います。）
- 君津市や木更津と比べると子供を持つ母と知り合える所、支援センターや母親セミナー、学級みたいなものが全くなく、誰とも知り合えないです。富津の人と会えないので君津の学級などに行っています。富津市にも子育てのことを勉強できる所や、いろんな人と知り合い、情報交換できたり、子供と体を動かしたり、音楽スポーツ、美術など、親子でいろんな体験経験ができるの良いなと思います。良い公園があるのでそういう公園などでイベントがあったりするといいなと思います。いつも（平日）公園へ行っても誰もいなくて寂しいです。
- 出産まで可能な病院が富津市は少ないと感じました。歩道が極端に狭い道路が多いので、子供と歩くのは怖いと思う場所が多いです。市役所の方に、とても冷ややかな職員がいます。もちろんとても親身になってくれる方もいますが、そういう対応の職員がいると、窓口に向くのも苦痛になります。
- 富津市は乳幼児の健診など、子育て支援が充実して安心できます。これからもよろしくお願いたします。
- 問 31 の事業の事がすごくわからない事が多くてびっくりした。どうして子供が2人もいて知らないのか不思議です。父親は富津育ち富津で仕事をしていますが（職場に女性もいます）ほぼ知りませんでした。青堀駅を利用したくても不便で利用できない（エレベーターかエスカレーターを付けて欲しい）。
- 未就園までは支援センターを利用できたけど、入園した途端に身内以外に相談できる人がいなくて子育て等情報を取得するのに困ったことがある。今ではお友達やママ友も増え、園にも何でも相談できるが、最初の子の時は周囲になかなかなじめなかった。乳児の頃、子育て相談（市役所）を利用した事があるが、本に書いてあるような、ネットで調べればあるような模範解答しか聞け

ず悲しくなった。（わかってもらえなかった為）でも、もう1人の人（二人体制）が帰りがけにフォローをしてくれたので、心は救われました。

■今まで何度か乳幼児健診に参加しましたが、毎回疑問に思う事や不快な思いをします。離乳食講座では栄養士が市販のベビーフードを悪く言い、使用を控えるように話し、手作りこそが愛情と言わんばかりです。就労している女性の出産を後押ししていると思えません。私自身2人目を欲しいと思えなくなりました。又、保健師さんや栄養士さんは有資格者であるからか、私が彼女たちより年齢が低いからなのか（実際には私より若い方もと思う方もいますが）相談をした際も否定的で相談乗る気があるのかと感じました。公立の保育所を利用していますが、入所後（4月の中旬に）説明会を実施するのはおかしいです。入所前に冊子を配り、諸々の説明をするのが筋かと思います。不満ばかりの記載で申し訳ありません。

■君津市や木更津市のように市が運営する支援センターを作って欲しいです。保育園等で園庭開放や子育てサロンをやっているのは知っていますが、正直“今日行っていいのか？”と考えてしまったり、Telするのも億劫だな…とあってしまい、“気軽に”利用しづらいです。その点、子育て支援センターなら、急に思い立っても気軽に行けるし、友達も利用して仲良くなったりとメリットがありました。でも、やはり遠い？近くはないので子どもの生活リズムを考えると1~1.5hくらいしか居れず…かわいそうなことをしてしまうこともしばしば。富津市にも市役所内ではなく、どこかに施設として建てて下さるとママたちは助かると思います。私的に市役所に支援センターとして行くのは少し勇気がいるので行きづらいです。近所のママさんたちとも同様の話しをし、同じ意見の方も何人かいました。

■富津市の子育て支援センターが2つしかなく、開いている曜日も限られているため「この日しか・・・」ということが多いです。なので、君津の支援センターに行くことが多く、富津ももっと子供のあそび場（雨天でも遊べる）が増えるとうれしいです。大貫方面は児童遊園地（公園）が少なく汚かったり手入れがされていなく、わざわざ富津公園などに足を運ばないといけない。保育士さんや保健師さんたちはとても優しい方が多く、あたたかいです。

■富津市は子育てに関する支援サービスがとても遅れています。名前ばかりで中身が充実していないものばかり（イクトモ、公園、支援センター、公民館、学童、・・・）1つ1つ丁寧に中身をしっかり見直して欲しい。市役所の人々が忙しすぎるのか、やる気がないのか、税金をもらって働いているのだしもう少しやる気を見せて欲しい。「なかよし」も名前ばかりで利用したい！！とはとても思える場所ではない。ちょっとした工夫で変わるのに……。子育て日本一なんてかかっているのが信じられない。あんな狭いところで週に何日かだけの「なかよし」をととても良いとは思えません。近隣の市を見に行ってみて欲しいです。お金をかけずアイデアとやる気と雰囲気良くすることはいくらかでも可能です。

■知らない支援もいっぱいあるのかも感じています。利用できる支援を有効に活用したいと思っています。

■土日は行くところがなく、君津の支援センターやイオンの遊び場に連れていくしかありませんでした。土日がくるのが泣けるほど嫌でした。家にこもりがちになり、とても憂鬱な日々もありました。子供の気持ちを満たさずやれない自分や環境に切なさを感じ苛立つこともありました。あの日々、私はどこに誰に頼ればよかったんだろうと考える時があります。きっと今もそう悩んでいる母がいるのだらうと思います。子育ての環境や支援の充実に関心から期待します。

■第3子、保育料無料には本当にありがたかったです。富津市の子育てSTAFFは良いのに支援

センターは、場所の変更や受付時間が短かったりして使いにくい部分もありました。君津みたいに、曜日問わず毎日、同じ時間に受け入れてくれるとありがたいです。

■子育てについていろいろ対策を取って頂いていることにいつも感謝しております。個人的な意見としては、子どもを産んだ以上、育てあげることが親のつとめだと思って日々育児をしております。乳幼児を預けやすい環境を整えることが理想的だとは思いません。本当に子どもが小さいうちから働かなければいけない状況の家庭か、ただ親が楽をするためだけに早くから預けようとしているのかを見極める必要があるのではないかと思います。子どもの精神状態を乱さないような働き方を推奨することは大切だと思います。

■市でやっている月齢健診や、離乳食教室は同じ月齢の子とのふれあいや親同士の交流の場ともなりとてもよかったです。

■子育て支援センターが保育所と一体になっていると行きづらい。支援センターだけの場所が欲しい。公園の充実を。

■子育ての遊ばせる、相談する事業について。場所の提供ではなく、コンテンツの充実を重視して欲しい。集客力、市のブランディングにもつながると思って子育て事業に取り組んでもらいたい。1回きりの事業でなく次につながるような企画を期待します。

■3人目の保育料が無料になり、とても助かりました。天羽地区に遊具などがある公園が欲しいです。就学前健診が学校から市役所になり残念です。人数も増えて時間もかかり、兄弟がちょうど体調をくずし1人で留守番させる事になり、学校だったら気持ち的に「すぐ帰れるから待っていてね」と言えたが、市役所だとすぐに帰れなくて困った。残した子供も不安がった。人数が少なくなり全体でやる方がいいとわかってはいますが…。せめて、地域ごとにするとかが良かったのではないかとまわりのお母さん達も話していました。

■育児における父母の相談窓口。両親のみで育児している方のサポートなどを充実させてください。

■他市に比べかなり劣っているため、早期の充実を図られることを強く望みます。

■出産後、家事など親の支援をあまり受ける事ができず大変でしたので、家事代行などしてくれる会社を紹介していただけるとうれしいです。

■富津市の子育て支援は、保健師さんが訪問して下さったり無料で利用できる支援センターがあったり、こまやかであたたかいものがあると思います。子どもの教室なども（健診）ちょこちょこ開いて下さるのでいいなと思います。ただ、教室（0ヶ月児教室のような）がどうしても、プリントや資料の説明で終わりがちで、ママさんたちも子供たちの世話に追われてあまりじっくり聞けなかったりするので、もっと交流型体験型の教室になると、ママさん同士のつながりもできるし、市の方でもどんな母子、親子かの把握がしやすくなるのでは？と思います。声かけの仕方や体遊びなど、もっと地域ごとなどの小グループに分けてお話しみたいじっくり触れ合えるのもよいのでは？などと思いました。

■未熟児の赤ちゃんを産んだので、同じような家庭と話ができる場があれば良かったなと思いました。実際に育てた人からの情報があれば子育てしやすかったかなと感じました。

### 3.妊娠期・子育て環境・生活環境に関すること

■富津は、健診・教室など頻繁にあるからありがたい。君津にある学習支援センターみたいな所があったらうれしい。

- 子どもが参加できる公民館活動（サークル）がもう少しあると利用したいと思っています。働いているお母さんが多いので仕方ないですが、平日昼間の母親学級のようなサークルがあると思います。体験型（フラワーアレンジや座禅など）の教室があれば子育ての息抜きやママ友との交流の中で悩み相談等ができて良い。上記は暇な主婦の要望で魅力的な市の取り組みには良いが、本当に支援を必要としている人は毎日の生活でいっぱいなのでこのアンケートも手にとる余裕がないのではと危惧します。元気なシニアを利用した子育て支援も良いと思います。
- 子供が生まれた月によって育休が1年取りづらい。また、育休延長は2年間に延びたけれど、他の市役所などは2年間取るのが一般的で、民間は1年も取りづらいから、最初から育休は2年間として欲しい。生まれたばかりの子を1年未満で預けて仕事に戻るのがとても嫌だった。
- 男性の育児参加、家事参加の意識啓発を社会全体で行って欲しいと思います。
- 妊娠中に市役所等でのマタニティ教室や両親学級などをもっと充実させて欲しいと思った。
- 妊娠中、市で両親学級（母親学級）をしていなかったものでこれからの方のために、ぜひやっていただきたいです。
- 出産してからは特に、市での健診など定期的に行われていて同じ時期に生まれた子たち、ママたちと情報交換ができたり成長が見ることができて、参考にもできるし、共感もできる。女性トイレにはオムツ替えシートがよくありますが、男性トイレにもつけて欲しい。パパが連れて出かけている時にベビールームまで行かなきゃいけなくなるので。
- 妊娠期の時に他の人（妊婦）と交流する場所が身近に欲しい。支援センターを利用できる日を増やして欲しい。未満児の保育園入園枠が増えると嬉しい。
- 妊娠中に参加してみたいと思うような支援サービスが何も見当たらなかった。又、子どもが産まれてからも支援センターに行ってみたいと思ったが、保育園内だと門が閉まっていたり入りにくい。園庭開放も何度か行ってみたが「連絡してから」と言うので電話するが、対応が雑なことが多くこちらが萎縮してしまう。どうしても君津と比べてしまうので、支援センターや図書館公民館の活動、こっこルームなど、参加してみたいと思う。行きたいと思う場所が多いのに、子育てしやすい町とは富津市は程遠い。公園はいくつかあるが、遊具は小さい子供は遊べない。公民館のサークルも子育てサークルは少なく、小さな子供がいると他のサークルの老人達から冷たい目で見られるし、館内も古く、使用しているのかわからないような物が沢山あり危険。小さな子供が安心して遊べる場所や室内の施設があって欲しい。
- ファミリーサポートの会員数が増えて欲しい。病児保育をして欲しい。
- 「ピーターパンの家」が大好きです。先生達がとても親身になって下さり、癒しの場です。毎週木曜が楽しみです。
- 富津市は同じ生まれ月で集まるので、ママ友ができやすくよかったです。
- 富津市は就園前の子供同士、お母さん同士が知り合える場が少ないと思う。例えば君津市なら、妊娠期から月1くらいで母親学級があったり、産まれてからも月1で赤ちゃんの測定があったり、顔なじみになれる機会が多かったが、富津はなかったので知り合いがほぼできずに就園になってしまい、不安があった。もっと情報を発信して、子育て中の母たちが集まれる場があればいいと思う。
- 君津市の様な子育て支援センターを作ってほしかったです。君津市はこの子育て支援センターの他に「生涯学習交流センター」に「こっこルーム」という児童・保育室があります。この2つの施設は子育てをするにあたり、とてもいい施設だと思いました。→「なかよし」は狭いので利用

するにも不便です。富津市にはこのような施設がないのでとても残念です。子育て支援について富津市は、遅れてます。

- 信号のない横断歩道で、子供と手をつないで待っているのに、車は止まってくれないし、逆にあおられたりする・・・とてもこわい所だと思った。
- 君津のこっこルームのような施設が富津にも欲しい。予防接種をすべて公費にして欲しい。
- 図書館、支援センターなどママ友との集まりや、普段の子供との生活で利用したい場所や親子での無料参加イベントはすべて君津市。わざわざそこまで行かないとない。もう少し子育てしやすいようになるといいのですが…。
- ファミリーサポートの会員数が増えて欲しい。病児保育をして欲しい。学童を 19 時 30 分までにして欲しい。
- 保育所の行事が数年前から平日に行なわれるようになりました。発表会等はぜひ見に行きたいと、どの親も望むものだと思いますが、子どもの体調不良への対応だけでも休みを使っているのに、非常に大変なことだと思います。
- 妊娠から今まで健康福祉部の皆様多くの支援をいただき本当にありがとうございました。富津市は子供を大事にしてくれています。
- 妊娠期の母親学級（父親学級も含む）みたいなものを、富津市主催で開いてくれたら（今は病院主催）出産前から子育て仲間が近隣で作れるのでいいのではないかと見直しを欲しい。第1子、第2子といるが、やっとの思いで連れて行ったけど、得るものよりも凹んだ気持ちになって帰宅することが多かった。特に0歳の時期。一方的な指導が多く、教科書通りにいなくて自分は悩んでいるのに、できていない部分を頑張りが足りないと言われていて辛く感じていた、赤ちゃんが主役の話題ばかりなので、母親が主役で元気になれるような時間を作れないか。保健師、保育士、栄養士だけでなく、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士など、より多くの専門職が参加し、母への情報提供ができ、行って良かった！！と思えるような健診にして欲しい。
- 妊娠期に安静を必要としている家庭で、子どもと一緒に自宅で生活する場合、市からの支援や育児保育施設等の充実を図って欲しい。
- 小学校下校時にパトロールして欲しいです。寄り道して帰らない子供たちを不審者から守って欲しいと思います。
- 素直に、富津市の大自然の中で子供を山や海の四季に触れさせ育てられるのはとても嬉しいです。自然の中で子供を育てていきたいです。でも、地区に同じ年頃の子は少なく小学校までの道のりは草や廃墟などうっそうとしたところもあり、実際親である私も学生の頃危ない目に遭ったことがある。もし共働きをするようになったら誰がどのように距離のある登下校中の子供の安全を見守るのだろうと、想像すると富津市を離れたくなります。また、富津市が老若男女さまざまな年代に愛される市であるなら、例えばお年より子供に満足されていると聞く、東京の葛西のように医療費や公共の施設設備が整っていたらありがたいと願います。実際に住民の声を集め現実的に富津市なら何をどのように実現できるのか、どうしたら富津市がどのように変わるのかを考えていただきたいです。葛西に住む友人より聞く子供の医療費がかからないことや、葛西臨海公園で遊ぶ様子を見ればうらやましいですし、施設の充実さから富津市から遠く離れた船橋アンデルセン公園まで行って過ごしてしまいがちですが、同規模の施設が富津市にもあったならと思います。施設をつくるにも設備投資もバカにならないですし、そもそも無駄に富津市はバカ広い公園が沢

山あると感ずるのでそれに設備を肉付けで整えたらどうかしら？と思うし、管理をするためや施設に大なり小なり売店や飲食店などをいければ、雇用や利益もうまれるのではないかと思います。市内で週末も過ごす市民が増えるのではないのでしょうか？アクアラインで向こうから来る人も木更津を目当てでくる人も利用に寄ると私は思います。よく国内のニュースにもなる給食費未払問題など、もし富津市で給食費など無償化したら子育て世代には魅力の一つになり富津市に住みたい気持ちへのプラスになると思います。（またそれによつての質の低下はナシです。）そして、このアンケートなのですが質問のあり方も回答の範囲の括りもとても偏りを感じ不愉快です。アル、ナイではないと答えを集計しまとめることができないとかあると思いますが全てのママさんが社会人→結婚→出産→仕事復帰でしかないような質問もどうかと思います 逐一イライラしましたよ。今は少子化、晩婚化。晩婚によりさらなる少子化な未来がくるのではないのでしょうか。そんな時代に人口少なく年齢幅にも偏りのある富津市で市民に愛される富津市はどのように変化対応していったらよいのでしょうか。

■第3子の保育園料がかからない事には大変ありがたく思っております 子供（小学生が遊べる公園や立ち寄れる児童館が大貫地区にはなく、親が在宅していないと、心配になり、フルタイムで働く事が難しいです。登下校児童が1人になってしまう事も多く、学校で待ってられると有難い。小学校へ上がったからの不安が多いです。

■公民館や子育て支援センターは君津市へ通っています。子育て講座なども。富津市にはない居場所があるからです。本当は富津にいたいです。でも子育てママの居場所が他市まで行かないとなつという事実が悲しいです。子育て講座、プレイルーム、子育て相談、子育て学級、子育てサポート養成講座などすべて君津市でお世話になっております。君津市の公民館では赤ちゃんから小学生中学生、おじいちゃんおばあちゃん、色々な世代の方たちでにぎやかです。近所の方たちのだんらんがあります。うちの近所にもこんな居場所があったら...と何度も想像しています。小学校の放課後や長期休みの居場所、定年退職した祖父母の居場所、とりとめのない不安をかかえたママたちの居場所が欲しいです。

■富津市に住み始めたのは昨年からののですが、子供が幼いため通院する事が多く、仕事をしていない時は医療費交通費通院の付き添いにかかる時間がとても負担に感じていたので、何らかの軽減がある事を願います。君津に住んでいた際は通院、買い物公園など、近い所にありスムーズに色々できていたのですが、現在買ひもの通院公園も、車でなくては行くのが難しく、バスなども近くを通過していないため、自分がケガなどで車の運転が難しくなつた場合など、生活への不安があります。

■現在は仕事をしております。2018年5月まで和光のもうひとつのおうち支援センターを利用させてもらっていました。そこで学んだ子育ての知識・経験は、私たち家族にとって、財産になっています。いろいろな理由で家から出られない人、多くの人、特にお母さんに支援センターを知ってもらい、足を運んで欲しいと心から思います。子育ては、思っていたよりもとても大変で、産後の心と体を癒してくれたのは支援センターのスタッフの方々、お母さん方でした。もし、『もうひとつのおうち』に出会わなければ、もうここにいなかったかもしれないと思うほどです。支援センターを設けていただき本当にありがとうございます。

■妊娠中のボディケアグッズ、出産後ヘアケアサービスがあったら最高。赤ちゃんが産まれたら、ベビーローションなどのケアグッズが欲しい。初めての育児だと、どんなケアがいいのか結局インターネットやSNS、友人の口コミで判断して買つてるので、市役所が独自でオススメランキン

グを作り、1位の商品のサンプルを配るとか！！意外と産婦人科ではオムツ、ミルク、消毒液のサンプルが多くてスキンケアのサンプルはあまりない。

- 1歳上の子供を出産する前に木更津市から富津市に引っ越して参りました。出産後、子供の定期検診（集団）など、近所に住んでいる方との交流の場を設けてくれて大変嬉しく思います。富津市の健康づくり課の方々は、他の市に比べて積極的な活動を取り組みを行っているイメージです。健診の日が近くなって、予約を忘れていると電話して下さり本当に親切な方々ばかりで富津市に来てよかったなと思いました。今後の取り組みや活動を更に期待しております。知識不足な点多かったので、時間を作って今ある活動を調べてみようと思います。
- 土・日に利用できる子育て支援センターがあると助かります。公園等のある地区が、富津・大佐和地区に集中している。天羽地区にも、必要。親負担が少し増えるかもしれないけど保育所行事の親子遠足を、行ってもらいたい。人数が少ないから、予算の都合上、なくなりました。は正直、納得いかない。子供のころの楽しい思い出のひとつのはず。
- 幼稚園、保育園に入るまでの家庭で子供をみる時期は母親は24時間365日体制なので、一番つらい時期だと思います。子供を家でふたりっきりで毎日られないので、今日はどこに連れて行こうか毎日考えていました。市で運営してくれる子育てセンターがあると、助かります。君津市のセンターやコックルームをよく利用しますが、いつも利用者がいるので子供同士のつき合いや関係ができ良いので、富津市にも広く大人数が集まれる場所があると助かります。

#### 4.家庭経済に関すること

- 保育料高い。医療費無料にして欲しい。
- 児童扶養手当、医療費も一部負担のみという子育て状況の中、経済的理由で保育料が払えない等の意見があることに驚きます。真面目にやっている人が損をすることがないように町にしてくださいなと思います。
- 自営業の方で保育料が1人5000円と聞いた。私は母子家庭で、フルタイムで仕事をしながらアルバイトもしやっと生活をしているのに保育料も高額のまま、どう計算しているのか不明。日曜・祝日など保育園が休みで、自分の職場は不定休のため、日曜・祝日利用できないと、仕事を休まなければならない、厳しい。
- 妊婦健診の料金が高い。保育料が高い。公園がなさすぎる。公園が欲しいです。
- 他の市（特に君津市）比べて、保育料が高いので、もう少し安くするか、段階を細かく認定して欲しいです。君津市の方が、保育料も安いし、こども医療費が無料なので、子育て世代は、君津に移住する人が多いのだと思います。病氣中に見てもらえる施設を作って欲しいです。行事を平日でなく土曜日にして欲しい（会社を休まなければならない）
- 多胎妊娠・育児・出産に対してのサポートを充実させて欲しい。0～2歳児までの保育料軽減
- 市の経済状況が潤ってこなければ難しいと思いますが、医療費窓口負担を無料にしてくれれば、嬉しいし、すごく助かります。今でも200円ありがたいけど、子供はすぐ体調くずして病院にかかるので。1才以下の赤ちゃんを診察してくれる小児科が少ないので何か対策を練って欲しい。
- 今は共働きしないと生活が出来ない時代の様な気がします。子供が欲しくても経済的な不安で兄弟を増やさずに諦める人もまわりにたくさんいます。3歳くらいまで、自分で子供と一緒にいたくても、経済的な理由で両親が働いている人がとても多いです。子育て環境、支援などとても助

かる事もあります、色々な税金など暮らしてかかる費用などが軽減していただけるとより良い環境で生活出来る様な気がします。

- 子育て支援が少ないのでもう少し上げて欲しい。
- 子供手当、医療費、出産費用などの金銭面の補助があると助かる
- 保育料が高すぎておかしい。人によって価格が違うのもおかしい。子供たちが、君津、木更津に行かなくても、住んでいる富津でたくさん遊べるよう公園の整備をきちんとして欲しい。草が生えすぎていて遊べなかったり、遊具が壊れていたりしています。お天気がいい日に違う市に遊びにいっています。広い土地をいかして、子供達をたくさん遊べる公園を作って欲しいです。
- 君津市から引っ越してきたが、通院のたびに200円かかったり、健康診断、ガン健診などお金がかかってしまうのがつらい。
- 子育てするのに費用がかかりすぎる。もっと負担が減れば子どもに学ばせたり、もう1人くらい増やせると思う。
- 児童手当はとてもありがたく感じていますが、妊娠期や出産にお金がかかることと、生活するのにお金がかかるので、2人目は考えてないです。もう少し妊娠期にお金がかからないようにして欲しいです。券をつかえない、期間があるととても大変でした。券があっても1万近くすると家計が大変でした。
- 富津市も未婚シングルマザーをみなしでも寡婦制度を取り入れて欲しい。保育料等も世帯収入で計算されるけど、世帯全員で保育料を払うわけではないんだから、払う人に対してで計算して欲しい。
- 我が家は、核家族で借家住まいです。その為、地元住民もあまり知らず地域で子育てというのは全く感じられません。昔のように、皆の目で子どもを見て、親が安心して留守番をさせたり、仕事出来るようになればと切に願います。また、保育料も高く、とても苦しいです。公園も大きな所がなく、ちょっと遊びに行くことも出来ず、困っています。借家も少なく、同じ境遇の人も少なく、肩身が狭く感じます。
- 第3子の保育料が途中から無料になり、とても助かりました。0歳児の頃は、保育料がとても高くて大変だったので、もっと早く無料だったらよかったのに・・・と思いました。育児手当ても高3までだったら良かったです。これから入学するのですが、学童の少なさにびっくりしました。市立の保育所にて小学生の学童があったら、安心して預けられるので私立の保育園、幼稚園にすればよかったかなと今思っています。（私立の保育園、幼稚園は通っていた子を学童で見ているので）障害があると、普通の習い事が難しいので、習い事をさせたくてもできないでいます。プールや英語など、障害児のための習い事ができる場があると助かります。

## 5. 保育所・幼稚園に関すること

- 園庭開放など、平日だけじゃなくて土日もやって欲しい。
- 私は、自宅で仕事をする不定期的な職を持っています。子どもが保育園に入る前は、子どもを家でみながら仕事をしたりしていましたが、どうしても打合せで出たい時や、近所に親族もいないので自分が病気になった時など、もっと気軽に一時保育が利用できたらどんなに助かったかと思います。保育園に入れるか入れないかではなく、グレーゾーンの保育…一時保育や、土日祝日利用したい時のみ利用できる保育、保育園に入った子どもも休みの日に利用できる支援セ

ンターなど、色々な働き方の家族に対応してくれる仕組みがあれば、母親の働き方の選択肢も広がり、良いと思います。もうすぐ、保育料が無料になると言われていますが、一番大切なのは、単純な目先の収入ではなく、その預けた時間を、子どもが楽しく、有意義に過ごせるかどうか…できれば自分が子どもとその時間を過ごして、遊んだり、色々な体験を一緒にしたいです。しかし、収入も必要…そのバランスは、家族により様々だと思います。子どもを安心して預けられる保育園、子どもと一緒に過ごせる場所、子どもだけで安心して過ごせる場所…その多様性が大切だと思います。第3子無料化が、未満児を小さいうちから預ける親が増え、家でみているけど本当に必要な時に一時保育が利用できない友人がたくさんいます。保育料の無料化により、子どもを小さいうちから預けて働く人が増えているようですが、その受け皿が追いついていないし、子どもが小さいうちは、自宅でできるだけみたい、という人への環境の整備の方が大切なのではないかと思います。自宅で子どもをみることができつつ、少し働きに出たり、インターネットの普及により、自宅にいながらフルタイムまではいかずとも、技能を生かしたデザインや内職、ネット店補など、広がる多様な働き方をして、子どもと過ごす時間との両立を促す市の環境づくりに期待します。最後になりますが、「なかよし」については、1Fに設置し、平日はもちろん、土日祝日も、市役所の外の広い芝生の庭とともに親子で遊びに行けるようになっていたら良いなと思います。支援センターとして「なかよし」にスタッフの方がいればなお良いと思います。

- 祖父母の入院など、緊急の時に、一時保育として預けられる保育園等が1ヶ所しかないので困ります。HPに記載されていても、電話すると一杯だと言われてしまう。
- 一時保育（親のリフレッシュ有）と書いてあったのをみたけど、友人に「リフレッシュのために預けることはできないみたいだよ」と言われた。公開保育の内容…日にちをもっととって欲しい。それを逃すと園の様子がなかなかわからない人がたくさんいると思う。雨の日に遊ばせられる場所が欲しい。市役所のなかよしは曜日がきまっているので。保育園幼稚園の情報がたくさん欲しい。入園させたくても知り合いの人がそこに入っていないければ、そこがどんな所なのか分からないから。急な発熱で動くのに大変な時、近くに預けられる親や知人がいない場合に助けてくれるところが欲しい。
- 現在保育園の入所待ちをしている状態です、保育園の先生が働きやすい環境、条件を整え、職員の数を増やし、1人でも多くの子供が通えるようにしてもらいたいです。
- 妊娠中により良い制度があれば利用したい。割引や出産後の〇〇提供サービスなど。
- 公立保育所に一時保育を申し込んでも人手が足りないからと断られることが多々あった。保育所に十分な人数の職員をおいて欲しい。フルタイムはもちろんだが週3パートや時間パートなどももう少し働きやすくしたらどうか。知人に元保育士が何人もいるが、小学生の下校時間までに帰りたい、夏休み預け先がないと復職出来ずにいる人が多い。
- 富津市内に小児科がない。（困っている）保育園が待機で入れなく、困っている。
- 現在保育所利用していて、フルタイムで働いているため、時間外を利用。7時半～預かりで子どもを所内まで送り、早くても5分、遅くて10分かかり、7時40分～20分で会社に行くとなると、8時からの仕事はけっこうきついです。富津市に住んで、君津・木更津などに仕事に行く方もいると思います。朝の交通量などもあるし、7時から預かれる様にさせていただけると、利用者も増えるのではないのでしょうか？また、もしこの件が難しい様なら、会社宛てに、短時間勤務などをもっと勧める様、声かけを市からして欲しいです。

- もっと保育園にすぐに入れるようにして欲しいです。4月からではなく、年度途中で急に保育が必要となる状況もあるため、いつでも保育園に入れるような体制をつくっていただきたいです。また私たちは、青堀地区に住んでいます。ただ子供が通っている保育所は、飯野地区です、青堀地区には保育園が1ヶ所しかなく、選択の余地がない。しかも、人数が多く受け入れ事態が難しい状況です。教育方針の違いなどで、別の保育所を望むこともあるかと思いますが、基本的には家から近い場所が望ましいと思います。子どもの人数が多い地区に保育所をつくっていただきたいです。保育料について、近隣の市より高いように思えるので、君津市と同等くらいにして欲しいです。
- 現在富津市の保育園がどこもいっぱいに入れられない状況だと聞いています。少しでも待機児童を減らして、保育園に入園できるようにして欲しいです。
- 幼稚園の先生方が親子や子供とのコミュニケーションで学び新しい先生などにも指導できるようになるナースリーコーチがあるので多くの園に取り入れて欲しい。
- 妊娠期から産後1年くらいは、厳密な申し込みなどせずに、一時保育を申し込みやすい環境があっても良いと思う。気難しい子など、夜泣きが連夜続いて、睡眠がとれない方が、1泊でも預けて、ゆっくりできる日を作るのも有りかと…。
- 仕事や、高齢の親の事もありますが、保育園では子供のために休まなければならない日があります。もちろん事業も参加したいのですが、子供各1人に1日参観日として休みが必要だったり、奉仕活動など、なかなか参加のために休みにくい中、もう少し園からも歩みよって欲しい。

## 6.学童保育に関すること

- 小学生になってからの放課後児童クラブ、いわゆる学童保育が不安です。富津小の学区ですが、学童保育は現在、保育園内にあり、保育園出身の児童を優先しているため、他の保育園出身で、いざ一年生になるから学童を申請したところ、定員がいっぱいだからと断られ、両親とも働いていたその家庭は学童に入れないと仕事ができないので、他の小学校に通わせないといけないことになってしまったと聞きました。公立の学童を開設してもらって、もっと広いところでのびのびと運動したり、遊んだりできる環境で過ごしてもらいたいと思っています。保育園は、手厚くのびのびと行き届いた目で見守ってくれて、時間も夕方まで預かってもらえて安心ですが、小学校に上がると、学童が充実していないおかげでフルで働いていた人がパートしかできなくなった、もう14時には子供が帰ってきてしまう…という状況です。保育料の無償化より、小学校の放課後の環境整備、学童もあれば良いというのではなく、質や多様な選択肢があれば、親の働き方ももっと色々な選択ができるのではないかと思います。小学校以上の子供の環境という面では、図書館、美術館など文化施設の充実も願っています。“子育てしやすい町”とはどういうことでしょうか。無料で子供を預けて働けることでしょうか？“子育てしやすい”とは、多様な選択肢があり、「何かあったときに助け合える」、「それぞれの個性を認めて違いを楽しめる環境」ということが答えの一つにあると思います。まず、「何かあったときに」については、夜間診療の施設で、朝まで毎日（土日祝も）やっている所が必要です。今は、夜間診療は木更津で23時までしか対応してくれないし、それ以降だと、「軽症なら5000円」子供でも払わなければ診てくれなくなった君津中央病院で、富津は事業所すらありません。しかし、子供の熱というのは、夕方から夜に出てくることが多いものです。それなのに、一番熱

が出てどうしようというときに、行けるところがない、間に合う時間だけど木更津まで40分も車でいかなければ…その間にも子供は苦しそうにしている、23時を過ぎたら君津中央病院にしか行けるところがなくなって、非常に不快だし、本当はそんなところ行きたくないけど、夜中は中央病院しかない…子供は苦しそうにしているから行かないわけにはいけないし…とやり所の無い気持ちでいっぱいでした。「子育てしやすい」と語るなら、まず夜間、休日も子どもの診療をしてもらえる所を富津に作ってもらえる様願っています。あと、「それぞれの個性を認めて違いを楽しめる環境」多様性を育てることにおいて、図書・美術の文化施設の充実が必要だと思います。今、中央公民館を中心に、ニギワイという名前で図書ボランティア等やっている活動など、とても良いと思います。富津市は、司書さんが1人しかいないと聞きました。それで、今まで本の日常の整理すら手がまわらず、大切な市税で買った本が段ボールに入ったまま、横積みされたりとても良くない状況だったのが、ボランティアと一緒に整理をして以前よりきれいになっていました。それにしても、司書が1人では、手がまわらない状況に変わりはありません。本は重いので、移動させるだけでも大変だと思うので、もっと図書サービスに関わる職員の方を増やして、ゆくゆくは“図書館”を、作って欲しいです。本は、古くなっても財産だと思うので、保管できる場所さえあれば、除籍をせずに済むと思います。しかし、いわゆる新築の「ハコモノ」の図書館建築は必要ないと思います。廃止になった公共施設などをうまくリノベーションして、お金をかけずに温かみのある場所にして欲しいと願います。少し遠くても、公共公通の便を増やしたりして欲しいです。子育てと、文化は両輪だと思います。図書もそうですが、美術の面でも、市として美術館（これも同じく「ハコモノ」ではなく今ある施設を使えると良いと思います。）があるといいなと思います。「多様性のある社会＝みんな違って当たり前、お互い様＝差別のない環境」の社会の基盤があってこそその子育てが良い循環を生んでいくのだと思います。富津で育った子供が、大人になって富津で自分の子供を育てたいと思ってくれるような環境づくりを願っています。

- 今後小学校に入学した際、学童に預けられるかがとても不安。仕事をしているので、子どもを預けられないと経済的にとても辛くなる。夏休みや冬休みはどうしたらいいのか…。
- うちには困ってないが、他のお母さんたちと話をした時に、学童に長期休暇の時だけ預けたいが、長期休暇のみの預かりを断られ、困っているという話を聞きました。こういうご家庭にも対応してあげた方が良いと思います。
- 先日、飯野小学校の学童に、入所の相談をしたところ「既に入所している子ども達で定員オーバーしているので、入所はむずかしいです」と役員の方に言われました。こちらは仕事を父母共にして、18:30までは帰宅することができません。他に子どもをみてくれるところもありません。全クラス計35名が定員と言われましたが…共働きをしている家庭が多い中、この定員少なすぎませんか？仕事の時間を短くして子ども帰宅に合わせようとも考えていますが、収入が激減して生活ができなくなりそうです。どうしたらいいのでしょうか？夏休み等の長期休暇など、本当にほとんど働けなくなります。富津市は財政難と聞きましたが、共働きの家庭が存分に働ける環境を作っていただけたら、税収も増えるのではないのでしょうか。
- 富津地区在住ですが、今保育園へ通っている子供が小学生になった時、学童を利用するため、富津から青掘小学校へ送って通わせている人も居るという事を聞きました。共働きで祖父母もまだ働いているので、この地区で安心して預けられる学童が欲しいです。この地区でその様な不安でいっぱいの人達が結構います。青掘地区レベルの安心な学童が富津地区にも出来てないと

働けません。一時保育の受け入れ（保育所に入る前）の対応も「今日は受け入れ不可」などもあり、十分利用はできませんでした。こういう状態が続くとやはり色々充実している青掘地区ばかりに人口が集中し、サービス（支援）の差が生じてしまうのは良くない事だと思います。富津の人口を増やすためには、子育て世代の方がどんどん移住したくなる様な支援の充実が大きなカギになると思います。公園が近くにあっても草がぼーぼーで遊べないし、遊具が無く利用なんてできません。どうかして下さい。

- 学童保育の時間をせめて18時半までにして欲しい。仕事が終わって帰りの通勤時間を考えると難しい。朝は7時半～希望。長期休み（春休み、夏休みも同じ時間にして欲しい。）
- 現在学校統合前ですが、学童保育がない地域、または情報がまわってこない地域があります。学区変更等、考えておりますが、どこに相談していいのかわかりません。子育てと仕事を安心して両立できる様にして欲しい。学区変更も早目の受け付けを実施して欲しいです。1年毎の申請も見直すべきです。子供の生活が一変してしまうので。

## 7.医療に関すること

- 市内において産科がありません。車の免許をもっていない人もいます。不便さを耳にした事があります。タクシーは24時間ではないので陣痛がおきてもすぐは無理でご近所の人達にお願いした方が早いとの事でした。安心して子育ての前に出産ができません。君津か木更津に引っ越ししたいと言っていたのを聞いた事があります。
- 富津市に産婦人科がない。車で30分以上かけて、検診に行くのが大変だった。
- 富津市に産婦人科がなく不便です。通えるくらい近くにできて欲しいです。
- 富津市に引っこして来て約3年ですが、産婦人科がすくないと感じました。お産できる所は、近くにない気がします（青木に住んでいます。）なので、色々不便だな…と思ったうちの1つです。
- 車で5分以内の所に病院があったらいいなと思います。（子どもがかかる）小児科、小児外科、ヒフ科、欲しい。
- 出産できる病院が近くになく、君津中央病院等、費用や時間（通院にかかる）がとてがかかってしまった。病気、病後保育に関してまだ充分とは言えず、母親が休む為正社員として働く事がむずかしく収入も減ってしまう。場所も病後で1ヶ所で、利用するまでの方法も直接問い合わせなのでいまいち分かりづらい。通っている保育所内か近くが理想的。市内の公園1ヶ所でもいいのももう少し規模を大きく（遊具、水遊びできる所）して欲しい。将来的に、学童利用予定なので、利用時間や費用が明確のっているサイトや体制が出来るとうれしい。2019年10月から3歳以上保育料無償化で、第2子0歳～2歳の半額がなくなると結局負担が変わらない。待機児童がなく、スムーズに保育所利用開始ができたのは、とてもうれしかった。（そのために市内へ戻ってきたので）保育所でオムツを処分してくれたらうれしい。そのほか、医療費等補助は現状でとても良いと思う。

## 8.保健・健康づくりに関すること

- 他市に比べて妊婦健診の費用が高かった。子供の検診がいつも年齢より遅い時期に行われており、歯科での検診や中央病院でおかしいと言われる。きちんとした時期に行うべきだと思う（以前に

も伝えてある)。相談窓口があると言うが、検診などの際に相談しても本などに書いてあるような一般的な答えしか返ってこず、参考になった、聞いてよかったという気持ちになった事が一度もない。

- 健診の時に、父親も参加させた方が良い・父親のための講座をやって欲しい(遊び方や世話)
- 定期的に子どもの身体測定ができる場があればよい。
- 妊娠する人やしてる人に風疹などニュースで見ているうつるなんて怖いと感じました。女性や子供に風疹など病気をうつさないために、男性に追加の予防接種をしてもらいたいです。怖いのでよろしく!
- 健診の電話予約が面倒なので、指定された日付に行けない人が電話で予約の変更ができるようにして欲しい。すくすくファイルを一度に渡されるのは重たくて不便。健診前に書く用紙は、検診日の前月に送って欲しい。予防接種の用紙は、一回一回ファイルから出して探すのが面倒なので冊子にしてキリトリの見やすく使いやすい形にして欲しい。

## 9.病気の時の支援サービスに関すること

- 何かあった時に実家が近くにない場合や、あっても親に頼めない時もありますが、そういう緊急時に預かって頂ける支援があったら助かる親は沢山いると思います。すでにあるのかは知りません。どういう支援が今現在あるのか全く知りません。もしあるなら、こういう時は、ここに連絡!などの情報がわかるサイトだったり、まとめた表を配布するなど工夫が欲しいです。何かあっても、なかなか他人に相談するのは難しいですし、聞いてくれる人もいないと思います。こういう環境だと、追い詰められてしまう人も多々いると思いますよ。

## 10.就労環境に関すること

- 母親が職場復帰できるような時短勤務など、働き方がもっと多様になればいいと思う。パートとなると働く場所が限られてしまいやりたい仕事も見つからない。
- 世の中女性が働きづらい社会 子どもが熱を出した時、早退、お休みをもらえる(スムーズ)に仕事が限られているので、子どもを育てるのに優しい職場を増やして欲しい。祖母、祖父みな仕事して私がお迎えにしか行けないので仕事を探すのがたくさん断られ大変だった。娘のぜんそくの入院等で1週間ほど休まないといけない時もあったため。
- 3歳位まで育児休業ができればいいなと思います。1歳から保育所に預けなくてもいいので、待機児童も少し減るのでないかと思います。

## 11.アンケートに関して

- 子育て支援充実のためには仕方ないことかもしれませんが、アンケート30Pは多かったです…。回答に時間がかかり少し疲れしました。
- このアンケートで、富津市の子育てなどが充実するといいなと思います。よろしくお祈いします。
- このアンケートを書いて、みなさんの意見で地域が、今子育てしている方、妊娠中の方が暮らしやすくなれば嬉しいです。よろしくお祈いします。

- 病院が車で5分くらいのところにあったらいいなと思いました。このアンケートを2週間の間に3冊記入するのは、けっこう苦でした。きちんと提出したい気持ちがあったので。もう少し時間がほしかった。2ヶ月もしくは1ヶ月くらい。
- アンケートが現在進行形の質問なのか？過去の事も含めた質問なのかがわかりづらく答えが間違っているかもしれません。

## 12.その他

- これから、高齢化社会になっていき、私みたいに介護をしながらも育児もしなければいけない人が増えると思います。ダブルケアをしながらも無我夢中で毎日を過ごします。自分は大丈夫と思っても、疲れがたまり、旦那さんに色々頼む時もあります。子供は、思春期と3才であり、親の愛情を受けたい時も介護に時間を奪われます。今では、ショートスティや訪問看護を利用し心と身体にゆとりができましたが、現在すでにショートスティもたくさんの方が利用しています。これから先、私みたいにダブルケアをする人は多くなってくると思います。そして、一人きりでダブルケアを抱えて、一人でがんばり過ぎてしまう人も増えると思います。高齢化社会になるにつれて、ダブルケアには支援が必要です。
- 子供には、やりたい事をできればやらせてあげたいと思っています。
- 子育ては、難しいですが子供のより良い未来を作るための努力なのでやりがいがあります。自分も時間を子供と共有して大切な時間の使い方を考えていきたいと思っています。
- 双子の親として、多胎家族支援の充実を望みます。具体的には母子手帳交付時に、双子手帳を無料配布する。多胎妊婦とその家族に向けた、双子、三子のファミリー教室（プレママ教室）を開催する。（双子家族に声をかけ、企画するなど、協力することもできるかもしれない。）市の乳幼児健診時には、市職員が駐車場まで迎えに行き、荷物を持つなど、会場まで付き添う。
- 特に初めての妊娠・出産・子育てで知らない事が多すぎて体力・精神的にも疲れてしまい、女性は家で過ごす時間も多いため「誰か助けて」と言えない人も多いと思います。外出する時も周りに気を使い、心ない罵声を浴びて子供のために言い返したい気持ちを我慢する事もありました。仕事を始めても、病気をすると子供についていなくてはならず、心配だし、申し訳ない思いもします。行政の支援も必要だと思いますが、世間の子供のいる・いない方々にもっと気持ちの共有ができる社会が根付いてくれると住みやすい世の中になるのにと思います。
- 小学校についてなのですが、環小だけ湊小と統合にならないのが困ります。結局中学校で一緒になるのに…。小学校のうちにグループができてしまい仲間に入れないと聞きました。いじめの原因になるのでは。希望する人は湊小に通うことはできないのですか？本当に嫌です。

※掲載にあたっては、意図を踏まえ調査票記述内容に対し一部編集を行っております。



**小学生編**



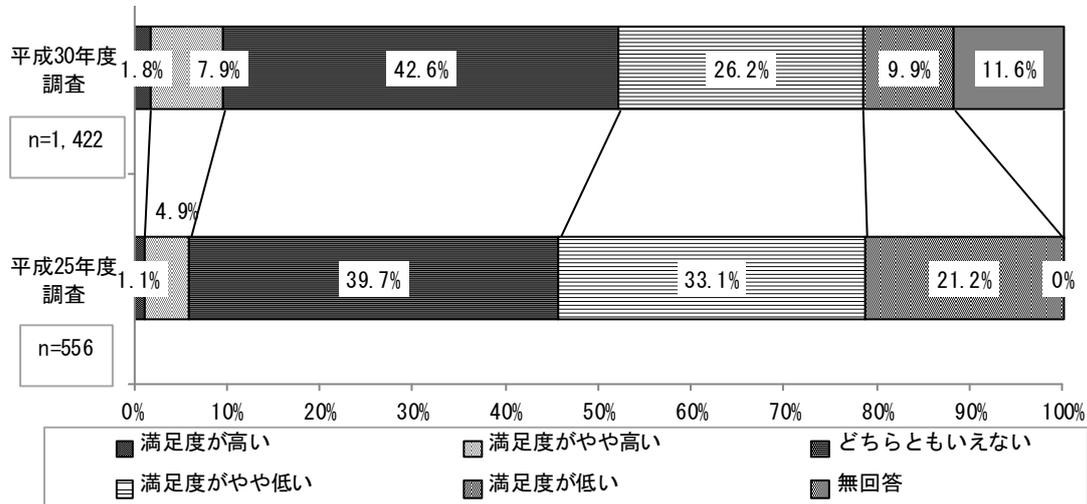
## **第9章 満足度・調査対象者属性等**



# 1 満足度状況・調査対象者の属性・家族状況

## (1) 市の取り組みへの満足度

問1 市の取り組みへの満足度



市の取り組みへの満足度（3地区別）

	合計	満足度が高い	満足度がやや高い	普通	満足度がやや低い	満足度が低い	無回答
	1422	25	113	606	372	141	165
	100.0%	1.8%	7.9%	42.6%	26.2%	9.9%	11.6%
富津地区	837	18	68	367	203	79	102
	100.0%	2.2%	8.1%	43.8%	24.3%	9.4%	12.2%
大佐和地区	323	5	28	144	92	28	26
	100.0%	1.5%	8.7%	44.6%	28.5%	8.7%	8.0%
天羽地区	239	2	17	92	74	32	22
	100.0%	0.8%	7.1%	38.5%	31.0%	13.4%	9.2%
無回答	23	0	0	3	3	2	15
	100.0%	0.0%	0.0%	13.0%	13.0%	8.7%	65.2%

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度は、「普通」（42.6%）、次いで「満足度がやや低い」（26.2%）となっています。

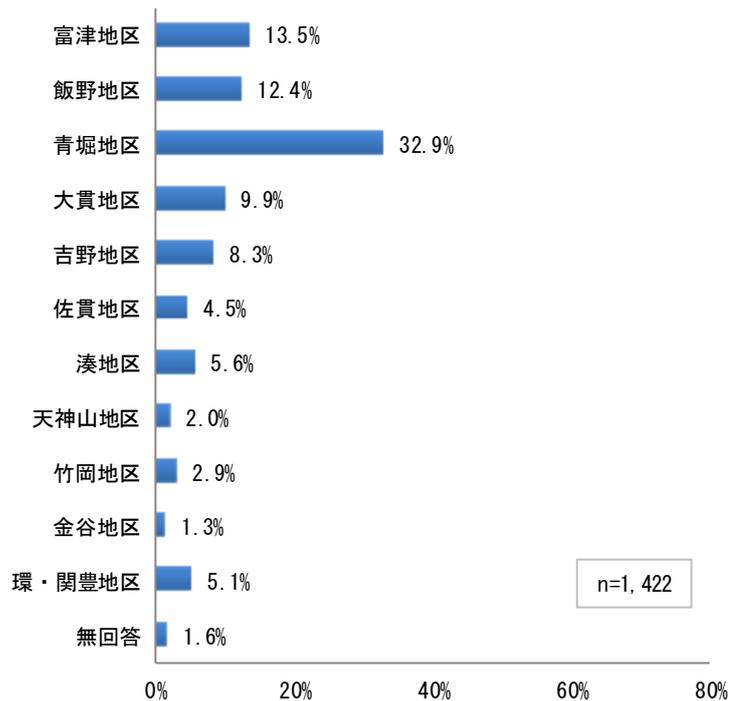
平成25年度調査と比較すると、「満足度が高い」が1.1%から1.8%へ0.7ポイント増加、「満足度がやや高い」が4.9%から7.9%へ3ポイント増加しています。逆に、「満足度がやや低い」が33.1%から26.2%へ6.9ポイント減少、「満足度が低い」が21.2%から9.9%へ11.3ポイント減少しており、満足度向上の傾向が明らかになっています。

また、3地区別の満足度では、富津地区が他地区よりも「満足度高い」のポイントが高く、「満足度がやや低い」が低くなっています。

## (2) 居住地域の状況

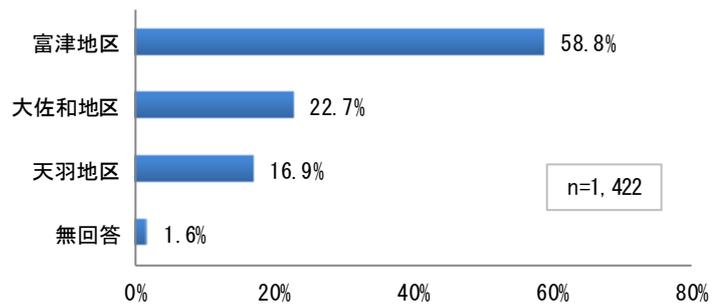
### 問2 お住まいの地区（学区）

回答者が居住している地域の状況は、学区では、青堀地区（32.9%）が最も多くなっています。



### 問2 地区（3地区）

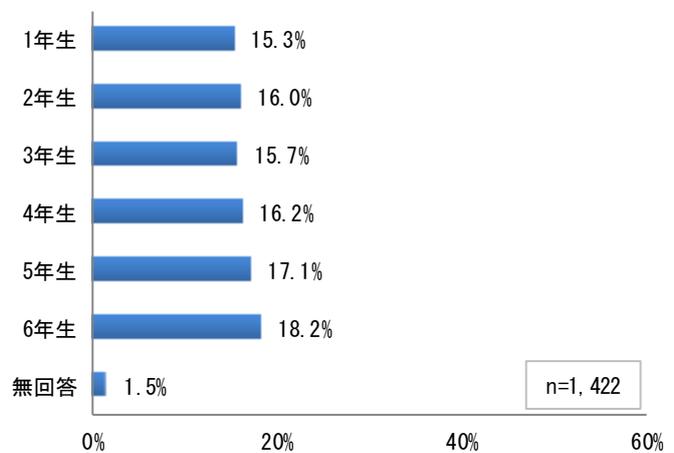
富津・大佐和・天羽の3地区では、青堀地区が含まれる富津地区（58.8%）が最も多くなっています。



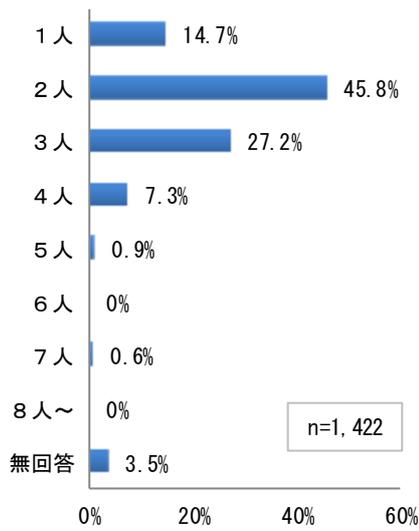
## (3) 調査対象児童の属性

回答のあったお子さんの学年では、6年生（18.2%）が最も多く、次いで5年生（17.1%）、4年生（16.2%）と続いています。

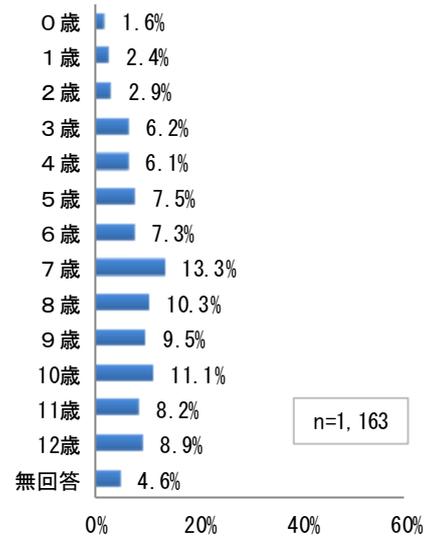
### 問3 お子さんの学年



問4 きょうだいの数



問4 末子の年齢

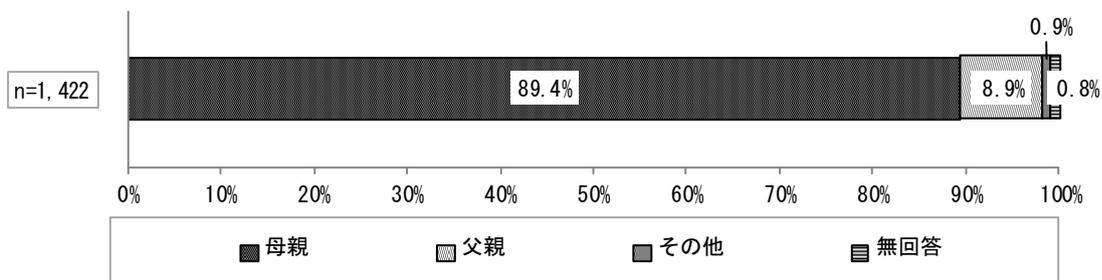


きょうだいの人数では、2人（45.8%）が最も多く、次いで3人（27.2%）、1人（14.7%）となっています。

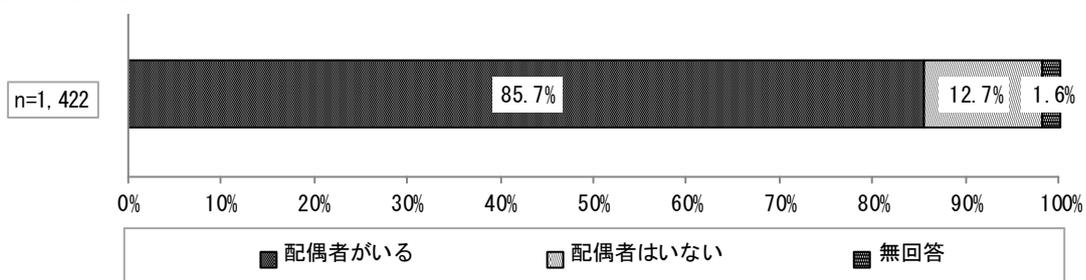
末子の年齢では、「7歳」（13.3%）、「10歳」（11.1%）、「8歳」（10.3%）となっています。

#### （4）調査回答者の状況と配偶者の有無

問5 調査票回答者



問6 配偶者の有無



この調査の回答者は、母親（89.4%）がほとんどになっています。配偶者の有無については、85.7%の回答者が、「配偶者がいる」と回答しています。



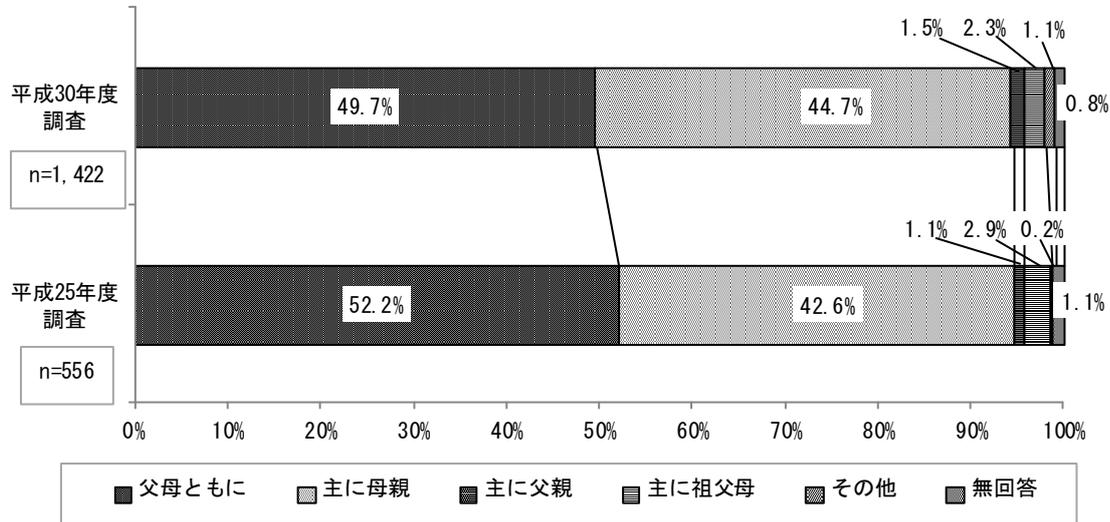
## 第 10 章 子育て家庭を取り巻く環境



# 1 子育ての環境について

## (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

問7 主な保育者の状況

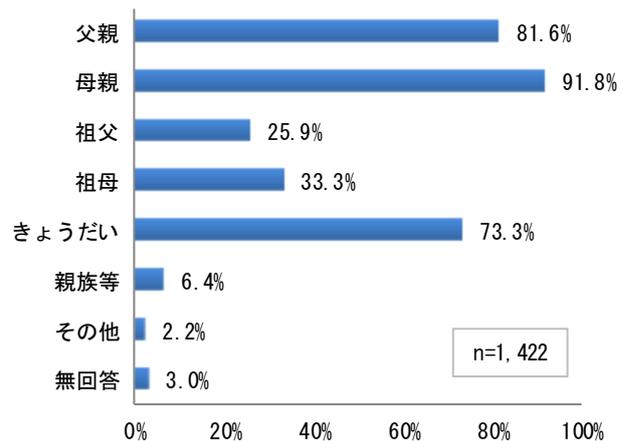


主な保育者の状況を見ると、「父母ともに」(49.7%)と「主に母親」(44.7%)が大半を占めています。

平成25年度実施の調査と比較すると「父母ともに」が52.2%から49.7%と2.5ポイント減少しています。逆に「主に母親」42.6%から44.7%と2.1ポイント増加しています。

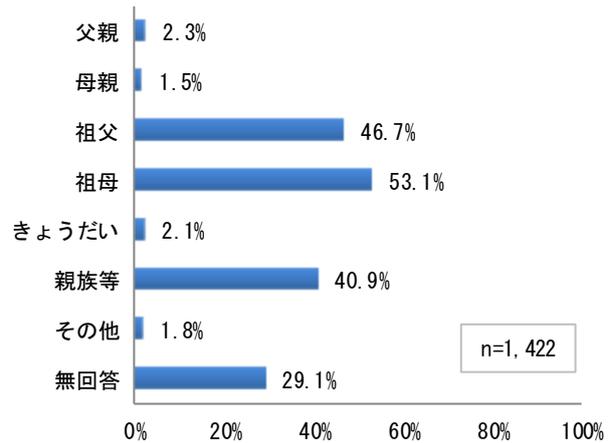
問8 (1) 同居者の状況

同居では、母親(91.8%)、父親(81.6%)、きょうだい(73.3%)に続き祖母(33.3%)、祖父(25.9%)となっています。



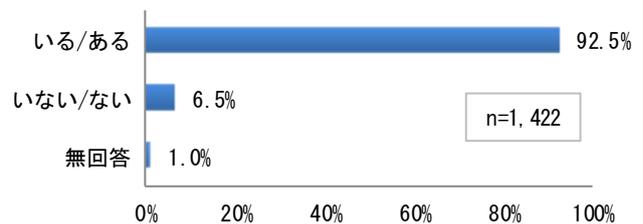
問8 (2) 近居者の状況

近居の状況については、祖母（53.1%）、祖父（46.7%）と約半数が祖母または祖父が近居しています。また、親族等も約4割が近居となっています。



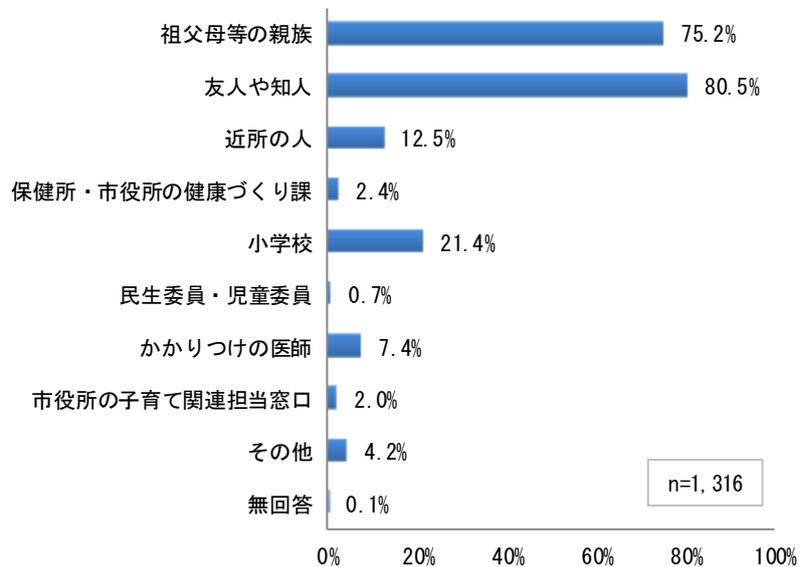
問9 気軽に相談できる人の有無

気軽に相談できる人の有無では、ほとんどが「いる/ある」（92.5%）と答えています。



問9-1 気軽にできる相談先

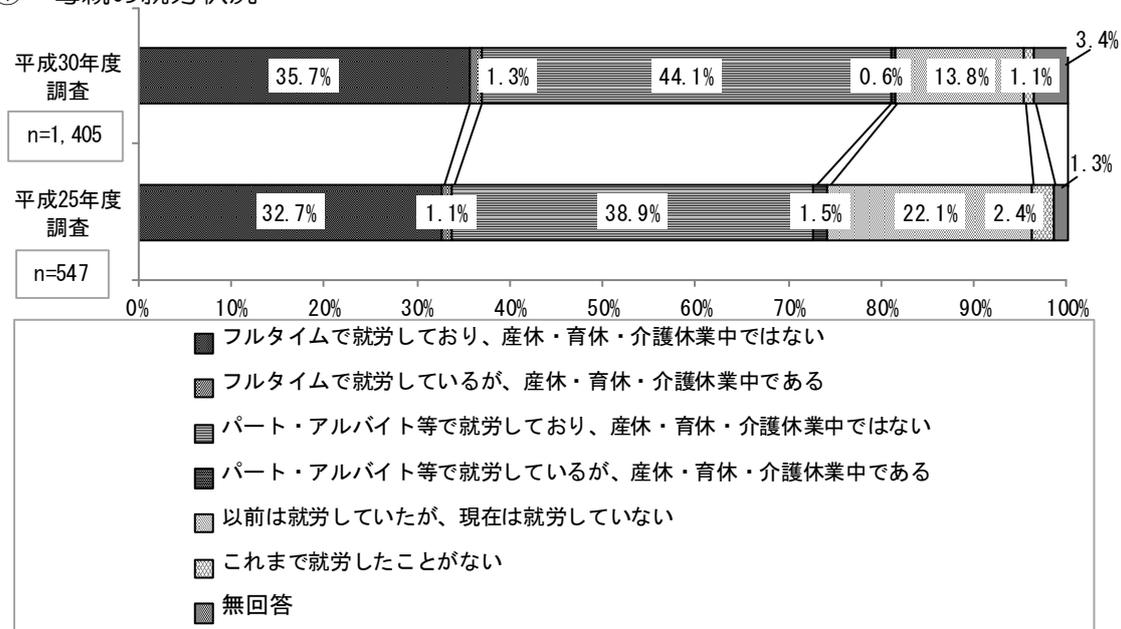
気軽に相談できる相手としては、「友人や知人」（80.5%）、「祖父母等の親族」（75.2%）、「小学校」（21.4%）となっています。



## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

問 10① 母親の就労状況



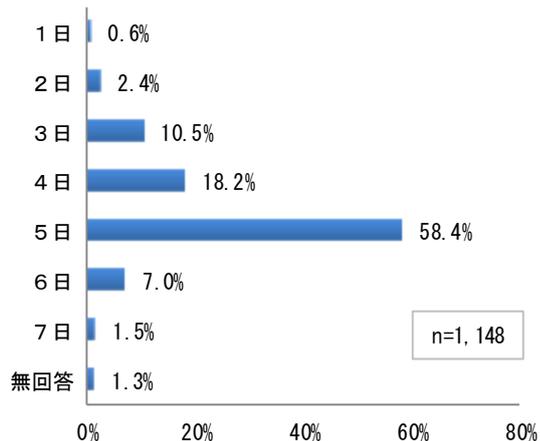
### 3 地区別の就労状況（母親）

	合計	フルタイム 就労	フルタイム 就労（休業 中）	パート・ア ルバイト等	パート・ア ルバイト等 （休業中）	現在は就労 していない	就労したこ とがない	無回答
	1405	501	18	620	9	194	15	48
	100.0%	35.7%	1.3%	44.1%	0.6%	13.8%	1.1%	3.4%
富津地区	829	280	8	352	8	134	10	37
	100.0%	33.8%	1.0%	42.5%	1.0%	16.2%	1.2%	4.5%
大佐和地区	316	119	8	141	1	40	3	4
	100.0%	37.7%	2.5%	44.6%	0.3%	12.7%	0.9%	1.3%
天羽地区	237	94	2	116	0	18	2	5
	100.0%	39.7%	0.8%	48.9%	0.0%	7.6%	0.8%	2.1%
無回答	23	8	0	11	0	2	0	2
	100.0%	34.8%	0.0%	47.8%	0.0%	8.7%	0.0%	8.7%

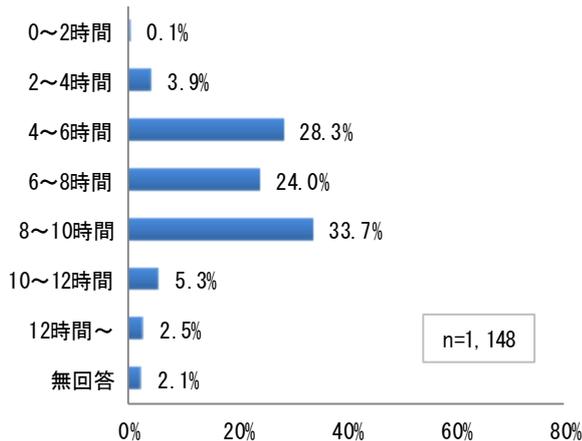
母親の就労状況を見ると、「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（44.1%）が最も多くなっています。また、「パート・アルバイトで就労」（44.1%）に「フルタイムで就労」（35.7%）、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.3%）、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」（0.6%）を合わせると就労中は、81.7%になります。

平成25年度実施の調査と比較すると、「フルタイムで就労」（産休・育休・介護休業中含む）が、3.2ポイント増加しています。また、「パート・アルバイト等で就労」（産休・育休・介護休業中含む）も4.3ポイント増加しています。逆に「以前は就労していたが、現在は就労していない」が8.3ポイント、「これまで就労したことがない」も1.3ポイント減少しており、就労している母親が増加しています。また、3地区別では、天羽地区の「パート・アルバイトで就労」（48.9%）が他地区よりも多くなっています。

問 11① 母親の就労日数

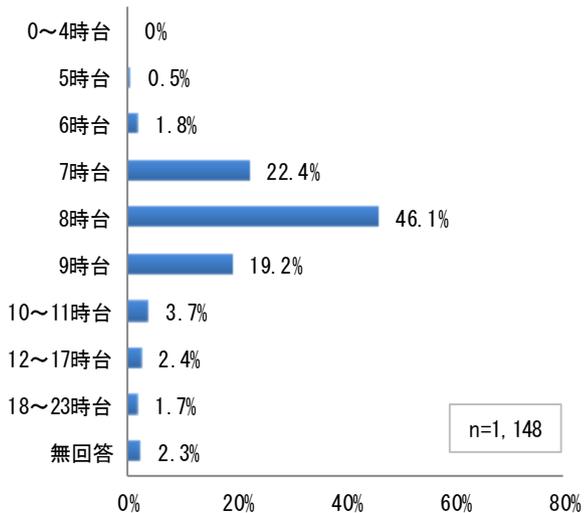


問 11① 母親の就労時間

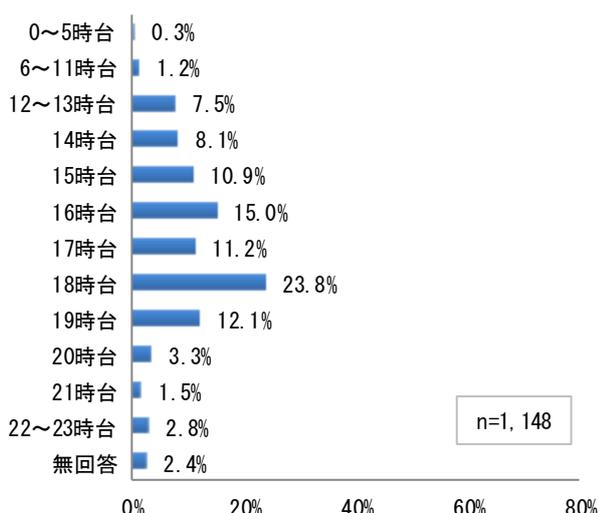


母親の就労日数をみると、「5日」(58.4%)が最も多く、約6割を占めています。就労時間をみると「8~10時間」(33.7%)、「4~6時間」(28.3%)、「6~8時間」(24.0%)と続いています。

問 11① 母親の出勤時刻

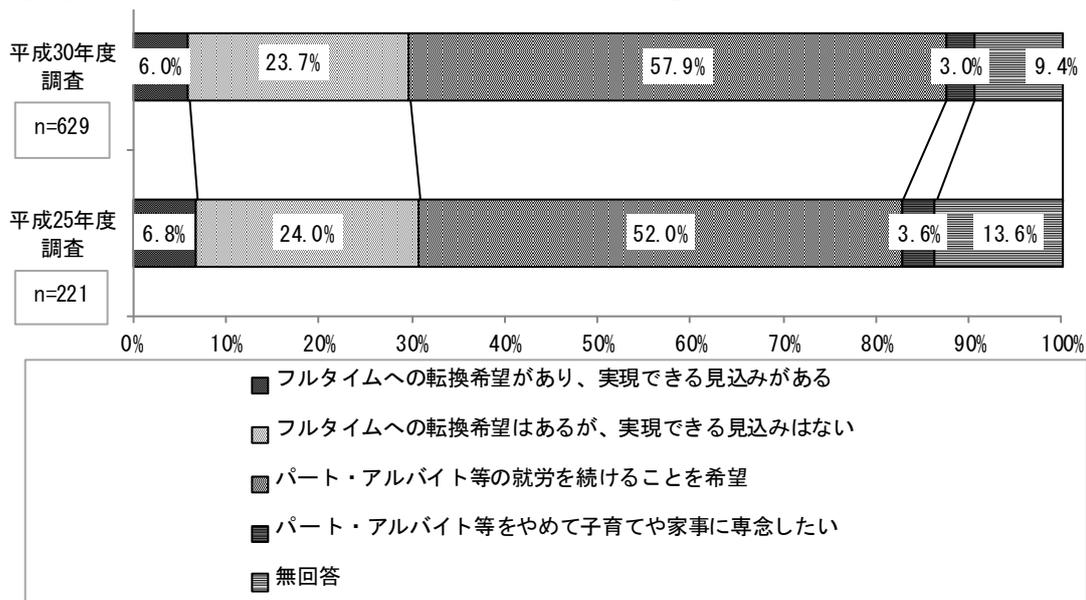


問 11① 母親の帰宅時刻



母親が家を出る時刻は、「8時台」(46.1%)が最も多く、「7時台」(22.4%)、「9時台」(19.2%)と続いています。帰宅時刻は「18時台」(23.8%)が最も多くなっており、次に、「16時台」(15.0%)となっています。

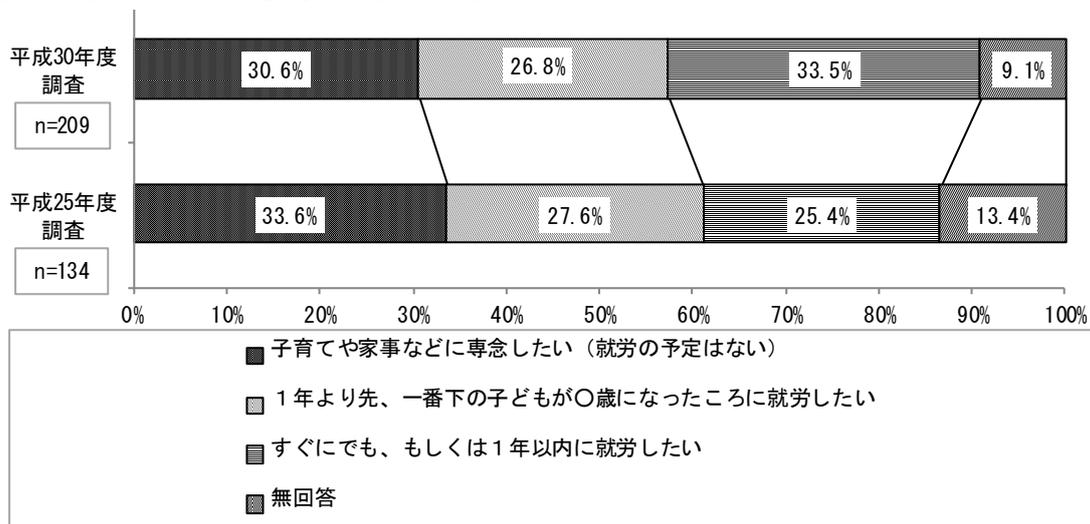
問 12① 母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向



母親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(57.9%)が最も多くなっています。フルタイムへの転換希望がある人は「実現できる見込みはない」(23.7%)、「実現できる見込みがある」(6.0%)となっており、フルタイム転換希望のうちほとんどが実現できる見込みがないと回答しています。

平成25年度実施の調査結果と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が、52.0%から57.9%と5.9ポイント増加しています。「パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい」が3.6%から3.0%と0.6ポイント減少しています。

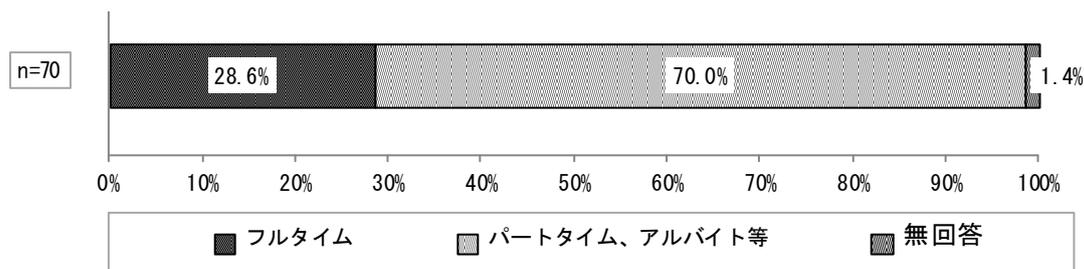
問 13① 就労していない母親の今後の就労希望（就労時期）



就労していない母親の今後の就労希望は、就労したい人が60.3%おり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが0（マル）歳になったところに就労したい」(26.8%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(33.5%)となっています。

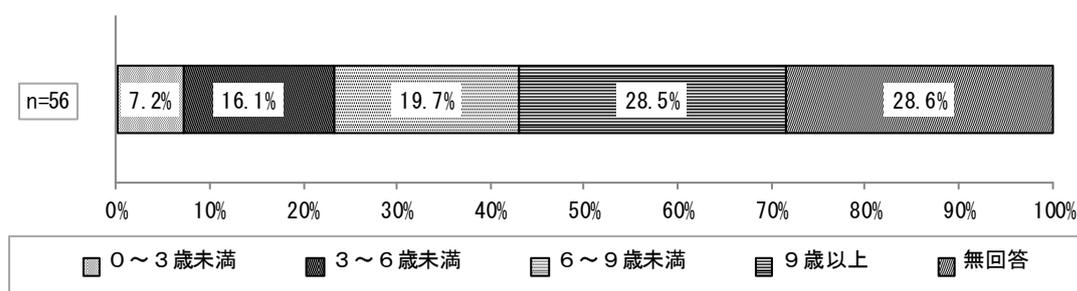
平成25年度の調査結果と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.4%から33.5%と8.1ポイント増加しています。「子育てや家事などに専念したい」は、33.6%から30.6%と3.0ポイント減少しています。

問 13-1① 就労していない母親の今後の就労希望（就労形態）



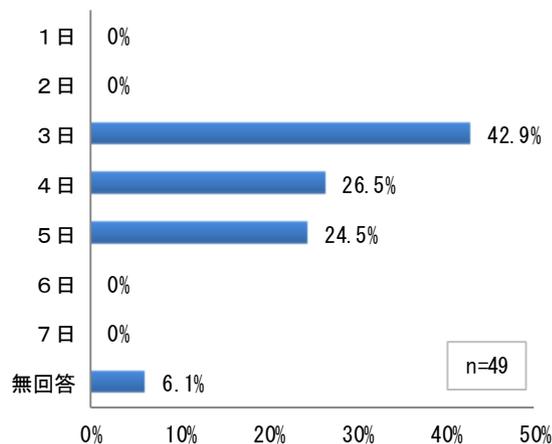
今後希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(70.0%)、「フルタイム」(28.6%)となっています。

問 13-2① 就労希望時の末子の年齢

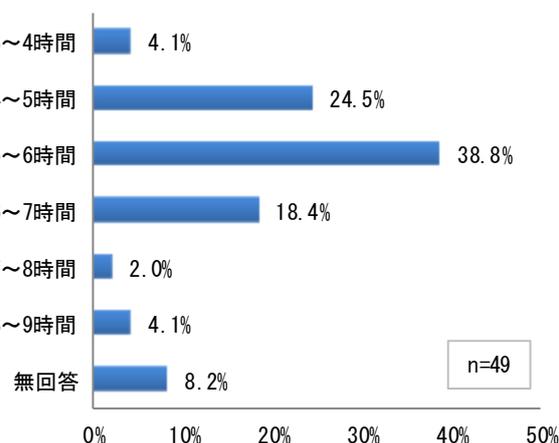


就労希望時期となる一番下の子の年齢としては、「9歳以上」(28.5%)が最も多く、次いで「6～9歳未満」(19.7%)となっています。

問 13-2① 母親の希望就労日数



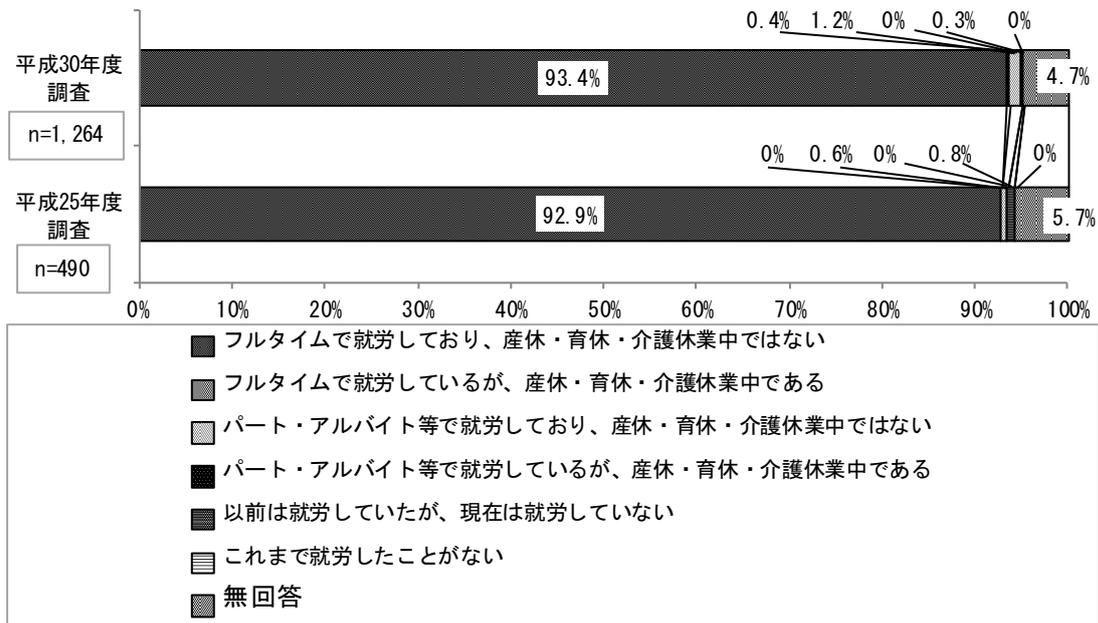
問 13-2① 母親の希望就労時間



母親の希望する就労日数は「3日」(42.9%)、続いて「4日」(26.5%)、「5日」(24.5%)となっています。就労時間は「5～6時間」(38.8%)、「4～5時間」(24.5%)と続いています。

## (2) 父親の就労状況

### 問 10② 父親の就労状況



### 3 地区別の就労状況（父親）

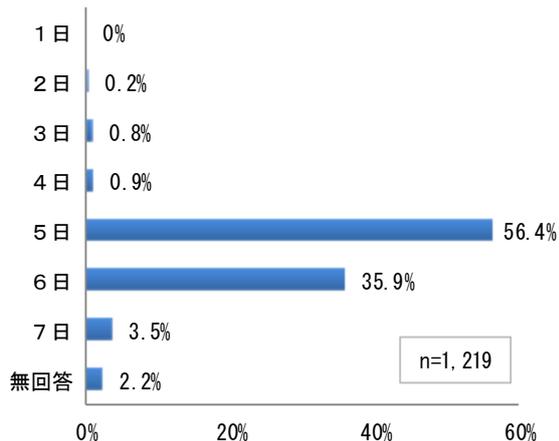
	合計	フルタイム 就労	フルタイム 就労（休業 中）	パート・ア ルバイト等	パート・ア ルバイト等 （休業中）	現在は就労 していない	就労したこ とがない	無回答
	1264	1181	5	15	0	4	0	59
	100.0%	93.4%	0.4%	1.2%	0.0%	0.3%	0.0%	4.7%
富津地区	752	700	3	7	0	3	0	39
	100.0%	93.1%	0.4%	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	5.2%
大佐和地区	285	269	2	4	0	0	0	10
	100.0%	94.4%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
天羽地区	204	193	0	4	0	1	0	6
	100.0%	94.6%	0.0%	2.0%	0.0%	0.5%	0.0%	2.9%
無回答	23	19	0	0	0	0	0	4
	100.0%	82.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%

父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」（93.4%）がほとんどで最も多くなっています。

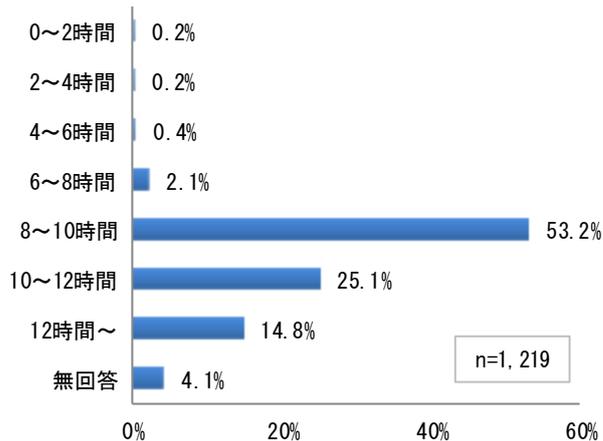
平成25年度調査と比較すると、「フルタイムで就労」（産休・育休・介護休業中含む）が（92.9+0）%から（93.4+0.4）%へ0.9ポイント増加しています。

また、3地区間では父親の就労状況の傾向に大きな差異は見られませんでした。

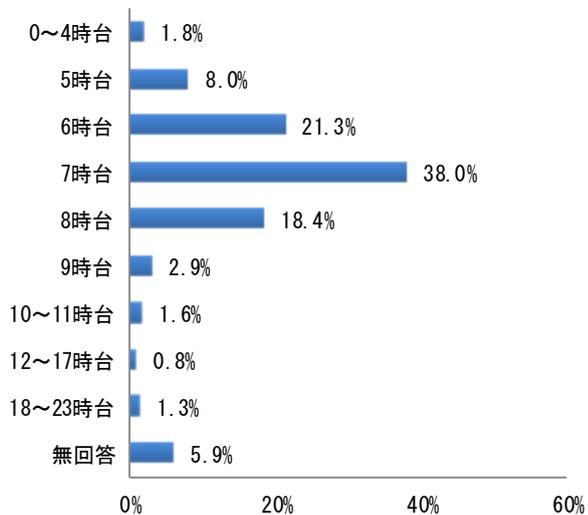
問 11① 父親の就労日数



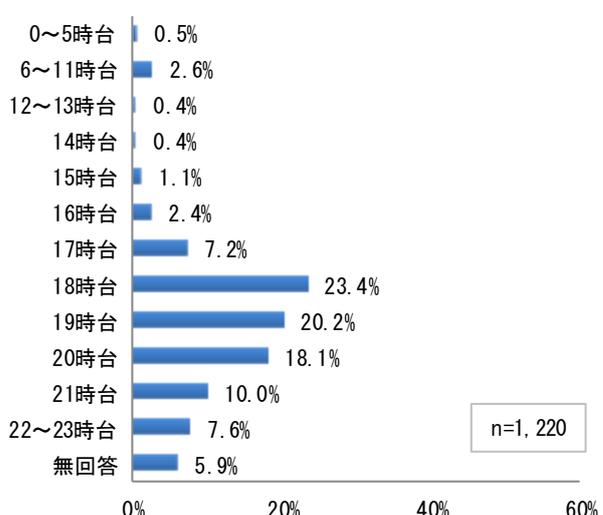
問 11① 父親の就労時間



問 11② 父親の出勤時刻



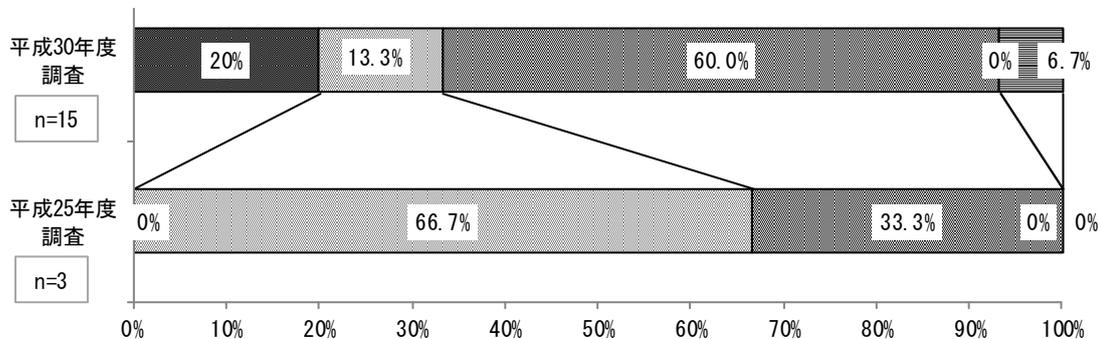
問 11② 父親の帰宅時刻



父親の出勤時刻は、「7時台」(38.0%)が最も多く、次いで「6時台」(21.3%)、「8時台」(18.4%)と7時台の前後に分布しています。

帰宅時刻は、「18時台」(23.4%)、「19時台」(20.2%)、「20時台」(18.1%)と遅い時間帯へと続いています。

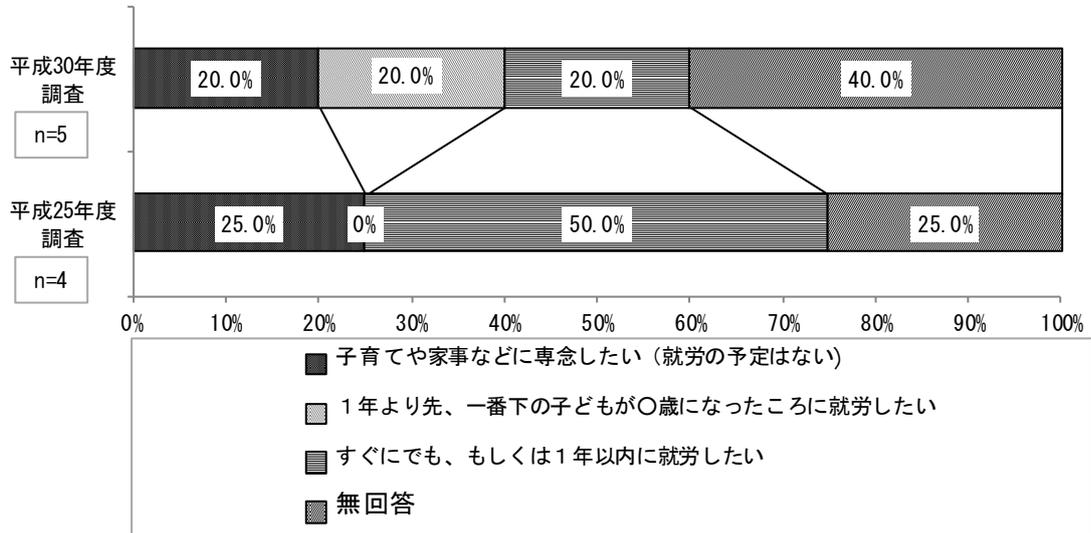
問 12② 父親のパートタイムからフルタイム勤務への転換意向



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

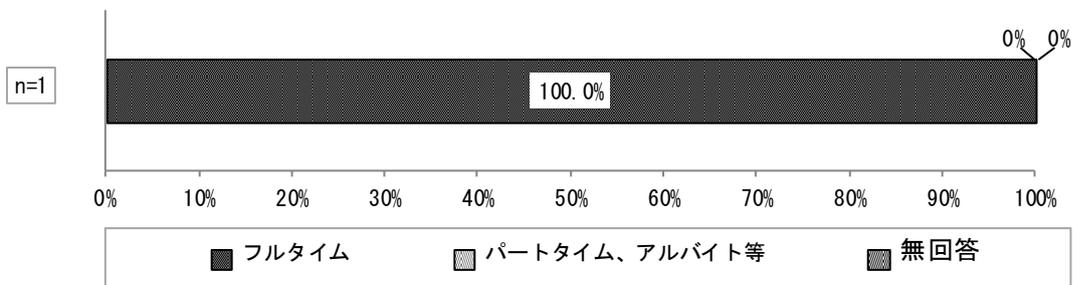
父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(20.0%)となっています。

問 13② 就労していない父親の今後の就労希望



就労していない父親の今後の就労希望は、「子育てや家事などに専念したい」(20.0%)、就労希望が(40.0%)でした。

問 13-1② 就労していない父親の今後の就労希望 (就労形態)



父親が希望する就労形態は「フルタイム」(100%)となっています。

問 13-2② 父親の就労希望日数  
【データなし：0件】

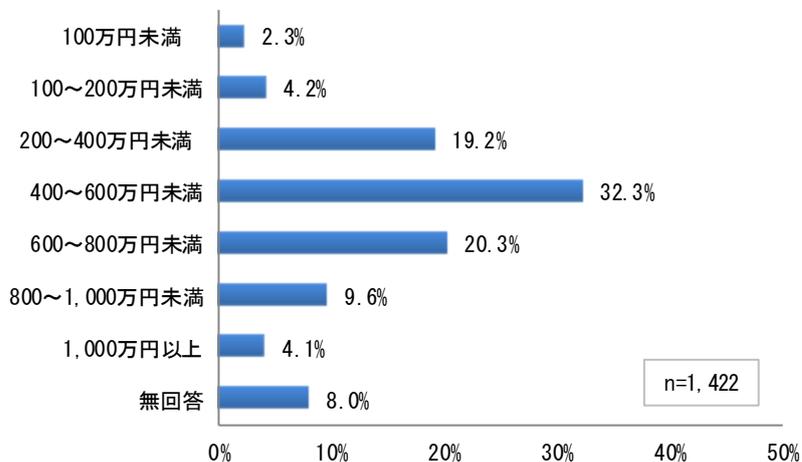
問 13-2② 父親の就労希望時間  
【データなし：0件】

### 3 家庭の経済状況

#### (1) 世帯の収入状況

##### 問 14 世帯収入

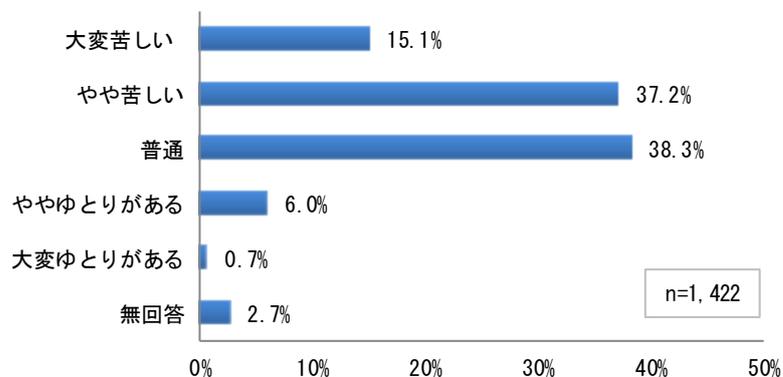
前年の世帯収入では、「400～600万円未満」(32.3%)が最も多く、次いで「600～800万円未満」(20.3%)、「200～400万円未満」(19.2%)となっています。



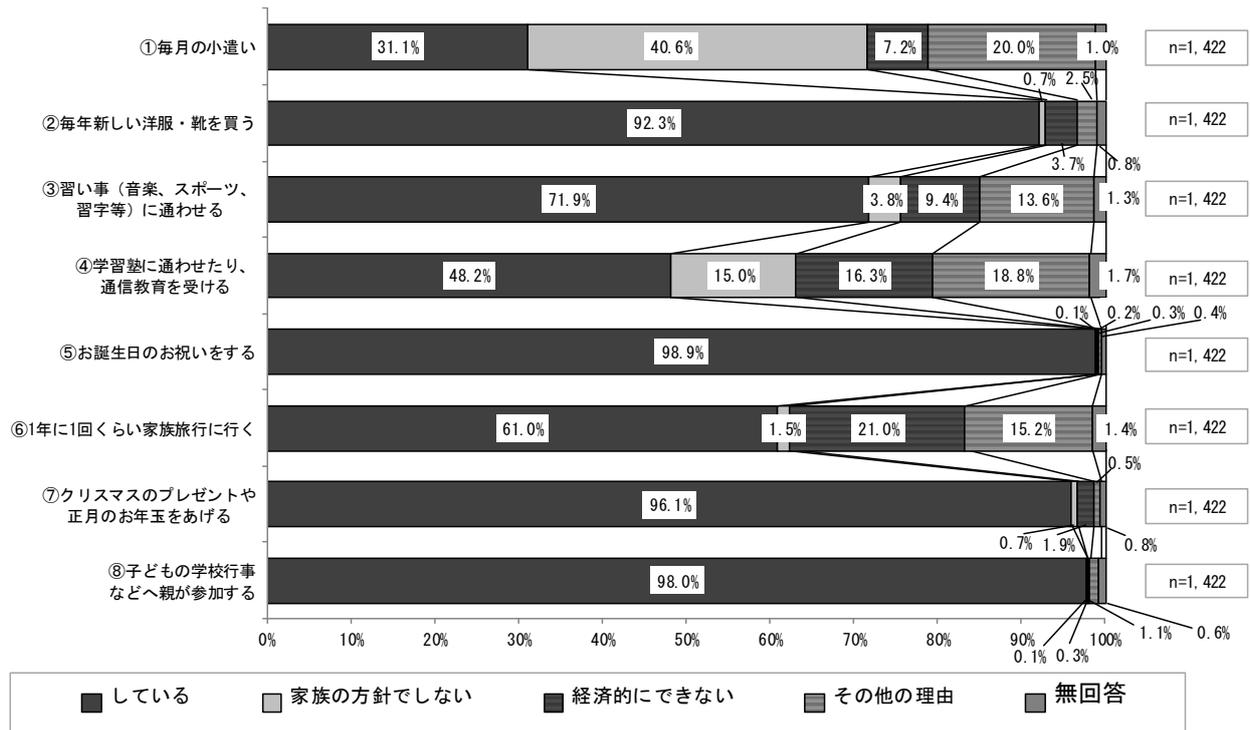
#### (2) 家庭における費用負担の状況

##### 問 15 家庭の経済状況

家庭の経済状況をどのよう  
に感じているかについては、  
「普通」(38.3%)が最も多く、  
次いで「やや苦しい」  
(37.2%)、「大変苦しい」  
(15.1%)となっており、生  
活が苦しいと感じている家庭  
が52.3%と半数以上になっ  
ています。



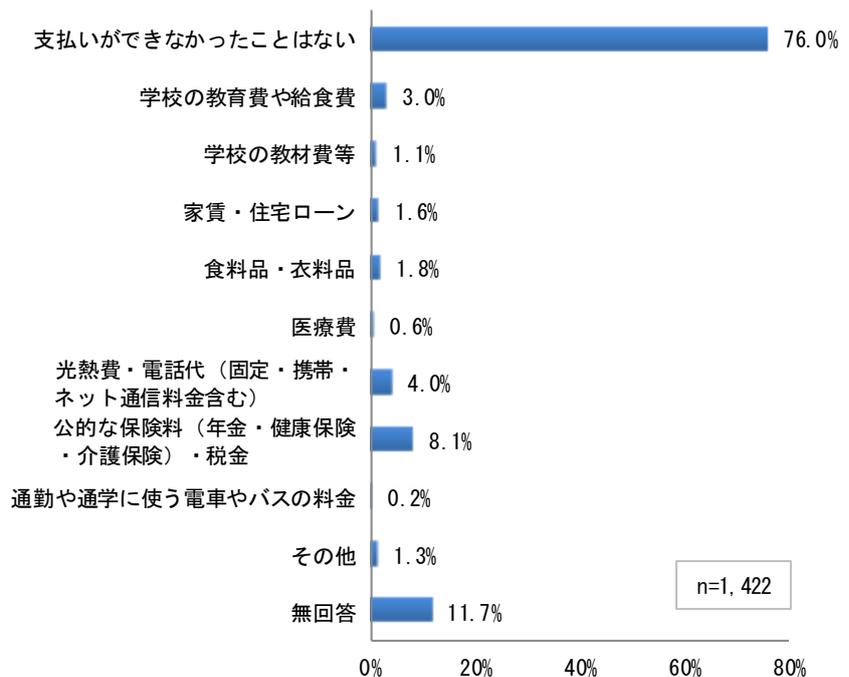
## 問 16 家庭でお子さんにしていること



家庭でお子さんにしていることでは、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「お誕生日のお祝いをする」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」、「子どもの学校行事などへ親が参加する」が約9割の家庭で行われています。家族の方針ではないものでは、「毎月のお小遣い」（40.6%）、「学習塾に通わせたり、通信教育を受ける」（15.0%）となっています。

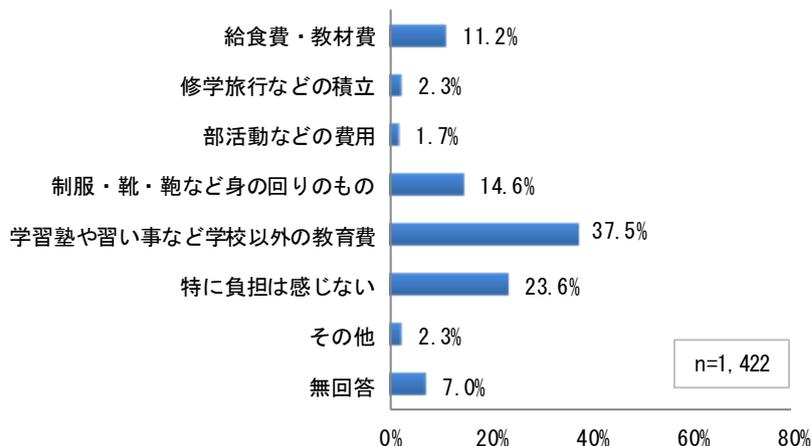
## 問 17 経済的理由で支払いができなかったもの

経済的に支払いができなかったものについては、「支払いができなかったことはない」（76.0%）がほとんどであり、支払えなかったものでは、「公的な保険料・税金」（8.1%）、「光熱費・電話代」（4.0%）となっています。



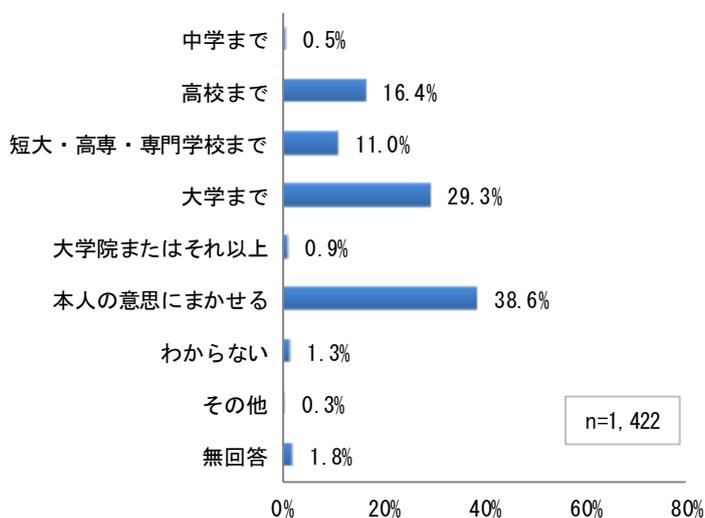
### 問 18 一番負担となる教育費

一番負担になっている教育費については、「学習塾や習い事など学校以外の教育費」(37.5%)が最も多くなっています。続いて「特に負担は感じない」(23.6%)となっており、家庭による負担感の違いがあります。



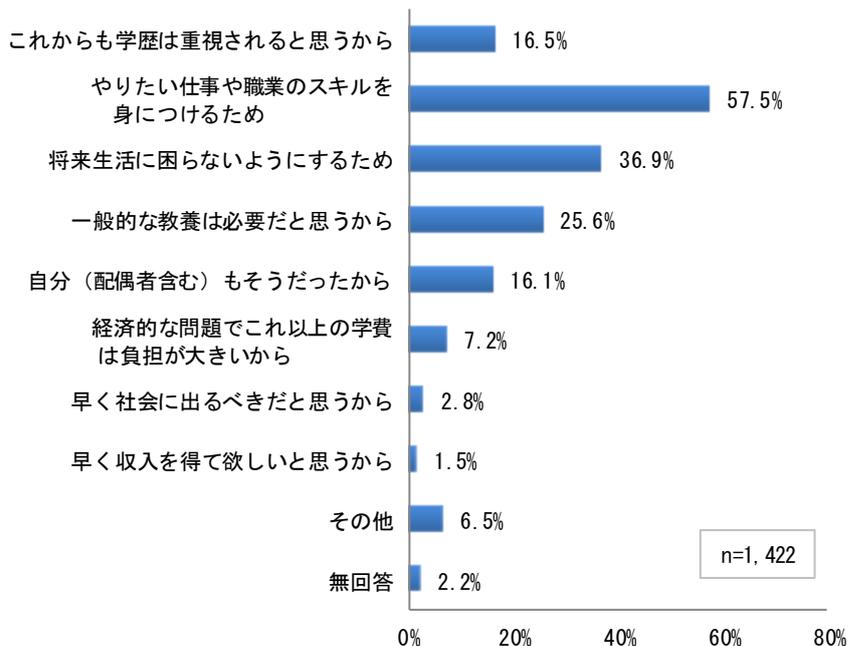
### 問 19 子どもに受けさせたい教育

子どもに受けさせたい教育については、「本人の意思にまかせる」(38.6%)が最も多くなっています。続いて「大学まで」(29.3%)、「高校まで」(16.4%)となっています。



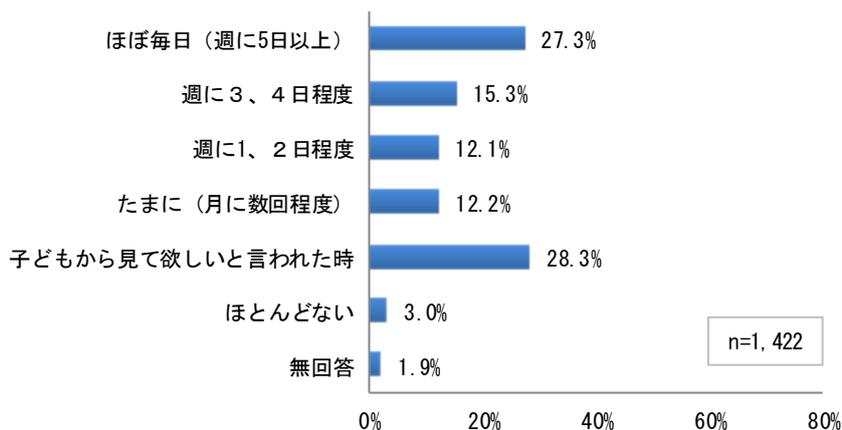
### 問 20 問 19 の回答の理由

問 19 の回答の理由として、「やりたい仕事や職業のスキルを身につけるため」(57.5%)が最も多く、次いで「将来生活に困らないようにするため」(36.9%)、「一般的な教養は必要だと思うから」(25.6%)となっています。



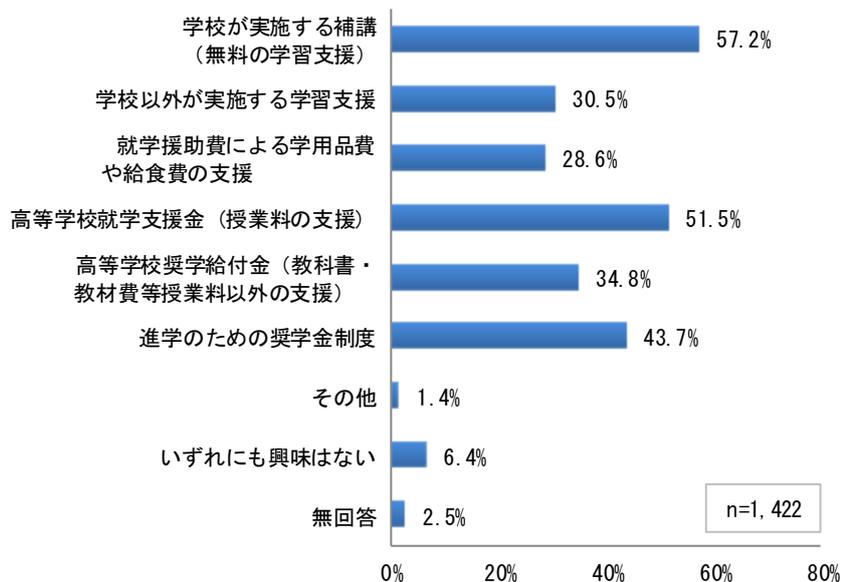
## 問 21 保護者が子どもの学習を見る頻度

保護者が子どもの学習を見る頻度は「ほぼ毎日（週5日以上）（27.3%）」が最も多い一方、「たまに（月に数回程度）」（12.2%）と「子どもから見て欲しいと言われた時」（28.3%）も比較的多く、頻度にばらつきがあります。



## 問 22 学習や進学のための支援制度

お子さんの学習や進学のための支援制度に対しては、「学校が実施する補講」（57.2%）が最も関心が高く、続いて「高等学校就学支援金」（51.5%）、「進学のための奨学金制度」（43.7%）となっています。





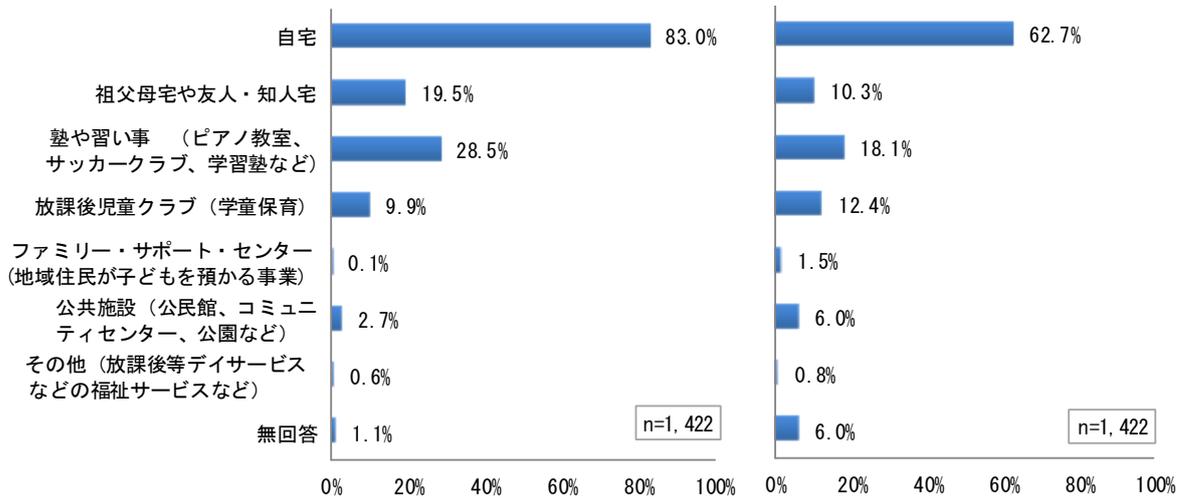
## **第 11 章 子育て支援サービスの現状と今後の 利用希望**



# 1 放課後の過ごし方について

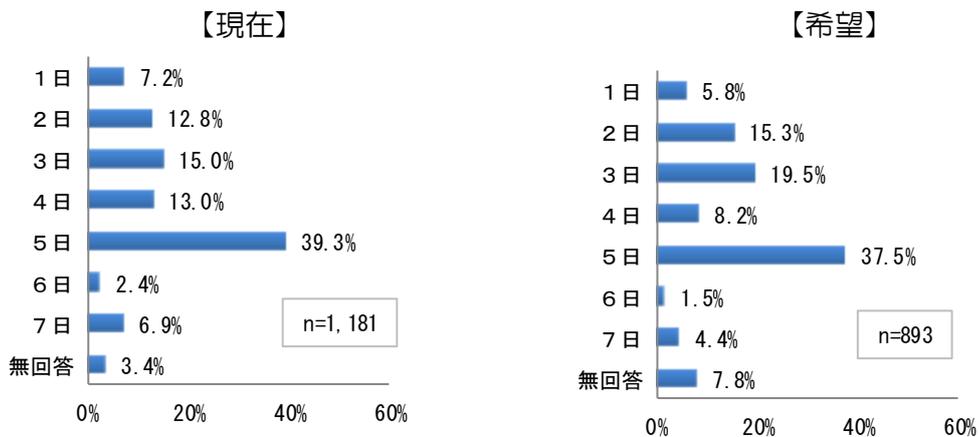
## (1) 平日の放課後の過ごし方について

問 23・問 24 放課後過ごしている場所【現在】・放課後過ごさせたい場所【希望】

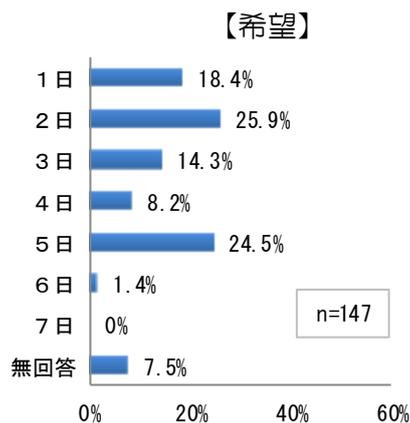
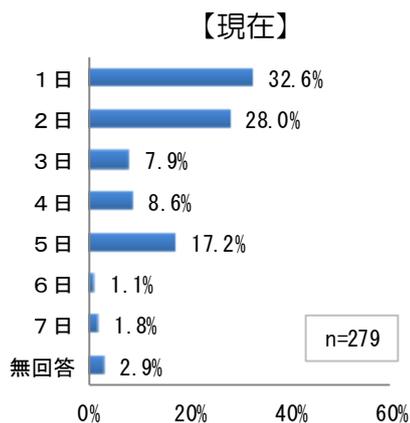


放課後の過ごし方をみると、「現在」では「自宅」(83.0%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(28.5%)、「祖父母や友人・知人宅」(19.5%)となっています。「希望」に対しては、「自宅」(62.7%)が最も多くなっており、以降、現在と順位や傾向は変わらず「塾や習い事」(18.1%)、「放課後児童クラブ」(12.4%)となっています。

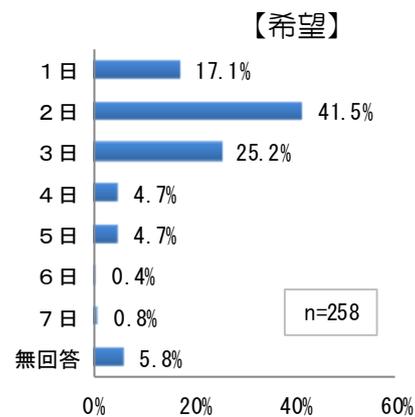
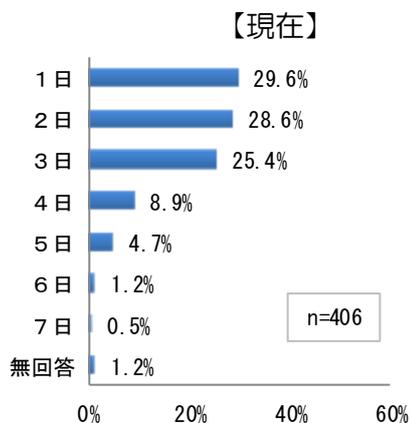
問 23<1>・問 24<1> 自宅



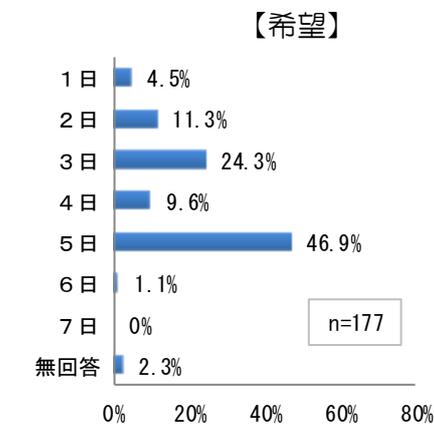
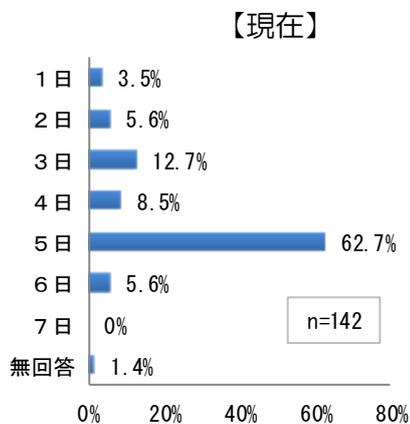
問 23<2>・問 24<2> 祖父母宅や友人・知人宅



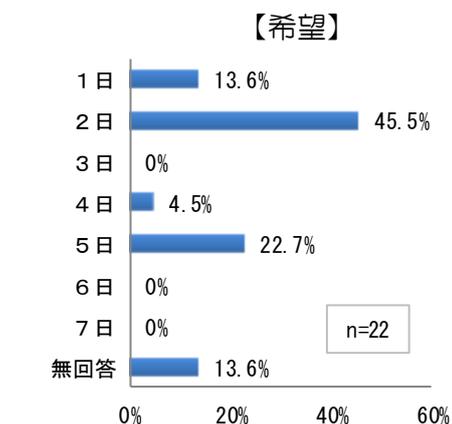
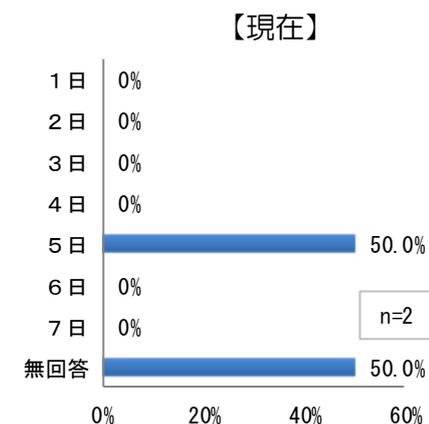
問 23<3>・問 24<3> 塾や習い事



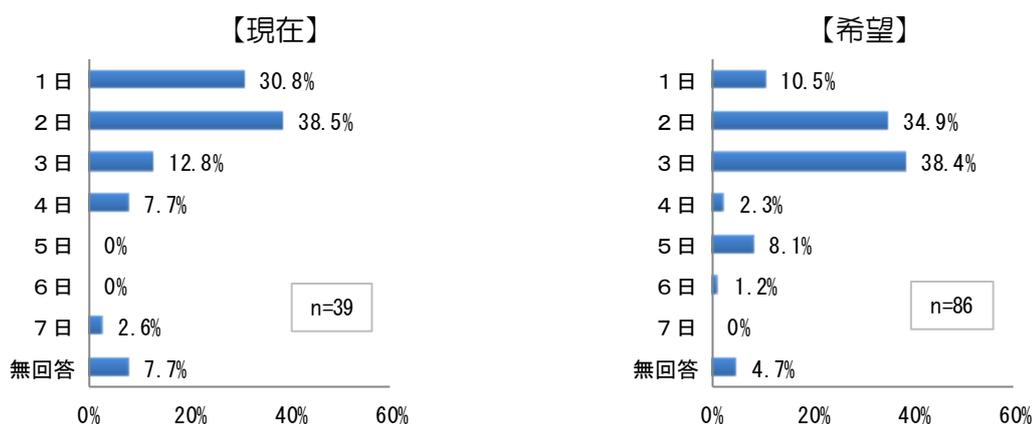
問 23<4>・問 24<4> 放課後児童クラブ（学童保育）



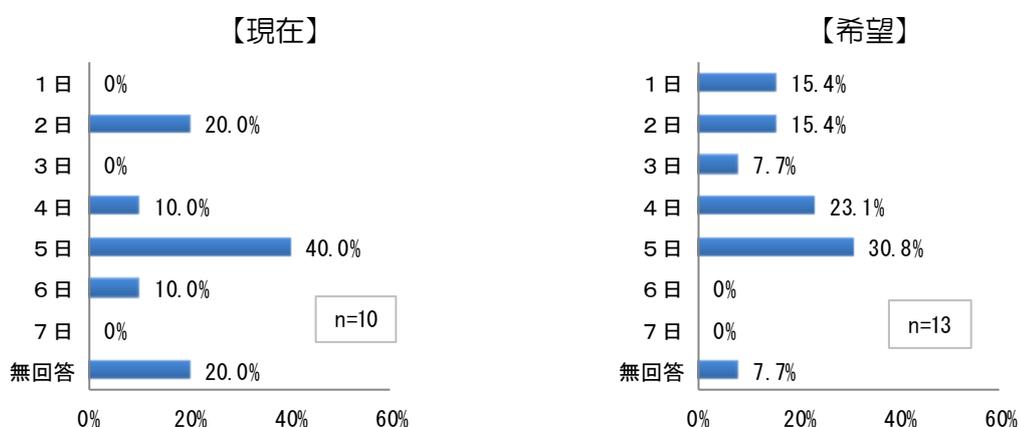
問 23<5>・問 24<5> ファミリー・サポート・センター



問 23<6>・問 24<6> 公共施設（公民館・コミュニティセンター・公園など）



問 23<7>・問 24<7> その他（放課後デイサービスなどの福祉サービスなど）



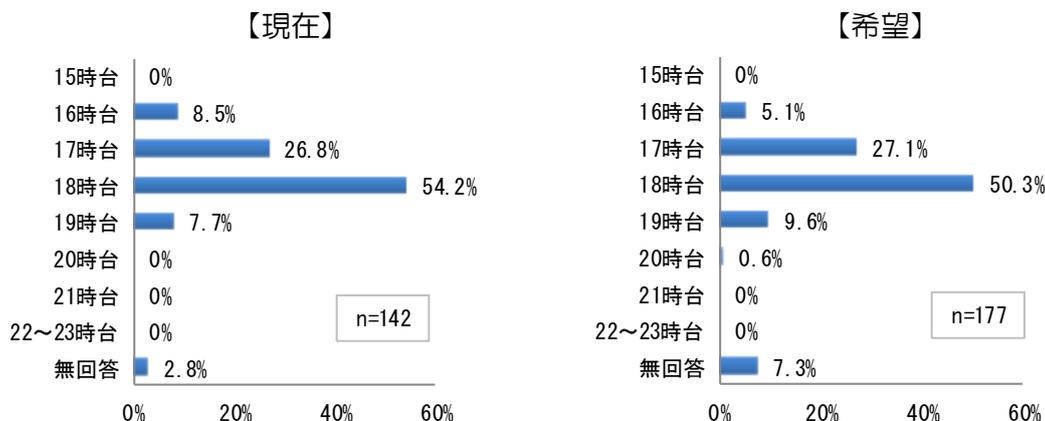
放課後を過ごしている具体的な場所と日数をみると、〔現在〕では回答者が最も多い「自宅」が「5日」（39.3%）となっています。〔希望〕でも「5日」が最も多く「37.5%」となっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、〔現在〕は「1日」（32.6%）が最も多くなっていますが、〔希望〕は「2日」（25.9%）、「5日」（24.5%）となっています。「塾や習い事」の〔現在〕では「1日」（29.6%）が最も多くなっていますが、〔希望〕では「2日」（41.5%）が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ」の利用は、「5日」が〔現在〕（62.7%）、〔希望〕（46.9%）ともに最も多くなっています。

また、「ファミリー・サポート・センター」の利用については、〔現在〕は「5日」（50.0%）が1件のみでしたが、〔希望〕では「2日」（45.5%）が最も多く、他にも合わせて22件の希望があり、現在は利用していないものの、今後利用したい意向があることがうかがえます。

「公共施設」の利用については、〔現在〕「2日」（38.5%）が最も多くなっており、〔希望〕では、1日増えて「3日」（38.4%）が最も多く、次いで「2日」（34.9%）となっています。

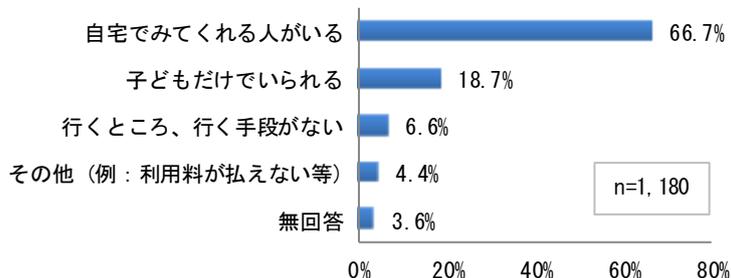
問 23<4>・問 24<4> 放課後児童クラブ（利用時刻：下校時～）



下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、〔現在〕では「18 時台」（54.2%）、「17 時台」（26.8%）となっており、〔希望〕は「18 時台」（50.3%）、「17 時台」（27.1%）となっています。終了時刻については、〔現在〕と〔希望〕の時刻の傾向に大きな違いは見られませんでした。

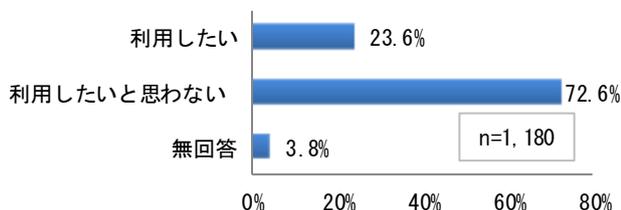
問 23-1 自宅で過ごしている理由

自宅で過ごしている理由では、「自宅でみてくれる人がいる」（66.7%）が7割近くとなっています。



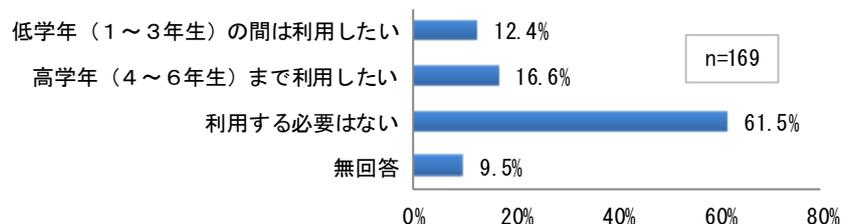
問 23-2 小学校の近くに放課後児童クラブがあった場合の利用希望

小学校の近くに放課後児童クラブがあった場合の利用希望については、「利用したいと思わない」（72.6%）が7割以上を占めています。

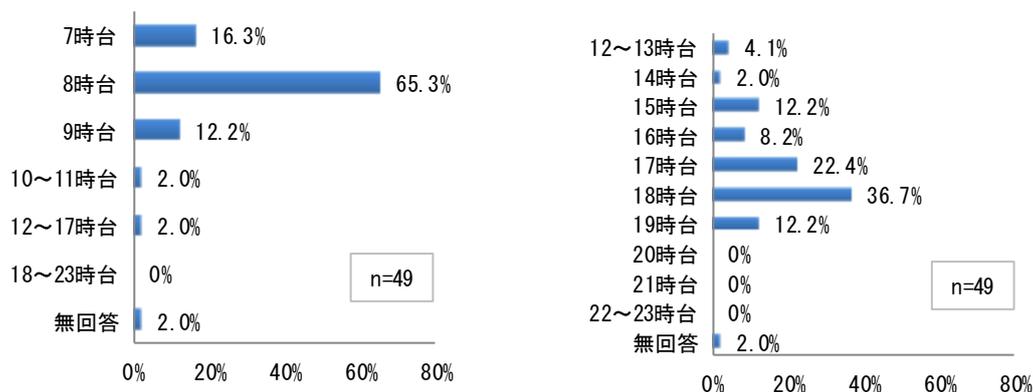


## (2) 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向について

### 問 25 (1) 放課後児童クラブの土曜日の利用

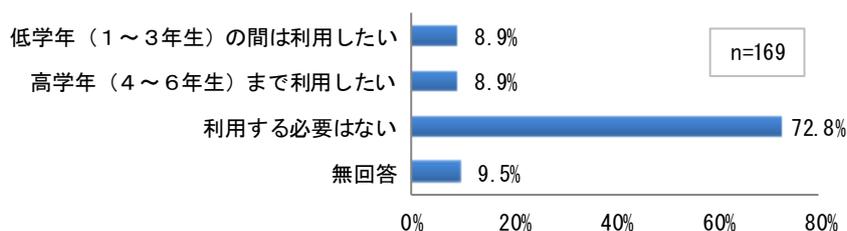


### 問 25 (1) 放課後児童クラブの土曜日の利用（利用したい時間帯）開始時刻／終了時刻



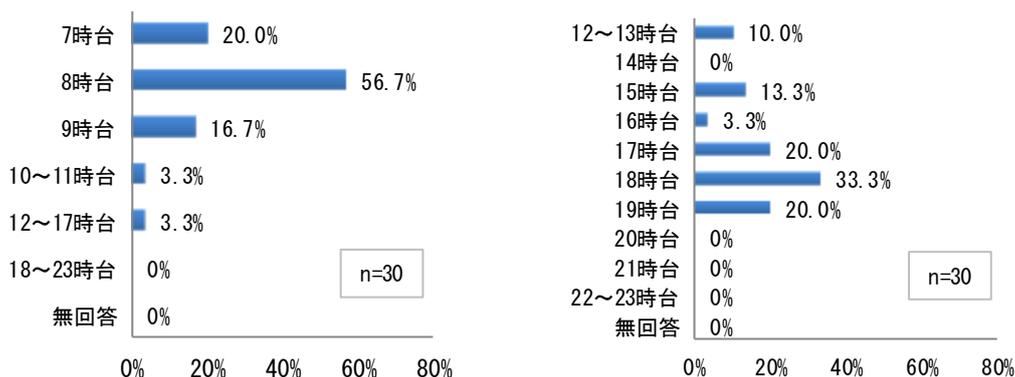
放課後児童クラブの土曜日の利用意向をみると、「低学年の間は利用したい」（12.4%）、「高学年になっても利用したい」（16.6%）、「利用する必要はない」（61.5%）となっています。希望利用開始時刻は、「8時台」（65.3%）が最も多く、希望利用終了時刻では「18時台」（36.7%）が最も多くなっています。

### 問 25 (2) 放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用



放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用意向をみると、「低学年の間は利用したい」（8.9%）、「高学年になっても利用したい」（8.9%）、「利用する必要はない」（72.8%）となっています。

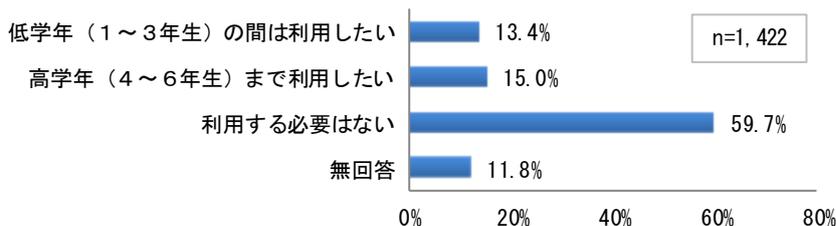
問 25 (2) 放課後児童クラブの日曜・祝日の利用（利用したい時間帯）開始時刻／終了時刻  
 (開始時刻) (終了時刻)



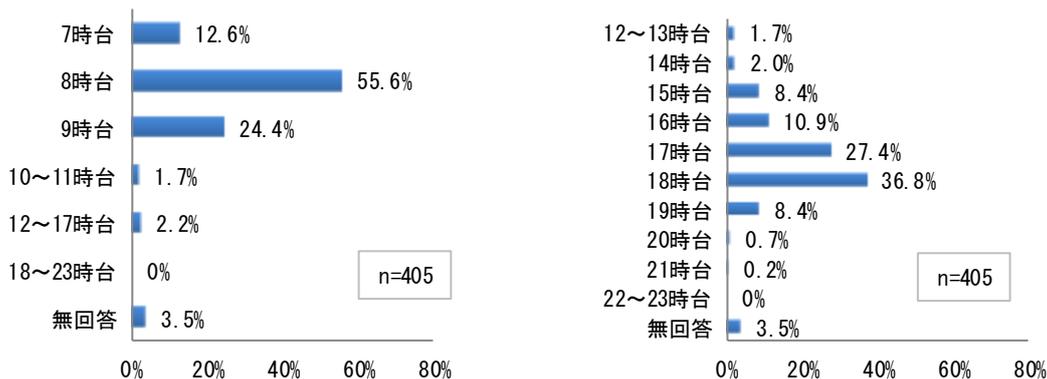
日曜日・祝日の希望利用開始時刻は、「8時台」(56.7%)、希望利用終了時刻では「18時台」(33.3%)となっています

**(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向について**

問 26 放課後児童クラブ長期休業中の利用



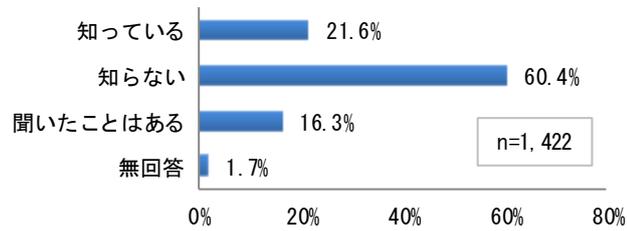
問 26 放課後児童クラブの長期休業中の利用（利用したい時間帯）開始時刻／終了時刻  
 (開始時刻) (終了時刻)



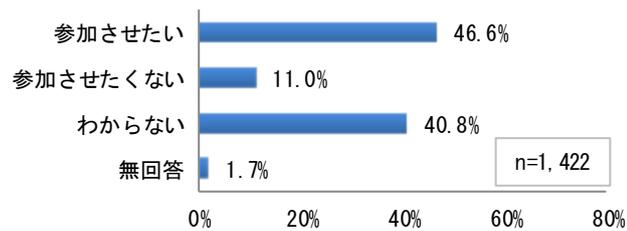
長期休業中の利用意向をみると、「低学年の間は利用したい」(13.4%)、「高学年になっても利用したい」(15.0%)、「利用する必要はない」(59.7%)となっています。  
 希望利用開始時刻は「8時台」(55.6%)が最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」(36.8%)が最も多くなっています

#### (4) 放課後子ども教室・子ども会について

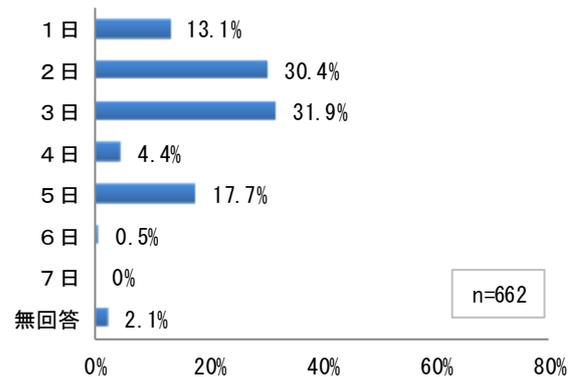
問 27 放課後子ども教室の認知状況



問 28 放課後子ども教室への参加意向



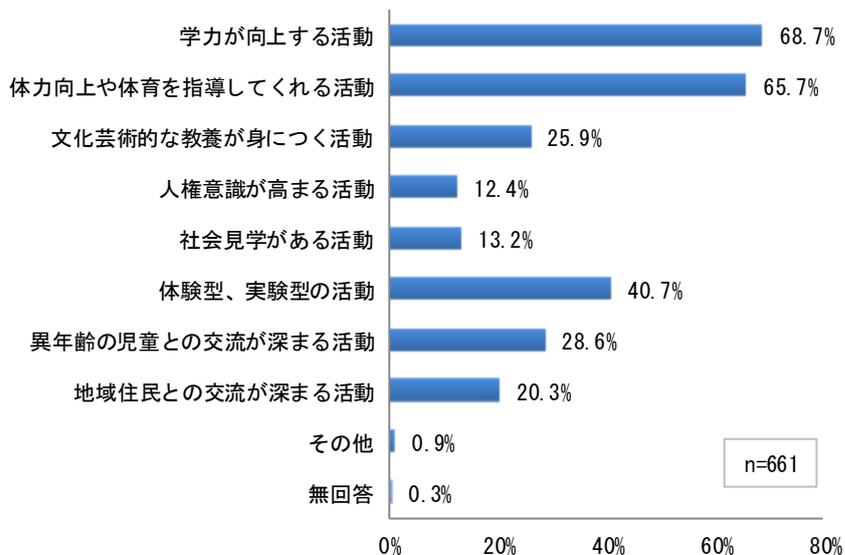
問 28<1> 放課後子ども教室に参加させる場合の日数（1週間当たり）



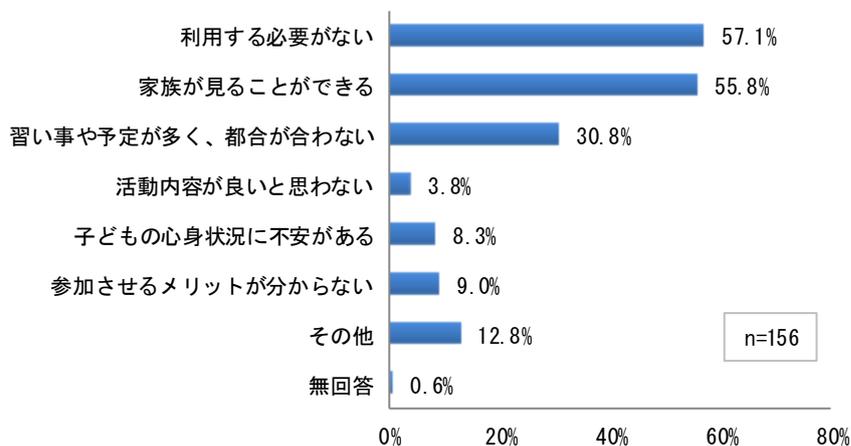
放課後子ども教室の認知状況では、「知らない」（60.4%）が「知っている」（21.6%）を大幅に上回っています。

放課後子ども教室への参加意向については、「参加させたい」（46.6%）が最も多くなっています。また、参加させたい日数は、週に「3日」（31.9%）、「2日」（30.4%）が多くなっており、「5日」（17.7%）の希望も比較的多くあります。

### 問 29 放課後子ども教室に望む活動



### 問 30 放課後子ども教室に参加させたくない理由

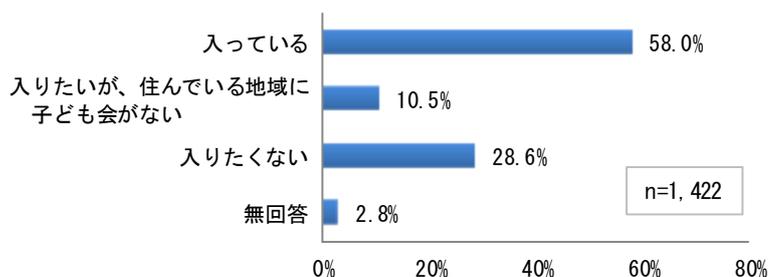


放課後子ども教室に望む活動としては、「学力が向上する活動」(68.7%)、「体力向上や体育を指導してくれる活動」(65.7%)の希望が多く、次いで「体験型、実験型の活動」(40.7%)となっています。

一方、放課後子ども教室に参加させたくない理由としては、「利用する必要がない」(57.1%)、「家族で見ることができる」(55.8%)となっています。

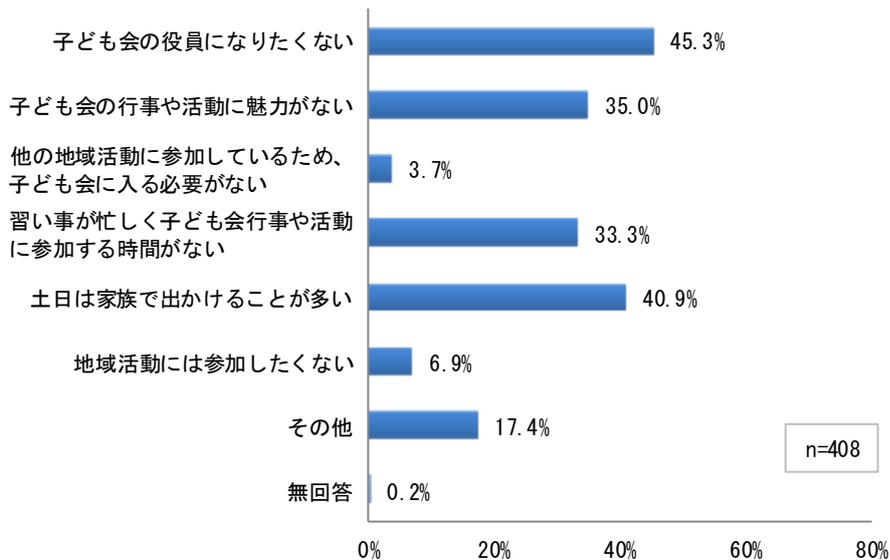
### 問 31 子ども会への加入状況

子ども会への加入については、「入っている」(58.0%)が最も多く、「入りたいが、住んでいる地域に子ども会がない」(10.5%)を合わせると約7割の人に加入意向があります。

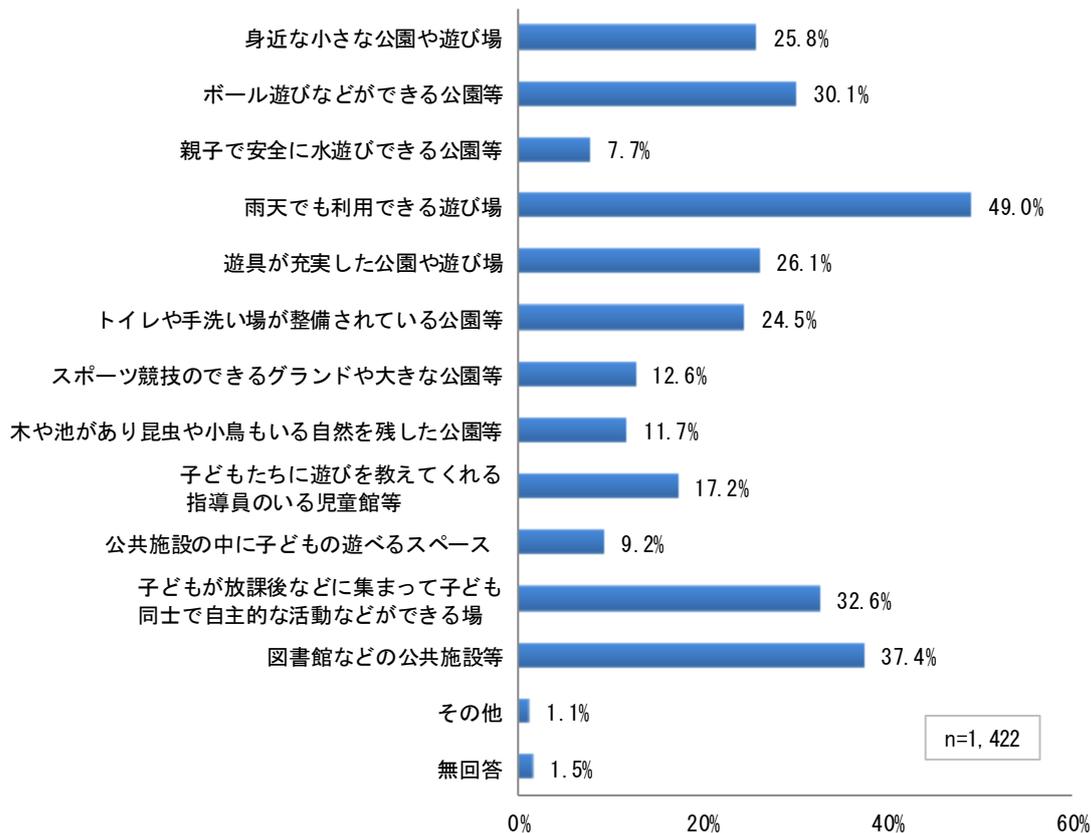


### 問 32 子ども会に入りたくない理由

問 31 で子ども会に「入りたくない」(28.6%)理由として、「子ども会の役員になりたくない」(45.3%)「土日は家族で出かけることが多い」(40.9%)となっています。



### 問 33 身近な地域で希望するお子さんが過ごせる場所



身近な地域で希望するお子さんが過ごせる場所としては、「雨天でも利用できる遊び場」(49.0%)が最も多く、次いで「図書館などの公共施設等」(37.4%)、「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主的な活動ができる場」(32.6%)と幅広い要望となっています。



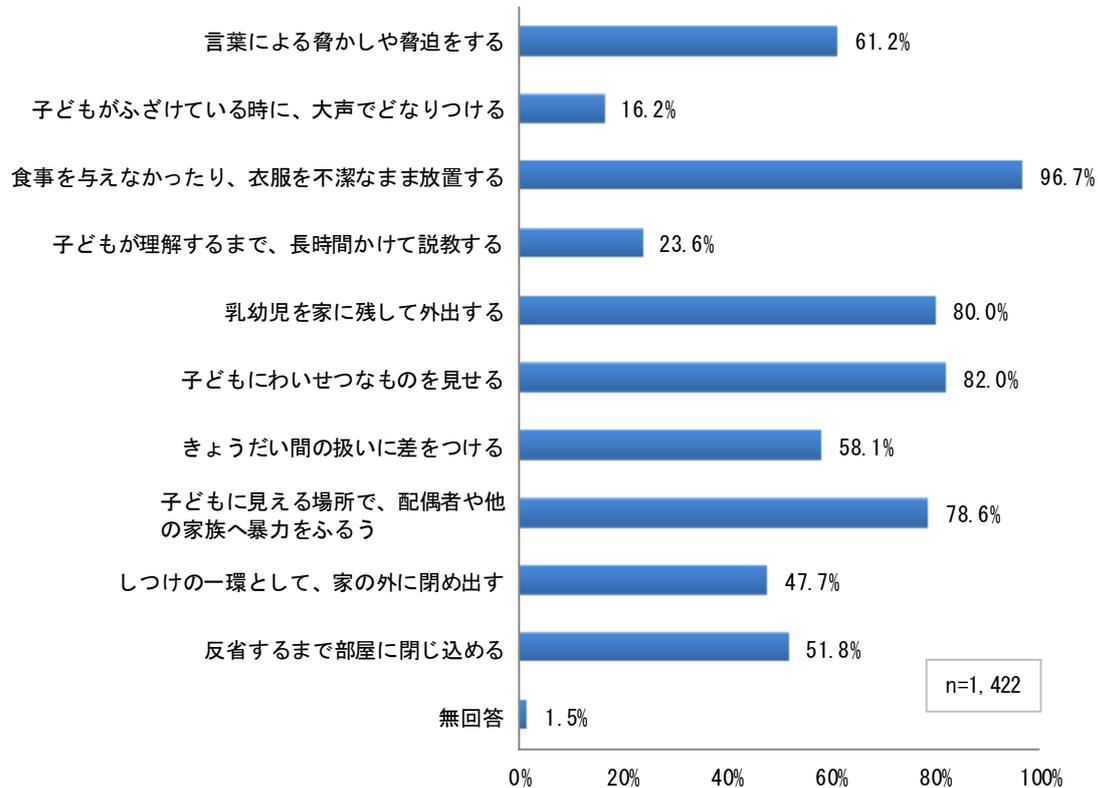
## **第 12 章 児童虐待に対する意識**



# 1 児童虐待に対する意識について

## (1) 児童虐待に対する理解・認識について

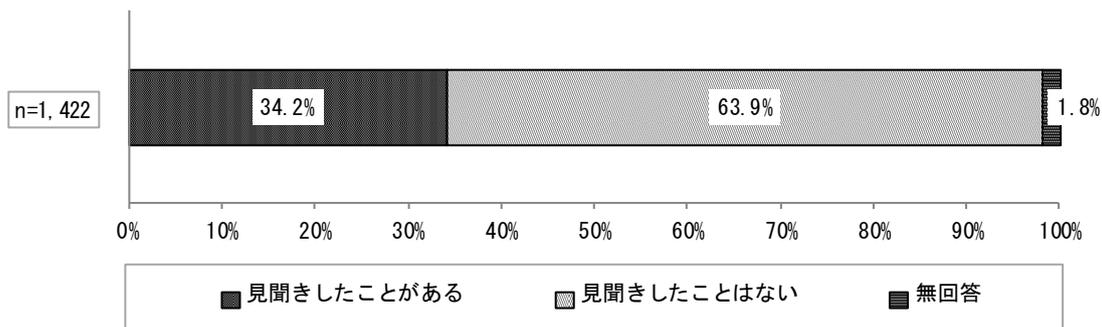
### 問 34 児童虐待と感じる行為



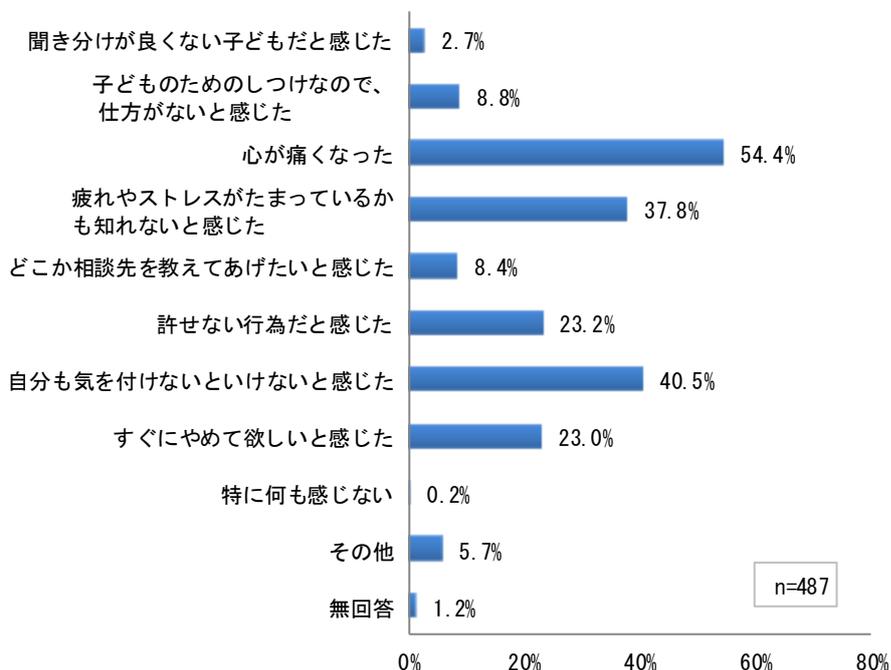
児童虐待と感じる行為については、「食事を与えなかったり、衣服を不潔なまま放置する」(96.7%)、「子どもにわいせつなものを見せる」(82.0%)、「乳幼児を家に残して外出する」(80.0%)については、8割以上の方が、児童虐待であると感じています。

一方、「子どもがふざけている時に、大声でどなりつける」(16.2%)、「子どもが理解するまで、長時間かけて説教する」(23.6%)を児童虐待であると感じている人は約2割にとどまっています。

問 34-1 問 34 の選択肢のような行為を見聞きしたことがあるか



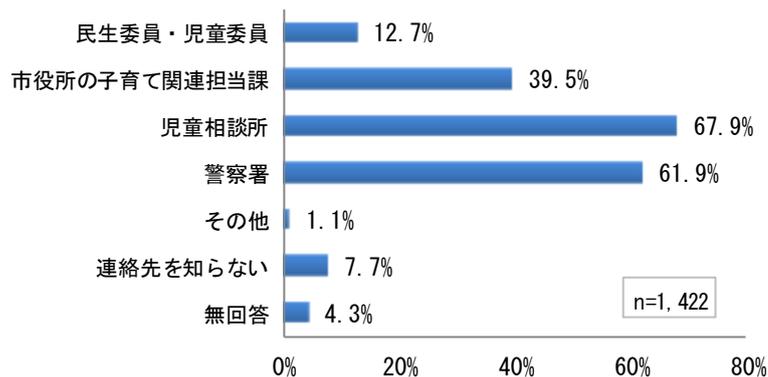
問 34-2 問 34 の選択肢のような行為を見聞きした時にどのように感じたか



問 34 の選択肢のような行為を見聞きしたことがあるかについては、「見聞きしたことがある」(34.2%) となっています。

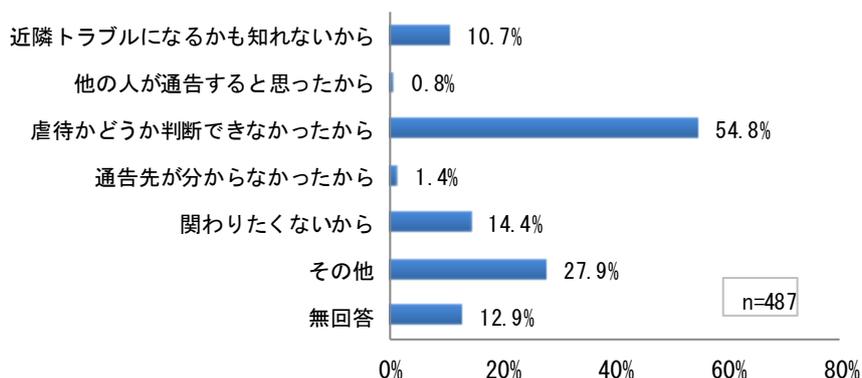
そのような行為を見聞きした時にどのように感じたかについては、「心が痛くなった」(54.4%)、「自分も気を付けないといけないと感じた」(40.5%)、「疲れやストレスがたまっているかも知れないと感じた」(37.8%) という人が約 4～5割になります。

問 34-3 児童虐待（疑いを含む）を見聞きした場合の通告先として知っているもの



児童虐待（疑いを含む）を見聞きした場合の通告先として知っているものについては、「児童相談所」（67.9%）、「警察署」（61.9%）に続き「市役所の子育て関連担当課」（39.5%）となっており、通告先としての認知度が高まっています。

問 34-4 問 34 の選択肢のような行為を見聞きして通告しなかった理由



問 34 の選択肢のような行為を見聞きして通告しなかった理由については、「虐待かどうか判断できなかったから」（54.8%）が最も多くなっており、続いて「その他」（27.9%）、「関わりたくないから」（14.4%）となっています。

「その他」の具体的な例としては「ご近所ではなく、どこの方かも知らなかったのに」、「しつけの範囲内だと思ったから」、「スーパーの休憩所だったので相手の親子もいつまでいるかわからなかった為」、「そこまで深刻にとらえなかった」、「一時的に見聞きしただけでは、継続的な虐待かどうかわからないから」、「自分が直接見たわけじゃないから」、「通告するほどでないと感じた為」、「通告をすればした人が特定されてしまうから」となっています。



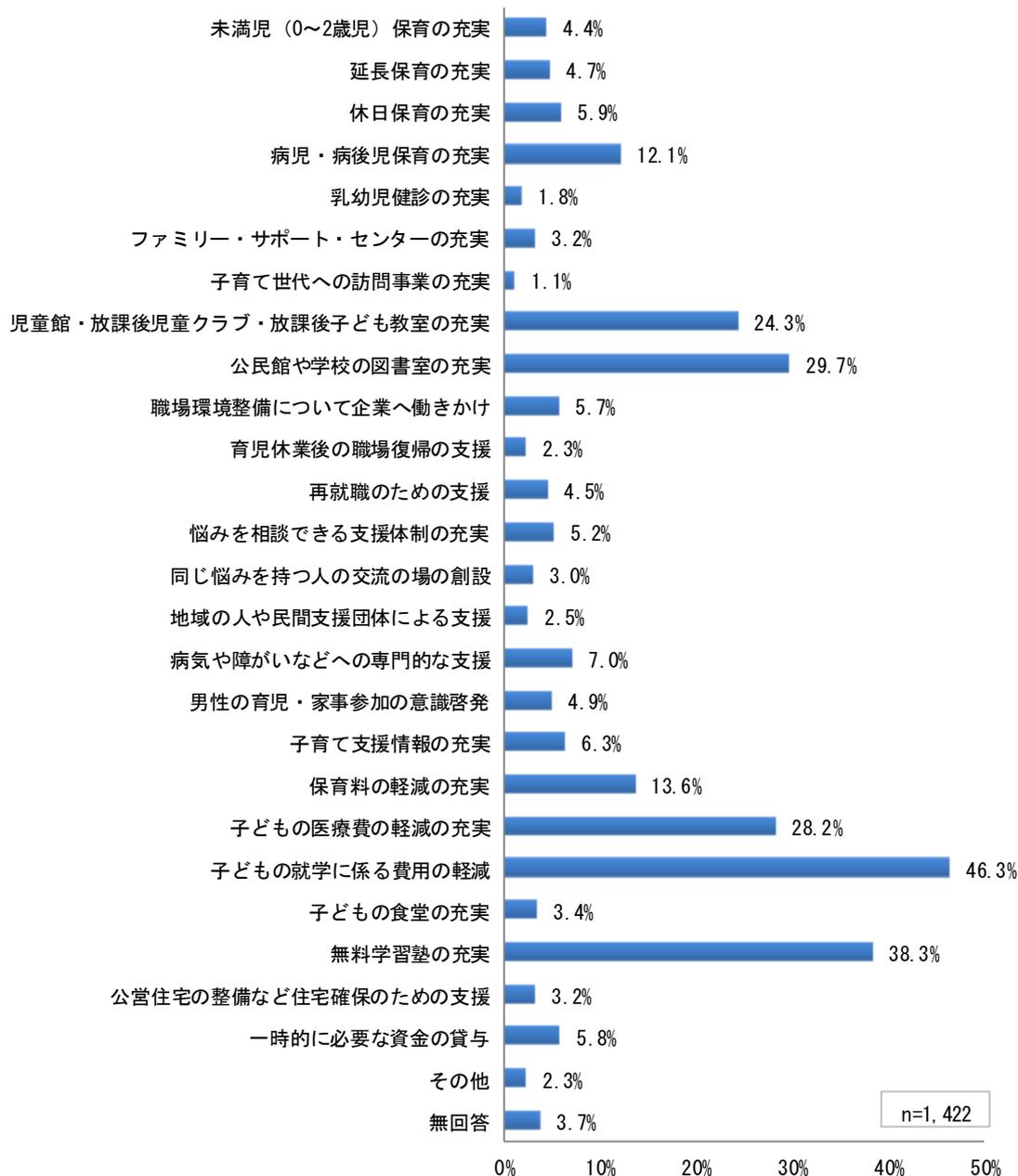
## **第 13 章 望まれる子育て支援サービス**



# 1 今後希望する子育て支援サービスについて

## (1) 今後希望する子育て支援サービス

問 35 今後、充実を希望する子育て支援サービス



今後、充実を希望する子育て支援サービスとして「子どもの就学に係る費用の軽減」(46.3%)、「無料学習塾の充実」(38.3%)、「公民館や学校の図書室の充実」(29.7%)、「子どもの医療費の軽減の充実」(28.2%)、「児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実」(24.3%)等、費用負担の軽減と施設整備に関わる項目を希望する割合が高くなっています。



## 第 14 章 自由記述



## 自由意見【小学生】

※掲載にあたっては、意図を踏まえ調査票記述内容に対し一部編集を行っております。

### 1. 公園、遊び場等について

- 大きな公園があっても遊具も少なく古いものが多い。学校の設備も古いものも多く、子どもから不満がでている。(エアコン設置、トイレの改修はなるべく早く取組むべき)市のHPを見ても、教育等についての情報が少なすぎる。こうやってアンケートを実施しても、実際に市民の声が反映されているのかも分からない状況なので、無駄だと思う。
- 子供が遊べる公園が少ない。遊具がない。アスレチックの様な場所が欲しい。
- 公園に遊びに行っても遊具に危険を示すロープがあったり、古くなって危ない物をよく見かけるので遊具のメンテナンスをして欲しい。1クラスしかない学校は近隣の小学校と統合してスクールバスを出したらいいのでは？青堀小学校の改修工事の時期に飯野小、富津小との統合を見据えた将来を前提にした方がいいのでは？
- 子供が安心して遊べる場所を増やして欲しい。今ある公園には木で囲まれて見通しの悪い所があるが、フェンスに変えたり木を切るなどして道路からも見えるようにして欲しい。空地や雑草地など家を建てることのできない場所があるのならば、土地を整備して子供たちが遊べるようにして欲しい。学習力の低下が気になるが、授業数が足りないのであれば、夏休みの日数を減らしたり土曜日半日授業をするなどして欲しい。
- 街の小さな公園がない。(イオン周辺にはあるのかもしれないが)集まる場所がないので、親が車で送迎して友達の家を集まって遊ぶ事が多い。富津公園とみなと公園のように大きな公園が2つ隣り合わせにあっても、子供が自分で行ける距離ではなく、行く事はまずない。そういった現状のものに税金をかけて、本当に必要とする所に税金がかけられていないのは大変不満です。街灯が非常に少ない。下校時、帰宅時、街灯がなく(少なく)歩道がきちんと整備されていない所を通るのは大変危険だと思う。図書館が公民館の少スペースにしかない事に大変驚いた。きちんとした図書館がある事が、子供にとっても大人にとっても理想的だと思う。
- 富津はふれあい公園やみなと公園など隔離された公園が多く安心して遊ばせることがしづらい。学童に預けたいが働いた分まんま料金にもってかれると思うとバカバカしい。千葉や横浜のような科学館(遊べて学べる)があればいいのに子育て支援幼少期は集まりがあったときにいろいろきいたりできたが集まりがなくなってからは疎遠なイメージ。幼児優先なので行きづらい。
- 飯野地区に住んでいますが、近くで遊べる公園がありません。子供の遊び場が欲しいです。学校までの通学路の歩道の整備。保育料が高すぎ。入れたいのに入れられません。雨天の時遊べる場所。
- ボールを使って思いっきりあそべる公園がありません。外で遊びたいのにみんなで遊べない…。飯野地区にあるともっと子供達は、増えると思います。
- 私の住んでいる飯野地区には、子供たちが安心して遊べる公園がありません。放課後、宿題が終われば近所の子供達が集まって遊ぶというのが、私の幼少期の過ごし方でしたので、ぜひそのような場所を作っていただきたいです。一人親家庭への支援は、他の市に比べて少ないということですが、これからも富津市に住み続けたいと思っているので、公営住宅の建築などぜひお願いし

たいです。

- 子供たちが安心して思い切りボールなどで遊ぶ事ができる広い公園が近くにあると良いと思います。車の通りが激しかったり、近隣の方々に気兼ねしたりと、せっかく外で遊ぼうとしてもできず、家にこもってゲームをしているのをみると、残念に思います。又、大きな図書館が君津市にはありますが、富津市にはありません。子供たちが、自分たちだけで行くことができる市内にあるといいと思います。よろしくお願いします。
- 子供が小さい頃、歩いて行ける公園が無くてとても大変でした。毎日、自宅で過ごすか、お友達のお家、君津の公園か富津の公園も車で行かなくては行けなかったのが気軽に遊べる場所が欲しかったです。保育園に行っていない子の過ごせる所がもっと欲しい。もうひとつのお家や保育園開放にも何度か参加させて頂いたけれど、気軽には行けませんでした。車があるので、まだあちらこちら行けましたが車が無い方は、富津で子育てはできないと思いました。まず…市役所に敷地があるので、大きな公園を作って（小さい子から大きい子まで使える公園）沢山の人の利用してもらって、大人の日も行き届くと思うし、富津市はこれから子育てに力を入れるアピールになる。新しく子育て世代に住んでもらえるよう生活しやすい町にして頂きたいと思います。
- 飯野には、思いっきり遊べる公園がありません。みんなで野球をやりたくても、周りを気にしてできません。公園があるといいと思います。前から、意見として書いています。
- 富津市は公園の遊具が劣化によって撤去されている所が多く、広い公園がある割に、子供達が遊べる新しい遊具がないと思う。君津、袖ヶ浦のような子供達が楽しめる公園を作るべきだと思う。雨で遊べる所がない。かわいそう。自分の子供達には、将来富津には住んでほしくない。
- 富津市には遊具が充実した公園が少ないので作って欲しい。児童館を作って欲しい。図書館を作って欲しい。富津イオンのなくなったお店のところに子供が遊べるスペースを作って欲しい。
- 子供が身近に遊べる公園が欲しい。
- 昔から近くに公園などの遊び場がなく、車で15～30分の所へ連れて行ってもらっていました。自分の子供も近くに遊び場がなく、平日はほとんど家の中や庭で遊んでいます。ふれあい公園というだけ広い公園はありますが、もう少し小さい年令の子も遊べるような公園があるとありがたいです。できれば、アンデルセン公園のような施設があったら良いなあと思います。
- 公園設備の老朽化が著しいので、整備して欲しい。小学校も規模に対して設備の古さが目立つので、ある程度更新してもらいたい（特にトイレなど）。少年団、クラブチームとは別にスポーツを楽しめる様な活動が有れば良いと思う。
- 安心して遊ばせられる、子ども達も心置きなく遊べる公園が青木にもあったらいいなと思います。ふれあい公園はちょっとこわいです。（特に女の子は…）
- 遊べないので、もっとマメに公園の草刈りをして欲しい。
- 小学生が遊べる様な場（アスレチックや噴水）・イオン富津がどんどん閉店していき、淋しい状況なので市役所と連携してイベントなどで集客を増やし閉店しない様にして欲しい。
- ふれあい公園はとても大きい子供が遊ぶ場所が少ないし、周りに木がたくさんあるので外から見えず、危ない。住宅地の中に小さくても子供が遊べる公園があるととてもいい。
- 富津市は公園も遊具がなく、ただ草っ原が多くなったように思うし、イオンも店が閉まってしまった所も多く、空きスペースがあるのに新しい店も入らない。雨天遊ばせられる所があれば助かる。毎月の集金もきょうだいがいると大変。習い事も末っ子には我慢させたり、正社員を探して

入っても富津の相場は安く、親が近くにいるからここにいるものの将来は住み続ける気は今はない。もっと住みやすい土地へ子も成長したら出たいと思っている。高齢化してるのに電車やバスも少ない。通学にも不便さを感じている。生活するのも水道代も高くなり値上がりする一方だ。ほんとに富津市助けて欲しい

- 富津市には遊具が充実した公園がないので作って欲しい。児童館を作って欲しい。富津市にも図書館が欲しい。富津イオンの中のお店がどんどんなくなっているの、そこに大きな子供が遊べるスペースを作って欲しい。
- 子供が、遊べる場所が欲しい…ふれあい公園は、あまり、人目につかなくて子供だけでは、あぶない、こわいから～って行かないから、なんだか、無駄な気がする。
- 夜、サッカー練習（フットサル）できる場所を提供してください。
- 公園の遊具が少なすぎる。
- ふれあい公園でボールを蹴っているとグラウンドの中も外にもですが、動物のふんが多く、踏んづけてしまったり、ボールにふんがついてしまったりして衛生的に良くない。子供もいやがって公園に行きたがらなくなった。あんなに広くていい公園があってもどうかと思う。もっと小さい子供がいる人たちは、もっといやだと思います
- 大堀には遊具のある児童公園がいくつかあるが、青木にはない。子どもも増えてきているし、そろそろ公園予定地となっている空地进行して欲しいなと思います。ふれあい公園は子どもだけで遊ばせるにはちょっとこわい感じがします（特に女の子）。特別に広い必要はないと思うし、すごく立派な遊具は必要ないと思います。人目につきやすく開かれた明るい雰囲気であれば。
- 空地は草ボーボー、公園には声をかけてきたり変な人が多く、子供達が遊ぶ場所がない！！子供が安全に遊べる場所を作って！！場所がないから、家のまわりで、遊ぶしかない。なんで子供が気を使って遊ばないといけない？子供は、元気に外で遊ぶもんじゃないのか！！
- 子供達が安全に遊べる場所を増やして欲しい。
- 子供の遊び場といったらイオンしかありません。もっと子供らしく遊べる場が欲しいです。
- 子供たちのための施設が増えると良いと思います。
- 身近な公園がないため、休日家にいることが多く、ゲームをして時間をつぶしていることが多い。子供たちだけで遊びに行けるような図書館、児童館、公園のような場所が近場に欲しい。
- 子供達が遊べる公園を作って欲しいです。他の市には、子供達と親で集まれる施設があるのに富津市には、あまりないと思います。他の市は、とても充実していると思います！！
- 大貫に住んでいますが、公園が充実していない様に思います。遊具もあまりないし、トイレも古くて汚いです。周りから公園の中を見る事も出来ず、中で何かあっても分かりにくく少し心配です。木を少し切って柵にする等、子供だけでも安全に遊べる様にきれいに整備してもらいたいです。通学路について、岩瀬橋近くの坂（白皇神社）、以前の土砂くずれでブルーシートがかかったままになっています。子供達が毎日通るので危険に思います。
- 子ども達が安全に遊ぶことのできる広場がありません。学区内で歩いて（自転車）集まれる範囲に車などを気にせずボール遊びや、鬼ごっこができる様な環境を確保してあげられたら…と思います。活用されていない土地を市と地主さんと交渉し、何とかできませんか？登校時に安全見守り隊の方々が通学路に居て下さるのが、とてもありがたいです。通学路で、ちょっと淋しいな、人目が少なくて心配だな…と感じる箇所がいくつかあります。下校時にも安心して歩ける様な…

歩かせることができる様な配慮をしていただけるとありがたいです。(おまわりさんのパトロールなど)

- 子ども達同士が外で安心して遊べる場がない。特に公園があってもきれいにされていなかったり、遊具も危ない。交通量も増えている為、広い場所で遊ばせてあげたいが、難しい。
- 公園が少ない事。同じ年頃の子供達同士で集まる場所がない。(又は知らない)市役所にスペースが空いているようなので、「いこいの場」的なフレンドリーな場をつくれませんか？
- 放課後、子供達が遊べる公園がなく、自宅か友人宅で遊ぶことが多い。公園を作って欲しいです。
- 問 35 に記入しましたが、子供が安心して遊べる公園が家の周りにまったく無い。自然は沢山あるが、遊具で遊べる公園があれば、車で出かけなくても休日公園で過ごせるなぁとよく思います。子供の健診は平日しかやっていないが、育休後仕事復帰すると土・日しか休みがないので土曜にもやってもらえるとありがたいです。
- 明るく、過ごしやすい公園を作って欲しいです。大きな公園としてはふれあい公園がありますが、暗いイメージ。みなと公園は明るい感じですが、大貫地区にも、あったらいいなと思います。放課後子ども教室にすごく興味があります。子ども達の放課後が楽しい時間になったらいいですね。しかし、先生方は、学校の事で忙しいと思うので先生に負担のないように配慮してくれたら良いと思います。
- 自宅の近くに子供たちが遊べる施設がない為、公園等が増えて欲しいと思います。
- 子供達が遊べる、遊具のある公園が欲しい。放課後、自宅か友人宅で遊んでいるので外で遊んで欲しい。
- 乳幼児、老人への支援はそれなりに有るのに、小・中学生の支援が少なく、安心して体を動かせる施設が無いのももっと増やして欲しい。(公園等が無い為、道路で遊ぶしかない)
- 子供が自由にボール遊びなどできる場所が欲しい。遊具の充実も。学校の遊具が壊れていても直してもらえないし、ボールで遊べば怒られる。子供が集まって遊べる場所がありません。
- 近くに公園(遊び場)がないので早急に作って欲しいです・通学路に、歩道が欲しい・スクールゾーンを作って欲しい・学用品(制服、体操服…)補助して欲しい。
- 吉野地区は、公園がないので公園を作って欲しい。
- 公園が少ないので遊ばせるのに、いつも車でかなりの距離を移動しています。袖ヶ浦公園のように自然や池にいる生き物にふれたり、自転車をこいだりできるような大きな場所があると、人もたくさん集まって楽しいかなあと思います。若い人たちは、君津や木更津に引っ越してしまいどんどん人口が減ってしまうのが残念です。国道は観光の方などがたくさん通るので、国道沿いに商業施設や住宅などぜひ作って頂けると、もっと活気あふれる町になると思います。自然豊かで便利な富津へ若い人が住みたいと思ってもらえると、子供も増えにぎやかになると思います。こういう機会にお伝えできてすごく良いと思います。アンケートありがとうございます。宜しくお願い致します。
- 子供が外で遊べるように安全な場所があったらよい。児童館など、公園。大人、老人も寛容になって欲しい。市民の森のアスレチックが廃墟となっている。直さないのか？
- 何かさせると言うと木更津まで習いに行かないと行けない事が多く、富津市でもっとスイミングやテニスやダンスやサッカーなどの施設を作って欲しい。他スポーツクラブの出店など。
- 友達と遊ぶとしても家が離れている為1人で行くのはむずかしい。学校の近くに遊べる場所があ

れば良いなと思う。

- 放課後、子供が外で遊ぶことがありません（友人宅も離れているし、ほとんどの友人がゲームをして過ごしています。我が家もそうですが）近くに公園があったら、とも思いますが、子供自身に“外で遊びたい”という気があんまりなさそうです。峰上地区の公園は小さい子向けだと思うので小学生でも楽しく遊べそうな公園にして欲しいと思います。月初めに休日当番医の連絡メールをもらいますが“小児科の休日当番医”情報が欲しいです。市外の小児科に仕方なく行くこともあるので、医院へのHPリンクや地図情報とかもメールにあると助かります。「放課後子ども教室」という事業はとても魅力的だと思う。放課後の過ごし方として、たくさん運動したり、友達と宿題やったりとかすれば子供も楽しいと思うので、空き教室や（公民館でも）ぜひやって欲しいです。手の空いてる地域の方々や元教員とか、協力してもらえる人が集まってやってくれたら助かります。富津市にも耳鼻科が欲しいです。
- 青木地区に遊具が整った公園があればいいと思っています。
- 天羽地区に子どもが行きやすい公園があるといいなと思います。富津方面青木などには、沢山あるので子どももうらやましいと言っていました。給食費についてなのですが、新学期に、2カ月分を、まとめて、引き落とされるのがとても負担に感じます。我が家は、子どもが3人で来年から3人共学校生活になるので、検討して頂きたいと思います。

## 2. 放課後児童クラブ(学童保育)、放課後子ども教室について

- 小学校で放課後みんなが遊べたらいいのになと思います。
- 最近、園児の入所待機のことが大きく問題とされ、とても良くなってきていると思うが、保育園までは、パートでも働くことも出来るが、小学校へ入ると、下校時間早く、長期休み前は、午前中での（給食後）下校が多く、働くことにも影響がでている。学童にみてもらうが、毎月の月謝もかかり、先生の目が届かずで、大変困る。もっと、働きやすい市を作って欲しい。今まで保育園だったから働けたが、小学生になると親は本当、働けない。小学校に上がるまでの子供たちはばかりに気をとられていると（国も市も）感じる。
- 学童料金も収入によって金額を変えて欲しい（特に夏休みが高すぎる）←働く意味がない。就学援助の案内がわかりにくい！生活保護法という言葉に惑わされ、生活保護の方しか対象ではないと勘違いしてしまった。途中申し込みになり、入学用品代は支給されなく、教育委員会に連絡して遡ってほしいと言ったら冷たくあしらわれた。他の地区は遡ってもらえるところもあるのに。遡った時点で、その対象の人には支給していいのではと思う。就学援助を知らなかったという人はまわりにも多く、今後、もっと分かりやすい案内にして欲しい。
- 放課後の授業での補習などがあると良いなと思います。先生の負担もあるかもしれないので、ボランティアなどでみてくれる方、もう、引退された先生などの支援があるとありがたいと思います。子ども食堂も、木更津市では成功しているので、富津でもあるとおもしろいかもしれません。暮らしやすい、子育てしやすい富津になるようこれから期待しています！
- 他県で放課後子ども教室というのがあると聞いたことがあり、いいなあと感じていました。富津にもそういったものが出来たらうれしいです。3人目の無料保育はありがたいです。
- 仕事をフルタイムでしてる方で子供を見られない人は預かる時間を長くしてもらえると助かる

と思います。中学・高等学校などの支援もあるといいと思います。習い事も市で色々な物をお安くやっていただけるといいと思います。

- もう子供も小学校高学年なので、今は必要ないですが、小学校3年の時定員オーバーの為、毎年お世話になっていた夏休みの学童保育に入れなくなってしまい、甥っ子と2人を母に世話をお願いしました。私は母が見てくれたので大丈夫でしたが、頼れる人がいない人は大変だろうと思いました。働くお母さんが増えてきているので、学童保育を充実しないと、更に少子化が進むのではないかと思います。
- 低学年の子達は、近くに公園もないので、家遊びがメインになります。「放課後子ども教室」などがあると、安全に楽しく過ごせるので、そういう場所があると子供達も、のびのびとできて楽しく過ごす事ができると思います。
- 袖ヶ浦の長浦小学校のような、スポーツやあそびを教えてくれるボランティアによる放課後子ども教室を希望者にやって欲しい。友達と一緒に放課後すごせる場所が欲しい。そういうのがあれば自宅でゲームばかりしている子供も減るのではないかな？
- 現在母親が育児休業中のため、小学1年の子を学童に入れていませんが、もう学童もいっぱいのもので（飯野地区です）来年からどうしようかと考えています。近くに祖父母などみてくれる人はいません。保育所までは夕方まで見て頂きましたが、小学校に入ったとたん、サポート環境の少なさに驚いています。姉家族が横浜に住んでいます。放課後子ども教室を利用して、とても助かっていると言っていました。富津市でも取り入れてもらいたいです。下校に関して、結局遠い子は車で親が迎えに来るのが当然になっている状況です。地域のパトロールのボランティアの方などに、通学路の途中まででもお願いできないでしょうか。「友達と一緒に歩いて帰る」ことができるような環境を望みます。そのために、教科書を学校に置いておいてもいい、などの配慮も必要かと。保育所でたくさん歩いて足腰きたえているのに、小学校に入ったとたん運動不足です。田舎だからといって全員が祖父母のサポートを受けられているとは思わないで頂きたいです。子どもたちをサポートするため、私たちもできることはどんどんしたいです。どうぞよろしくおねがいします。
- 袖ヶ浦に住んでいる姪っ子、甥っ子の話を聞いていると、放課後教室でスポーツや、遊びなど地域のボランティアさんの指導で色々学んでいていいなあと思う。放課後教室でスポーツをできれば習い事に行く時間や、費用の削減ができる。学校でやればお友達と一緒になので交流もできていいと思う。・コミュニティセンターに公園をつくって欲しい。移動図書が飯野コミュニティセンターにくるのは14:00~14:30です。子供達の下校する15:00~にすればもっと利用者が増えるのではないですか？
- 学童保育、内容の充実なんて言っていられない。定員いっぱい新しい子供の受け入れが難しく、入所できても、4・5年生での退所を考えないといけな。指導員さんも足りない中がんばってくれているから、もっとがんばって欲しいとは言えない。どこか一緒に答えを探してくれるところはないのでしょうか？毎年、新一年生をふるいにかけて、高学年を早めにやめてもらって、この方法以外なくて同じことでいつも悩んでいます。5・6年生になっても、長期休みに10時間も留守番と思うと、数年後が怖いです。あと近くに全く公園もないので近所の子と交流する機会もなく、人の家に遊びに行くか来るしか手段がない。公園があるといいのにな…
- 学童に入所しているが、運営が保護者。預かってもらえる場所があるのは嬉しいが、フルタイム

で働いているので役員が大変。運営方法を変えて欲しい。また、指導員や部屋も少ないため、学童を必要としている人が利用できない。利用が本当に必要と判断された人は、いつでも入所できるようにして欲しい。

- 放課後、学校側で習い事やスポーツ教室などしてもらえるととても助かります。母子家庭で習い事に通わせる事がむずかしく（平日は仕事のため）体操に行きたいと言っていましたが無理でした。体操の大会前に練習期間があり、子供も活動に参加できてうれしそうでした。先生方の負担はふえると思うが週に2日ほどでもあれば、うれしいです。飯野地区ですが自転車でサイクリングできるような公園など近くにあってほしい。通学路の歩道の幅がもっと広いと助かる。
- 今、子どもを預けている学童保育は、保護者が運営しており、フルタイムで働いている保護者にとって、その負担が大きすぎます。指導員の募集、補助金申請、保護者との面談、会計処理と様々な役割分担があり、素人の保護者が対応するには、限界があり、責任も大きすぎます。民間事業者等、専門的に運営してくれる団体があり、安心して、子どもを預け、働ける環境があるとありがたいです。
- 学童保育の運営（者）を市でやっていただきたい。保護者のみで運営していくのは、負担が大きすぎる。（仕事で預けざるを得ない状況でみんな預けているので）
- 学童が定員一杯で入れない為、他校を選択するなどの声も聞かれます。保護者運営は人数も限られてしまい、負担も大きいと思います。これからニーズも増えていく場所なので対策があればいいなと思っています。
- 保護者運営の学童クラブは、親同士のトラブルの元になるため、出来るだけやめた方がいいと思う。（月謝が払えない人、子どもの問題行為などの注意が必要な時、どうする！など）子供を守るための場所を、親が作ってあげるのはあたり前だが、ただでさえ働いている人に学童経営までさせるのは大変。自治体はもう少し努力された方がいいと思う。
- 八王子市では、週に1回学校の校庭を開放して子供が遊べるようにしてくれています。少子化や過疎化が進む中、子供と地域の方との交流の場として、提供していただければと思います。新住宅地開発等、青堀小に集中しないように、街作りをして欲しい。人数や環境を整えるのは大人の仕事だと思います。
- 現在、子どもを学童保育に預けていますが、運営形態が保護者運営であり、仕事を持っている親にとって、負担が大きすぎます。指導員募集、補助金申請、保護者との面談、給与計算等、専門知識を要するものもあり、保護者では限界を感じています。民間事業者等の運営をお願いしたいです。
- 学童保育施設の代表をしています。当施設では、既に受け入れ人数（児童数）が満杯の状況で、来年度の新規児童の受け入れをするか、悩んでいます。また、保護者運営であるため、運営をしてくださる保護者があまりいないので困っています。学童に入所したい家庭は年々増加しており、受け皿がなく、同じく仕事をする親の立場を理解しているので、心苦しいです。運営も負担が大きく、仕事にも家庭にも影響が出ています。退職してまで、なんとか運営ができないものかと考えたりもしましたが、それならば学童に子供を預けることをやめることの方が簡単と考えています。これらの問題は、既に子育て支援課に伝えてありますが、なかなか先へは進まない状況であり、既に手を尽くし、方法がありません。市営で学童保育施設を立ち上げる、若しくは、企業や団体等で設立できればありがたいのですが、難しいことも分かっています。全ての親、家庭が放

課後の子供の預け先に困っているとは思っていませんが、私達と同じ思いの方は少数ですが問題は深刻であり、意見として記入させていただきました。

- 保護者運営の学童保育を利用しています。保護者は仕事をしている上に、役員（運営側）にもならなければなりません。フルタイムの仕事にプラスで役員の仕事は、かなり負担を感じました。市として、この状況について、どれだけご理解いただいているかは分かりませんが、補助金のあり方や、バックアップをしていただけると、大変ありがたいです。
- 共働き家庭が増えている中、放課後児童クラブへの希望者は今後も増えていくと思います。しかし、人数がいっぱいでなかなか簡単には入れない状況です。学童保育の充実を希望します。場所の確保もそうですが、支援員の方を市で登録制にする等して、指導者の人員が必要な時は、市の方で窓口となっていただけるとありがたいです。毎回毎回、指導員さんが辞める度に、新しい指導員さん募集（求人、面談）を行うのも、共働きで忙しい保護者…。とても負担が大きいです。加入希望者は増える一方。場所が足りない…支援員人員不足…問題は色々あります…。
- 幼稚園がタダに来年からなるのではと聞いたけど保育園や学童の負担が月に5、6万になりパートしても出ていくばかりで貯金できない。土曜も働きたいが、それはまた預けるのに別料金。
- 保育園に子供を通わせ、その後小学校の進学に伴い、学童保育に通わせるようにしました。その際、一番困った事は、学童に預けられる時間が短くなり早く迎えに行かなければならなくなった事です。親の仕事は変わらないのに保育園では預ける事ができる時間でも学童では預けられず、夕食のサービスも利用できなくなってしまいます。親の働き方を変えずに済むように、保育園と学童保育で受けられるサービスを同じレベルにして欲しいです。
- 学童保育を充実させて欲しいです。選択肢が少なく、利用枠も狭いです。内容も、学童主体でなく、家庭の事情に合わせてくれるところがあると利用しやすいです。子どもの教育費のためにも働かなければならないのですが、小学校低学年の放課後を何とかしなければ、働くことも考え直さないといけないところが、両立の難しさを感じるころでもあります。
- 夏休みなど長期の休み中預けるところがなく働けない。安い費用でそれぞれのニーズに応え預かってもらえたら働けるのではと思う。又、市内公立の保育所の保育士のパートも週3日とか。時間とか働く側のニーズに応えてもらえたら働けるのにもと思う。市内の小学校にクーラーをつけて欲しい。マンモス校は、教室は暑くてかわいそうになる。その環境の中で集中して勉強出来るとは思えない。熱中症も心配だ。
- 青堀小学校は、子供の数が多いのに学童がいっぱいで入れないと聞く。自宅に、祖母がいると、見てくれる人がいるから入れないと聞いた事があるけど、祖母が年老いている場合「見てくれる人」として数えるのはどうかな？と思います。
- 青堀小学校には校舎内に学童がないので、できれば同じ小学校内にあると親も安心です。
- 学童保育を小学校内で行って欲しいです。また学童保育の保育料金もひとり親支援をつけて頂きたいです。上の子、下の子が2人共学童に通う時の料金が払えるのかがとても心配で仕事の時間を増やすか、減らすか困っています。
- 学童の利用料金の引下げ。月15000円は高いと思う。
- 19時以降も学童で預ってくれるといいです。ファミリーサポートの会員ももっと増えてくれたら、利用しやすくなります。
- 放課後や大型連休の時などに、空き教室を開放して本が読めるスペースとかあったら嬉しいです。

夏休みなどに市役所で勉強場所を提供してもらえるのはありがたいですが、それを子供が通う学校ならお友達とも行けるので（自分達で）尚ありがたいです。富津市にいる子供一人一人のアンケート集計は大変な作業だと思いますが、年代によって内容も異なるので、分けて書けるのは嬉しいです。ありがとうございます。

- 働きたくても、学童保育を断られた。結局1人で留守番させている。他人に預けるサービスを紹介されたが高すぎる。時給900円で働いて、他人に預けて700円。200円の為に子供にリスク負わせる意味あるのか？
- 小学校の短縮授業（午前中で下校したり、13時下校）の際や長期の休みの子どもの預け先がないため仕事が出来ない。又、子どもが多いため、預けても費用がかさみ短時間（8：30～12：30とか）仕事をして意味がないため働けない。安いコストで様々なニーズに応えてくれる市が運営する放課後教室があればと思う。青堀小学校各クラスにクーラーをつけて欲しい。人数が多い学校を優先して欲しい。夏はひどく暑い。子どもがかわいそうだと思う。暑くて勉強になるのだろうか。
- 子供が産まれた後も、両親ともにフルタイムで仕事を続けています。保育園から、学童保育を利用し、現在も仕事を続ける事ができていますが、子供が学童保育に行きたがらなくなり、学童保育を辞めたため、今後の長期休暇が不安です。学童保育は、低学年には良いのですが、学年が上がってくると、行きたがらなくなります。低学年に合わせた活動になっているのだと思います。ちょうど、小3、小4ぐらいの子供達が放課後安全に過ごせる場ができるとうれしいと思います。（長期休暇の期間も）放課後子ども教室はとても良いサービスだと思いますが、月に1～2回程度ではなく、週に数回は利用できるサービスに充実して欲しいです。特に下校が早い曜日にサービスが受けられるとうれしいです。
- 学童保育です。入会したくてもできない現状。事前の知らせもないので情報が少なすぎる気がします。もう少し学童保育が充実すれば…思います。保護者主体では限界があります。改善することを心より願います。
- 学童保育が有料で、すごく料金が高い。生活が苦しくて、仕事をせざるを得ないのに、その苦しい生活費から15,000円+教材費を取られるはおかしい。なぜ、働かなくても生活できる人は、学童も利用せず、支払いもなく、生活が苦しくて、仕方なく仕事をしている人から高額な料金を取るのが大変不満である。無料か、せめて半額であるべきである。
- 学校内に放課後子ども教室を設置して欲しい。有料でも良いので子供達が学校の授業中には学べないことなどを教えてくれるクラスなどがあると良い。勉強だけではなく、子供達が将来役立つことなど。
- 夏休み等に子どもだけで参加できる行事等があると助かります
- 学童保育料が負担なので保育料が軽減できる様に支援して欲しい。共働きで、家で一人留守番は、とても心配。日曜日や、祝日にも対応して欲しい。物価など値上がりでも、収入はかわらない。子供も毎日成長しているので、服のサイズなど、季節ごとに、毎年購入しなければならず、古着も増えるので、地域などのバザーでも子供服や、くつなど提供出来たら良いと思う。※買い取りしてもらえれば尚良いのですが…。通学路の道幅がせまい（除草されていないせいかもしれないが民家の方に、促して欲しい。）、外灯が少ない。
- 小学校に入ると保育園と違って、夕方まで見てくれる環境がないので、学童などの充実を希望し

ます。

- 放課後子ども教室拡充いいですね。吉野地区には公民館はないので書道や詩吟などの文化教養とともに地域の生涯学習の場があるのは、ステキです。
- 生活の為働いているが、子供がいる為、夏休みなどは学童へお願いしたいが、平日より（長期休み以外）倍になる為、保育料と重なり（下の子）、なかなか気軽には預けられない。小学校低学年の帰りが早い為、それに合わせて仕事をしなければならないので、職種によってはキツイ。学童以外での子供の預け先は費用がかかるので、そこは負担に感じている。
- 子供が小さいうちは費用的になんとかかなっている。今後どうなるか不安（学費等）。子供を安心して預けられる場所（放課後や休日）があると助かる。
- 学童保育の評判がとても悪く預けられない。
- 保育所や学童を利用したいですが、朝、通勤時間も早く、帰りも遅いため利用できないのが現状です。未就学児は職場の保育所を利用していますが、小学生は祖父母にお願いするか子供たちだけで過ごすかです。利用時間の延長などあればフルタイムで働く人も助かると思います。
- 長期のお休みの間の放課後児童クラブについてです。現在就労していないので利用していませんが、就労した場合利用したいという気持ちはありますが、希望者が多くて利用できなかったという声をきいています。
- 市には、たくさんの保育所があり、受入幼児数に余裕があります。保育士OGもいらっしゃると思います。学校の教室にも空きがあります。これらを組み合わせて、市外からも幼児や学童を積極的に受け入れる仕組みをつくったらどうでしょう。地域の活性化につながると思います。
- 我が家は、核家族で借家住まいです。その為、地元住民もあまり知らず地域で子育てというのは全く感じられません。昔のように、地域皆の目で子どもを見て、親が安心して留守番をさせたり、仕事ができるようになればと切に願います。そういった環境なので親としては、学童に行きたくて欲しいのですが、同学年の子の家庭は、ほぼ祖父母が同居していたり、近隣に居り、学童が高いこともあり、預ける人が居ません。その為、子どもも行きたがらない状態で大変、困っております。公園も大きな所がなく、ちょっと遊びに行くことも出来ず、困っています。その為、子育て世代の親が集う所もなく、子育ての悩みなどをゆっくり話すことも出来ません。借家も少なく、同じ境遇の方も少ない為、肩身が狭く、暮らしにくさを感じます。
- 小学校から学童が遠く感じます。（迎えは来てくれる様ですが）保育所の人数が少ないので、放課後に行きたくて勉強出来る環境（児童クラブなど）をお願いしたいです。地元の保育所などなら、地域の人達も見守りやすいと思います。
- 環地区の学童保育の整備を。
- 夏休みだけでもイヤな顔せず、安い料金で預けられる場所が欲しい。夏休みの預け先が確保出来ず働けない。又預けられても、費用がかかり働いても（パート）意味がない。小学校にクーラーをつけて欲しい。特に市内のマンモス校を優先して欲しい。暑い中勉強しても身につくとは思えない。熱中症も心配だ。

### 3. 図書館・児童館等について

- 君津市や木更津市にある大きい図書館があるといいなと思う。市の移動図書館は借りるのに抵抗

がある。

- 図書室の本をもっと増やして欲しい。近隣、図書館に比べると、本の冊数が違いすぎる。図書室に常時、管理人さんがいないので子どもだけでの利用はさせたくない。
- 児童も幼児も少ない時代なので室内でも遊べる施設や環境が必要だと思います。(安心して外では遊ばせられない) 図書館、富津地区には何故ないのですか？
- 君津中央図書館の様な充実した図書館を作って欲しいです。
- 図書館を新しくして欲しい。
- 富津には図書館がないので欲しいです。子供達のためだけではなく大人も楽しめる図書館が良いですね。
- 図書館など、君津市のように勉強できる環境が整っているとうれしいです。自転車でも通りやすい道路整備(小学校近く)ガタガタ継ぎはぎのような道多く、よく転んで帰ってくる時期ありました。横断歩道で待っていたら車が止まらないという事が多い！マナーを守って欲しい！高校3年生まで医療費を市が負担してくれたらどんなにありがたいことかと思えます。森田建材さん近くの交差点に信号つけて欲しい。子どもがなかなか渡れないのをたまに見かける。交通安全の方に立って頂くか地域の方に協力して頂けたらどんなにいい事かと思う。通学、登校下校時間などだけでもどうにかできないのでしょうか？
- 富津にも図書館を作って欲しい。
- 充実した図書館が欲しい。子供が遊べる公園が少ない。
- 図書館や公園を作って欲しい。
- 船橋から来ましたが児童館や図書館を人が集まるところにいれるなど(イオンモール富津内)等人がいきやすい場所につくって欲しいです！！新しく建物をたてるのはお金がかかるし、富津にあるショッピングセンターを(テナントが減ってガラガラ)つぶさないためにも入れて欲しいです。
- 図書館がない事！！君津市の図書館を利用しているが利用するたびになぜ富津市にないのかと思ってしまう。子供を育てる中でふれあい公園と大きな公園があるのに遊具・アスレチックなど何もないので、水遊びなどもあるふれあい公園を望みます。夏休みなどの長い休みのイベントも少ないと思います。ボランティアなどを使ってもっと色々な事が出来ると思いますが、近くの公園も草だらけでボールなどで遊べないので、安心安全な公園を…。
- 教育は学校や学童におまかせしてしまっている現状です。19時近くに帰宅し、食事、入浴、明日の仕度、21時に寝かしつける為、毎日慌ただしく、つい子供に対しても厳しく、強い口調になってしまうこともあります。もっと時間があったら勉強以外の親子の時間がとれれば…と思います。週末はなるべく子供中心です。公園や図書館は君津を利用しています。富津みなと公園も、もっと遊具が充実したら…と思います。英語やプール、体操と習わせてあげたいもの、子供が興味を持っていそうな事は通わせてあげたいですが、平日は送迎不可能となっています。富津は運動公園が沢山ありますが、トイレ(洋式)や草刈などもっと環境を整えて欲しいです。草に関しては道路、通学路も草刈をしっかりして欲しいです。
- 夫婦共に北海道の函館出身なのですが、函館市内には放課後、子供達が無料で遊びに行ける児童館が町ごとに1つあり、「先生」と呼ばれる指導員も在籍している為、とても安心して子供を行かせる事ができます。私自身、小学校が終わると毎日児童館へ遊びに行っていたものです。主人

の仕事の関係で富津に来ましたが、この様な無料で遊びに行ける児童館というものが無くとても不満に思っていました。函館市内の児童館は、卓球台や竹馬などがあり、よく指導員と一緒に遊んでくれています。遊戯室や本を読むコーナーやパソコンに触れるなど、子供達にとっても環境が良く、充実しています。富津市は、放課後に遊びに行ける公園や支援をしてくれている施設があまりにも少ないと思います。子供達が遊ぶ所が無く、自宅前でボール遊びをしていたらご近所トラブルになったというケースも聞きました。どうか、今後の検討をお願い致します。

- 雨天の時に子供が行けるような児童館のような施設の建設をして欲しいです。図書館も欲しいです。正直公民館にある図書室は行きにくいです。
- 富津市は子育て、教育環境において周りの市にだいぶ遅れをとっていると思います。以前君津市に住んでいて富津に越してきて不便に感じた事もありました。図書館を作って欲しい（君津市のような勉強できるスペース付のタイプ）公民館等でもっと気軽に子供達が遊ぶことができるように。学童保育利用者はまだまだ多いと思います、利用できる人数枠を増やして欲しい。
- 図書館が欲しい。あれば、そこで読み聞かせなどもできるし、色々な本に小さいころからふれあって欲しい。君津中央公園みたいな公園が欲しい。水遊びやボールで遊んだりもできるから。
- 富津イオンの空きスペースを利用して図書館や児童館などの施設ができればいいなあと思います。湊地区など遠方から来る方もお買物ついでに施設を利用したり、施設利用目的で来てもお買物できたり、飲食、またふれあい公園も近いので苦にはならないのかなあと思います。雇用も増える、イオンの売上にもつながるといったメリットもあるのかなあと思います。
- 函館市内には放課後子供達が無料で遊びに行ける児童館というものが町ごとに1つあります。遊戯室やトイレ、手洗い場もありますし、市内の児童館はどこも、とても評判が良いです。富津市に来て、（主人の仕事の関係で）児童館というものが無く、公園もとても少ないので、現在子供達は不満に思ってます。放課後は、お友達の家遊びに行ったり、逆に友達遊びに来たりするケースがとても多い為、仕事から帰宅しても、気疲れすることもしばしばあります。学区も広い為、お友達の自宅までが自宅から遠い事もあるので、親達が送り迎えしている現状です。親の負担を減らす為にも、無料で放課後遊べる児童館があればとても助かります。どうか今後ご検討をお願い致します。
- 図書館が欲しいです。
- 富津市の図書館・公民館の充実をして欲しい。本を借りるのに、君津図書館へ行っている。子供たちに、たくさん本を読ませてあげたい。市のコミュニティバスなど、充実をして欲しい。富津市は、何をしても遅い。
- 図書館、君津の様な。
- 市内に図書館を作って欲しいです。いちいち他市の図書館に行くのは、面倒です。学校生活におけるお金のかかるもの、例えば体操服とか本当に、そういうものが必要なのか？中学校もそうだが結構お金がかかります。皆と同じものをそろえて、本当にそういうものが必要なのでしょうか？運動出来る格好であればそれでいいのではないのか、バラバラでもいいのでは、と思ってしまうのは私だけでしょうか？
- 富津市には図書館がないので、ぜひ欲しいです。公園も、君津の中央公園のようなところがあれば子供たちも喜ぶと思います（支援センターも）
- 図書館も児童館もなく子どもたちが自主的に活動したり、文化教養を身につけるチャンスがなく

富津市に住んでいることで他市の子より教育・活動の機会が少ない。ムダな窓口や、時代遅れの取組をやめてきちんと教育について考えて動いて欲しい。まず子育て世代の生の声、要望をきいて実行して欲しい。

- 図書館、スポーツができる公園があり、子どもたちが安心して遊べる居場所があるといいなと思います。“子ども館”のようなもの。結局、家で遊ぶような日々で、ちょっとかわいそうだなあと感じています。
- 子どもだけで安心して遊べるところがなく困っています。児童館の様なスペースが各地域にあれば可能性は広がっていくと思う。富津市の子どもたちは圧倒的に教育・教養の機会が少なく、質が低くて、なぜもっと教育に力をいれないのか。宿題を増やす、家庭学習〇〇分などではなく図書館、児童館を充実させ文化・教養を学ぶ機会をつくって欲しい。
- 富津市にもきちんとした図書館が欲しいです。
- 都市部（東京）から富津市に住んで不自由を感じる事は交通の不便さです。子育てをする中で平日は習い事の送迎、部活をしていると週末は試合会場などへの送迎などで親も休む間もなく兄弟がいれば車を何度も往復させている状況です。上の子が受験生の時は本当に大変な思いをしました。公民館や図書室（←市役所の中に作る事は不可能でしょうか？）を充実させて学習支援などをしていただければ塾の送迎時間も短縮出来て、とても助かると思います。
- 保育園時代でのつながりがとても深く、今でもとてもありがたく良いお付き合いをさせていただいています。小さい時の、教育・保育がとても大切で、大事な事だと思つづく感じます。富津市には図書館がありません。君津まで通ってます。君津市民等にしか借りられない条件を見ると、とても寂しく思います。富津にもあればなあ…と。学童はある所、ない所…困っている人、色々、話を耳にしました。夏休みのような長期休みの時は、とても助かりました。
- 富津市にも図書館が出来ると、本を借りたり勉強出来たりしていいな。と思います。
- 富津市にも図書館が出来ると、気軽に本を借りたり出来るので有難いです。
- 図書館を君津市のように、市役所付近へ作ってもらいたい。
- 図書館が欲しいです。先生によって授業の進みが違うので改善して欲しいです
- それぞれの学区域に大きな公園を作ったりして欲しいです。遊べる所が誰かの家になってしまっています。子供達は、広い所で走りまわって遊ばせてあげたいです。
- 富津市に図書館があると、気軽に本に親しむ事が出来ていいと思います。
- 図書館をつくって欲しいです。学校図書室の充実を希望します。児童数の減少のため、下校時に1人で帰ってくる日があります。その日は途中まで母や祖父が迎えに行きますが、地域の方でのパトロール！？的なものがあると心強いです。
- 児童館・図書館などが市に無い。雨でも子供が遊べる所が欲しい。保育料が高い。
- とにかく図書館！！使用していない学校とか再利用出来るのでは！
- 昔と違ってその辺で子供たちが遊ぶことがしにくいため、いつでも利用できる児童館が欲しい。（好きに）学童も楽しんではいるが、無料で気軽に、安全に遊べる事が重要だと思う。夏場などゲリラ豪雨の心配や熱中症の心配もあり、うかつに外であそばせられません。
- 富津市内にも図書館が欲しい（君津市のような）・現在天神山小学校に学童があるが、統合したら湊小学校内に学童を作って欲しい。（移動が無い為）
- 富津市は雨の日に室内で遊べる場所が無いので困る。雨の日でも子供達のがのびのび遊べる施設を

つくって欲しいです。

- 図書館を是非設立して頂きたいです。
- 核家族で共働き世帯にとっては、子育ては厳しい環境です。女性が仕事を持ち働ける環境を作ること大切です。その上で仕事を続けながら家庭を持ち、子供を育てることができるようにになるとさらに会社が発展すると思います。そのために、子育てがしやすい市政を望みます。例えば6才未満の子どもについて、保育料の無償化や保育時間の延長（7～20時まで）。小学生の放課後の学童の充実では、時間の延長（3時半～20時）。夕食の提供。中学生の部活動の社会体育への移行。地域人材の活用。千葉県内の多くの“市”に図書館があると聞きます。我が“市”にはないというのはいかがなものでしょうか。
- 図書館が無いことは、はずかしいことだと思います。箱物を造ってくださいとは言いませんが、せめて今ある施設を利用し、図書館相当の機能を持ったシステムを作って欲しいです。富津市の文化レベルをあげていていただきたいです。小中学校にエアコンを入れていただきたいです。再配置計画により、スクールバスになると伺っています。スムーズに移行できると良いと思います。富津市では体操大会がありますが、小さな学校が多く、いろいろな行事があり、子どもも先生も大変だと思います。体操などは専門の外部の講師に依頼するなどできないものでしょうか。あるいは無くしてもいいのではと思う行事もあります。
- ぜひ、図書館をお願いします。
- 図書館の設立はぜひ行なって欲しい。
- 自由に利用できる図書館や利用しやすいバス等の交通手段があれば、よいと思います。
- 富津市に図書館がないのはおかしいと思います。子供を育てるうえで、充実していると富津市に住んでくれる人が増えると思います。よろしくをお願いします。
- 図書館や、学習スペースなど、子どもたちだけで気軽に利用できる施設があると良いです。通学路の安全確保（自動車や変質者、鹿、猿などへの遭遇も心配です）駆除に力を入れて欲しい。
- 図書館の設立を強く希望します。学校教室のエアコン設置をして欲しい。

#### 4. 学校環境(学校の統廃合・スクールバス・通学路)について

- 土・日は両親共に仕事の為、子供のイベントや活動に参加してあげられないのが辛いです。各教室にエアコンの取り付けを希望します。夏の暑さは異常です。ガマンとかそういうレベルではなくなっています。最近子供が学校の友達に「死ね」と言われたと言っていました。言葉の意味を知らずに使っている子がいる様です。1年生でこんな言葉を使う子がいる事にびっくりしました。やめて欲しいです。
- まず、篠部地区のバス通学に対する助成、本当にありがとうございます。子供が2人居ると、年間バス代だけで約10万円かかるので、とてもありがたいです。ただ、学校が早く終わる時などはお迎えが必要で、それが、結構多いので、欲を言えばスクールバスのようなものが良いです。あと、君津などは夏休みが8月末までではなく、8月最終の週から授業が始まっています。木更津などは学期ではなく前期と後期で分かれていると聞きます。どちらが良いと言う訳ではありませんが、全体的に富津は休みが多い気がします。夏休み、正直こんなに長くいません。2、3週間で十分です。だったら少しでも学校へ行って補習的なものをしていただきたいです。結局家に居て

もゲームばかりやって、外出すればお金もかかり、良いことはありません。半日でも学校があって、外で遊んだり補習してくれたりするととても助かります。色々言ってすいませんが宜しくお願いします。

- 富津小学校の入学人数が少なくクラス替えもしないので、他の小学校と合併して人数が多い環境にして欲しい。多い人数の中で教育を受けさせたい。
- 通学路の安全性。公園の少なさ、整備。保育料を安く。給食費を安く。
- 小学校の床が、もりあがっていたり、外壁が崩れ落ちている。床は、今年の夏休み中に直すのかと思っていた（聞いたので）が直ってなく、コーンで囲われている。どちらも、子供達が必要通る所であり、気をつけていても何が起こるか分からず修理して欲しいと思う。
- まずは、学校の教員の人員を充実させて下さい。人手不足、先生の負担、授業内容の質の低下が気になります。
- 飯野小学校の老朽化した校舎を直して欲しいです。（特にトイレは古くて衛生的ではないので早く直して欲しいです。）
- 学校に早急にエアコンを導入していただきたいです。昔とは気温が比べものにならないほど高いし、面談や参観が数十分から数時間ただけでも汗だくになるので子供達は朝から歩いて学校へ行ってあんな暑い中に1日いると思うと気の毒でなりません。
- 夏は教室内が暑い為、エアコンを設置して欲しい。
- まず、安全に登下校できる環境作りをして欲しい。児童数も少なく、片田舎であり、通学路の整備をお願いしても対象とならないと半ばあきらめているが、朝の交通量が非常に多く、信号も横断歩道もない場所もあります。小学生が、渡れるタイミングを待っていても、スピードを出して横切っていく車も多く、危険な所も多いです。
- 小学校の老朽化が激しい。せめてトイレくらいはリフォームして欲しい。子供が学校のトイレに行きたがらず、我慢して帰ってくることもあり、健康上にも良くないと思います。教室に冷暖房（エアコン）を入れて欲しい。ここ数年の猛暑で問題にもなっていますが、早めに設置してあげて欲しいです。子供が参加できる市の行事（こどもまつり、ドッチボール大会、ウォークラリー等）が多いのは良いことだと思うので、これからもぜひ続けて欲しいです。
- 道路が狭いのもあるとは思いますが、通学時途中から歩道がなくなってしまうので、遠回りをして通っている。安心・安全に毎日通学できるよう、改善していただけると嬉しく思う。
- 小学校にクーラーが無い。（教室に）他の市はクーラーを入れる計画があると聞いています。富津市も早く小学校、中学校、高校にクーラーを入れて欲しい。扇風機、水筒などだけでは熱中症になってしまいます。他のことにお金を使うなら、クーラーを入れて下さい。青堀小は昔からの校舎です。私も通っていました。30年以上前です。もう、ぼろぼろです。中学校はきれいにしたみたいですが、小学校も改装などして欲しいです。大変でしょうが、子供達の為です。よろしくをお願いします。
- 環境整備・通学路、ガードレール、歩道橋の修理、青堀小の汚いトイレを何とかして欲しい。
- 学校で子供の為に改善をしていただきたい所があります。トイレの改修（初めて行った時あまりの汚さ臭さに驚き吐き気がしました）。校舎の耐震化（耐震工事はしていると思いますが全体的に老朽化が進んでいると思います）。特にトイレは健康に悪影響を及ぼすのではないのでしょうか。市の予算を限られ全て出来るとは思いませんが少しでも改善していただけたらと思います。宜しく

お願い致します。

- 青木地区は、道路の白線が消えている事が多く子供達が通学時でもスピード出して止まらない車が多いのできちんと整備して欲しい。市役所へ連絡したのですが対応してもらえませんでした子供達が安心して通学できる様にさせていただきたいです。宜しくお願いします。
- 小学校に行くたびに、トイレの臭いがキツくて、かなり汚れていました。子供に掃除をさせるには、ちょっとひどいなと思いました。だからなのか、子供たちは、洋式には座らず、和式ばかり入っていました。たぶん、お尻を直接つけないみたいで。それと、1・2年生の下駄箱が特殊で、外につけてるようなものだったので、くつ・くつ下の汚れ、上履きの汚れがあまりにもひどくて、毎日毎日大変です。上履きの汚れがひどいので、すぐ買い替えしなきゃならないです。衛生面で良くなって欲しいです。
- 小学校が古いし、汚い・トイレや窓など勉強する環境が悪すぎる。窓が壊れていて開かなくて暑い。(ハチやへびなど)安全に遊べる環境を整えて欲しい。エアコンを検討して欲しい。
- 学校の教室にエアコンをつけて欲しい。学校のトイレを清潔にして欲しい。
- 学校が古い事で、すごくトイレを我慢したりしている事が多いです。そんな急にできる事ではないですが、児童が多い学校の方が汚いままな気がします。また、もう一人子どもが欲しいとは思いますが、子どもを預ける環境がもっとよくなると良いなと思います。これからは、高齢者が多くなるので、高齢者が働く親のサポートする側にまわり、働く親が、税金を納める(納められるような働きやすい環境をつくる)と言う、支え方でいって欲しいと思う。その方が高齢者の活躍&活性化にもつながるし、地域交流となり、高齢者の孤独死の対策となる気がします。学校の事にも、ぜひ参加して欲しい。(血縁に限らず。)宜しくお願いします。
- 小学校、保育園などの建て替え、トイレだけでもキレイにしてあげて欲しいです。和式トイレではなかなかうまく出来ない子がいるし「汚いから」「臭いから」と学校のトイレは使いたくないと言う子がたくさんいます。なんとかしてあげて欲しいと思います。
- 学校にエアコンをつけて欲しい。学校のトイレを清潔にして欲しい。
- 以前、議会の都合で学校の卒業式の日程が変更になったことがあったかと思います。卒業式の主役はあくまで卒業生であり、保護者等も仕事の都合をつけていると思いますので、2度とないようにさせていただきたいです。空き家などが多く、登校・下校の通学路も倒壊の心配があります。市では対処していただけますか?図書館をぜひ作っていただきたいです。君津市はそういう設備が充実していて、うらやましいです。
- 朝、子供達が登校する姿を、議員さんが見守って下さる様子がとても嬉しく思います。朝早くから、防犯パトロールの方々が動いて下さって、親として大変ありがたい限りです。今の時代、両親共に夕方まで家に戻れない家族が多いと思いますので地域の方々に子供達の下校姿を見守って頂けたらなあと感じます。数年前より、教育かしつけかはわかりませんが、子供に大声で怒鳴りつける、人前で説教をする、その場に放置するなど、目に余る行為をしている親を見かけます。その姿を見るたび心が痛くなり、可哀想な環境にいるのに、そのことに気づかず過ごしているであろうお子さんを助けることは出来ないのかと考えることがあります。でも、自分達に危害が及ぶのを避けたいあまり、言いたくても言えない他の親御さん達もいると思います。私も同じです。どうか、そんな家族の話を耳にしましたら、不幸が起こる前に、市の方で対策をとっていただけたらと願います。

- 青堀小学校の窓が壊れていて夏は暑いのに開けられなくて困る。(特に3F)。トイレが汚かったりハチやへびが多くて安全に遊んだり勉強する環境整備をして欲しい。アンケートに使う予算があるなら小学校を直して欲しい！！
- 青堀小は生活するうえであまりにも環境が悪すぎる！！校舎は老朽化が激しい。トイレの異臭、天井の板がめくれあがってまるでお化け屋敷で子供達は生活してますよ！！ムダな税金に金かけるぐらいなら、子供達の為により良い環境の学校をあたえて下さい！！夏には、林が近くにある為ハチが沢山います。ハチの対策もキッチリして欲しいです。
- 小学校の建て替え、トイレがきたなくて子供がかわいそう。今どきの子供は和式トイレに慣れていないので、出先で(公園など、小学校の下の子を連れて行った時など)トイレに困っている子供が多いです。
- 小学校のお手洗いをきれいになおしていただければと思います。
- 学校にエアコンをつけて欲しい 学校のトイレを清潔にして欲しい。
- 交通安全教室をちゃんと強化すべきかと思う。小学生の交通マナーがなってなかったり、危ない所にも平気な顔して入って行く、変なものを持ち、ふり回したり、道路に投げ入れたり、時々見る。16:00以降でも小中高の子供たちは平気で遊んでる。チャイムが鳴ったら皆帰宅させるべきだ。移動交番も、もう少し遅ければ、見守り隊になるのではと思う。子供らの帰宅時、車を運転する人は、見て怖い。スマホ片手ながら歩きを見ます。子供がスマホやタブレットを持たず年齢を決めるべきだと思う。
- 今の1学級の定員数(40人)が多い様に思います。空き教室があるのに。26日付の新聞でいじめも不登校も増加しているとありました。いじめと不登校を減らしたいのなら、1学級を20人にして、副担任をおき、1人1人きめ細かく対応できる様にすればよいのではないのでしょうか？もっと子どもの立場になって教育環境を整えて欲しいです。
- 今通っている小学校の体育館の雨漏りが気になっています。床も滑りやすく感じますので、安全に活動できる様配慮していただければと思います。トイレも古くなってきているので新しくしていただけたら子供達も入りやすいのではないかと思います。
- 学校にエアコンをつけて欲しいです。子供が学校で熱中症になり、学校に行かせるのが不安になりました。学校の皆勤賞も無くして欲しいです。熱や感染症の疑いがあっても、無理して登校するからです…。体が弱くて、行きたくても行けない人もいるのに、差別っぽくて、私は反対です。PTAも廃止して欲しい。少子化で、地区役員だけでも負担になるのに…。学童保育の利用料も見直しして欲しい。富津市は高いです。
- 登下校を安全第一で付き添いを暗に促されていて、とても負担である。しかし、子どもが減り1人になる事が多く、本当に富津市は子育てに向いてないと感じる。公民館や公園を子供が遊べるように、開放・整備して欲しい。大人・老人も子供に寛容になって欲しいと切に思います。団塊も老害にならないような教育が必要である。
- 小学校の統合に伴い、各地区の子供達が他の地区の子供達と放課後子供達同士で気の合った友達と自由に遊ぶ事の出来るような工夫をしていただきたいと思います。遠方からバスに乗って来る少人数しかいない地区の子供達、通学に時間をとられて新しくできた友達とも遊ばず、同じ地区の友達とも遊ぶ時間がないといった事にならないよう、統合を決めた大人達が責任をもって子供達の居場所と自由な時間を確保してやらなくてはならないと思います。子供は遊びたい気持

ちでいつもいっぱいです。遊びは子供の主食だそうです。そして遊ぶ場所の確保は地域の大人の責任だそうです。大人が遊び方を教えるのではなく、子供が自分達で遊びを考え工夫して自由に遊べるような環境の整備や支援を考えてあげられたら良いのではないかと思います。

- 1年半後の小学校、中学校の合併の際、交流会を学期ごとに最低1回ずつ、行っていただきたい。宿泊学習や、修学旅行、校外学習なども良い機会ではないでしょうか？保育園についても将来的には合併することになるのでしょうか？
- 小学校が廃校になってしまうと子ども達が気軽に遊べる所がなくなってしまうので、学校の遊具やグラウンドはなるべくそのまま残していただくとありがたいです。小学校も有効活用してもらいたいです。
- 路線バス定期券に補助金が出るようになり、とても助かっています。どうもありがとうございました。小学校も統廃合が進み、校数が減るわけですから、図書室を充実させ司書もしくはアドバイザー的な方を配置し、読書教育に力を入れて頂ければと思います。
- 何をさせるにしても、場所までの移動が困難なこと。費用がかかること。交通の便が悪い。そもそも、学校の先生の教育の方が先だと思う。公園がない等、設備がないため何とも言えない。
- 習い事をさせるにしても学校の近くにないので就労してすると送迎が難しいので中々利用できない。

## 5. 教育内容・学校運営等について

- 学校や地域活動にもスポーツの活動の能力向上には熱心と感しますが、学力は他の地域からみても低いとみられているようです。実際学力での向上を目指す活動はないと思います。補習だけでなく、上を目指したい子に向けた、発展的な支援学習活動があるととても助かります。
- 安心して任せられる小学校・中学校づくりを進めて欲しい。不登校児とその家庭への働きかけ、授業妨害をする児童とその家庭への働きかけといった部分への対策を十分にとって欲しい。教員にかかる負担も大きいと思われるので、補充にもしっかり対応をしていただきたい。富津市の今後に期待しています。
- 土曜日半日学校だったらいいなと思います。友達とも遊びやすいし、学校の校庭も先生が学校に全くいないことはなさそうなので、安全にもいいなと思います。育児の時間が少ないと子供は心が不安定になると思うので、父母が一生涯懸命子育てできたと思えるように、放課後よりは朝早く預かってくれて母も早く出勤できて子供が帰ってくる頃には自宅にいられたらいいのになと思います。
- 宿題に自学ができる事が多いですが、自学は自発的にやるのできちんと“今日やった内容”などのプリントや、問題を指定して出して欲しいと思っています。各教室にエアコンの取り付けを希望します。夏の暑さは異常です。体力をつける為とか、もうそういうレベルではないと思います。
- まずは学校を充実させて下さい。
- 小学校・中学校の学力レベルの向上につながる施策を打ち出して欲しい。現状は授業を受ける以前のしつけがなっていない家庭も多いように見受けられる。教育の質の充実を図り教育の水準の底上げを期待します。
- 進学塾と言われるある程度のレベルの高い塾が富津にはあまり無いように思います。君津や木更

津まで通うにも公共交通機関がなく、送り迎えのできる保護者がいないので塾の開始時間に間に合わず通うことができません。上の子供が受験をした際、君津、木更津に比べて富津の学力や教育環境が低かったように感じました。学校での就学意欲の向上や、電車の本数増加などもっと学びの環境が充実されるといいと思います。富津公民館にも図書室はありますがもう少し規模の大きな図書館があると良いと思います。

- 学力が大事なのはわかるが、全ての家庭が充実した学習をさせられるわけでもない。塾に行ってる前提で勉強を進められても、子供は理解していない事が多いと感じる。昔と比べ、学校側から親への勉強協力の求めが多い気がする。都会ではないので、学童保育など少ない。
- 学校における一斉指導に、病気、発達障害、日本語が十分に分からない、などの理由でついていけない、参加できない子に対する支援に、十分な人手があるようには感じられない。
- 子供の格差をできるだけ少なく、勉強に追いつけない子供を置いていかない。
- 子どもが気軽に相談できる環境が充実すると良いと思います。
- 今の学校は、PTAとか親が関わる事が多すぎて、困る。転校してきて、子供1人につき役員必ず1回やらなければいけないなんて一言も説明ないし、色々わからないし、友達1人も（親も子も）いないから、役員やらなかったら、「やってないですよ？」って、中学3年間と、今度、下の6年生で、子供会やってくれと、言われて、正直、今キツイです。中学は夜集まりあるし、本業とバイトを入りたいのですが、そんな自分の都合で、シフトを作ってくれるバイトなんて、なくて、困ります。それに、中学での役員の親ぼく会とか多くて、お金もないし、夜、家空けたら子供達だけになってしまうし、全て、おことわりしてきました。正直、本当に必要なの？って思います。子供は、きっと、そんな飲み会に使うお金と時間があるなら、自分達の食事を作って、家にちゃんといてと思っています。PTAは、正直入りたい人だけでいいと思います。母子家庭で、養育費も、家もないでは、自分が具合悪くても、仕事休めないです。もっと、母子家庭の人でも、暮らしやすく、働きやすい市になって欲しいです。
- 学校の役員の負担が大きすぎます。仕事をしながら、家のこともやり、そのほか学校や地域の役割をほとんど強制的にやらないといけないう状況は、大変困ります。仕事柄休みも不規則な上、休みも取りにくく、仕事も時間がバラバラで、PTAや地区役員、子ども会など、スケジュールを合わせるのはかなり厳しいです。役員の割り当て負担をなくすか、とても簡単にしていただきたいです。地域の有償ボランティアの方がいると、たくさんいるとありがたいです。マッチングの面でも、下校後の自宅預かりや、習いごとの送り迎えの支援などがあると、子どもたちの可能性をもっと伸ばしてあげる機会も増えて、親も安心して仕事でき、すきま時間を有効利用したい方は仕事にもなっていると思います。
- 小学校に通う家庭数が減っているのに、役員の数が増えないため、役員を引き受ける頻度が上がっていて、フルタイムで働いていて、小さい子供もいるお母さんも役員をやらなければいけないのは負担だと思う。PTAの本部を引き受けた人は、校内のことだけでなく、富津市のPTAの集まりや、講習会を受けに自費で遠くまで行くと聞いている。有給休暇を使って、自分のお金を削って、自分の時間もお金の余裕もなくできそうもないが、人数の関係で引き受けることになってしまったらどうしようかと不安です。そもそも、集まりや講習会は何れ程の価値があるのか。両親フルで働いている家族も多く、できる家庭も少ないと思う。引き受けてくれた人は無理してくれていると思います。

- 子どもの数が減る一方なので、子育て環境や支援の充実を図り、若い人たちが移住してくるような住みやすい富津市になるように頑張ってください。
- 他の市に比べ教育環境が全く充実していない。
- 昔に比べ、子どもの数は少なくなっていますが、その反面サポートを必要とする子どもの数は増えている気がします。担任の先生だけで見きれない所をベテラン先生がサポートするなど、先生の仕事を少しでも軽減できる方法などがあったら良いのではと思います。
- PTA役員や学年の役員、子供会の役員、地区の役員など毎年、何かしらの役がまわってきます。他の市の人に聞いても、そんなに毎年まわってこないそうで、うらやましいです。ここに引越しをしてきたばかりですが、まったく落ち着かず、働きながら子育てし、さらに役員をやる事が苦痛です。お金があったら、もっと子供の多い市に引越したいです。
- 富津市の場合は、子供が減っているので、学童保育など、とても無理だと思います。交通手段等も確保がむずかしいので、地域と学校とPTAなど、一体となり地域に合った取り組みを、実行すべきだと思います。

## 6. 子育て環境全般について

- 地元力が強すぎる印象、富津市外から入ってきた者は、「よそ者扱い」で、なかなか溶け込みづらい。子供にも影響すると思い、ママ友もつくろうと努力するが、同級生、同窓生が多く、その中になかなか入っていけない状況。子育て支援などの情報も市からはあまり入ってこない印象で、子育てについてなど、気軽に相談できる場所がない。
- 子供にとって暮しやすい市になっていただけのようよろしくお願い致します。
- 子供たちが安全に暮らせる町、自然を楽しめる町作りに取りかかれば良いと思います。
- 子供が増えるようにして欲しいです。富津市は住みいいし、東京や横浜にも近く、それでいて、自然がたくさんあるので、もっとアピールして、移住しやすい環境を整えるのはどうでしょうか？他の地域を参考にしてもいいのでは？より住み易く、人口が増加する富津市へ！
- 若い世代の人達が安心して子育てのできる環境を整え、富津市に定住できるようになると良いと思います。
- 県外から富津市に来ました。以前住んでいた地域と比べるとまだまだ閉ざされたイメージの子育て環境だと感じます。市や、市民が様々な活動に励んでおり、他県にはない素晴らしい活動も、情報が広まっていない為もったいなく感じます。また、お父さんお母さん1人1人がどこか他人事、人任せの意識があり、自分自身で行動に移せる方が少ないように感じます。要望ばかりを、口にするのではなく、「自分達の手で変えていこう！」という意識の高い親を育てる環境を作っていけたら良いな、と思います。そんな大人達のかっこいい姿を子供達に見せることも将来につながるのではないのでしょうか？富津市の子育て支援は充実しています。新しい事を取り入れる前に現状を多くの子育て世帯に情報提供して下さい！チラシ、ポスター、回覧板、HP…市民の生活にもっと近い所に情報をキャッチできるチャンスを下さい。（市役所内、広報誌だけでは情報は入って来ません）
- 市内の少子化に伴い、子育ての孤立化が生まれ、子ども・親に与える影響は大きいと思います。学校再配置が施行される事もあり、子ども同士、親同士が広い範囲で交流できる環境が多くある

事が望まれます。児童虐待問題については、児童相談所の支援にも対応される案件に限界があると思われます。未然の情報収集・調査・確認を市や地元警察で力を入れる事で、子どもを守る防止策に少しでもなる様に思います。

- 共働きの家庭が増加しているため、子ども達の放課後は、自宅に帰宅しても親がいない家庭も多いのではないかと。又、伸び伸び自由に遊べる施設もなく、なんとなくも含め、我慢しなければならぬ時間が昔よりあるのではないかと思う。家族揃った食卓も休日のみという家庭もあると思う。共働きで子どもに手をかけてやれない分、祖父母にお願いできる家庭は幸せだと思う。職場環境も整っておらず、残業が多いため、子どもにそのしわ寄せが行ってしまい、どうしたらよいものか日々悩みはつきません。職場では、子育て世代の職員への配慮は受けられません。放課後から就寝21時までの時間の使い方について、有効であり、有意義で効率的な過ごさせ方について、今後も検討が必要と思っています。親子ですごせる図書館が欲しいです。
- 人口（子ども）を増やすことを考えて欲しい。
- 仕方なく富津市に住んでいるが過疎化が進み子育てもしづらい。自分の子供もが富津市で将来子育てを、と考えると、出来ればさせたくない。
- 住んでいるこの辺りは地域の人たちで子どもを育てる、ということができていると思うので、助かる。こども達も近所の人たちと挨拶をしたり、掃除をしたり関わっているので安心。公園の遊具が次々取り壊されて遊び場が無くなるので非常に残念。湊駅そばの公園には水道を。湊海水浴場公園には以前あったようなブランコ、シーソーなどがあると、こどもが助かる。
- 富津市は財政的に厳しい事は十分承知しているが、子育て環境の充実をしっかりと図らなければ、市自体が消滅すると言っても過言でないため、しっかりと施策を行っていただきたい。
- 富津市は全ての事を見直した方が良い。子供を育てるのに不向きすぎる。
- 竹岡の辺りは、ご近所に見守って下さる方も多く、自然も多く、恵まれた子育て環境だと思えます。ただ、一方で、子どもの数が少ないために、放課後はそれぞれの予定や習い事で忙しく、子ども同士で考えながら遊べる環境づくりが難しいという気もします。「自然環境を活かした子ども同士の学びの場」が近所に（空いてしまう校舎など）あると、これから放課後や夏休みなどにありがたいなあとと思っています。限られた人材や予算など、実現にはいろいろ難しさもあるかと思いますが、地域の方みんなが、お互いの智恵や経験を寄せ集めて、老若男女問わずあたたかい居場所づくりができれば。孤独なお年寄りや単身世帯ともつなげられる場所になるのかな、などと思えます。長々とまとまりのない文章ですが、よろしくお願いします。
- 子育てするには、不便な地区です！！スーパーは1軒、コンビニは2軒、ドラッグストアはありません！何年か前赤ちゃんを育てるのに、ミルク、オムツその他必要な物を車で40分かけないと買えない！現在子供は高校生と小学生だけれども、君津、木更津、青堀へ行って、いつもまとめ買いしなければならない。もう少し近くに大きいスーパーがあると便利だと思います。はっきり言って必要です。
- お仕事、お疲れ様です。児童手当、学校統廃合などは格別、無感心ないし諦め感に縛られた層が多いように感じます。反面、意欲ある方もおられるので、民間を巻き込んだパイロット事業など、コストが許す限りは精力的に進めていただきたい。また、無関心な方々の意識を上げるために、アンケートのフィードバックや施策の紹介は、学校配布物を活用されると良いと思います。市の南部については、長期休暇中に民間主体での山村留学など住宅参加型（ヒト）、資金（カネ）の

見地から、民間のゴーイングコンサーンに即した施策で、市の魅力を高めることはできません。担当者の方のご活躍と市の発展を期待しています。

## 7. 手当、補助等負担の軽減について

- バスケができる公園が欲しい。(君津、木更津までいつも行っているの。)
- 昨年、埼玉県(さいたま市)より越してきましたが、埼玉と比べ、公立の保育料が高い。乳幼児医療が無料ではないということが負担です。保育料削減とて第2子半額、第3子無料であることは、とても良いことだと思います。小学校に通学していますが、1年生のときも2年生になってからも、先生方はとても親身になって、悩み事や相談事に対応してくださり、ありがたく思っています。
- 子供達が安心して過ごせる町作りや子供達に係る費用の軽減等に力をいれて欲しいです。又、虐待が少しでも減っていくことを願っています！
- 子どもの教育、学習、医療にかかる費用は無料にすべき。登下校中に事件がおこる事が多いのでスクールバス制にして欲しい。大人が見守る(ボランティア)遊び場があるといい(勉強できる所)。子育て世代の生活を充実させて全国にアピールして市の人口を増やして欲しい！！
- フルタイムで、働く人にも、もう少し保育料が、安くなるとありがたいです。いろいろな理由がありずっとフルタイムで働いています。19時過ぎに帰って保育料で、小さい頃は自分のお給料の1/3ほどの価格でびっくりした、延長代をあわせるともっとです。扶養に入っていて働いている方とお給料が毎月変わらなくなってしまう。なんのために長く働いているのだろうと思っています…。保育園は20時までみてもらえる(下の子が4才)のに上の子の学童は19時までです。下の子が小学校にあがるタイミングで、仕事の時短が消え、19時までになります。学童も、時間を保育園と一緒にして欲しい。
- 小・中共に義務教育なのに、お金がかかりすぎる。
- 児童手当について…乳児、幼児より、小学生以上の方が子育てにかかる養育費が必要です。金額の見直しをしていただきたいです。災害時について…津波がもしきた場合、富津市は高台がなく避難場所に困ります。避難タワーが各所にあったら安心して生活ができます。学童について…青堀小学校は、学校内に学童がありません。共働きの家庭がどんどん増えてきているので、学校周辺の学童だけでは足りず入れない子どもたくさんいます。その結果、1人で留守番をしている子どもが多く、放課後に1人でイオンやゲームセンターにいる子を見かけます。是非、学校内にも放課後預かってくれるような場を作っていただけたら、ありがたく思います。
- 2人姉妹です。2人とも年少から保育園に通っていましたが、幼稚園に通っていた知り合いは、2人目の幼稚園料が半額でしたが、うちは保育園だったので、そういうこともなく。また、上の子との年齢差で、2人目半額、3人目無料となったり、同じ子供の人数なのに、年を空けて子供をつくることを諦めてしまうと感じました。子供の数が少なく、帰り道残り500m位を1人で帰ってきます。道路の白線も薄く、緑色に色分けされたゾーンもなく、スピードの出ている車や、ハンドルから顔が出ていないような小さな老人の運転する車に、危険を感じます。もっと通学路が安全になって欲しいです。
- 就学にかかる費用に対し、不安がある。支援がもう少し充実したものが出来ればと思う。

- 何でも無料にする事はやめて欲しい。学習でも遊ぶ所でも質の悪い人達が集まりやすくなるから、本当に利用したい人達の迷惑になる。本当に使わないといけない所でお金を出さず、色々後回しにして、子供達が不便する事が一番困るので、老人優先より子供達優先の町にして欲しい。
- 児童手当ですが、上の子達が、大学・高校で末っ子が3人目と、みなされなくなり、減額になってしまうのは家計的にキツイです。
- 一人親手当ですが、世帯家単位で決めるのはどうかと思います。兄弟から支援されている訳でもないのに兄弟の収入でゼロにされるのはおかしいと思います。あくまで個人の収入額で見たいです。

## 8. 家庭経済状況や教育の助成について

- 子供手当が高校生までだといいなと思います。
- 高校卒業まで子育て支援を続行していただきたい！
- 片親の手当の収入による格差が意味分からない。
- 学童を利用するのにもお金がかかるので、補助金とかがあれば、助かる人も多いのではないかと思います。
- ひとり親家庭の支援を良くしてもらいたい。他の市はアパートの家賃補助制度がありますが富津市はありません。生活でいっぱい、子供の学習等の習い事をさせてあげたいがしてあげられません。残業をして生活費を稼いでいても年間の稼ぎで母子手当でも減り、まったく生活がうまく回らず苦しいです。
- 小学生の子には、お金がかからないが中学・高校の費用にお金がかかる。就学前の支援は充実しているが一番大変な時期は、中学～高校（大学）だと思う。公立の無償化だけでなく私学も無償化を切に願う。要は、上（2人）にお金がかかり、小学校の弟に塾に行かせられない。
- 子供が進学すると、当然お金がかかりますが、中→高→大と、進むことを考えると、経済的な、負担が大きいです。低所得の家には、先がみえず、不安ばかりです。そういう人は、沢山いると思うので、補助するような策を考えていただけたらありがたいと思います。
- 学校でかかる費用（給食、積立てなど）負担が大きい（母子家庭のため…）。母子家庭に対する扶養手当ですが、支給停止になる、所得制限が低すぎる。制限の所得を高収入者だけにしてください（500万以上など）。ひとり親家庭の貧困率が6割というのが現実。生活費が足りなければ借入までしなくてはならない。精神的にも余裕がなくなると、子供にもかなりの影響がでてくる。
- この先に子供ががんばって勉強して入れるような、中学、高校、大学と（受験して入るような…）いける子に対する経済的援助や助成金などの充実は必要になってくると思っています。身近にも経済的な理由で断念せざるを得ない子がいました。やる気がある子にはがんばってもらいたいと思います。そういう子を応援してくれたいと思います。
- 大学へ行きたいのに年収等の都合で行けない事のないよう助成や支援を手厚くして欲しい。
- 子供にかかる教育費の中で一番大変なのは高校だということがわかりました。当時上2人が高校（公立、私立）で下が保育所という環境でとても大変でした。しかし、年長の時、3人目から無料保育になり、とても助かりました。現在は小学校、高校（私立）専門学校とまだまだ大変です。

がなんとかやっています。部活等のスポーツ推薦で進学しましたが遠征などでやはり費用がかかります。祖父母がいなく頼るところもないので、仕事も融通の利くところではないので、今は探しているところですが、小学1年生なのでまだ少し難しいとも思っています。なので、もう少ししたら学童も考えていますがパートとの時間調整も必要だと思っています。迎え等の問題もあるので近隣の学童を特に期待したいです。

## 9. 医療費等について

- 医療費助成が無料でないのは少し残念だが、200円で中学生まで、助成されるのはありがたい。再就職の際、子供の長期休暇がネックになるので、その際の受け入れ先があれば良い。雨天時の遊び場が少ないので、もう少しそういった場があればありがたい。子供の就学時の支援(金銭的)はどんどん行って欲しい。
- 子ども医療費助成受給券について、富津市は中学生まで通院・入院は¥200、薬は無料となっていますが、年齢により、例えば0才~6才まではやはり病院に行く事が多いので助かりますが、小学生になると少し落ち着いてくるので、薬代を有料にするなどしてもよいと思います。できれば高校まで使えると助かります。金額も年齢によってもう少し引き上げて(負担をふやしても)よいと思います。
- 平成27年度富津市子ども、子育て支援事業に基づき子供の子育て支援に取り組んでいるそうですが具体的な事が全くわかりません。分かりやすい所で、医療費助成は君津市は無料です。すぐに体調不良を起こす子供ですので、200円もばかにならないと思います。
- 15才未満へは、インフルエンザ予防接種を無料で受けさせる。老人へは手厚い補助があるのになぜ、子どもにはないのか。早急に検討、実施していただきたい。子どもが、インフルエンザになれば、当然、親が看ることになり、共働き世帯ではどちらかが休むこととなります。しかし、大半の企業では、子どものインフルエンザで休めるところはありません。老人主体の世の中を子ども、子育て世帯中心の世の中になるように。市からも声を上げてほしい。
- 子ども医療費について…中3まで対象ですが、高校生も子ども扱いにして欲しい。高校生活でも、部活などのケガ、病気等まだある。通院多い。3割は負担。
- 高校卒業するまで医療費助成して欲しい。
- 我が家は小6、高1の為、放課後クラブなど今は必要ないですが、高校生でも病気になるので200円から一気に増える医療費はとてつらいです。中学3年生までではなく、もう少し長くお願いしたいです。子どもが小さい時学童をお願いしたところ、夏休みだけでは定員確保?確実に入所できるか分からないと言われ、4月から入っていたのに翌年は「夏休みだけで良かったですよ」と言われたことがありました。個々の意見を全て採り入れるのは大変ですが、各家庭で働き方が違うのだから少しでも融通がきいてくれると助かりました。今後富津市として色々施設をつくるようでしたら上記内容を少しでも反映してもらえるとうれしいです。特に図書館は富津市として大きいものが欲しいです。君津の図書館で「富津市民は予約できません」と言われてとても悲しかったです。土地があるのだからぜひお願いします。
- 兄弟が多いためインフルエンザの予防注射にお金がかかり、全員に受けさせる事が難しい。学習塾に通っていないと授業についていけない。行っている子が多いため、その子たちに合わせて進

んでしまっている。先生によってだいぶ違いが出る。

- 市の健康保険料や市県民税が高くて、子育て、保育環境まで考えられない。また、子供の医療費が君津市は無料だったが、富津市は1回200円かかるのでちょっとの虫歯や具合の悪い時は考える（気軽に行けない）。
- 健康保険料が高すぎる。
- 高校生まで医療費の軽減をして欲しいです。病気を持っていて、遠くの大きな病院へ行くのにも交通費がかかったりと、本当に負担が大きくて大変です。
- 子どもの医療費控除を高校生の子どもまでにして欲しい。
- 医療費を高校生まで延ばして欲しい。

## 10. 医療・保健サービスについて

- 耳鼻科がないのであるといいです。（皮膚科もです。）アスレチック場とか富津市にあるといいと思います。
- 富津市内に小児科がなくて困っています。保育園が待機で入れなくて困っています。
- 小児科と掲げていても乳幼児は診れなかったり小さい頃からかかりつけ医として信頼できる小児科が富津市には少なく、産婦人科・児童館・図書館もないので自然と他市へ行くことになり、富津市は子育ての環境としてはアンケートをとらずともわかる様な事すら何十年も放置されているのはなぜですか。保健室の養護教諭のようにとまではいかずとも、スクールカウンセラーや臨床心理士の方も相談に来るのを待つのではなく、日常的に子ども達と過ごし担任の先生方と情報を共有したり、親もアドバイスを気軽に受けられるような学校が増えて欲しいと思います。学校は子ども達が1日のほとんどを過ごす場所なので、副担任や補助の先生が外国人やバイリンガルの先生になったら子ども達が変わってくるような気がしますでしょうか。
- 小学校に上がり、小児科以外にも皮膚科や眼科、耳鼻科などの受診が増え、子ども医療費助成はとても助かっていますが、インフルエンザの予防接種が高く、子どもは2回が望ましいとされ×兄弟分となると受けさせて（受けるべきとは思いますが）あげるか迷います。大人はとても受けられません。無料とは言いませんが、半額ぐらいなら接種率も上がると思います。上総湊海浜公園について、「公園」とありますが、遊具が幼児むけの（キリンの）すべり台しかありません。駐車場も広く、手や足も洗える水道があるので子供と遊びやすいので、遊具を増やしていただけたら放課後や休日の遊び場としてもっと生かせると思います。

## 11. 子育て支援サービス等について

- 近くの市に比べても富津市は充実していなかったり、不便と感ずることが大変多いです。また、市へ意見をあげても、全く改善されていません。1つ1つの事に、きちんと対応して欲しいと日々感じています。
- 娘が3才、息子が0才の時、転入してきました。息子は第2子だったので、そう多く支援を受けることなく過ごせましたが、子育て支援センターやニコニコルームなどのいつでも出入りのできる施設が分からず（無く）君津へよく行っていました。母親同士の交流も少なかった気がします。

又、今では本を借りたいと君津まで出向いています。子ども同士、親同士が集まれる場が周知できていないように思います。転入時も説明なく、一覧の用紙を渡されたのみでした。又、利用した保育所も延長時間内なのに職員さんが退勤を急いで電気を消されて玄関に座らされていたりと、とても利用しづらかった。この件は別で園とお話させていただきましたが、現在も変わっていないと利用している保護者から声があがっています。残念です。

- 子どものための公共の設備が、学校以外にないと思いますので、あったならば、その場所を広く知らせる事や、設備の拡充を希望します。
- ファミサポ、子ども放課後教室など…富津市は実施するのが遅い。友人の住んでいる所、私の地元では既に行っています。
- 富津市は他市に比べると広い土地がある割に、子どもの数が少ない為か行政サービスが充実していないという印象がある。(私自身は市川市で育ち、子を生みましたが、行政サービスが充実していました。)富津の特色を生かした産業を子ども達にたくさん伝える場を設けて、将来もここに住もうと思わせるサービスを考えなければ人口は減る一方かと。個人的には、中規模で良いので、図書館があると良いです。(君津までいっているの)子ども達が集まります。
- 情報をネットで検索してもよくわからない。
- 出先でお会いした0才児のいらっしゃるお母様から聞かれた事です。富津市に引っ越してこられ、「一時的に子どもを預かって頂けるところが分かりません。そのような所がありますか?!」と…。自身の知り限り“すぐに対応できるところ、正直思い浮かびませんでした。事前に申請していないとダメなところが多いのでなかなか難しいのが現状なのかと思います。若い世代の方で、御両親や身近に頼れる方がいないとおっしゃっていました。市役所にお問い合わせしてみてもお伝えしました。(急な用事等で…)”
- 子供の今後の事を、具体的に、細かく教えてくれる人がいてくれると助かります。
- 調査実施の趣旨とその目的に。“急速な少子化の進行に対応して支援を行い…”とありましたが、支援していることをもっとアピールすべきと考えます。H27~となっていました、ここ3年で支援に取り組んでいると感じられることはありません。実際に取り組まれた内容と、その成果などをもっと市内外にPRすることによって少子化対策になるのではないのでしょうか。子供が減ることによって十分な教育を受けられない事態に陥る学校も増加の一途をたどっています。子育てしやすい自治体をPRし、若い世代を取り込み、また、若者の定住化対策を講じることで少子化を緩和できるもの考えます。せっかくの取り組み、是非もってPRして下さい。
- 中央公民館の図書室が使いやすくなったり、イベントを開催してくれたり、地元の子供達とお年寄りの集まる場所ができて良かったです。今後も楽しみにしています。楽しくなるようなイベントなどの企画等を発信してくださると、人々の活気あふれる明るい富津市になって欲しいと思います。
- 子供が小さい時は健診などで相談できる場所があったが、大きくなるにつれてそういう場所がなくなってきていると感じる。
- 保育園が少ないと思います。親の働く状況に対して公立保育園が多く、私立の保育園へ入園したいのに入れない状況はいかがなものかと思います。土・日・祝日働かなければいけない親もいるのでもう少しどうしたらいいか考えていけなければいけないと思う。子どもと一緒にいたいのにいる時間がないので現実です。もっと子育てしている親の意見に耳をかたむける場所をもうけて

欲しいです！

## 12. 教育環境(防犯・防災)について

- 学校の下校時、人通りの少ない方面なので（自宅が）仕事が休みの日は、途中まで歩いて様子を見に行けませんが何か安心できるような環境があれば良いなあと思います。
- 不審者情報の収集や公開や登下校の際、もっとお年よりが協力して街頭指導にあたってもらえる環境にする。（小学生にだけでなく中学生に対しても見守る体制）共働き家庭が多い中、子供たちだけの時間がとても長い。一番の心配は不審者だと思います。もう少し力を入れて頂けたらと思います。
- 住んでいる地域は駅も近いし、買い物する所もあるし病院も近くにあるので、悪い環境ではないと思いますが、学校では言葉の悪い子がいたり、あいさつなどはできないので、生活面では改善して欲しい良もあります。人数が多いので、先生の目が届いているか不安な面もあります。学校のトイレが汚いので、キレイになればいいなと思っています。
- 母親学級で知り合ったママさん達は、お互い初産だった事もあり出産前後からもよく色々相談させて頂きました。この年になるとどなたかと仲よくなる事は難しいように思っていたのですが、調理実習などあり、自然に仲良くなれました。そのような場所がある事は嬉しく思いました。その後も、もうひとつのお家やかいじゅうクラブなどにも参加しました。子供と参加できる場所があって子供も大好きだったので連日行っていました。幼少の子どもを持つ親は、とにかく話しのできる場所、相談できる場所を近くに持つ事だと思います。今、子供達が少し成長し気になる事は通学路の安全面とこれからの学費です。高学年になってくると体操練習等始まります。家が遠いので帰宅の時はうす暗い時間帯になるでしょう。近所の家は、祖父が迎えに行ったりしているそうです。ますます通学路が、寂しくなり、私は仕事をどうしようかと思っています。夕方の“見守り隊”等あればと思うのですが…。
- 学習塾を無料で使用できると良いです。登下校時の安全確保を充実させて欲しい。

## 13. まちづくり全般について

- 歩道が狭すぎ、側溝の蓋もガタガタで自転車に安心して乗せられる道がない。（子育て支援とは関係ないですが…）
- 保育環境として以前から充実を依頼している件としては、子育て世代、ご老人の方々共に過ごしやすい駅環境づくりです。歩道橋使ったの登り降りは、兄弟が多かったり、荷物が多いとつらいです。エレベーターが駅には無いので、駅に電話して、持ち運びの手伝いをしてもらう事もありましたが、毎回は対応できないと言われた。結果、実家や外出に行く際も主人がいないと厳しくなった。母親だけでも、子供と外出などしやすい環境を作ってほしい。特にエレベーター希望、あるいは、大師線（川崎）などのように電車が来ない時は線路を渡って移動など…欲しい親子のコミュニケーション（マザーズコーチング）を取り入れて欲しい。いじめをなくす、（他の人をいじめる行為や、自分自身をいじめることを）なくし、自己肯定感の高めることを市で取り組んで欲しい。他県では、いじめを本気でなくすために「かがみの中のぼく」の上映会もしました。

いじめをなくすために作られた、この絵本を全小学校に寄付されています。

- 富津市はお金がない為、住民税が上がりましたが、上がったくせに公園は汚ない、社会体育館は汚い備品はぼろぼろ、雨漏りはする。等、多々、みすぼらしいです。他県から来た方が、また来たいなと思ってくれる施設を作るとか、そういう所にお金をかけて下さい。子供達のがびのびとキレイな場所でスポーツを楽しめる所を作って下さい。館山運動公園体育館に行ったことありますか？トイレもどこもすごくキレイです。館山の町並も何もかも、キレイで無料の遊び場もありお店もたくさん、何回も行きたくなります。まずまず子供達を1番に考えて、税金を使って下さい。産業道路に会社も増え、地元の子供たちがずっと地元でやっていくようになります。子供育成をお願いします。海も山もあり、良い環境なのでから…
- 公共施設が少ないように思うのでもっと増やして欲しいと思います。

## 14. 障がいや発達支援について

- 療育も力に入れている保育園、施設などがあると良いです。図書館があると子どもや大人も利用でき良いと思います。自宅で受けられる支援サービスが多いと親子さんの負担も少なくなると思います。
- 障害のある子が気軽に行ける場所があったらいい。(勉強や運動が学校以外でも出来たらいい) →専門の病院が近くにないから大変です。
- 富津市内の子どもがますます減っていく中で、一人一人の子を大切に育てていくにあたって、学校の一斉授業に病気や発達障害や日本語が十分にわからないなどの理由でついていけない、参加できない児童、生徒に個々の特性に応じた支援、教育が必要ではないか。今現在それが十分かは疑問。

## 15. アンケートについて

- 青堀地区(3年生) 同じ回答を何度も何度も暇じゃない。資源の無駄。
- 青堀地区(6年生) 1人1人必要?このアンケート
- 金谷地区(5年生) アンケートでなく直接学校のミニ集会などで、保護者に話を聞いてみたらどうですか?アンケートって何か別に本当のことあまり書きませんよね…このアンケートを書いている時間ムダじゃないですよ…もし、本当に環境の充実を現実にかきたいのなら、歩いて人に会う方がいいと思います。
- 環・関豊地区(4年生) アンケートは現状を知ってもらうのに有効だと思いますが、兄弟が多い家族には負担が大きいと思いました。小学生2人なら1つで済ませると良いかと思います。

## 16. その他

- いつも色々考えて下さりありがとうございます!!
- 子どもが少ないのか分かりませんが、私立の保育園ばかりで市立が近くに少ないので増やして下さい。

- 富津市の人口が増える取組みをやって欲しい。子どもの数が少なすぎると思う。富津小への学区を広げて欲しい。
- 道徳教育の強化。周りに協力しない親をなくす為。
- 道徳教育の強化。子どもの内から世間様に迷惑を掛けないと思わせる教育。
- だんだんと子供が少なくなっている時代です。もっと子供たちが生まれる何かの方法がないと子供の数が少なくなってきました。その解決が必要と思います。
- 平和に過ごす事が、永年続くような社会であって欲しいです。
- 外国人なので日本語に不自由があります。いつも人に助けてもらっているのが心苦しいです。学校の手紙などがもっと単純で分かりやすい文になると非常にありがたいです。漢字にふりがながついていてありがたいです。学校の日本語に特化した日本語のレッスンを市で行っていただくと、とてもありがたいです。このアンケートも代筆してもらっています。
- 保育園の先生が少ない。一時保育でも未満児の担当の先生がいなくてみれないなど探すのに苦労した。もっと先生が働きやすい環境を作って欲しい。
- 大人になった時に、色々な人がいるのが当たり前、助け合うのが当たり前、といった風に暮らしていけるように小さな頃から壁を作らない交流があったら良いなと思います。明るい子、大人しい子、色々な子、それぞれの素敵なところをいっぱい褒めてあげて欲しいです。褒めてもらったことは自分の中で大切に育てていくと思うので。
- 子供が青堀小→富津中に通っていますが、青堀小の体操服→男女で違うので兄妹で使用できずすごく困っています。富津中の制服、ずっと変わりませんが、今はブラウスとブレザーが増えていると思う。ブラウスやブレザーなら兄妹も使用できる様になり、家庭の負担も減るのではないのでしょうか。我が家も男女の兄妹なので、すごく無駄に思えます。昔からの物も大切だと思いますが、時代に合わせて変えていくのも良いのではないのでしょうか。
- 家庭面では、各家庭で事情が異なりますので、ひとまとめにこうだとは言えません。ただ、学校での環境としては、子供・教師・保護者それぞれが、もう少しのんびりしていてもいいのかなと思います。今は、我々が子供だった時よりも、余裕が無いようで、常に誰かを気にしている（誰かの評価）感じます。もう少し、ゆとりや遊びが欲しいです。学習面をこなしていくのが大変なのは理解できますが、一自治体ではできることとできないことがあると思います。
- 小学校では給食の完食を強制している所がある！！別室に移動させるや休み時間も食べさせるなど、遊ぶ時間を作れずに友達関係に仲間外れや精神的に追い込まれ、家でも食事が摂れなくなっている。完食へのこだわりがすぎて大事な部分を見失っていると感じる。今は、学校へ行くのに給食が恐怖に感じており、登校拒否寸前です。
- 「何でも言って下さいねー」「どんな事でもいいので」などと言いますが、先生による。小学校に入るとなかなかそういった雰囲気でもなくなり子供から話を聞くが、だいたいな事を判断することになるので子供が何か悩んでいたとしても分かりづらい気がします。家庭訪問や、面談も少しの時間なのでさらっと話して終わりなのであまり満足感も得られない気がします。
- 県内でもいろいろな自治体の取り組みによって、こんなにも子育て環境に差がついてしまうものなのかと、がく然としました。子どもたちには、立派な未来を心に描き、夢や目標をたくさん抱いて、努力して育てて欲しいと思います。子どもたちが出席する成人式が、どんな風になるのか、少人数だとしても、文化的にもレベルの高い、はつらつとした式になって欲しいと、今

から願うばかりです。

- 各学校の公費学校配当予算を公表すべき。いったい公費はいくらで、何に使われているのか。役所の人間も、長いものに巻かれてばかりいないで、前向きな改革をしないと富津市は手遅れになる。これだけ子育て世代に厳しい、子ども達に厳しい環境で、若い人たちが市内に残りもしないし動いても来ない。これだけ問題が明白であるのに何も改善が見られず、一般市民が草の根で改善しようと小さく活動するしかないことは、行政の怠慢でしかない。大変憤りを感じる。
- 廃校となる学校の校舎の行く末が気になります。子供達の為になるような再利用の仕方を望みます。母校がなくなった子ども達が、将来同じ地で子育てをしたいと思えるでしょうか？不便さを知っているからこそ、他市・他県に流れてしまいます。校舎、グラウンドを活用してもらいたいです。
- 学区外申請や児童手当の申請の毎年の手続を無くして欲しい。通学路の歩道の強化を。
- 昨今話題になっている、学校への持ち物が多いことによる、子どもの心身への影響（歩く際よろけてしまう・腰痛になる子どももいるそう）が心配です。いわゆる“置き勉”を、富津市でも認めていただきたいです。
- 今後の社会のあり方や時代の状況をふまえ、常に半歩先を行くくらいの学校教育を望みます。多様な価値観の尊重という意味ではだいぶ柔軟にはなってきていると感じますが？一部「こうあらねばならない」「こうあるべき」と、そこからはみ出た子供を無理やり自分の価値観に押しこめようとする先生も見受けられます。人として本質的なところは守らなければいけないけど、あまり画一的に固苦しくなりすぎるのはどうかと思う。新しい価値の創造、自由な発想が今後の日本の未来を担う子供たちには必要なのかなと思います。
- 意見ではありませんが、うちのまわりには（半経2 km以内）では、同世代の子供達はもちろん大人も少なくなってきていて、放課後子供を自宅でみてもらうには75歳の祖母1人に頼むしかなく負担が大きいので、学童保育にやむなくお願いしている状態です。
- 子ども達の放課後、親が共働きのため、親子一緒に過ごせない家庭が増加していると思います。親の帰宅時間が遅いと子ども達は眠くても親の帰宅を待っているため、就寝時間が遅くなり、体内時計にも支障をきたすため、親は職場終業時刻通りに退社したいが、業務量が多く、ほぼ毎日残業となり育児に費やせる時間が短すぎるという状況にあります。残業が多いことについて、個人と企業の問題もあり、難しい問題かと思っています。スマホや自宅のセキュリティー、AIも進化している中、どのような過ごし方がよいのか、家庭でじっくり話したいと思います。そして、子どもの健やかな成長のために何が必要かを考え、実行していきたくと思います。
- 給食がアレルギー食品除去食に対応していないと聞きました。他市では対応が進んでいるようですが、富津市は完全弁当の許可がおりるだけだと聞いています。集団生活の中、皆は給食で、アレルギー持ちの子は、全く異なる弁当となると環境もよくないのではないかと思います。除去食と区別しやすいよう、色の違う皿やトレーにするのは仕方ないとしても学校生活の楽しみでもある給食が他の児童と共有できないのは、食育をうたっているにもかかわらず、少しズレてしまうきっかけになるかもしれません。また共働き家庭や片親家庭が増える中、いつアレルギーが軽減しているかわからない状態で義務教育中完全弁当となるのは、負担が大きすぎるのではないかと思います。富津市では完全に子育てができないということにつながると思います。人員や給食センターの事情もあるのかもしれませんが、少しでも環境が整うといいと思います。

- 教員の中に、教員としてふさわしくない人が居る場合の相談窓口が欲しい。虐待ともとれる怒り方をする教員がいる！！どこに相談すればいいのかわからずにいます。
- 人口が減り子供数も減っている。これは競争力の低下を著しく召いている。田舎の子供は、都会の子供と比較しても、おっとりしているし、学力も弱い。教育環境はもちろんだが競う相手が少ない事も影響している。お金の使い道もっと考えましょう。



## 資料編



## 就学前児童の保護者対象

# 第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画策定のための アンケート調査にご協力ください



皆様には、日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。  
本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」(2020年度～2024年度)の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握したく、アンケートを実施することにいたしました。  
このアンケートは、就学前の子どもたちの保護者の方を対象にしています。きょうだいなどで、このアンケート用紙が複数届く場合もありますが、**お子さん一人ひとりの利用希望や状況を把握するため、できるだけお答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的と**していますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関する内容が公表されることは一切ありません。  
設問も多く大変恐縮ですが、富津市を安心して子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ご協力をお願いいたします。

平成 30 年 10 月

富津市長 高橋 恭市

### 【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートには、宛名のお子さんの保護者の方がご記入してください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 2 ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( ) 内には、具体的な内容をご記入してください。
- 4 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24 時間制(例：午後6時→18 時)で、ご記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問にご回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ごわり書きや矢印に従ってご回答してください。特にごわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、10月31日(水)までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

富津市健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 0439-80-1256

### 調査実施の趣旨とその目的

市では、子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)に基づく子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。 )の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業に取り組んでいます。(平成 27 年度から実施)。

本調査は、2020 年度～2024 年度の5年間を対象とした「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」において確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、子育て世代の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただく権いせん。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることでできるような支援を  
目指しています。



問8 宛名のお子さんから見た同居・近居（徒歩や車で30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてお答えください。

※お子さんから見た関係をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）  
 ※父親・母親が単身赴任の場合は「7. その他」に○をつけてください。

[同居]  
 1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. ぎょうだい 6. 親族等 7. その他 ( )

[近居]  
 1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. ぎょうだい 6. 親族等 7. その他 ( )

**封筒の宛名のお子さんの育ちをめぐり環境についてうかがいます。**

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
 5. いずれもない

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. いる/ある ⇒ 問10-1へ 2. いない/ない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。  
 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人  
 3. 近所の人 4. 子育て支援センター  
 5. 保健所・市役所の健康づくり課 6. 保育所（園）  
 7. 幼稚園 8. 民生委員・児童委員  
 9. かかりつけの医師 10. 市役所の子育て関連担当窓口  
 11. その他 [ ]

問11 あなたは子育てに関する情報などのように入手していますか。（主なもの3つに○）

1. 身内の人（親、ぎょうだいなど） 2. 近所の知人や友人  
 3. 子育て支援センター等、地域の子育て関係施設で知り合った友人  
 4. 子育て支援センター等、地域の子育て関係施設で知り合った友人  
 5. 保育所（園）、認定こども園、幼稚園、学校 6. 保育所（園）、認定こども園、幼稚園の子育て仲間  
 7. 保健師の家庭訪問や乳幼児健診 8. 市役所の子育て関連担当窓口  
 9. 子育てに関するガイドブックやパンフレット 10. 子育てに関する講座  
 11. テレビ、ラジオ、新聞 12. 子育ての雑誌や育児書  
 13. インターネットでの検索 14. 子育て情報アプリ  
 15. SNS 16. 医療機関の医師・看護師  
 17. 情報の入手先がない 18. その他 ( )

※子育て支援センター：未就学の子どもとその保護者が一緒に遊ぶ中で、子育てに関する情報交換や交流、仲間づくりができる場所です。  
 市内には、下記2か所の子育て支援センターがあります。  
 ・あおほり子育てサロン（青根保育園）  
 ・もうひとつのお家（和光保育園）

問12 普段、子育てをしているあなたの気持ちはどうですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもがいると毎日楽しい  
 2. 子育てをすることで自分も成長している  
 3. 子育てが自分の生きがいになっている  
 4. 子育てについて不安になったり悩むことがある  
 5. 生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある  
 6. 子どもを叱りたくなることや、子どもにあたりたくなることもある  
 7. 子育てから解放されたいと思うことがある  
 8. その他 ( )

**宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。**

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみにお答えください。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

⇒ 問14へ

問14 問13で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1～2の設問ごとに、それぞれの日数または時間をお答えください。

※□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

	①母親	②父親
1. 「就労日数」、「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。 ※ 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。 ※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。	1週当たり □□ 日 1日当たり □□□□ 時間	1週当たり □□ 日 1日当たり □□□□ 時間
2. 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。 ※ 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。 ※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※ 時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。 ※ 「勤務終了時刻」をお答え下さい。	(24時間制で) 家を出る時刻 □□□□ 時 帰宅時刻 □□□□ 時	(24時間制で) 家を出る時刻 □□□□ 時 帰宅時刻 □□□□ 時

問15 問13で「3. または4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。  
⇒該当しない方は問17へ  
フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問16 問13で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当しない方は問17へ  
就労したいという希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

また、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一般に一字)

	①母親	②父親
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	1
2. 1年より先、一番の子どもの□□歳になつたころに就労したい	2	2
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

⇒ 問17へ  
⇒ 問17へ  
⇒ 問16-1へ

問16-1 問16で「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。希望する就労形態をお答え下さい。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	1
2. パートタイム、アルバイト等	2	2

⇒ 問16-3へ  
⇒ 問16-2へ

問16-2 問16-1で「2. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。1週間あたりの就労希望日数、1日あたりの就労希望時間をご記入ください

※□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

	①母親	②父親
1週間あたり	□□ 日	□□ 日
1日あたり	□□□□ 時間	□□□□ 時間

問 16-3 問 16 で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. 保育所(園)の保育料が高く利用できないため	1	1
2. 希望する保育所(園)に空きがないため	2	2
3. 自分の知識、能力にあう仕事がないため	3	3
4. 賃金や休暇等、希望する条件に合う仕事がないため	4	4
5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)や介護等、就労する環境が整っていないため	5	5
6. その他( )	6	6

問 17 前年の世帯年収(総支給額)はおおよそいくらでしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 100万円未満
2. 100~200万円未満
3. 200~400万円未満
4. 400~600万円未満
5. 600~800万円未満
6. 800~1,000万円未満
7. 1,000万円以上

問 18 あなたは、ご家庭の経済状況をどのように感じていますか。  
 (あてはまる番号1つに○)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. 普通
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問 19 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。(①~⑩についてあてはまる番号1つに○)

	している	していない	
		家族の方針でしない	経済的にできない その他の理由
①毎月お小遣いを渡す	1	2	3
②毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
③習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
④学習塾に通わせたり、通信教育を受ける(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3
⑤お誕生日のお祝いをする	1	2	3
⑥1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
⑦クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
⑧子どもの保育園行事などへ親が参加する	1	2	3

問 20 次の費用のうち、過去約1年間で経済的理由のために支払いができなかったものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 支払いができなかったことはない
2. 保育所(園)、幼稚園等の給食費や保育料
3. 保育所(園)、幼稚園等の教材費等
4. 家賃・住宅ローン
5. 食料品・衣料品
6. 医療費
7. 光熱費・電話代(固定・携帯・ネット通信料金含む)
8. 公的な保険料(年金・健康保険・介護保険)・税金
9. 通勤や通学に使う電車やバスの料金
10. その他( )

問 21 お子さんの教育・保育費で何が一番負担ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 保育料
2. 給食費・教材費
3. 保育所(園)、幼稚園の通足・行事の費用
4. 制服・靴・鞆など身の回りのもの
5. 習い事など保育所(園)、幼稚園以外の教育・保育費
6. 特に負担は感じない
7. その他( )



問 23-5 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

1. 富津市 ⇒問 23-6へ 2. 君津市 3. 木更津市 4. 袖ヶ浦市 5. その他 ( )

⇒ 問 23-7へ

問 23-6 問 23-5 で「1. 富津市」に○をつけた方にうかがいます。

今後、利用したい教育・保育事業の実施場所の地区はどこになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 富津地区 2. 飯野地区 3. 青郷地区 4. 大貫地区 5. 吉野地区  
6. 佐貫地区 7. 湊地区 8. 天神山地区 9. 竹岡地区 10. 金谷地区  
11. 環・関豊地区

問 23-7 問 23-1 で「1. 幼稚園」を選択した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は問 23-8へ

現在、幼稚園の預かり保育を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない

問 23-8 問 23-1 で「2. 保育所(園)」を選択した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は問 26へ

保育所(園)で幼稚園教育を受けられることができますとしたら利用しますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 利用したい 2. 利用したいと思わない 3. どちらともいえない

問 24 問 23-8 で「1. 利用したい」を選択した方にうかがいます。

保育所(園)での幼稚園教育に何を求めますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 思いやりや道徳心を育てること  
2. 挨拶や礼儀正しさを身に着けること  
3. 遊んだ後の片づけや整理整頓ができること  
4. 子どもの興味・関心に気づき伸ばすこと  
5. 規則正しい生活リズムを身に着けること  
6. 行儀よく食事をすること  
7. 運動やスポーツの能力を高めること  
8. 科学技術等に興味を持つようになること  
9. 文字や数字の読み書きに親しむこと  
10. 英語になじみ、話せるようになること  
11. 音楽や美術などの芸術の才能を伸ばすこと  
12. その他 ( )

問 25 問 23 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

※「8」に○をつけた場合は、年齢を口内に数字でご記入ください。

1. 利用する必要がない  
(「子どもの教育や発達のため」、「子どもの母親が父親が就労していない」などの理由で)  
2. 子どもの祖父や親戚の人がみている  
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている  
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない  
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない  
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない  
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない  
8. 子どもがまだ小さいため (  歳くらいになったら利用しようと考えている )  
9. その他 ( )

問 26 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)  
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園  
(通常の就園時間の利用)  
(利用料：月額 19,800円～26,000円)  
定期的な利用のみ  
(利用料：園によって異なります。)  
2. 幼稚園の預かり保育  
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち)  
(利用料：園によって異なります。)  
3. 保育所(園)  
(利用料：0円～67,000円)  
年齢や市民税課税状況によって異なります。  
4. 認定こども園  
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)  
(利用料：0円～67,000円)  
年齢や市民税課税状況によって異なります。  
5. 事業所内保育施設  
(企業が主に従業員用に運営する施設)  
(利用料：各施設が異なります。)  
6. ファミリー・サポート・センター  
(地域住民が子どもを預かる事業)  
(利用料：1時間あたり700円程度)  
7. その他 ( )

問 26-1 問 26 で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけて、「かつ」3.～7.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

1. はい 2. いいえ

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。**

問27 次の地域子育て支援事業を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 子育て支援センター  
(※子育て支援センター：P5問11参照)
1. 知っている  
2. 知らない
2. その他保育所(園)で実施している事業
1. 知っている  
2. 知らない

問28 宛名のお子さんは、現在、子育て支援センターなどを利用していますか。

(あてはまる番号すべてに○)  
※なおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。  
※利用した保育所(園)は、主に利用したところをカタカナ1つに○

1. 子育て支援センター(親子が集まり、子どもを遊ばせたり、相談ができる場)
- 1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度
- 利用した子育て支援センター ア. あおほり子育て支援サロン(青雲保育園)
- イ. もうひとつのお家(和光保育園)

2. その他、保育所(園)で実施している事業

1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度

利用した保育所(園)

- ア. 飯野 イ. 吉野 ウ. 佐賀 エ. 中央 オ. 竹岡 カ. 金谷  
キ. 峰上 ク. 露津 ケ. 青堀 コ. 和光 サ. 大貫

3. 利用していない

問29 問28のような子育て支援センターについて、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)  
※なおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが利用したい
- 1週当たり  回 もしくは 1ヶ月当たり  回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい
- 1週当たり 更に  回 もしくは 1ヶ月当たり 更に  回 程度
3. 利用日数を増やしたいとは思わない
4. 新たに利用したいとは思わない(理由: )

問30 子育て支援センターにどんなことを求めていますか。どうしたら行きたくなくなりますか。  
(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 土日祝日の開設  
2. 長時間の開設(17時以降)  
3. 保育に関する相談に対応してくれる  
4. 子育て相談や子育て講座の開催  
5. 保護者の心身の相談に対応してくれる  
6. 絵本や玩具、子ども用の楽器等を増やして欲しい  
7. ダンスやリトミックなどの教室を開催して欲しい  
8. その他( )

問31 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思ふものをお答えください。  
(※①～⑭の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○)

事業名	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①ファミリー・サポート・センター	はい	はい	はい
②乳幼児相談・訪問事業	はい	はい	はい
③幼児のための家庭教育に関する学級等	はい	はい	はい
④保母所(園)や幼稚園の園庭開放	はい	はい	はい
⑤保母所(園)での公開保育	はい	はい	はい
⑥親子つどいの場「なかよし」	はい	はい	はい
⑦幼児のことばの相談会	はい	はい	はい
⑧子育て応援サイト「イクトモ」	はい	はい	はい
⑨講堂等支援事業	はい	はい	はい
⑩1歳児や2歳6か月等の健診	はい	はい	はい
⑪親子母子手帳「すくすくつづたんダイアリー」	はい	はい	はい
⑫産後ケア事業	はい	はい	はい
⑬赤ちゃん休憩室	はい	はい	はい
⑭子育て応援ガイドブック	はい	はい	はい
⑮子育ての語何でも聞きませす窓口	はい	はい	はい
⑯公民館のサークルや講座	はい	はい	はい
⑰おひさま広場	はい	はい	はい
⑱子ども会	はい	はい	はい
⑲子育て講座	はい	はい	はい
⑳民生委員・児童委員、主任児童委員	はい	はい	はい
㉑子一バス(千葉県子育て応援バスポート事業)	はい	はい	はい
㉒児童相談所全国共通ダイヤル189	はい	はい	はい



**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)**

問 36 平日の定期的な教育・保育事業を利用してると答えた保護者の方(問 23で「1.」に○をつけ  
た方)にうかがいます。 ⇒ 利用されていない方は問 37へ  
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで登園できなかつたことはありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

1. あつた ⇒ 問 36-1へ 2. なかつた ⇒ 問 37へ

問 36-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかつた場合に、  
この1年間に行つた対処方法はどれになりますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)  
(半日程度の場合も1日と数えます)

1年間の対処方法		日数
1. 父親が休んだ		□ □ 日
2. 母親が休んだ		□ □ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった		□ □ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた		□ □ 日
5. 病後児保育を利用した		□ □ 日
6. ベビーシッターを利用した		□ □ 日
7. 子どもだけで留守番をさせた		□ □ 日
8. その他 ( )		□ □ 日

⇒ 問 36-2へ

⇒ 問 36-5へ

問 36-2 問 36-1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかが  
います。  
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
(あてはまる番号1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)  
※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受  
診が必要となります。  
※病児保育施設は、現在市内にはありません。  
※病後児保育施設は、現在のところ富津保育園で実施しています(病後児:回復期にあつて、集  
団保育等が困難な児童)。

1. てきれば病児・病後児保育施設等を利用したい → □ □ 日 ⇒ 問 36-3へ  
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 36-4へ

問 36-3 問 36-2で「1. てきれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうか  
がいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われま  
すか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. 子育て支援センター等の専用スペースで保育する事業
5. その他 ( )

問 36-4 問 36-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらつたのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他 ( )

問 36-5 問 36-1で「3. ~8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
その際、「できれば夫婦のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。  
(あてはまる番号1つに○)  
※「3. ~8.」の日数のうち仕事を休んで看たかつた日数を□内に数字でご記入ください。  
(数字は一般に一字)

1. てきれば仕事を休んで看たい → □ □ 日 ⇒ 問 37へ  
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 36-6へ  
3. 休んで看たいとは思わない

問 36-6 問 36-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休みがない
3. 休暇日数が足りないのでは休みがない
4. その他 ( )

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 37 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)  
※1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (利用など理由を問わずに保育所(園)で一時的に子どもを保育する事業)	□□日
2. 幼稚園の預かり保育 (不定期に利用する場合のみで、通常の就園時間を延長して預かる事業)	□□日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□□日
4. ハビシーター	□□日
5. その他( )	□□日
6. 利用していない	

⇒ 問 38へ

⇒ 問 37-1へ

問 37-1 問 37「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうか わからない	8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. 利用を申し込んだが断られた	10. その他( )

問 38 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無・日数をお答えください。  
(あてはまる番号・記号すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)  
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□□日
ア 買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ目的等		□□日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等		□□日
ウ 不定期の就労		□□日
エ その他( )		□□日
2. 利用したいとは思わない		

問 39 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・記号すべてに○)  
※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(数字は一般に一字)

	1年間の対応方法	日数
1. あった	ア 親族・知人にみてもらった	□□日
	イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□□日
	ウ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	□□日
	エ 子どもを同行させた	□□日
	オ 子どもだけで留守番をさせた	□□日
	カ その他( )	□□日
2. なかった		





育児休業などについてうかがいます。

問 44 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。  
 (①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. 働いていなかった	1	1
2. 取得した(取得中である)	2	2
3. 取得していない	3	3

⇒ 問 45へ  
⇒ 問 44-1へ

問 44-1 問 44 で「3. 取得していない」に○をつけた方にかがいます。  
 次のどちらかに該当しますか。また、その理由も選択肢の番号とご記入ください。  
 (主にあてはまる番号3つまで○)

	①母親 (1,2いずれかに○)	②父親 (1,2いずれかに○)
1. 取得できなかった	1	1
2. 取得したくなかった	2	2
上記の理由(下の選択肢の番号を 記入、主なもの3つまで)		

選択肢

- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- (産休後) 仕事に早く復帰したかった
- 仕事に長るのが難しそうだった
- 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 保育所などに預けることができた
- 配偶者が育児休業制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもえらるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できることを知らなかった
- 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
- その他 母親 ( )  
父親 ( )

子どもの虐待についてうかがいます。

問 45 次の中で、あなたが児童虐待と感じる行為をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- 言葉による脅かしや脅迫をする
- 子どもからさげている時に、大声でどなりつける
- 食事を与えなかったり、衣服を不潔なまま放置する
- 子どもを理解するまで、長時間かけて説教する
- 乳幼児を窓に顔して外出する
- 子どもにわいせつなものを見せる
- きょうだい間の争いに差をつける
- 子どもに見える場所です、配偶者や他の家族へ暴力をふるう
- しつけの一環として、窓の外に閉め出す
- 反省するまで部屋に閉じ込める

問 45-1 あなたは、問 45 (前の設問) のような行為を見聞きしたことがありますか。  
 (あてはまる番号1つに○)

- 見聞きしたことがある ⇒ 問 45-2へ
- 見聞きしたことはない ⇒ 問 45-3へ

問 45-2 問 45-1 で「1. 見聞きしたことがある」に○をつけた方にかがいます。  
 その時、あなたはどのように感じましたか？  
 (主にあてはまる番号2つまで○)

- 聞き分けが良くない子どもだと感じた
- 子どものためのしつけなので、仕方がないと感じた
- 心が痛くなった
- 疲れやストレスがたまっているかも知れないと感じた
- どこか相談先を教えてあげたいと感じた
- 許せない行為だと感じた
- 自分も気を付けたいと感じた
- すぐによめて欲しいと感じた
- 特に何も感じない
- その他 ( )



## 小学生の保護者対象

# 第Ⅱ期子ども・子育て支援事業計画策定のための アンケート調査にご協力ください



皆様には、日頃から市政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、今後の教育・保育・子育て支援の方向性を定める「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」(2020年度～2024年度)の作成にあたり、子育て世代の皆さまの子ども・子育て支援に関する利用希望・ご意見を把握したく、アンケートを実施することにいたしました。

このアンケートは、小学校1～6年生のお子さんについてお尋ねします。**きょうだいなどで、このアンケート用紙が複数届く場合もありますが、お子さん一人ひとりの利用希望や状況を把握するため、できる範囲で結構です。それぞれのアンケート用紙での回答にご協力ください。**

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは一切ありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

設問も多く大変恐縮ですが、富津市を安心して子育てのできるまちとしていくために必要な調査ですので、ご協力をお願いいたします。

平成30年10月

富津市長 高橋 恭市

### 【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あではまる番号1つに○」「あではまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)で、ご記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問にご回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや失印に従ってご回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**10月31日(水)**までに小学校へ提出してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

**富津市健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 0439-80-1256**

### 調査実施の趣旨とその目的

市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく子ども・子育て支援の制度(以下『子ども・子育て支援新制度』とします。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業に取り組んでいます(平成27年度から実施)。

本調査は、2020年度～2024年度の5年間を対象とした「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画」において確保を図るべき小学生の放課後の過ごし方に対する支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、子育て世代の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただく権利をもちます。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

**市の取り組みについてうかがいます。**

問1 市は平成27年度から第1期の富津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援に  
取り組んでいます。市の子育ての環境や支援に対する満足度をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	---	--------

**お子さんご家族の状況についてうかがいます。**

問2 お住まいの地区はどこになりますか。(あてはまる番号1つに○)

- |            |         |          |         |          |
|------------|---------|----------|---------|----------|
| 1. 富津地区    | 2. 飯野地区 | 3. 青柳地区  | 4. 大貫地区 | 5. 吉野地区  |
| 6. 左貫地区    | 7. 湊地区  | 8. 天神山地区 | 9. 竹岡地区 | 10. 金谷地区 |
| 11. 環・関豊地区 |         |          |         |          |

問3 お子さんの学年をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

- |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

問4 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※お子さんを各めた人数を口内に数字でご記入ください。  
※また、そのうち一番年下のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

きょうだい数  人 一番年下のお子さん 平成  年  月  日 生まれ

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

- |       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 ( ) |
|-------|-------|------------|

問6 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。  
※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- |          |            |         |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ととも | 2. 主に母親    | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 ( ) |         |

問8 宛名のお子さんから見ただ同居・近居(徒歩や車で30分以内程度で行き来できる範囲)の状況  
についてお答えください。

※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)  
※父親・母親が単身赴任の場合は「7. その他」に○をつけてください。

[同居]	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. きょうだい	6. 親族等	7. その他 ( )
[近居]	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. きょうだい	6. 親族等	7. その他 ( )

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また  
相談できる場所はありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問9-1へ 2. いない/ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。  
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1. 祖父母等の親族  | 2. 友人や知人          |
| 3. 近所の人     | 4. 保健所・市役所の健康づくり課 |
| 5. 小学校      | 6. 民生委員・児童委員      |
| 7. かかりつけの医師 | 8. 市役所の子育て関連担当窓口  |
| 9. その他 ( )  |                   |

**お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。**

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。  
※ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみにお答えください。(①母親・②父親それぞれについ  
て、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1	1
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3	3
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

⇒ 問11へ

⇒ 問13へ

問11 問10で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
1～2の設問ごとに、それぞれの日数または時間をお答えください。  
※□内に数字をご記入ください。(数字は一律に一字)

	①母親	②父親
1. 「就労日数」「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。	1週当たり □□ 日	1週当たり □□ 日
※ 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。	1日当たり □□ 時間	1日当たり □□ 時間
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。	(24時間制で)	(24時間制で)
2. 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。	家を出る時刻 □□ 時	家を出る時刻 □□ 時
※ 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。	帰宅時刻 □□ 時	帰宅時刻 □□ 時
※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。	(例) 08時～18時のように、24時間制で	
※ 時間は、必ず (例) 08時～18時のように、「勤務開始時刻」と		
※ 就業終了時刻」をお答え下さい。		

問12 問10で「3.または4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。→該当しない方は問14へ  
アルバイトへの転換希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できそうな見込みがある	1	1
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できな見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問13 問10で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。→該当しない方は問14へ  
就労したいという希望はありますか。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
また、該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一律に一字)

	①母親	②父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	1
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい	2	2
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

問13-1 問13で「3.すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。お答え下さい。(①母親・②父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	①母親	②父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1	1
2. パートタイム、アルバイト等	2	2

⇒ 問14へ  
⇒ 問13-2へ

問13-2 問13-1で「2.パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方にうかがいます。1週間あたりの就労希望日数、1日あたりの就労希望時間をご記入ください。(数字は一律に一字)

	①母親	②父親
1週間あたり	□□ 日	□□ 日
1日あたり	□□ 時間	□□ 時間

問14 前年の世帯年収(総支給額)はおおよそいくらかでしたか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 100万円未満
- 2. 100～200万円未満
- 3. 200～400万円未満
- 4. 400～600万円未満
- 5. 600～800万円未満
- 6. 800～1,000万円未満
- 7. 1,000万円以上

問15 あなたは、ご家庭の経済状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. 普通
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

問16 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。①～⑥についてあてはまるものに○をつけてください。(①～⑥それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	している	していない	経済的に できない	その他の 理由
①毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4
②毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	4
③習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3	4
④学習塾に通わせたり、通信教育を受ける(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3	4
⑤お誕生日のお祝いをする	1	2	3	4
⑥1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3	4
⑦クリスマスやプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3	4
⑧子どもの学校行事などへ親が参加する	1	2	3	4

問 17 次の費用のうち、過去約 1 年間で経済的理由のために支払いができなかったものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 支払いができなかったことはない
2. 学校の教育費や給食費
3. 学校の教材費等
4. 家賃・住居ローン
5. 食料品・衣料品
6. 医療費
7. 光熱費・電話代(固定・携帯・ネット通信料金含む)
8. 公的な保険料(年金・健康保険・介護保険)・税金
9. 通勤や通学に使う電車やバスの料金
10. その他( )

問 18 お子さんの教育費で何が一番負担ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 給食費・教材費
2. 修学旅行などの構立
3. 部活動などの費用
4. 制服・靴・鞆など身の回りのもの
5. 学習塾や習い事など学校以外の教育費
6. 特に負担は感じない
7. その他( )

問 19 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで
2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学まで
5. 大学院またはそれ以上
6. 本人の意思にまかせる
7. わからない
8. その他( )

問 20 問 19 の回答の理由はなんですか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(注) あてはまる番号2つに○)

1. これからも学歴は重視されると思うから
2. やりたい仕事や職業のスキルを身につけるため
3. 将来生活に困らないようにするため
4. 一般的な教養は必要だと思うから
5. 自分(配偶者含む)もそうだったから
6. 経済的な問題でこれ以上の学費は負担が大きいから
7. 早く社会に出るべきだと思うから
8. 早く収入を得て欲しいと思うから
9. その他( )

問 21 子どもの学習をどの程度(頻度)見てあげていますか。あてはまる番号に○をつけてください(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日(週に5日以上)
2. 週に3、4日程度
3. 週に1、2日程度
4. たまに(月に数回程度)
5. 子どもから見えて欲しいと言われた時
6. ほとんどない

問 22 子どもの学習や進学のために、下記の支援制度を利用することに興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【現在、実施していない支援制度も含まれます】

1. 学校が実施する補講(無料の学習支援)
2. 学校以外が実施する学習支援
3. 就学援助費による学用品費や給食費の支援
4. 高等学校就学支援金(授業料の支援)
5. 高等学校奨学給付金(教科書・教材費等授業料以外の支援)
6. 進学のための奨学金制度
7. その他( )
8. いずれにも興味はない



問27 あなたは放課後子ども教室を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っている      2. 知らない      3. 聞いたことはある

富津市では実施していませんが、放課後子ども教室とは、すべての小学生（1～6年生）を対象とし、放課後や週末等に、小学校の余裕教室等を活用し、子どもの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力を得て、学習活動やスポーツ・文化芸術活動や地域住民との交流等を行うものです。

問28 お子さんの通っている校区で実施している放課後子ども教室にお子さんに参加させたいですか。(あてはまる番号1つに○)

※「1」に○をつけた場合は、参加させたい日数を□内に数字でご記入ください。

1. 参加させたい → 週  日くらい      2. 参加させたくない      3. わからない

問29 問28で「1. 参加させたい」に○をつけた方にかかっています。放課後子ども教室に、どのような活動を望まれますか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 学力が向上する活動  
2. 体力向上や体育を指導してくれる活動  
3. 文化的な教養が身につく活動  
4. 人権意識が高まる活動  
5. 社会見学がある活動  
6. 体験型、実践型の活動  
7. 異年齢の児童との交流が深まる活動  
8. 地域住民との交流が深まる活動  
9. その他 (                      )

問30 問28で「2. 参加させたくない」に○をつけた方にかかっています。参加させたくない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用する必要がない  
2. 家族が見ることができない  
3. 習い事や予定が多く、都合が合わない  
4. 活動内容が良いと思わない  
5. 子どもの心身状況に不安がある  
6. 参加させるメリットが分からない  
7. その他 (                      )

問31 子ども会に入っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 入っている      2. 入りたいが、住んでいる地域に子ども会がない      3. 入りたくない

問32 問31で「3. 入りたくない」を選択した方にかかっています。子ども会に入らない理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子ども会の役員になりたくない  
2. 子ども会の行事や活動に魅力がない  
3. 他の地域活動に参加しているため、子ども会に入る必要がない  
4. 習い事が忙しく子ども会行事や活動に参加する時間がない  
5. 土日は家族で出かけることが多い  
6. 地域活動には参加したくない  
7. その他 (                      )

問33 身近な地域でお子さんが過ごせる場所としてどのようなところを望みますか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 身近な小さな公園や遊び場  
2. ボール遊びなどができる公園等  
3. 親子で安全に水遊びできる公園等  
4. 雨天でも利用できる遊び場  
5. 遊具が充実した公園や遊び場  
6. トイレや手洗い場が整備されている公園等  
7. スポーツ競技のできるグラウンドや大きな公園等  
8. 木や池があり昆虫や小鳥もいる自然を残した公園等  
9. 子どもたちに遊びを教えてくれる指導員のいる児童館等  
10. 公共施設の中に子どもが遊べるスペース  
11. 子どもが放課後などに集まって子ども同士で自発的な活動などができる場  
12. 図書館などの公共施設等  
13. その他 (                      )

**子どもの虐待についてうかがいます。**

問 34 次の中で、あなたが児童虐待と感じる行為をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 言葉による脅かしや脅迫をする
2. 子どもが泣きだしている時に、大声でどなりつける
3. 食事を与えなかったり、衣服を不潔なまま放置する
4. 子どもが理解するまで、長時間かけて説教する
5. 乳幼児を家に残して外出する
6. 子どもにわいせつなものを見せる
7. きょうだい間の扱いに差をつける
8. 子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力をふるう
9. しつけの一環として、家の外に閉め出す
10. 反省するまで部屋に閉じ込める

問 34-1 あなたは、問 34 (前の設問) のような行為を見聞きしたことがありますか。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 見聞きしたことがある ⇒ 問 34-2へ
2. 見聞きしたことはない ⇒ 問 34-3へ

問 34-2 問 34-1で「1. 見聞きしたことがある」に○をつけた方にうかがいます。  
その時、あなたはどのように感じましたか？(主にあてはまる番号2つまで○)

1. 聞き分けが良くない子どもだと感じた
2. 子どものためのしつけなので、仕方がないと感じた
3. 心が痛くなった
4. 疲れやストレスがたまっているかも知れないと感じた
5. どこか相談先を教えてあげたいと感じた
6. 許せない行為だと感じた
7. 自分も気を付けたいと感じた
8. すぐにやめて欲しいと感じた
9. 特に何も感じない
10. その他 ( )

問 34-3 児童虐待(疑いを含む)を見聞きした場合に通告先として知っているものはどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 市役所の子育て関連担当課
3. 児童相談所
4. 警察署
5. その他 ( )
6. 連絡先を知らない

問 34-4 問 34-1で「1. 見聞きしたことがある」に○をつけた方でその際に通告しなかった方がいます。通告しなかったのはなぜですか。あてはまるものを選んでください(主にあてはまる番号2つまで○)。

1. 近隣トラブルになるかも知れないから
2. 他の人が報告すると語ったから
3. 虐待かどうか判断できなかったから
4. 通告先が分からなかったから
5. 関わりたくないから
6. その他 ( )

問 35 今後、充実を希望する子育て支援サービスは何ですか。(主にあてはまる番号3つまで○)

1. 未就学児(0～2歳児)保育の充実
2. 延長保育の充実
3. 休日保育の充実
4. 病児・病後児保育の充実
5. 乳幼児健診の充実
6. ファミリー・サポート・センターの充実
7. 子育て世代への訪問事業の充実
8. 児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実
9. 公民館や学校の図書室の充実
10. 職場復帰準備について企業へ働きかけ
11. 育児休業後の職場復帰の支援
12. 再就職のための支援
13. 悩みを相談できる支援体制の充実
14. 同じ悩みを持つ人の交流の場の創設
15. 地域の人や同業支援団体による支援
16. 病児や障がいなどへの専門的な支援
17. 男性の育児・家事参加の意識啓発
18. 子育て支援情報の充実
19. 保育料の軽減の充実
20. 子どもの医療費の軽減の充実
21. 子どもの就学に係る費用の軽減
22. 子どもの食堂の充実
23. 無料学習塾の充実
24. 公営住宅の整備など住居確保のための支援
25. 一時的に必要な資金の貸与
26. その他(具体的に: )





第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書

発行年月	平成31年3月	
発行	富津市健康福祉部子育て支援課	
住所	千葉県富津市下飯野 2443 番地	〒293-8506
連絡先	TEL : 0439-80-1256 (直通)	FAX : 0439-80-1350